

# 横俵遺跡群 IV

1992

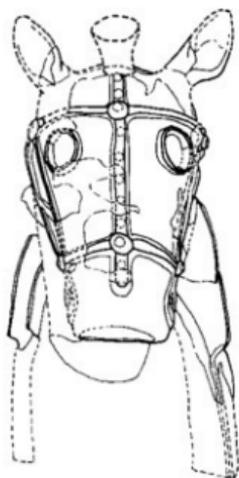
前橋市埋蔵文化財発掘調査団







# 横俵遺跡群 IV



5号古墳埴輪

前橋市埋蔵文化財発掘調査団





1. 赤城山と横俵遺跡群



M5号 人物埴輪



M5号 埴輪馬



M4号 金製耳飾



M4号 勾玉



M4号 切子玉



## はじめに

前橋市は北に赤城山、西に榛名山を望む関東平野の北部を市域とした県都であります。北から南に貫流する利根川の清流は「水と緑と詩の町」を潤し、かつては「糸の町」として養蚕製糸で栄えてきました。今人口28万余を擁し生涯教育都市を目指し、教育文化・商工業の調和のある「豊かで、すばらしい社会を築く、街づくり」を進めています。

市では工業団地、住宅団地の造成を通し、福祉、教育、文化、環境等の整備、拡充の施策のひとつとして、荒砥工業団地造成事業を前橋工業団地造成組合で進めています。この事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務を前橋市埋蔵文化財発掘調査団のもとで、「横依遺跡群」として発掘調査を実施したものであります。

横依遺跡群の所在する荒砥工業団地造成地は、中心市街地から東へ約9kmの位置にあり、北側は大胡町と粕川村に隣接し、1級河川神沢川が団地を東西に分て南流している。この河川の左岸に沿った丘陵に「横依遺跡群Ⅳ（熊の穴・上横依遺跡）」が在ります。

この横依遺跡群Ⅳの発掘調査では、縄文時代の住居址、陥し穴、方形周溝墓、墳墓、古墳時代の住居址、奈良・平安時代の住居址、土坑などの他多数の縄文時代の土器・石器、古墳時代の土師器・須恵器・太刀・刀子その他の鉄製品・金環・玉類の遺物を検出し記録保存を致しました。

横依遺跡群は約55ヘクタールにおよぶ面積になることから、既に「横依遺跡群Ⅰ」及び「横依遺跡群Ⅲ」の報告書を刊行しています。これを参照して頂き、調査に至る経緯などの説明の重複はできる限り避けるようにしました。

この報告書を刊行するにあたり、多くの方々の御理解と御協力をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

平成4年3月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団  
団長 遠藤次也



## 例 言

- 1 本書は前橋工業団地造成組合の工業団地造成工事にさきかけて実施した埋蔵文化財の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団（団長 遠藤次也）の立ち合いのもとに、前橋工業団地造成組合（管理者清水一郎）の委託を受け、スナガ環境測設株式会社（代表取締役 須永眞弘 前橋市青柳町 211-1）が実施した。
- 3 調査担当者 園部守央（前橋市埋蔵文化財発掘調査団 発掘調査係員）  
金子正人（スナガ環境測設株式会社 発掘調査員）
- 4 略称・所在地・調査面積・試掘期間・発掘調査期間

### よこばらいせきぐん 横 依 遺 跡 群IV

- くまのあらいせき熊の穴遺跡（略称1E-19、2E-19） まえばしにしおむらまち前橋市西大室町23-1外  
調査面積 11,500㎡  
試掘期間 平成元年9月4日～平成元年9月30日  
調査期間 平成2年5月16日～平成2年7月31日
- かみやこだわらいせき上横依遺跡（略称1E-18、2E-18） まえばしにしおむらまち前橋市西大室町63外  
調査面積 21,500㎡  
試掘期間 平成元年9月4日～平成元年9月30日  
調査期間 1次 平成2年1月30日～平成2年3月31日  
2次 平成2年9月6日～平成3年3月25日
- 整理・報告書作成期間 平成3年6月1日～平成4年3月16日

### 5 発掘調査の主な作業分担

調査団の指導のもとに、スナガ環境測設株式会社埋蔵文化財調査部（専務取締役兼部長 金子正人）が発掘調査に当り、調査の指揮を金子正人、測量指導・調査計画を須永眞弘（測量士 第52614号）、発掘調査の安全管理を石島正二、測量を板垣宏（測量課長）・樺沢高幸・佐々木智恵子・角田朱美・岡野とし子・栗原朝子・秋間キヨ子・佐鳥直子、遺構・遺物の写真撮影を金子正人・板垣宏が、作業事務・柴崎信江が担当した。

- 6 本書は調査団の指導のもとに、スナガ環境測設株式会社埋蔵文化財調査部が作成に当り、執筆を金子正人、編集・校正を須永眞弘、測量図書の整理校正を板垣宏・勝田貞幸・樺沢高幸、遺物の復元・実測・計測を石島正二・佐々木智恵子・角田朱美・大島由利、遺構トレースを小林裕美、写真製版・版下作成を鈴木超夫・萩野博己、文章清書を金子恵子・勝田貞幸、内業事務を柴崎信江・須永豊が担当した。
- 7 調査に協力を戴きました前橋工業団地造成組合とプラス株式会社（東京都文京区音羽町1-20-11）を始め、地元の方々及び調査並びに整理に際して指導、助言を賜った群馬県教育委員会、群馬県埋蔵文化財調査事業団、東京工芸大学平野雅俊氏、歯科医師井上和雄氏、上越クリスタル硝子株式会社倉田善弘氏他各方面の方々に深甚なる感謝を申し上げます。
- 8 出土遺物は前橋市教育委員会に保管する。

## 凡 例

- 1 遺跡の位置の基準  
 基準点 A-0 点 第IX系 座標値 X=44,940.000m Y=-58,760.000m  
 国土地理院三角点及水準点を照合済み
- 2 遺跡位置図 国土地理院発行の5万分の1「前橋」を使用した。
- 3 実測図の縮尺  
 遺跡全体図 S=1:500  
 遺構実測図の縮尺は1/60を原則とした、他に1/30, 1/100, 1/125, 1/200, 1/250, 1/400  
 など 1/60 以外を使用したものはスケールを示した。  
 遺物実測図は1/3 を原則とし他に 1/1 ~ 1/5 を使用したものはスケールを表示した。
- 4 遺構の略称
- |            |   |     |   |      |   |      |            |   |
|------------|---|-----|---|------|---|------|------------|---|
| 方形周溝墓      | C | 土坑  | D | 炉    | 穴 | F    | 古墳時代以降の住居址 | H |
| 縄文時代住居址    | J | 炭窯  | K | 古墳   | M | 風倒木  | O          |   |
| 柱穴 ( Pit ) | P | 河川  | R | 集石   | S | 埋設土器 | U          |   |
| 溝          | W | 陥し穴 | X | 袋状遺構 | Z | 地割れ  | V          |   |
- 5 土層断面の土色名及び土器類の色調名は「新版標準土色帖」による。

# 目 次

はじめに

例言

凡例

目次

第一章	調査の経緯と概要	1
1	調査に至る経緯	1
2	試掘調査と発掘調査の概要	1
3	調査の基準点	3
4	標準土層堆積	4
第二章	横依遺跡群IVの遺跡の調査	9
第一節	熊の穴遺跡	9
1	遺跡の概要と調査の経過	9
2	遺構と遺物	9
	(1) 縄文時代	9
	① 住居址	9
	② 陥し穴	10
	③ 袋状遺構	12
	(2) 古墳時代の住居址	13
	(3) 平安時代の住居址	21
	(4) その他の遺構	22
	① 土坑	23
	② 風倒木	25
	③ 柱穴群	25
第二節	上横依遺跡	26
1	遺跡の概要と調査の経過	26
2	遺構と遺物	27
	(1) 縄文時代	27
	① 住居址	27
	② 陥し穴	28
	(2) 古墳時代	28
	① 周溝墓	29
	② 竪穴式小石塚	30
	③ 古墳	32
	(3) 平安時代の住居址	43
	(4) その他の遺構	44
	① 土坑	44
	② 溝	48

③	地割れ	49
④	風倒木跡	49
⑤	河川跡	50
⑥	集石	50
⑦	その他の遺構	51
⑧	炭窯	52
第3章	調査の成果	59
熊の穴遺跡	出土遺物観察表	63
上横俵遺跡	出土遺物観察表	73
	石 簇	80
	鉄製品	81
	石器類	83
	五号古墳埴輪	84
	耳環及び玉類	88

## 挿 図

横俵遺跡群標準土層堆積図

” 位置図

熊の穴遺跡と上横俵遺跡の全体図トレンチ設定図

熊の穴遺跡全体図

陥し穴分布図

上横俵遺跡全体図

熊の穴遺跡	縄文時代	住居址
”	”	陥し穴
”	”	袋状遺構
”	古墳時代	住居址
”	その他の遺構	土坑
”	”	風倒木跡
”	”	柱穴群

上横俵遺跡	縄文時代	住居址	上横俵遺跡	その他の遺構	溝
”	”	陥し穴	”	”	地割れ
”	古墳時代	方形周溝墓	”	”	風倒木跡
”	”	竪穴式小石塚	”	”	河川跡
”	”	古墳	”	”	大石
”	平安時代	住居址	”	”	集石
”	その他の遺構	土坑	”	”	炭窯

## 第一章 調査の経緯と概要

### 1 調査に至る経緯

前橋市は「活発な生産活動を促進し、福祉、教育、文化、環境などの整備、充実を図る上で、企業活動の利便性を備えた工業団地の造成を進めることで地域社会の発展を期待し、これに貢献して行きたい」とし、荒砥工業団地の造成を前橋工業団地造成組合（管理者群馬県知事・地方自治法に基づく市と県との一部事務組合）で進めています。

この工事に先立って、前橋市教育委員会で埋蔵文化財の包蔵範囲などについて調査検討に入り、広大な敷地面積約 550,000㎡を擁していることから全域の遺跡名を「横俵遺跡群」とし、昭和63年12月15日から工業団地予定地の北西隅に当たる八光沼（所在地・下大屋町地内）西から南面にかけて試掘調査に入り、平成元年3月31日に終了している。

荒砥工業団地第3街区（西大室町字大久保）・第4街区（西大室町字熊の穴・字上横俵）の面積 175,000㎡の試掘調査を平成元年9月4日から9月30日の期間で行い、この結果に基づき第4街区当について発掘調査を進めたもので、「横俵遺跡群Ⅳ」として“熊の穴遺跡”と“上横俵遺跡”の叢書したものであります。

広大な団地造成区域が対象の「横俵遺跡群」であり既に編集発行の「横俵遺跡群Ⅰ」「横俵遺跡群Ⅲ」（前橋市埋蔵文化財発掘調査団）の併読を願い、“歴史的環境と周辺遺跡”についてもここでは省略させていただきます。

### 2 試掘調査と発掘調査の概要

試掘調査は、区域内に幅 1.2～1.5m、長さ30～100 mのトレンチを設定し、熊の穴及び上横俵遺跡で56本のトレンチ法による試掘調査を行った。

その結果遺構の集中する地域は3カ所に分けられる。第1地区は台地の北端部の3・4・8トレンチに住居址群が確認された。

第2地区は台地中央部で25～31トレンチで石器類の出土があり縄文時代の遺構と多数の古墳の存在が認められた。第3地区は台地の南端部で51～56トレンチ（「試掘調査トレンチ位置図」参照）にかけて土器・石器・埴輪が検出され、縄文時代と古墳時代の遺構の存在が認められた。

以上のことから、この3地区の発掘調査を実施することになり、この報告書は第1地区の台地北端部（熊の穴遺跡）と第3地区台地南端部（上横俵遺跡）の報告書であります。

試掘調査は平成元年9月4日から作業員休憩所設置作業、発掘資材の搬入を進める一方、ヘリポート建設計画図を測設、基準点の設置、水準点の設置の測量を進め、同時に表土からの深さ60～100 cmのトレンチ掘削をバックホウ（0.7m<sup>3</sup>）により進めた。

トレンチ設定図（「試掘調査トレンチ位置図」）・遺構分布図（S=1:2,500）トレンチの地層断面図・写真撮影作業を進め、遺物は一括取り上げし、洗浄・注記・整理し9月30日試掘調査を完了した。

## 試掘日誌抄

- 平成元年9月4日（月） 調査事務所（大型バス）・トイレを設置・調査資材搬入・大久保地区よりトレンチ試掘位置設定測量・基準点（公共座標）取り付け測量・100m方眼測量・現況平面補足測量S=1:2500・現況写真撮影開始
- 5日（火） 大久保地区より伐開・除根バックホウ（0.7）でトレンチ試掘開始
- 6日（水） 試掘トレンチの精査開始
- 16日（土） 熊の穴・上横俵地区トレンチ試掘開始・古墳確認開始
- 22日（金） トレンチセクション測量図作成・試掘データの報告書作成開始
- 30日（土） 報告書を前橋市埋蔵文化財発掘調査団へ提出

発掘調査は、試掘調査の結果を受けて、遺構が確認されない大久保地区を除き、前橋市埋蔵文化財発掘調査団と前橋工業団地造成組合で協議し発掘調査を実施することとなり、上横俵遺跡1次3,000㎡について、平成2年1月30日～同年3月31日の調査日程で古墳M-1・2・3・5・6・7号墳の順で調査に着手した。

熊の穴遺跡11,500㎡については、平成2年5月16日～同年7月31日の調査日程でヘリポートの建設が急がれることから上横俵遺跡に優先して調査することに成った。

上横俵遺跡2次21,500㎡は、平成2年9月6日～同3年3月25日の日程で調査完了した。

遺構の調査は、使用面と掘り方を出来る限り調査した。遺物は平面図に位置を、遺物台帳に標高を記入して記録した。

包合層の遺物は調査グリッド（4m小グリッド）毎に取り上げた。

実測図の原図は、ポリエステルシートA-2判を用い、温度・湿度・汚れ・破損などに耐えられるようにした。

測量原図の縮尺は、遺跡全体図 S=1:500、古墳・住居址 S=1:20 を基本としS=1:60 及び S=1:100 を使用した。

カマド・壑穴式小石櫛等について S=1:10 を使用した。

### 3 調査の基準点・水準点の設置

**基準点の設置** 群馬県勢多郡粕川村込皆戸地内 二級基準点 510 基準点成果 測点座標 (X=44,490.557m Y=-58,102.697m)から調査区域の北西地点に基準点A-O (座標X=44,940.000m Y=-58,760.000m)を設け、これより100m方眼基準杭の大グリッドと20m方眼杭の中グリッドを調査区域全域に測設し、大グリッド毎の調査区域の呼称をA区・B区・C区……T区とした。更に4m単位の緯線(東西の線)と経線(南北の線)で小グリッドを組み調査グリッドとした。各グリッドの呼び方はA(大グリッド)A(小グリッド)-0(経線)とした。

#### 水準点の設置

群馬県勢多郡粕川村深津地内に所在する三等三角点 果(1)深津 標高値H=174.491mから遺跡のグリッド内に設定した。

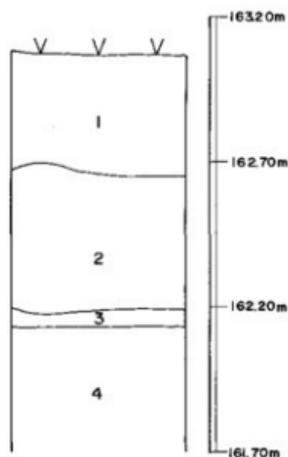
#### 熊の穴遺跡

BM <sub>1</sub> H=157.000m	GN-47グリッド
BM <sub>2</sub> H=157.000m	NC-50 "
BM <sub>3</sub> H=157.000m	NN-50 "

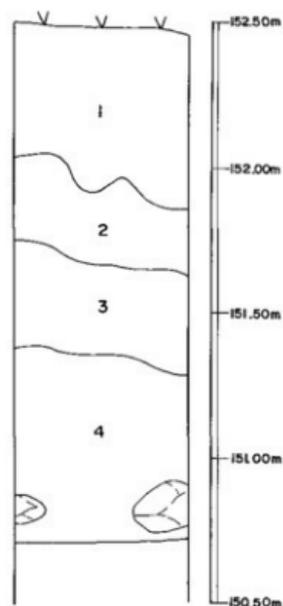
#### 上横俵遺跡

BM <sub>1</sub> H=144.000m	LE-28 "
BM <sub>2</sub> H=146.200m	FK-16 "
BM <sub>3</sub> H=149.000m	FE-9 "
BM <sub>4</sub> H=151.500m	EB-5 "
BM <sub>5</sub> H=153.000m	EM-17 "
BM <sub>6</sub> H=149.000m	KM-25 "
BM <sub>7</sub> H=148.000m	JY-34 "
BM <sub>8</sub> H=156.500m	ED-19 "
BM <sub>9</sub> H=146.000m	JT-47 "
BM <sub>10</sub> H=142.000m	LT-25 "

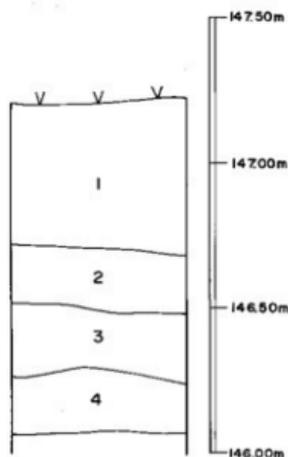
#### 4 標準土層堆積



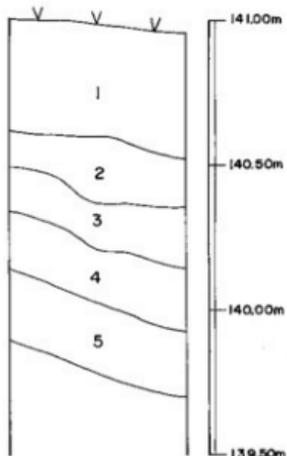
- 3トレンチ土層断面
- 1 耕作土 (As-A, Hr-FP等を含む)
  - 2 暗褐色土層 (ソフトローム層)
  - 3 明黄褐色土層 (ハードローム層)
  - 4 粘質赤褐色土層 (下部に礫を含む)



- 17トレンチ深掘り土層断面
- 1 耕作土
  - 2 ソフトローム層
  - 3 ハードローム層 (YPを含む)
  - 4 粘質赤褐色土層



- F区土層断面
- 1 耕作土 (黒褐色土層 As-A, Hr-FP等を含む)
  - 2 黒色土層 (As-C軽石粒を含み、粘性は少ない)
  - 3 暗褐色土層 (As-C軽石を僅か含む)
  - 4 暗褐色土層 (ソフトローム層)



Ⅱ区深掘り土層断面

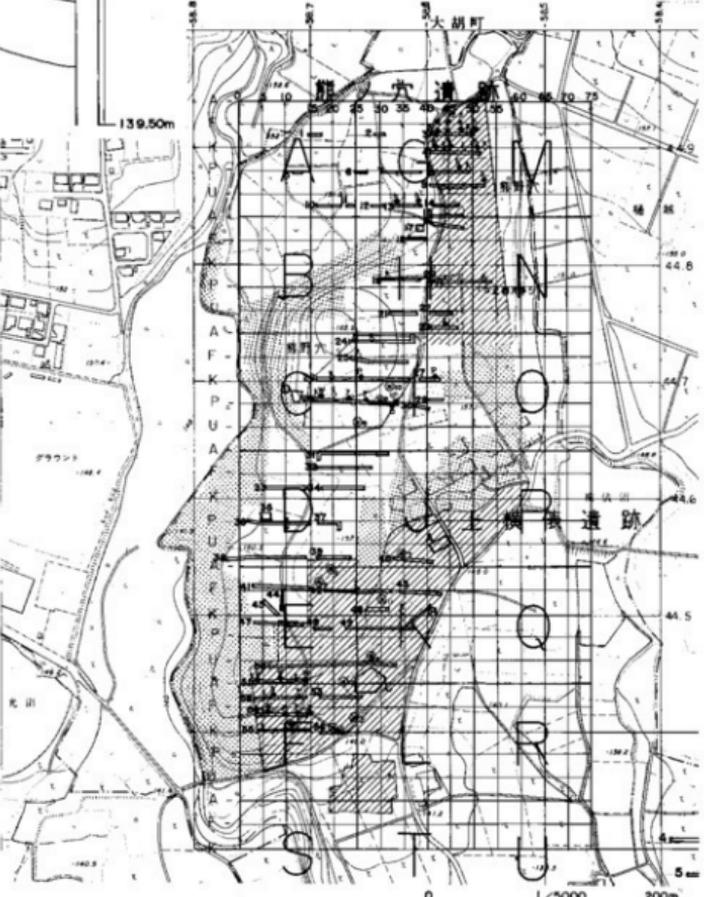
- 1 耕作土
- 2 黒色土層 (As-C軽石を含む)
- 3 暗黄褐色土層
- 4 暗褐色土層 (ソフトローム層)
- 5 明黄褐色土層 (ハードローム層)

標準土層図

横依遺跡群Ⅳトレンチ配置図

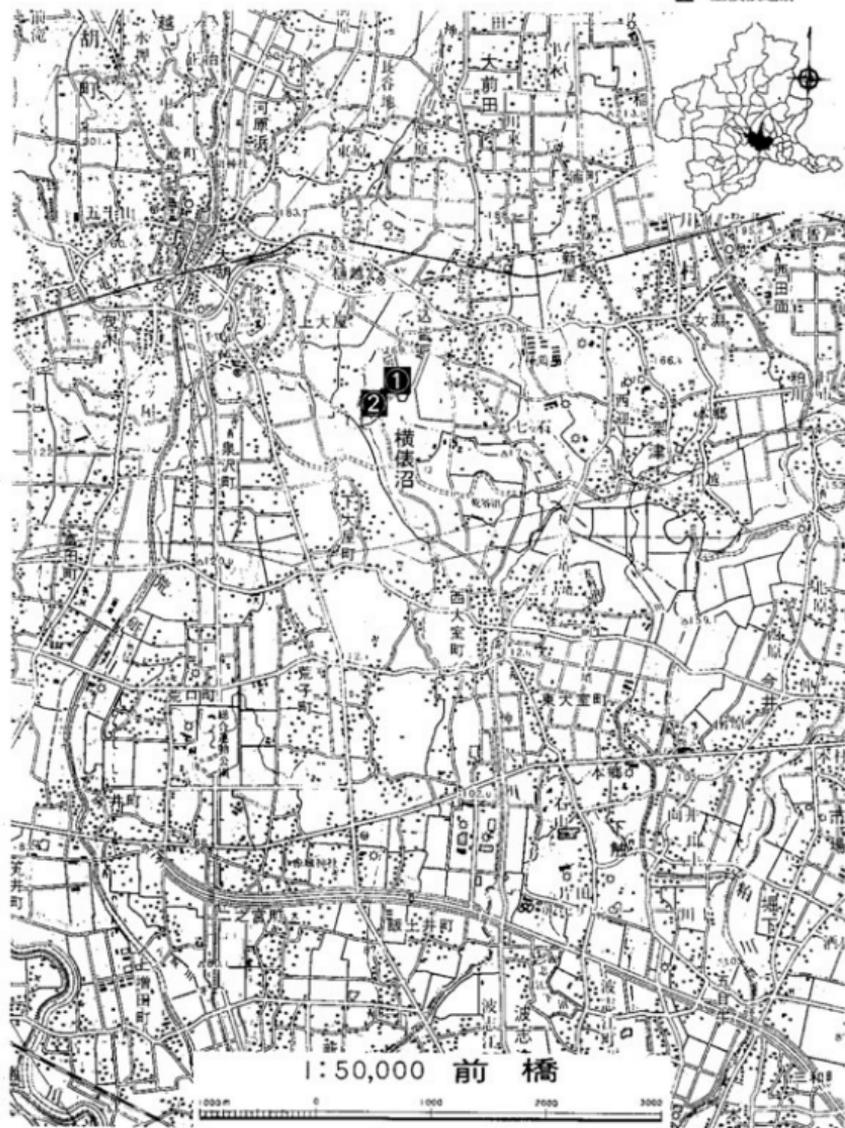
凡例

- J 縄文住居
- M 古井戸
- I 竪立柱礎
- B 風櫃木
- O 埋土
- U 弥生住居
- D 土坑
- C 土層基
- F 伊弉
- P ビット
- H 土層住居
- W 溝
- T 墓穴遺構
- R 河石
- S 墓
- h 住居遺構
- ◆ 遺構
- ア 溝
- カ 灰がマ
- 出土遺物
- セ 石
- ト 土器片
- ヤ 石ソク

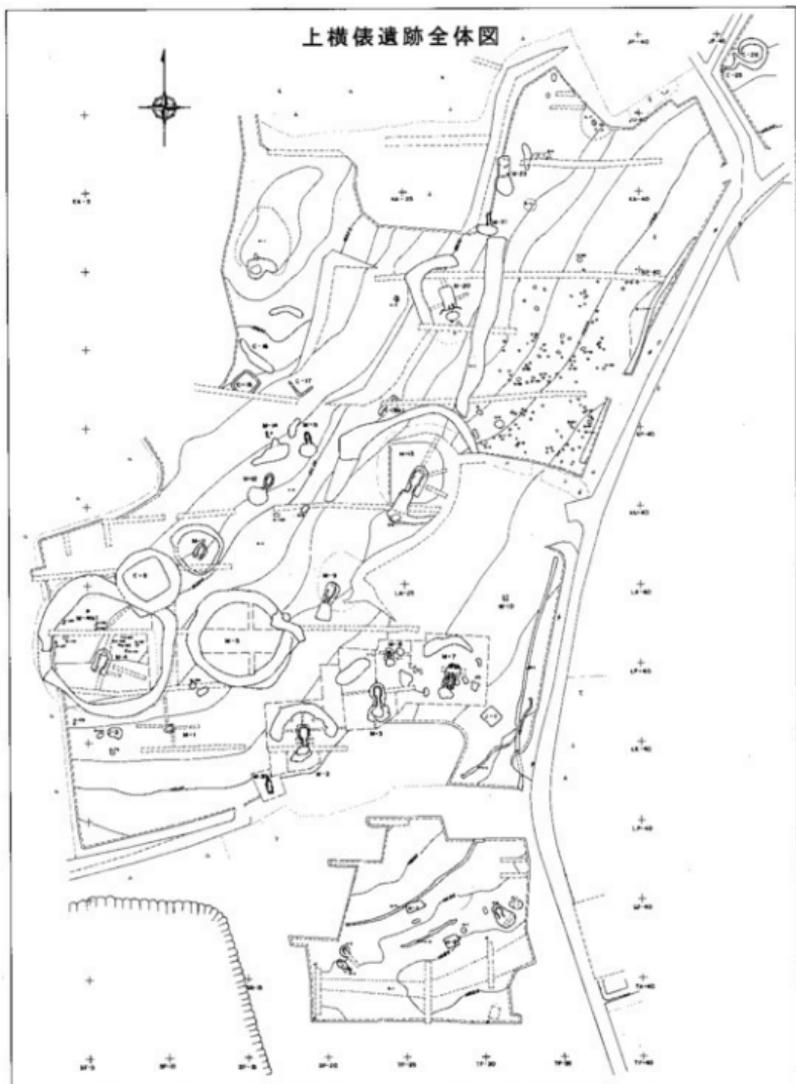


横俵遺跡群 位置図

- 1 熊の穴遺跡
- 2 上横俵遺跡

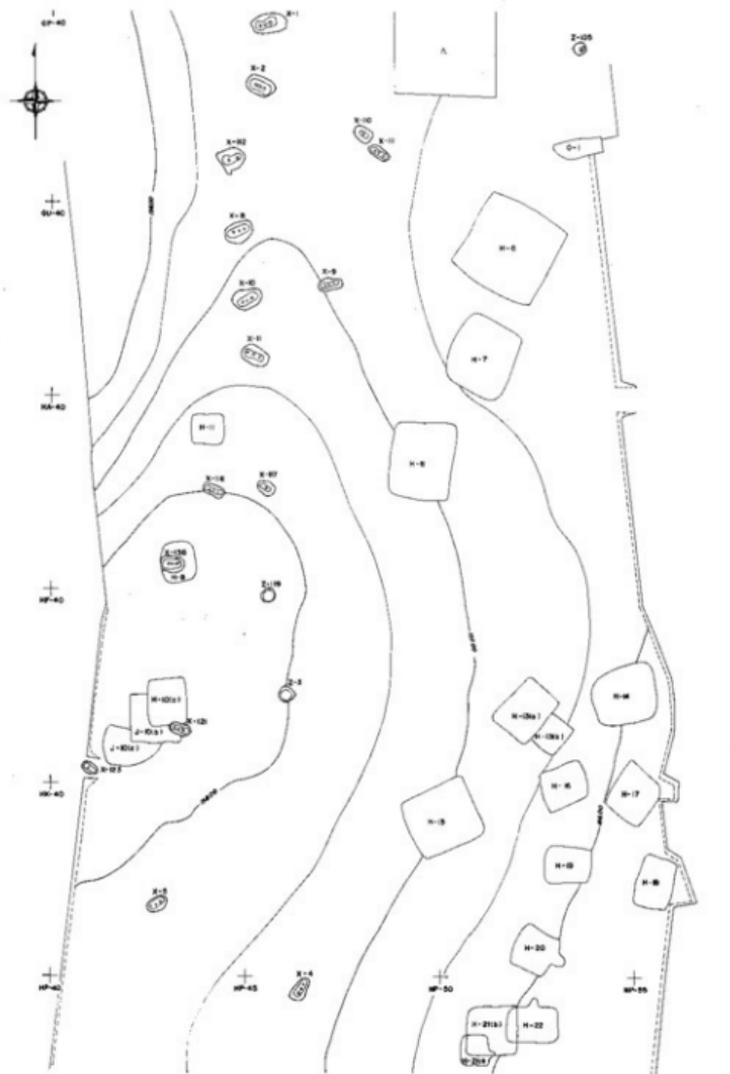


上横俵遺跡全体図



熊の穴遺跡全体図





熊の穴遺跡陥穴配置図

0 1/500 20m



## 第二章 横俵遺跡群Ⅳの遺跡の調査

### 第一節 熊の穴遺跡

#### 1 遺跡の概要と調査の経過

調査対象地区は、赤城山南麓斜面の先端部で神沢川左岸丘陵が北側に張り出した台地の一段低い平坦面で平成元年度調査地区 市道 556号線(横俵遺跡群Ⅰ)の西側に位置する。この地区については、『群馬県遺跡台帳Ⅰ』東毛編・No. 220(熊の穴遺跡)の‘遺跡の概要’欄に東側に低湿地が南に走り、その西側の台地上。熊の穴式土器と周藤隆一氏が命名した土器が分布する。範囲はあまり広くない。現在は荒地となっている。遺物は中期弥生式土器である。』(1974年発行)とあり、1967年同氏は考古学ジャーナル5で「北関東後期弥生式土器」の中で土器をA～Fの6種に分類し『熊の穴遺跡は赤井戸の後に続く弥生式終末期から直後にかけての良好な資料を出し、しかも濃厚な地方色に彩られている。』とまとめている。平成2年度の調査地区は群馬県遺跡台帳や周藤隆一氏の論文の中にある熊の穴遺跡の一角にある。

#### 2 遺構と遺物

##### (1) 縄文時代

熊の穴遺跡では縄文時代の住居址の他陥し穴・袋状遺構・風倒木跡が検出された。その総数は住居址4軒・陥し穴16基・袋状遺構3基・風倒木跡3基が確認された。各遺構ごとの検出された遺物は僅かで、打製石斧、石鏃、石皿、磨石、凹石等の石器類が主であった。

##### ① 住居址

###### J-10b号住居址

調査区中央部西寄りのH I・H J・H H-42・43グリッドに位置する。地表面から80cm程掘土した確認面にある。覆土は比較的やわらかな黒褐色土が堆積している。10a・10c号住居址と重複し、J-10cより新しくJ-10aより古い。

住居址の形状は長軸(南北方向) 5.4m・短軸 5.3mを測り、ほぼ隅丸方形を呈す。主軸方向はN-4°-Wを測る。壁は16~38cm掘り込んで床面に達し、26.59 m<sup>2</sup>を測る。

柱穴・壁溝・焼土は確認されなかった。

###### J-10c号住居址

調査区中央部西寄りのH I・H J-41・42グリッドに位置する。地表面から110cm程掘土した確認面にある。覆土はローム粒と炭化物を含む黄褐色土が堆積している。J-10b号住居址の掘り方調査中に確認された。

住居址の形状は長軸（東西方向）6.1m・短軸 4.2mを測り、隅丸長方形を呈す。柱穴と壁溝は確認されなかった。主軸方向（ $\theta$ ）=N-77°-Wを測る。壁は6~23cm掘り込んで床面に達し、床面積は20.52㎡を測る。東側に円形プランと西側に隅丸方形のプランが想定される。

炉は住居のほぼ中央部に位置する。

遺物 安山岩2個、黒色頁岩の剥片13片、石核1個、礫岩1個が検出された。

### J-30b号住居址

調査区南東部（隅）のNV・NW-54グリッドに位置する。地表面から40cm程掘り下した所でH-30号住居址が確認され、更に70cm程掘り下げた所（掘り方調査中）で確認された。覆土は黒褐色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（南北方向）3.6m・短軸 3.4mを測り、隅丸の菱形を呈す。主軸方向はN-40°-Eを測る。壁は50~80cm掘り込んで床面に達し、床面積は12.20㎡を測る。

柱穴 P1:33×29cm、深さ63cm。P2:31×25cm、深さ82cm。P3:36×27cm、深さ48cm。P4:34×29cm、深さ45cm。P5:32×21cm、深さ16cm。P6:31×27cm、深さ9cm。P7:32×23cm、深さ18cm。P8:26×24cm、深さ35cm。P9:34×34cm、深さ19.5cm。

炉は西壁のコーナー寄りP1とP2の中央部ややP1寄りに位置する。

### J-31号住居址

調査区東側H-23とH-24の中間、NQ・NR-53・54グリッドに位置する。地表面から30cm程掘り下した確認面にある。覆土は黒褐色土が堆積している。東傾斜面中腹の土坑かと思われる状況であった。

住居址の形状は長軸 3.0m・短軸 2.7mを測り、梯形を呈す。主軸方向はN-4°-Eを測る。壁は25~34cm掘り込んで床面に達し、床面積は6.44㎡を測る。

焼土・周溝・柱穴とも確認されなかった。

遺物 磨製打製の石斧と土器が出土したことから規模から住居址として掲載する。

## ② 陥し穴

熊の穴遺跡の土坑のうち縄文時代に属する、陥し穴が16基確認された。

X-1 GP-45グリッドに位置する。長軸 370cm、短軸 250cm、深さ 108~114cmのほぼ楕円形を呈す。土器15点と石器8点が出土している。柱穴（西から）P1:幅15cm、深さ59cm。P2:幅25cm、深さ44cm。P3:幅25cm、深さ56cm。隅丸長方形。

X-2 GJ・GK-44・55グリッドに位置する。長軸 310cm、短軸 270cm、深さ 120~126cmのほぼ楕円形を呈す。柱穴（西から）P1:幅20cm、深さ56cm。P2:幅25cm、深さ51cm。P3:幅25cm、深さ46cm。隅丸長方形。

X-4 HP-46グリッドに位置する。長軸 240cm、短軸 120cm、深さ 115~124cm のほぼ楕円形を呈す。柱穴（南から）P1：幅15cm、深さ31cm。P2：幅12cm、深さ32cm。P3：幅12cm、深さ17cm。隅丸長方形。

X-5 HM・HN-42グリッドに位置する。長軸 215cm、短軸 135cm、深さ90~92cm。のほぼ楕円形を呈す。土器2点が出土している。柱穴（西から）P1：幅10cm、深さ21cm。P2：幅15cm、深さ19cm。P3：幅15cm、深さ22cm。隅丸長方形。

X-8 GU-44・45、GV-44グリッドに位置する。長軸 310cm、短軸 210cm、深さ 143~146cm のほぼ楕円形を呈す。柱穴（西から）P1：幅15cm、深さ35cm。P2：幅12cm、深さ40cm。P3：幅18cm、深さ38cm。隅丸長方形。

X-9 GV・CW-46・47グリッドに位置する。長軸 245cm、短軸 125cm、深さ 130~132cm のほぼ楕円形を呈す。柱穴（西から）P1：幅20cm、深さ28cm。P2：幅17cm、深さ28cm。P3：幅18cm、深さ16cm。隅丸長方形。

X-10 GW-44・45グリッドに位置する。長軸 290cm、短軸 170cm、深さ 126~136cm のほぼ楕円形を呈す。柱穴（西から）P1：幅15cm、深さ30cm。P2：幅15cm、深さ27cm。P3：幅15cm、深さ37cm。隅丸長方形。

X-11 GX・GY-44・45グリッドに位置する。長軸 290cm、短軸 185cm、深さ 129~138cm のほぼ楕円形を呈す。柱穴（西から）P1：幅15cm、深さ27cm。P2：幅18cm、深さ26cm。P3：幅13cm、深さ26cm。隅丸長方形。

X-110 GS-47・48グリッドに位置する。長軸 205cm、短軸 128cm、深さ 138~145cm のほぼ楕円形を呈す。柱穴P1：幅20cm、深さ38cm。

X-111 GS-48グリッドに位置する。長軸 218cm、短軸 110cm、深さ 138~145cm のほぼ楕円形を呈す。柱穴（西から）P1：幅17cm、深さ50cm。P2：幅15cm、深さ37cm。P3：幅13cm、深さ50cm。

X-112 GS・GT-44グリッドに位置する。長軸 280cm、短軸 224cm、深さ90~94cm のほぼ楕円形を呈す。柱穴P1：幅18cm、深さ37cm。P2：幅18cm、深さ38cm。

X-116 GX-48グリッドに位置する。長軸 207cm、短軸 115cm、深さ93~98cm のほぼ楕円形を呈す。柱穴（西から）P1：幅13cm、深さ48cm。P2：幅12cm、深さ46cm。P3：幅13cm、深さ47cm。

X-117 HC-45グリッドに位置する。長軸 198cm、短軸 138cm、深さ 143~149cm のほぼ楕円形を呈す。柱穴 P1 : 幅16cm、深さ42cm。

X-121 HI-43グリッドに位置する。長軸 222cm、短軸 135cm、深さ90~92cmのほぼ楕円形を呈す。柱穴(西から) P1 : 幅16cm、深さ46cm。P2 : 幅10cm、深さ39cm。P3 : 幅12cm、深さ17cm。P4 : 幅10cm、深さ42cm。

X-123 HJ-40・41グリッドに位置する。長軸 185cm、短軸 112cm、深さ 132~138cm のほぼ楕円形を呈す。柱穴 P1 : 幅35×48cm、深さ40cm。

X-138 HE-42・43グリッドに位置する。長軸 242cm、短軸 164cm、深さ77~84cmのほぼ楕円形を呈す。柱穴 P1 : 幅15×22cm、深さ39cm。P2 : 幅12×14cm、深さ40cm。P3 : 幅11×14cm、深さ20cm。(H-9号住居址内)

## 小 結

### 陥し穴の確認された地形と分布状況

調査区は神沢川左岸に発達した舌状台地で北東方向に傾斜する地形である。標高は 156.5~158 m である。北側に集中する傾向が見られる。台地が南北に伸びているのに対して陥し穴の長軸は東西方向に配置され、尾根の頂上部に X-1、X-2、X-112、X-8、X-10、X-11、X-116、X-138、X-121 と直線的に並び X-2 と X-112 の間に X-110、X-111 が位置し、X-8 と X-10 の間に X-9、X-116 の東側に X-117 が整然と構築されていることがわかる。X-11 と X-116 の間には 1~2 基の陥し穴が考えられる。

形状について平面形は楕円若しくは隅丸長方形である。規模は長軸 198~370cm、短軸 110~270cm、断面積 1.52~3.76m<sup>2</sup>、陥し穴の総数は 16 基で逆茂木は 1~4 本であった。逆茂木が 3~4 本の物の中には小さくて不明確なものが含まれる。陥し穴の時期に関しては覆土中からの遺物の検出が少ないことから判断に苦む所であるが、埋土の状況等から縄文時代早期末から前期と考えられる。

### ③ 袋状遺構

Z-3 は HH-45・46グリッドに位置する。上端軸 : 155cm、中間軸 : 110cm、下端軸 : 125cm、深さ 133~141cm のほぼ円形を呈する。

Z-105 は MP・MQ-52グリッドに位置する。上端軸 : 130cm、中間軸 : 110cm、下端軸 : 105cm。

Z-119 は HE・HF-45グリッドに位置する。上端軸 : 142cm、中間軸 : 125cm、下端軸

: 150cm、深さ60~69cmのほぼ楕円形を呈する。

## (2) 古墳時代の住居址

### H-1

調査区最北端のG C・G D-47・48・49グリッドに位置する。地表面から50cm程排土した確認面にある。覆土はH r-F P軽石とA s-C軽石を含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（南北方向）5.2 m・短軸 4.6mを測り、隅丸方形を呈す。

主軸方向はN-2°-Wを測る。壁は28.5~41cm掘り込んで床面に連し、床面積は 23.20㎡を測る。柱穴 P 1 : 23×20cm、深さ35cm。 P 2 : 55×45cm、深さ49cm。 P 3 : 42×36cm、深さ37cm。 P 4 : 48×36cm、深さ57cm。西壁際に円形の土杭 125×120cm、深さ30cmと長方形の土杭 113×133cm、深さ47cmが確認された。

炉は、西壁寄りのほぼ中央部に位置する。

### H-2

調査区北東隅のM J-51・52、M K-50・51・52グリッドに位置する。地表面から60cm程排土した確認面にある。覆土はF P軽石とC軽石を含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は 5.0m× 5.0mで平面形は隅丸方形を呈す。主軸方向はN-6°-Wを測る。壁は62~82cm掘り込んで床面に連し、床面積は 23.72㎡を測る。

柱穴 P 1 : 80×63cm、深さ72cm。 P 2 : 78×68cm、深さ64cm。 P 3 : 62×62cm、深さ57cm。 P 4 : 85×85cm、深さ65cm各々ほぼ円形を呈している。

周溝は北壁の東側から東・南壁をへて西壁の途中まで確認された。

炉は中央部北寄りに位置し炉石を有する。実測図掲載遺物以外に鉄滓が1点検出された。

### H-3

調査区北東部のM L-49~51、M M-49・50、M K-50グリッドに位置する。地表面から80cm程排土した確認面にある。覆土はA s-C軽石とH r-F P軽石を含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（東西方向）6.1 m・短軸 5.1mを測り、隅丸方形を呈す。

主軸方向はN-55°-Eを測る。

壁は62~88cm掘り込んで床面に連し、床面積は 29.56㎡を測る。柱穴 P 1 : 直径42cm、深さ60cm。 P 2 : 直径45cm、深さ65cm。 P 3 : 直径48cm、深さ50cm。 P 4 : 直径52cm、深さ58cm。 P 5 : 35×32cm、深さ48cm。 P 6 : 直径65cm、深さ45cm。 P 1~4は円形、P 5・6は方形を呈し、6は貯蔵穴と思われる。

周溝は貯蔵穴部分と炉の北側を除いて全周している。

炉は北側のP 1・2の中央部に構築されている。

#### H-4

調査区北部のGG・GH-49、MG・MH-50グリッドに位置する。地表面から50cm程掘り出した確認面にある。覆土は黒褐色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（南北方向）4.7 m・短軸 4.6mを測り、胴張り隅丸方形を呈す。主軸方向はN-1°-Eを測る。壁は10~20cm掘り込んで床面に達し、床面積は 19.82㎡を測る。

柱穴 P 1 : 40×24cm、深さ45cm。

周溝は確認されなかった。

炉は中央部やや北西コーナー寄りに確認された。

#### H-5

調査区北部ほぼ中央のGN・GO-45・46グリッドに位置する。地表面から80cm程掘り出した確認面にある。覆土は黒褐色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（東西方向）4.0 m・短軸 3.5mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-80°-Eを測る。壁は6~20cm掘り込んで床面に達し、床面積は 13.36㎡を測る。

柱穴・周溝は確認されなかった。

焼土 北西部に2カ所確認された。焼土1が炉と考えられる。

遺物 北東隅より石炭の破片が検出されている。

#### H-6

調査区中央部東寄りのMT-50・51、MU・MV-50~52、MW-51・52グリッドに位置する。地表面から80cm程掘り出した確認面にある。覆土はAs-C軽石とHr-FP軽石を含む黒色土を基調とし、上面にはAs-B軽石のレンズ状堆積が見られる。

住居址の形状は 9.3×9.3mを測り、隅丸方形を呈す。主軸方向はN-60°-Wを測る。

壁は66~104cm掘り込んで床面に達し、床面積は 81.68㎡を測る。

柱穴 P 1 : 直径61cm、深さ75cm。P 2 : 直径64cm、深さ60cm。P 3 : 直径57cm、深さ52cm。P 4 : 直径61cm、深さ62cm。P 5 : 直径58cm、深さ82cm。P 6 : 直径52cm、深さ83cm。P 7 : 直径70cm、深さ108cm。P 8 : 直径44cm、深さ41cm。P 9 直径80cm、深さ72cm。P 10 : 直径53cm、深さ58cm。P 11 : 直径63cm、深さ86cm。P 12 : 直径52cm、深さ75cm。P 13 : 直径47cm、深さ12cmを測る。内側のP (3・4・7・11)を主柱穴とする住居が、P (2・5・6・12)を主柱穴とする住居に拡張されたものと考えられる。北西コーナーから東側の南東コーナー迄が拡張部分の床面が一段高く構築されている。

貯蔵穴 東壁際やや北寄りに2ヶ所（P-9、P-14）が確認された。貯蔵穴内の覆土には土器が含まれていた。特に拡張前の貯蔵穴（P-14）からは多量の土器片が検出された。

周溝 北東部から南東部に元の住居の周溝があり、拡張後は南西中央と北東中央で途切れてい

るがほぼ1周している。

炉は中央部やや西寄りに自然石をともなって確認された。焼土が壁際に13ヶ所確認されたことは本住居が焼失家屋であるものと考えられる。

#### H-7

調査区中央部東寄りのMW-50、MX・MY-50・51グリッドに位置する。地表面から70cm程掘土した確認面にある。覆土はAs-C軽石とローム粒を含む黒色土が堆積している。住居址の形状は長軸(南北方向)7.0m・短軸6.0mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-22°-Eを測る。壁は17~28cm掘り込んで床面に達し、床面積は39.74㎡を測る。

柱穴 P1:直径60cm、深さ30cm。P2:直径60cm、深さ5cm。P3:直径35cm、深さ10cm。P4:直径45cm、深さ45cm。P5:直径25cm、深さ40cm。P1は長方形を呈しそのほかは円形を呈する。P4・5・6は住居址外に存在する。

周溝は床面から10cm掘り込み北西隅を除いてほぼ全周する。

焼土5ヶ所あり、焼土の3が炉と思われる。

#### H-8

調査区中央部のHA・HB・HC-48・49、NA・NB・NC-50グリッドに位置する。地表面から60cm程掘土した確認面にある。覆土はAs-C軽石を含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は長軸(南北方向)7.6m・短軸6.3mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-2°-Eを測る。壁は25~40cm掘り込んで床面に達し、床面積は44.56㎡を測る。

周溝は南壁中央部を除き全周し、炉は住居のほぼ中央部に位置する。柱穴は確認されなかった。

#### H-9

調査区中央部西側のHD・HE-42・43グリッドに位置する。地表面から80cm程掘土した確認面にある。覆土は軽石を多量に含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は長軸(南北方向)3.8m・短軸3.2mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-10°-Wを測る。壁は35~50cm掘り込んで床面に達し、床面積は11.12㎡を測る。

柱穴 P1:直径25cm、深さ15cm。P2:直径25cm、深さ15cm。P3:直径30cm、深さ45cm。P4:直径25cm、深さ25cm。

周溝は確認されなかった。

焼土4カ所あり、中央部やや西壁寄りに所在する。

#### H-10a

調査区中央部南西隅のHH・HI-42・43グリッドに位置する。地表面から80cm程掘土した確認面にある。覆土はHr-FP軽石を含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（南北方向）5.0 m・短軸 4.2mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-4°-Wを測る。壁は29~40cm掘り込んで床面に達し、床面積は 19.47㎡を測る。

柱穴 P 1 : 直径35cm、深さ30cm。P 2 : 直径45cm、深さ20cm。P 3 : 直径40cm、深さ15cm。P 4 : 直径35cm、深さ20cm。P 5 : 直径65cm、深さ20cm。P 6 : 直径45cm、深さ20cm。P 7 : 直径65cm、深さ55cm。ほぼ円形を呈する。

周溝は確認されなかった。

焼土は見られないが比較的大きな炭化物が9ヶ所確認された。

#### H-11

調査区中央部西側のHA・HB-43・44グリッドに位置する。地表面から65cm程掘土した確認面にある。覆土はAs-C軽石を含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（南北方向）4.0 m・短軸 3.8mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-4°-Eを測る。壁は51~74cm掘り込んで床面に達し、床面積は 14.19㎡を測る。

柱穴 P 1 : 直径70cm、深さ15cm。P 2 : 直径65cm、深さ35cm。P 3 : 直径55cm、深さ58cm。貯蔵穴は北東隅に所在し長径約 120cm、短径76cm、深さ約60cmを測る。

周溝は確認されなかった。

炉は中央部西壁寄りにあり、焼土と炭化物の状況から焼失家屋と考えられる。

#### H-13a

調査区中央部東寄りのNH-51~53、NI-51・52グリッドに位置する。地表面から70cm程掘土した確認面にある。覆土はAs-C軽石とHr-FP軽石を含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（南北方向）6.0 m・短軸 4.6mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-41°-Eを測る。壁は35~41.5cm掘り込んで床面に達し、床面積は 25.48㎡を測る。

柱穴 P 1 : 35×30cm、深さ10cm。P 2 : 35×35cm、深さ20cm。P 3 : 35×25cm、深さ10cm。P 4 : 45×35cm、深さ20cmではぼ円形を呈す。

南東隅近くに65×45cm、深さ56cmの貯蔵穴あり。

周溝は確認されなかった。

炉は中央部やや西壁寄りにある。

#### H-13b

調査区中央部東寄りのNI・NJ-52・53グリッドに位置する。地表面から60cm程掘土した確認面にある。覆土は黒褐色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（南北方向）3.9 m・短軸 3.6mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-34°-Eを測る。壁は東で 2.5~7.5cm、西壁で10~16cm掘り込んで床面に達し、床面積は 12.57㎡を測る。

柱穴 P 1 : 44×36cm、深さ37cm。P 2 : 30×23cm、深さ19cm。P 3 : 28×25cm、深さ29cm。  
P 4 : 41×38cm、深さ13.5cm。P 5 : 30×27cm、深さ32cm、ほぼ円形を呈す。

周溝は確認されなかった。炉は中央部やや西壁寄りに位置する。遺構の残存状態は非常に悪いが、炉・柱穴・焼土等の状況から住居址と考えられる。

#### H-14

調査区中央部東寄りのNG・NI-54・55、NH-53~55グリッドに位置する。地表面から50cm程排土した確認面にある。覆土はAs-B軽石層、Hr-FP軽石層、As-C軽石を含む黒色土の良好なレンズ状堆積が見られた。

住居址の形状は東西方向 6.8m・南北方向 6.7mを測り、隅丸方形を呈す。主軸方向はN-71°-Eを測る。壁は37~100cm ロームを掘り込んで床面に達する。床面は堅くしかりと構築され主柱穴の外側は10cmほど高く築かれている。床面積は 42.96㎡を測る。

柱穴 P 1 : 25×32cm、深さ78.5cm。P 2 : 40×36cm、深さ76cm。P 3 : 42×38cm、深さ88.5cm。P 4 : 43×46cm、深さ64cm。貯蔵穴は南西隅に65×40cm、深さ55cm、長方形を呈している。

周溝は確認できなかった。

炉は北壁寄りの中央部に位置し三角形の焼けた炉石が検出された(図版 )。焼土と炭化物の出土状況から本住居も焼失したものと考えられる。

#### H-15

調査区中央部のHJ-49、NJ-50、HK-48・49、NK-50・51、HL-49、NL-50・51グリッドに位置する。地表面から60cm程排土した確認面にある。覆土は黒色土を基調にしたAs-B軽石、Hr-FP軽石、As-C軽石と良好な堆積状況を呈す。

住居址の形状は長軸(東西方向) 7.2m・短軸 7.0mを測り、隅丸方形を呈す。主軸方向はN-55°-Wを測る。壁は44~83cm掘り込んで床面に達し、床面積は 47.27㎡を測る。

柱穴 P 1 : 55×50cm、深さ91.5cm。P 2 : 36×36cm、深さ90cm。P 3 : 40×45cm、深さ85cm  
P 5 : 70×46cm、深さ111cm、ほぼ円形であった。

貯蔵穴は南壁に接して、150×63cmの長方形で深さ81.5cmを測る。

周溝は確認されなかった。掘り方で東壁側は5~10cm高く築かれ、北西コーナー付近は5~10cm低く築かれている。

炉はP 1とP 2の間に設置する。

#### H-16

調査区中央部東端のNJ-52・53、NK-52~54グリッドに位置する。地表面から50cm程排土した確認面にある。覆土はHr-FP軽石を含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は長軸(東西方向) 4.7m・短軸 3.6mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方

向はN-74°-Eを測る。壁は17~40cm掘り込んで床面に達し、床面積は15.91㎡を測る。

柱穴・周溝は確認されなかった。

住居址中央部に焼土が1ヶ所確認された。

#### H-17

調査区東側中央部のNL-55、NJ・NK-54・55グリッドに位置する。地表面から30cm程排土した確認面にある。覆土はHr-FP軽石を含む黒褐色土が堆積している。

住居址の形状は長軸(南北方向)5.7m・短軸4.7mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-29°-Eを測る。壁は16~36cm掘り込んで床面に達し、床面積は24.79㎡を測る。南東隅に46×48、深さ68cmの土坑が確認された。

焼土は2ヶ所、北東部と中央部に確認された。

#### H-18

調査区南側、東隅のNL-55、NM・NN-55・56グリッドに位置する。地表面から35cm程排土した確認面にある。覆土はHr-FP軽石を含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は長軸(南北方向)5.3m・短軸4.3mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-20°-Eを測る。壁は東側は確認面と床面の差がほとんどなく1~20cmで西壁が21~43cm、床面積は20.30㎡を測る。

柱穴は確認されなかった。南東コーナー壁の外側に94×56cm、深さ49cmの土坑が確認された。周溝は南東コーナー付近を除いて一周している。

大きな焼土が北東部に1ヶ所確認されたが炉としての残存状況でなかった。

#### H-19

調査区南側の東寄り、NL・NM-52・53グリッドに位置する。地表面から50cm程排土した確認面にある。覆土は多量の軽石を含む黒褐色土が堆積している。

住居址の形状は長軸(東西方向)4.1m・短軸3.6mを測り、隅丸方形を呈す。主軸方向はN-82°-Eを測る。壁は42~73cm掘り込んで床面に達し、床面積は13.36㎡を測る。

柱穴 P1:52×48cm、深さ16cm。P2:34×28cm、深さ50cm。P3:70×58cm、深さ51.5cm。P4:40×35cm、深さ43cm。P2のみ半円形、他は円形を呈す。周溝は確認されなかった。

炉は北壁寄りの中央部に位置し薄い板状の炉石を検出した。

#### H-21b

調査区南側の東寄り、NP-50・51、NQ-50~52グリッドに位置する。地表面から60cm程排土した確認面にある。覆土はAs-C軽石を多量に含む黒色土が堆積している。21bは21a・22号住居よりも古い。

住居址の形状は長軸（東西方向）5.6 m・短軸 4.9mを測り、隅丸方形を呈す。主軸方向はN-82°-Eを測る。壁は45~60cm掘り込んで床面に達し、床面積は 25.61㎡を測る。

柱穴 P 1 : 28×20cm、深さ66cm。P 2 : 27×17cm、深さ57cm。P 3 : 22×23cm、深さ56cm。P 4 : 26×34cm、深さ56cm。P 5 : 41×35cm、深さ46cm。P 6 : 25×24cm、深さ19cm。P 7 : 40×30cm、深さ14cm。P 8 : 15×23cm、深さ16cmを測る。北壁からP 1とP 2を結んだ方向と、P 4とP 3を結んだ方向に間仕切状の高まりが僅か見られるが、P 2とP 3を結ぶ所には見られない。

周溝はH-22との複合部分を除いて全周する。22号住居の床面の方が深いため欠落したものとされる。炉は北壁寄りの中央部に位置する。

遺物 南東コーナーに60×53cm、深さ20cmの土坑が確認され、図版No No の小型甕がセットで検出された。

### H-23

調査区の南東寄りのNQ・NR-54・55グリッドに位置する。地表面から50cm程排土した確認面にある。覆土はH r-F P 軽石を含む黒褐色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（東西方向）4.7 m・短軸 3.8mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-117°-Eを測る。壁は15~36cm掘り込んで床面に達し、床面積は 16.74㎡を測る。傾斜地を利用した竪穴住居で、南東隅の壁は掘り込みの差がなく、やっとプランが確認できる程度であった。

柱穴 P 1 : 50×43cm、深さ25cm。P 2 : 43×42cm、深さ30cm。P 3 : 47×40cm、深さ33cm。P 4 : 45×41cm、深さ33cmを測る。

炉と周溝は確認されなかった。

### H-24

調査区南東側のNR・NS-51・52グリッドに位置する。地表面から80cm程排土した確認面にある。覆土はH r-F P 軽石を含む黒褐色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（東西方向）4.5 m・短軸 3.5mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-75°-Eを測る。壁は 6.5~42cm掘り込んで床面に達し、床面積は 15.38㎡を測る。傾斜地を利用した竪穴住居で南東隅では確認面との差が 6.5cmであった。

柱穴 P 1 : 40×38cm、深さ23cm。P 2 : 52×50cm、深さ20cm。P 3 : 41×31cm、深さ38cm。P 4 : 43×40cm、深さ31cm。貯蔵穴は43×42、深さ60cmを測る。

炉は中央部北西寄りに位置する。

### H-25

調査区南側の中央部HV・HW-45・46グリッドに位置する。地表面から80cm程排土した確認

面にある。覆土はHr-FP軽石を含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は長軸(東西方向)4.1m・短軸3.1mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-70°-Wを測る。壁は5~19.5cm掘り込んで床面に達し、床面積は11.78㎡を測る。南西隅に68×55cm、深さ62cmの貯蔵穴が確認されたが柱穴は確認されなかった。

焼土が2ヶ所確認された。土層断面から判断すると東側の焼土が炉と思われる。

#### H-26

調査区南側の西寄りHW・HX-43・44、HY-43グリッドに位置する。地表面から80cm程排土した確認面にある。覆土はAs-C軽石を多量を含む黒色土が堆積している。

住居址の形状は長軸(東西方向)5.0m・短軸4.5mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-48°-Eを測る。壁は26~74cm掘り込んで床面に達し、床面積は20.99㎡を測る。

柱穴 P1:55×55cm、深さ74cm。P2:68×45cm、深さ71cm。P3:42×35cm、深さ72cm。P4:67×50cm、深さ72cm。

貯蔵穴・周溝は確認されなかった。

炉はほぼ中央部に位置する。

#### H-29

調査区南側の中央部HV・HU-48~50グリッドに位置する。地表面から100cm程排土した確認面にある。覆土はHr-FP軽石とAs-C軽石を含む黒色土が堆積している。本住居址は梅林の移植により西壁は床面直上まで掘られ西壁の一部が破壊された為炭化物が西側では少なくなっている。

住居址の形状は長軸(南北方向)4.6m・短軸4.0mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向はN-42°-Eを測る。壁は31~69cm掘り込んで床面に達し、床面積は16.95㎡を測る。

柱穴 P1:27×25cm、深さ44cm。P2:30×28cm、深さ43cm。P3:32×29cm、深さ40cm。P4:33×32cm、深さ42cm。貯蔵穴は東側コーナーに50×48cm、深さ38.5cm。その壁ぎわに高坏と小型甕が完形で検出された。

周溝は確認されなかった。

炉は住居址中央部に位置する。炭化物は120点が検出された。柱材としては檜材が使用されていたものと思われ、屋根を葺いた茅材も確認された。№56・34・36は4本の柱を結ぶ梁材と考えられる。このことから北西方向の風によってこの焼失住居は倒壊したものと考えられる。

#### H-30a

調査区南東部のNV-53・54グリッドに位置する。地表面から40cm程排土した確認面にある。覆土はAs-B・Hr-FP・As-C軽石を含む黒色土がレンズ状の標準的堆積をしている。本住居址の掘り方精査中にH-30b住居が確認され、30b号の方が古いことが確認された。

住居址の形状は長軸（南北方向）4.1 m・短軸 3.2mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向は  $N-4^{\circ}-E$  を測る。壁は58~82cm掘り込んで床面に達し、床面積は 12.55 $m^2$ を測る。

柱穴 P 1 : 26×24cm、深さ56cm。P 2 : 29×28cm、深さ73cm。P 3 : 28×22cm、深さ50cmの3本を確認。南東コーナーのP 3はその周囲が1~2cm高く作られている。

周溝は確認されなかった。

炉は西側中央部に位置し炉石が検出された。本住居も炭化物が多量に検出されたことから焼失家屋と考えられる。（残存状況は良くない）

### (3) 平安時代の住居址

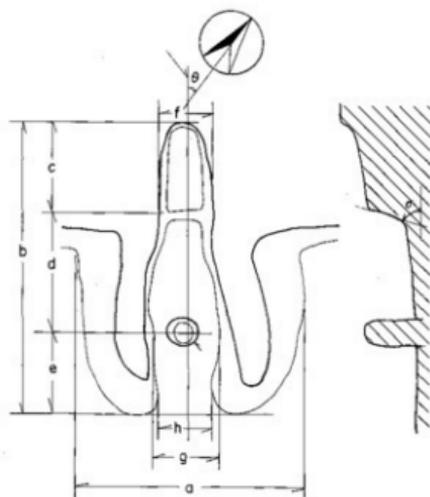
#### H-20

調査区東側の中央部やや南寄りのNN-52、NO-52・53グリッドに位置する。地表面から60cm程掘り出した確認面にある。覆土の①②層にはAs-B軽石とHr-FP軽石を含む黒色土の堆積が見られる。住居址の形状は長軸（南北方向）4.0 m・短軸 3.4mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向は  $N-6^{\circ}-W$  を測る。壁は30~60cm掘り込んで床面に達し、床面積は 10.99 $m^2$ を測る。柱穴・周溝は確認されなかった。

カマドは東壁の中央部やや南寄りに位置し壁外に構築されている。

カマドの各部分の表示は下図による。

- a : 最大幅
- b : 全長
- c : 煙道長
- d : 燃烧部長
- e : 炊き口部長
- f : 煙道部幅
- g : 燃烧部幅
- h : 炊き口幅
- $\theta$  : 主軸方位
- $\sigma$  : 煙道部立ち上がり角



主軸方向( $\theta$ ) =  $N-80^{\circ}-E$ を測る。両袖とも自然石と褐色粘土で造られており、カマド全体を石と粘土で囲っている。天井石は耕作により取り除かれてしまったものと思われる。竈の先端部の破片が検出された。

カマドの寸法  $a=81\text{cm}$ 、 $b=93\text{cm}$ 、 $g=35\text{cm}$ 、 $h=20\text{cm}$ 、 $\sigma=36^{\circ}$ を測る。

#### H-21a

調査区中央部南寄りのNQ-50・51グリッドに位置する。地表面から60cm程掘土した確認面にある。覆土はHr-FP軽石を含む黒色土が堆積している。第1層にはB軽石層が見られる。本住居址は21bと重複し、21aが新しい住居址である。

住居址の形状は長軸(南北方向)3.35m・短軸2.65mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向は $N-80^{\circ}-E$ を測る。壁は45~55cm掘り込んで床面に達し、床面積は7.90 $\text{m}^2$ を測る。南東コーナーに44×38cm、深さ42cmの貯蔵穴がカマドの右側に所在する。

柱穴は確認されなかった。

カマドは東壁南寄りに位置し燃焼部分を壁内に持ち煙道が少し長い構築形式をとっている。主軸方向( $\theta$ ) =  $N-86^{\circ}-E$ を測る。天井石、袖石、支脚石とも安山岩で造られており、袖石と天井石は鳥居状に組まれていた。燃焼部で逆さになった壺を検出した。

カマドの寸法  $a=77\text{cm}$ 、 $b=135\text{cm}$ 、 $c=47\text{cm}$ 、 $d=37\text{cm}$ 、 $e=51\text{cm}$ 、 $f=40\text{cm}$ 、 $g=30\text{cm}$ 、 $h=15\text{cm}$ 、 $\sigma=70^{\circ}$ を測る。

#### H-22

調査区南側のNP・NQ-51・52グリッドに位置する。地表面から50cm程掘土した確認面にある。覆土は第1層にAs-B軽石層、第2層にHr-FP軽石を多く含む黒色土、第3層にAs-C軽石を多く含む黒色土層と標準的なレンズ状堆積をしている。22号は21b号より新しい住居址である。

住居址の形状は長軸(東西方向)4.7m・短軸3.7mを測り、隅丸長方形を呈す。主軸方向は $N-4^{\circ}-E$ を測る。壁は30~52cm掘り込んで床面に達し、床面積は16.71 $\text{m}^2$ を測る。

柱穴 P1: 46×43cm、深さ13.5cm。P2: 40×34cm、深さ16.5cmを測る。

カマドは北壁中央部や東寄りに位置し壁外に構築されている。主軸方向( $\theta$ ) =  $N-1^{\circ}-E$ を測る。ほぼ真北を示す。全体が粘土で造られており、カマドの壁面はよく赤褐色に焼けており、使用頻度の多いことを窺わせる。

カマドの寸法  $a=82\text{cm}$ 、 $b=120\text{cm}$ 、 $c=27\text{cm}$ 、 $d+e=55\text{cm}$ 、 $f=22\text{cm}$ 、 $g=35\text{cm}$ 、 $h=26\text{cm}$ 、 $\sigma=60^{\circ}$ を測る。

#### (4) その他の遺構

## ① 土坑

遺構名	位置 (列挙)	東西径 (cm)	南北径 (cm)	深さ (cm)	形状及び備考
D-6	HI-45	75	60	40~44	楕円形
D-7	HI-43	155	140	29~43	楕円形
D-12	NC·ND-51·52	—	—	—	耕作による攪乱
D-13	NE-51·52	150	120	51~55	ほぼ楕円形 石籤1点検出
D-14	GR·GS-47·48	128	125	35~43	楕円形
D-15	GS-47	185	160	32~41	楕円形 石器1点検出
D-16	GS-48	93	55	75	ほぼ楕円形
D-17	GS·GT-48	65	55	38~42	ほぼ楕円形
D-18	MS·MT-51	170	150	36~56	楕円形 石器2点
D-19	MO-52	85	78	39~46	楕円形 周辺に自然石1
D-20	GV-45·46	190	180	25~52	楕円形
D-21	GU·GV-45·46	98	95	24~30	円形
D-22	GU·GV-46	85	70	15~31	楕円形
D-23	HE-49	88	600	45	耕作の溝
D-24	HE·HH-47	160	1100	60	耕作の溝(うど穴)
D-25	HF·HG-49	180	150	33~53	楕円形
D-26	HH-46·47 HI-47	100	250	20~31	楕円形 土器1点出土 土坑のそばに自然石あり
D-27	NI-49·50	170	140	7~10	楕円形 土器1点
D-28	NI-50·51	103	94	13~16	ほぼ円形 炭化物あり
D-29	HK·HL-47·48	262	197	26~40	炭化物あり
D-30	HN·HO-48	285	210	28	不整形
D-31	HN-49·50	80	70	31~35	円形
D-32	NO-50	—	—	27~41	シミ状遺構
D-33	HP·NO-49·50	—	—	22~43	シミ状遺構
D-34	HO·HP-48	170	140	32~43	楕円形
D-35	HO-46	225	115	35~46	円形
D-36	GT-49	108	72	35~43	楕円形
D-37	GS-46	95	88	5~10	楕円形
D-38	GT-42·43	165	145	27~30	円形
D-39	GV-48	40	30	46~50	円形
D-40	GV-48	75	55	27~31	円形
D-41	MW-51	77	61	16~36	楕円形
D-42	—	—	—	—	H-7 Pit 6として掲載
D-43	HF·HG-43	140	225	60~65	隅丸長方形
D-44	NF-54	120	120	23~28	円形
D-45	HJ·HK-43				
D-46	HM-41	125	95	5~10	楕円形
D-47	HO-46	80	85	28~41	円形
D-48	HO-48	40	40	19~20	円形
D-49	NO-51	50	50	19~22	円形
D-50	HM-48	100	90	19~24	円形
D-51	HL-47	42	40	34~39	円形
D-52	HK-47	80	60	20~30	楕円形

遺構名	位置 (別7F)	東西径 (cm)	南北径 (cm)	深さ (cm)	形状及び備考
D-53	NP-54	145	120	22~157	隅丸長方形 土器14点 石器4点
D-54	NN-52	75	65	10~13	楕円形 土器4点
D-55	NO-NP-54	136	128	25~32	楕円形
D-56	NP-55	200	190	20~30	楕円形
D-57	NO-NP-55			15~29	土坑範囲不明 不整形
D-58	NN-NO-55	92	135	15~18	楕円形 不整形
D-59	HS-HT-46	135	122	17~25	楕円形
D-60	HS-HT-47	180	121	29~33	楕円形
D-61	HT-HU-46	71	65	20~24	楕円形
D-62	HT-HU-47・48	100	125	14~19	楕円形
D-63	HS-48	51	64	14~18	楕円形
D-64	HS-49・50	130	210	22~33	楕円形 土器1点 石器1点検出
D-65	HS-49 NS-50	90	103	18~20	楕円形
D-66	NS-50・51	122	155	22~23	楕円形
D-67	NS-51	42	27	27	楕円形
D-68	NS-51	140	142	19~23	楕円形
D-69	NS-52・53	118	100	36~42	楕円形
D-70	NS-54	48	40	14~16	楕円形
D-71	NT-51	118	100	13~40	楕円形 土器1点
D-72	NT-53・54	169	170	54~64	楕円形
D-73	NV-NW-54	103	132	14~17	楕円形
D-74	NH-54・55	170	200	50~60	隅丸方形
D-75	OA-54・55	189	197	22~35	楕円形 土器3点
D-76	IB-47	173	147	29~34	楕円形
D-77	IB-46	149	112	43~47	楕円形 石1点
D-78	NB-NY-55	94	108	14~50	楕円形
D-101	GK-44	135	90	14~17	楕円形
D-102	GK-47・48	132	240	40~60	楕円形
D-103	MM-MN-51	83	116	32~37	楕円形 土器2点
D-104	MO-51・52	164	158	17~20	楕円形
D-106	MQ-53	178	120	8~20	楕円形
D-107	GQ-GR-47	104	216	14~26	楕円形
D-108	GQ-47	65	60	14~19	楕円形
D-109	GR-47	150	180	48~52	楕円形
D-114	GT-GU-45	112	162	12~28	楕円形
D-115	GX-47	111	127	15~18	楕円形
D-118	HF-42	154	102	15~18	楕円形
D-120	MQ-51	50	64	43~49	楕円形
D-122	HI-40 HJ-40・41	72	84	31~34	楕円形
D-124	HL-HM-41	213	218	12~20	楕円形
D-125	HQ-41	59	62	13~24	楕円形
D-126	HQ-43	83	112	12~30	楕円形
D-127	HY-40			14~20	不整形
D-128	HY-42	110	144	17~25	楕円形
D-129	HY-42・43	130	146	51~61	楕円形

遺構名	位置 (列/F)	東西径 (cm)	南北径 (cm)	深さ (cm)	形状及び備考
D-130	HY-43	88	91	13~22	楕円形
D-131	HY-44	46	60	21~25	楕円形
D-132	HY-44・45			20~27	楕円形 土坑が2基ある。重複?
D-133	HY-47	314	152	70~80	不整形
D-134	NK-50	104	99	83~88	楕円形 H-15住居内
D-135	NT・NK-55	80	90	90~97	楕円形 H-17号住居 土器 石器
D-137	HY-44・45	139	223	60~68	楕円形
D-139	HY-45・46	70	59	41~45	楕円形

土坑No 1. 2. 4. 5. 8. 9. 10. 11. 111. 112. 116. 117. 121. 123. 188 は陥し穴として、土坑No 3. 105. 119 は袋状遺構の所で記述したので欠番となる。

## ② 風倒木址

遺構名	位置 (列/F)	東西径 (cm)	南北径 (cm)	平面積 (㎡)	深さ (cm)	形状及び備考
0-1	MR・MS-53	555	381	16.56	149	変形 東側に倒壊
0-2	ML・MM-45・46	533	378	14.78	104	変形 西側に倒壊
0-3	GR・GS-41・42	586	389	13.29	151	変形 西側に倒壊

## ③ 柱穴群 HD-48、HE-47~49、HF-47・48グリッド内の柱穴群

No	位置 (列/F)	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	形状	No	位置 (列/F)	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	形状
1	HE-48	85×50	15~34	楕円	8	HE-47	30×29	44~46	ほぼ円
2	HE-48・49	190×106	10~20	不整形	9	HE-47	28×23	22~28	楕円
3	HE-48	40×32	33~40	楕円	10	HF-47	38×28	31~39	楕円
4	HD・HE-48	42×35	28~30	楕円	11	HE-47・48	30×25	55	楕円
5	HE-48	44×34	40~35	楕円	12	HF-48	44×36	38~42	楕円
6	HE-47	41×40	15~22	ほぼ円	13	HF-48	94×51	25~33	楕円
7	HE-47	32×28	47~50	楕円	14	HE-48	49×40	48	楕円

以上14ヶ所の柱穴及び土坑とも呼べる遺構が確認された。覆土や間隔等を考察してみても、掘立柱建物遺構や欄列としての関連性は少くないものと思われる。

土層は第1層がAs-C軽石とHr-FP軽石を含む黒色土層、第2層は細かな軽石(1mm以下)を含む黒褐色土層、第3層は暗褐色ローム層、第4層は褐色ローム層であった。

## 第二節 上横俵遺跡

### 1 遺跡の概要と調査の経過

赤城山南麓斜面の先端部に神沢川左岸丘陵の南東側に張り出した斜面台地に位置する。この地区は、「群馬県遺跡台帳Ⅰ」（1974年刊行）東毛編・№221・上横俵古墳群の名称で記載された遺跡であります。この台帳の概要欄に『大胡と接する位置に近く台地上、現存するもの1基、いねあつ沼の西北1Km、周囲はかなり荒れていて、古墳も削られている。径8m、高さ1mの円墳。山林中にある。かつては10数基の古墳群であった。』とされ、近隣の古老の話によれば昭和22年9月15日の台風（カスリーン）で、神沢川氾濫の際、災害復旧工事の石材として、この石室の石が使用されたといわれている。

第一次調査は、平成2年2月1日から3月31日の期間で南端部分のM-1・2・3・5・6・7号墳から着手、全体区域の表土排土作業を平行して進めた。2月は雪・雨の天候が多く作業の進捗状況に支障をきたすことが多かった。

### 調査日誌抄

- 平成2年2月1日（木） 調査事務所（大型バス）設置 調査資材整理・重機搬入  
調査区域の確認・縄はり・籬伐開除根を開始  
現況写真撮影開始
- 2日（金） バックホウ（0.7）2台伐開除根開始
- 3日（土） バックホウ（0.7）1台古墳調査排土開始
- 5日（月） 伐開除根焼却の開始 残土置き場整理 市教委濱田係長・新保先生調査の進捗状況監察・調査打ち合せのため来跡
- 6日（火） 北区（熊の穴）バックホウ（0.7）1台伐開除根排土開始 南区（上横俵）バックホウ（0.7）1台伐開除根排土開始 古墳（1～7号）精査開始  
全体図・グリッド設定測量図作成開始
- 7日（水） 市教委福田室長・濱田係長・新保先生調査の進捗状況監察に来跡
- 14日（木） 石室精査開始
- 3月12日（木） 北区（熊の穴）バックホウ（0.7）1台伐開除根排土完了  
南区（上横俵）バックホウ（0.7）1台伐開除根排土完了
- 27日（火） 石室展開図完了
- 28日（水） 石室平面図・断面図完了

30日(木) 墳丘掘方終了写真撮影・遺物を平面図に記入終了

31日(金) ベルト外し・ジョレン精査・図面整理 業務終了

第二次調査は、猛暑の中、9月6日から調査面積16,000㎡に着手、平成3年1月14日づけで南に隣接する2,500㎡と縄文期遺構調査1,500㎡の変更契約の締結を受け、作業が進められた。調査面積計18,500㎡を完了す。

調査では、縄文住居址・陥し穴、古墳29墳(周溝墓4基)・土坑・柱穴 172箇所、平安住居址昭和初期の炭窯などと多くの遺物が検出されている。

### 調査日誌抄

- 平成2年9月6日(木) 重機搬入 バックホウ(0.7)使用古墳調査開始 (9、13号)  
現況写真撮影開始 4mメッシュ杭測量開始
- 21日(金) 縄文住居址調査開始
- 10月9日(火) 柱穴調査開始 市教委園部先生調査の進捗状況監察に来跡
- 17日(水) 遺跡現況S-1:100 測量開始
- 11月12日(月) 地震地割れ調査開始 遺跡見学者3名あり
- 19日(月) 石室プラン確認作業開始
- 12月13日(木) 方形周溝墓調査開始 市教委園部・都所先生打合せに来跡
- 28日(金) 調査実測図の整理開始
- 平成3年1月7日(火) 新年作業開始
- 2月1日(金) 南側変更増加精査開始
- 3月1日(金) 地断写真撮影開始 羨門部展開図開始
- 3月30日(金) 調査図面点検 調査終了

## 2 遺構と遺物

### (1) 縄文時代

#### ① 住居址

##### J-1号住居址

L区確認作業中に、LA～LJ-30～33グリッド内で黒褐色土を伴う落ち込みが6ヶ所確認された。本住居址以外の5ヶ所は遺物・焼土・炭化物も検出されなかった。

調査区の南東隅のLI-29～31、LJ-30グリッドに位置する。地表面から60cm程俤土した確認面にある。覆土は焼土粒を含む黒褐色土が堆積している。

住居址の形状と規模は長径（東西方向）4.30m・短径4.00mを測り、平面形は隅丸方形を呈す。主軸方向はN-45°-Wを測る。壁は東-22cm、南-42cm、西-43cm、北-35cm掘り込んで床面に達し、床面積は16.20㎡を測る。

柱穴 P1: 22×22cm、深さ42cm。P2: 24×22cm、深さ38cm。P3: 27×25cm、深さ50cm。ほぼ円形を呈する。

溝が北側コーナー隅から埋め廻り方向に向かって確認されたが用途は不明。

炬は中央部やや西寄りに位置する。

## J-2号住居址

M-4号墳の南側のFJ-6~8、FK-7グリッドに位置する。確認面で多数の縄文時代の遺物が検出されていたが、さらに20cm程掘り下げた状況で落ち込みが確認された。覆土は焼土粒を含む黒褐色土が堆積している。

住居址の形状は長軸（東西方向）5.74m・短軸4.20mを測り、長円形を呈す。主軸方向はN-80°-Wを測る。壁は西壁で10cm、東壁で6cm南壁は殆ど掘り込みの差は見られない。床面積は18.86㎡を測る。

壁周溝と柱穴と炬は確認することが出来なかった。

遺物 石器剥片と土器片が多数検出された。

## ② 陥し穴

X-1 LD・LE-24グリッドに位置する。長軸243cm、短軸165cm、深さ125cmの長円形を呈する。面積=3.20㎡ 断面積=1.89㎡

X-2 ET・EU-18グリッドに位置する。長軸214cm、短軸123cm、深さ78~96cmの長円形を呈する。面積=2.21㎡ 断面積=1.62㎡  
土器片が2点と自然石1点が検出された。

X-3 EU・EV-23・24グリッドに位置する。長軸245cm、短軸169cm、深さ62.5~136.5cmの長円形を呈する。面積=3.34㎡ 断面積=(推)3.12㎡を測る。

## (2) 古墳時代

調査の結果、古墳時代の方形周溝墓7基、竪穴式小石塚5基、古墳14基、溝1条が検出された。これらの遺構は基本的にソフトローム上面で確認され、その検出遺物から見ても古墳時代前期から古墳時代終末期の所産であると考えられる。

## ① 周溝墓

### c-8号周溝墓

舌状台地の頂上部南端の緩い傾斜地のEW-8・9、EX・EY・FA-7~10、FB-8グリッドに所在し、標高149.7~152.2mに位置する。表土剥ぎの段階でFA-10グリッド付近から底部穿孔土器の破片が集中して検出された。周辺にはM-4号・5号・11号・12号墳が所在する。

周堀の外周は半径7.66m(唐尺35尺)を中心に円周状に掘られ、墳丘は長軸をN-60°-Eにとり、北辺11.36m、東辺9.68m、南辺11.24m、西辺9.72mを測る。周堀は完周していたものと思われるが南西隅はM-4号墳の周堀によって切られている。内縁が直線的なのに対して、外縁はほぼ円形を呈している。地形的な制約性のみならず、別の設営時の意思が働いていたと考えらるべきであろう(バーナP55)。主体部と見られる遺構は確認できなかった。

### c-13b号方形周溝墓

遺跡の中央部M-13号墳の北側、EN・ED-23・24グリッドに位置する。

標高148.4~149.0mの傾斜地に北西部の一辺とその両端コーナーが確認された。

本遺構の南側は傾斜地のため耕作などで削平され、全体を確認することが出来なかった。北コーナーから西コーナーを挟む溝一辺の長さ(6.38m)の確認のみにとどまった。全体の構成は明らかでないが、一辺の方向はN-42°-Eであり、方台部の対角線がほぼ東西南北を指すものと考えられる。溝の土層断面で第1層にAs-C軽石を含む黒色土が堆積している。

主体部は傾斜地のためすでに削平され、確認することが出来なかった。

遺物の検出も見られない。

### c-16号方形周溝墓

舌状台地の頂上部の南端、EL・EM-14・15グリッドに位置する。北コーナーから西コーナーが6.00m、北コーナーから東コーナーが5.40mのやや長方形を呈する。

主軸はN-140°-W、盛り土は削平を受けており不明。溝は完周していたものと思われるが試掘用トレンチによって削られて南コーナーは不明である。

主体部と思われる遺構は検出されなかった。

### c-17号方形周溝墓

16号方形周溝墓の東側、舌状台地の南端の頂上部が東側に急傾斜するEM-17~19グリッドに位置する。

本遺構の北西部溝と北東部溝は確認することが出来なかった。南西部溝の長さが4.90m、南東

部溝の長さは4.00mであった。全体の構成は明らかではないが長い方の溝の方向はN-36°-Wであり、方台部の対角線がほぼ東西南北をさすものと考えられる。

溝の土層断面が第1層ではAs-C軽石を含む黒色土が堆積している。

主体部は確認出来なかった。遺物の検出も見られない。

#### c-18号方形周溝墓

台地頂上部末端の調査区が一番高い所に所在する。EJ-14、EX-14・15、EL-15・16グリッドで、標高153.4~154.6mに位置する。

周堀は部分的に破壊され、全長12.52m、幅1.5~2.2m、深さ10~50cmが確認された。

周堀の覆土はAs-C軽石とHr-FP軽石を含む黒色土で古墳時代前期の土層である。

出土遺物に底部穿孔土器の底部で刷毛目の壺が検出されていることからM-8号墳と同時期の墳墓の可能性が考えられる。又周堀内より縄文時代晩期の小型注口土器が1点検出された。推定内径8.5m、外径10mの周溝墓と考えられる。

#### c-25号周溝墓

調査区の東隅で道路によって区切られた三角形の調査区で方形周溝墓2基が確認された地区である。舌状台地の東側傾斜面で一番低い標高146.5m~147.0m、JQ・JR-45・46グリッドに位置する。西側半分は調査区外で排水の穴等があって全体を確認することが出来なかった。

溝の断面は第1層にAs-C軽石とHr-FP軽石を含む黒色土が堆積している。北東部の溝はC-26号方形周溝墓によって切れ、南側にも周溝墓の存在する可能性が考えられるが道路にかかり調査区域外でもあり確認することが出来なかった。推定直径4.4mの円形の周溝墓と考えられる。

遺物の検出及び主体部も確認出来なかった。

#### c-26号周溝墓

25号周溝墓と同じく東隅の三角形の調査区でJP・JQ-46~48、JR-46・47グリッドに位置する。標高146.4~147.1mの間に存在する。南側の溝は幅が広くC-25号周溝墓の周溝を切って延びている。南西コーナーは約50cmの間隔を持って周溝が切れている。

方台部は長円形を呈し、主体部は確認することが出来なかった。方台部内で土師器・器台の受け部と脚部の接合部分が検出されている。推定直径7.5mの円形周溝墓と考えられる。

南側周溝内に土坑1基が確認されている。

### ② 竪穴式小石槨

#### M-2b号墳

本遺跡は上横俵遺跡の南西部FM-16グリッド、標高144.8～145.1mに位置する。

墳丘と外部施設 平面図コンターから直径6m程の盛土がされていたものと考えられるが確認調査以前にすでに削り取られて不明である。周堀・葺石は見られない。

主体部の構造 10～30cmの9個の河原石で長方形に囲っている。南側は崩壊して不明、石柵内は3～10cmの河原石で平坦な床面を構築している。東壁内に角閃石安山岩が含まれる。

検出状況 周辺にはAs-C軽石とHr-FP軽石を僅か含む黒色土が見られることから古墳時代終末期と考えられる。長辺2.2m、短辺80cmであった。

#### M-4b号墳

調査区の西側、台地中段のFB-4・5グリッド、標高151.35～151.45mに位置する。M-4号墳石室の北側の墳丘上に構築されている。

墳丘と外部施設 M-4号墳の確認精査段階で3石が確認された。この3石の天井石を取り除くと7石からなる長方形の堅穴式小石柵が確認された(M-4号墳石室の散乱した石と思われたが、東と南側にはずれた石が確認されており、この石を天井石と考えると5石で造られていたものと思われる。)、M-4号墳構築後M-4bが築造られたと考えられる。M-4号墳の焼土上に構築されたM-4bが新しいものと思われる。長辺80cm、短辺50cmであった。

墳丘及び周堀は確認されなかった。

#### M-10号墳

台地南端部の最下段の平坦地のLA・LB-31グリッド、標高143.3～143.5mに位置する。周辺には7・6・9・13号が所在する。石室の残存状況は東西壁の第1石が確認された。

確認精査の段階で石室北側の残存状態の良い土層断面からも周堀は確認されなかった。本墳は堅穴式小石柵と思われるが奥壁の位置に窪みはあるが奥壁石は存在しない。東壁は自然石4石で1.4m、西壁5石で1.42m、床面は5cm以下の河原石と砂で整えられている。石柵の南側には本古墳群で見られる前庭部の深堀に類似した東西120cm、南北65cm、深さ44cmの掘り込みがあり、また石柵周辺には柱穴状の落ち込みが15ヶ所確認された。柱穴内の覆土からすると黒褐色土とロームの混土层であることから、本石柵より古いもので遺物等の検出もなく関連性は薄いものと思われる。長辺1.42m、短辺1.20mであった。

#### M-14号墳

台地の南端部中段のEP-16グリッドで標高151.2～151.7mに位置する。

墳丘と外部施設 遺構上の耕作土に盛土されていたため数度の排土作業によって確認されたもので、周辺には北にC-16・17号方形周溝墓、東にM-15号墳、南にM-11号墳が所在する。

主体部の構造 南壁は20×60cm1石と西壁は(20×20、15×30、15×20、30×35cm)の4石で築かれている。北と東壁石は確認されなかった。床面はソフトローム面をかためた上に5cm以下

の河原石を敷き目詰めに砂を使用している。長辺1.20m、短辺60cmの竪穴式小石塚と思われる。

遺物は床面直上より農具の鉄製の輪が検出されたことから耕作が床面まで到達していたものと思われる。

### 小 結

北と東側壁は開墾により破壊されたものと思われる。

第1石だけの長方形の石塚と考えられる。

床面がしっかりと構築されている。

以上のことから5世紀第四半期の竪穴式小石塚と考えられる。

### ③ 古 墳

石室及び周堀等から本来墳丘を擁する所謂古墳をこの部類とした。

#### M-1号墳

舌状台地の南端部の一段低い緩傾斜地、F I・F J-9・10グリッド、標高147.0～147.2mに位置する。周辺には、北西方向7mにM-4号墳、北東方向16mにM-5号墳があり、東側27mにM-2号墳が存在する。石室の確認状況は、大きな石(1.12×0.91m)の周辺は10cm以下の河原石が散在する状況であった。

墳丘と外部施設 調査前の状況は耕作土の上に大小の石の盛り上がりがあった状態で露出し、削平が著しかった。蓋石が1石だけ東壁の上に被せた状態で残存していた。主体部を中心に十字にベルトを入れた土層では、A s-C軽石を多量に含む黒色土層の上に築かれていることがわかる。東側のベルトでは主体部から約4mに礫が見られることから直径10m程の円墳であったと考えられる。周堀は不明である。

主体部の構造 主体部の全長は174cm、幅52cmの小型の箱式石棺状石室で、石材は安山岩、南と北の壁は3石、東と西の壁は1石で構築しており、裏込めとか控え積み等は見られない。主体部床面は扁平な山石を敷きその隙間を5cm以下の河原石で埋めている。主軸をN-70°-Eにとる。ただし南と北の壁の西側は各1石取りはずされた状況であったことから南北の壁は4石からなっていたと思われる。

#### 石室の計測値 (単位cm)

石室	長	北壁：173	幅	中央部：45
	さ	南壁：176		東壁：47

### 小 結

1. 赤城山麓小独立丘陵の傾斜面に形成された群小古墳中の1小円墳である。

- 内部構造は箱式棺状石室と思われる。
- A s - C 軽石を含む黒色土の上面を少し掘り窪めて構築されている。
- 墳丘の形態は既に削平されていて不明ではあるが主体部の大きさと土層断面等から直径10m前後の小円墳と思われる。
- 明確な周堀を持たないと石室の構築基盤が A s - C 軽石の直上にあるので前期の古墳と考えられる。

### M - 2 号 墳

台地の最南端部の F E ・ F K - 16 ~ 19、F I ・ F J - 16 ~ 20、F L - 17 ・ 18 グリッドに位置する。本墳の周辺には M - 2 号 ・ 1 号 ・ 4 号 ・ 5 号 ・ 6 号 墳が所在する。

墳丘と外部施設 耕作面から20cm程表土を排土して確認した。前庭部と羨道部は直径20~60cm程の河原石が散乱し、玄室部分では10cm以上の河原石が散在する状況であった。墳丘の盛土は、ほとんどなく A s - C 軽石を含む黒色土まで剥して始めて確認できた。周堀は石室の北側のみで内側で直径12m（外側は直径16m）ほどの円墳と思われる。

主体部の構造、石室の計測値は（単位cm）下表の通りである。

全 長	玄 室 長			玄 室 幅			羨 道 長			羨 道 幅		
	左	中央	右	奥	中央	袖	左	中央	右	袖	中央	入口
4 8 0	252	246	260	168	180	184	230	240	238	80	78	74.4

玄室は河原石12個と自然石4個の根石からなる両袖型の横穴式石室。左側は玄門石が残存し右側は確認できない。羨道部は河原石13石と自然石3石で根石部分が築かれており、袖部に榿石4石、羨道部入口に（62×45cm）の石と、その他は20cm以下の河原石で羨道部全体が閉塞されている。裏込め石は40~70cmの厚さで築かれている。奥壁は3石で築かれておりその内1石は角閃石安山岩が使用されているので7世紀第4四半期と考えられる。

### M - 3 号 墳

舌状台地南端部、一段低い緩斜面の F F - 21 ~ L F - 25、F G - 21 ~ L G - 25、F H - 21 ~ L H - 25、F I - 22 ~ 24 グリッドに位置する。周辺には M - 2 ・ 4 ・ 9 ・ 6 ・ 7 号 墳が所在する。

墳丘と外部施設 耕作土を約60cm排土し C 軽石を含む黒色土上面で確認された。全体に20~40cmの石と10cm以下の石が散在し、墳丘の盛土は殆どない状況であった。

周堀は石室の北西部に長さ9m、深さ68cmと、東側に長さ4m、深さ46cmの周堀が確認されたが全体を捉えることは出来なかった。

周堀外側の直径が18mの円墳であったと思われる。

標高は 144.2 ~ 145.8m に所在する。

主体部の構造、石室の計測値は（単位cm）下表の通りである。

全長	玄室長			玄室幅			羨道長			羨道幅		
	左	中央	右	奥	中央	袖	左	中央	右	袖	中央	入口
450	218	220	209	154	162	165	232	240	240	62	70	75

玄室奥壁は河原石7個、自然石4個から構成されている。東壁は河原石6個、自然石5個で西壁は河原石17個、自然石6個でこれらの河原石の中には角閃石安山岩が含まれている。

玄室と羨道の長さがほぼ等しい、袖部には榿石5石が見られる。玄室及び羨道部の床は5～10cmの河原石を敷きつめている。羨道部の幅に対して玄室幅が広い。羨道部は10～20cmの河原石で閉塞している。裏込め石は30～90cmの厚さで築かれている。前底部は東西626cm、南北388cm、最深度が83cmで石室正面が深掘りされている。

確認面にAs-B軽石純層が第2層に堆積し、第4層に古墳構築時の表土に近いAs-C軽石を含む黒色土が約30cmほど埋め戻されている。周堀は北西部の最も深いところで68cm、北東部の深いところで46cmであった。

- 小 結
1. 直径18mの円墳と思われる。
  2. 主体部は角閃石安山岩を使用した両袖型の横穴式石室である。
  3. As-C軽石を含む黒色土の上面が墓前での祭祀の行われた面と考えられる。
  4. 遺物は上記の土層より上の面から検出される。
  5. 遺物№445の須恵器は陶邑の第Ⅲ型式3段階と考えられる。
  6. 検出遺物と構築方法から7世紀中頃以降の構築と思われる。

#### 4号墳

台地の南端部中段、調査区の南西隅でEY-3～7、FA-2～7、FB・FE・FF・FG 2～10、FC・FD-1～10、FH-3～9、FI-5～7グリッドで、標高147.4～152.2mに位置する。

墳丘と外部施設 玄室内に天井石の崩落があり、石室内の攪乱をまめがれた為、副葬品がほぼ原位置で確認されたものが多い。

北側にM-4b号墳・C-8号墳・M-11号墳、東側にM-9号墳、南東方向にM-1・2号墳が所在する。石室の天井石は取り除かれて、壁石の一部、裏込め石等が露出して確認された。

“昭和21年の台風災害の神沢川河川改修に、築堤用石材として石室の石を掘り出した”と地元の高老は伝えている。羨道部入口付近の比較的大きな石にその時の矢（石を割る道具）痕の跡が6ヶ所程確認された。

規模 周堀の外側で32.8m、内側で26.0mの円墳で当古墳群中最大規模である。石室を中心に東西南北4方向に試掘トレンチを入れたが、葺石と前庭部の掘り込みは確認できなかった。

周堀は西側の松林が調査区域外のため確認できなかったが、土層断面から全周するものと思われる。

周堀の幅と深さは次の通りである。

北西幅 630cm・深さ90cm	西幅 410cm・深さ90cm
南西 140cm・深さ30cm	石室正面 240cm・深さ15cm
南東 290cm・深さ64cm	東幅 185cm・深さ65cm
北東幅 540cm・深さ124cm	北幅 470cm・深さ60cm。

比較的北側は幅も広く深い堀となっており、東から南にかけての部分では浅く幅も狭い、石室の南側正面は特に浅く祭祀用の渡り部分と思われる。(この傾向は上横儀遺跡の古墳に共通する)

主体部の構造、石室の計測値は(単位cm)下表の通りである。

全長	玄室長			玄室幅			羨道長			羨道幅		
	左	中央	右	奥	中央	袖	左	中央	右	袖	中央	入口
494	290	310	316	185	163	150	168	184	172	92	83	83

奥壁石は自然石1個、東壁は自然石4個、西壁は自然石3石が確認された。両袖型横穴石室である。玄室床面は良く固めたローム面に、まず自然石(径10~20cm)を粗く敷き、その上に河原石(径5~10cm)と砂で整えさらに径5cm以下の河原石と砂で構築している。羨道部東壁は自然石3石、西壁も自然石3石を使用し床面はローム面を固めた上に径10~20cmの自然石を敷き、さらに大きな自然石(径30~40cm)で羨道部を充填し閉塞している。框石(60×60)と(50×30)2石が見られる。裏込は壁石の付近と外側に径30cm前後の石を使用し、その間に河原石(径5~20cm)と砂を詰め込んでいる。裏込の幅は80~120cmで羨道部も同じ幅で馬蹄形を呈し、羨道部入口に裏込の幅と同じ幅で石組みが見られる。玄室内ほぼ中央部やや羨道部よりに天井石(120×70cm)の崩落があり、この石の下面は遺物出土面と同一レベルであることから、構築後間もなく崩れたものと思われる。この石と框石の間で土師器環1点と須恵器の長頸瓶1点と平瓶1点が検出された。長頸瓶と平瓶はこの石の崩落時に破壊されたものと思われる。その東側の壁付近から提瓶2点、高坏1点は無残で検出された。遺物の出土状況から追葬の可能性がある。石室内から検出された土師器・環(No.446・447)や須恵器(No.450・451・455)等は、陶器Ⅱ型式3段階と考えられるのでM-4号墳は6世紀末から7世紀初頭と思われる。

### M-5号墳

台地の南端部中段中央部のFA-12~15、FB-11~17、FC・FD・FE-11~18、FF-12~17、FG-13~17グリッドで標高146.8~149.5mに位置する。

墳丘と外部施設 北西方向にM-4・8・11号墳、北東方向にM-9号墳、南東方向にM-2・3・6号墳南西方向にM-1号墳が所在する。試掘調査で周堀3ヶ所が確認できたので、本

調査は慎重に作業を進め耕作土を30～70cm掘り下げて全体の確認に動めたが、主体部とM-9号墳に近い東側周堀はすでに重機によって攪乱（昭和40年代と思われる。）され、周堀の全体像も捕えることが出来なかった。

周堀の外径が東西27.3、南北24.7m、内径で東西20.2m、南北20.5mの円墳である。

周堀の幅と深さは次の通りである。

A	南幅284cm	深さ83cm	B	西幅310cm	深さ84cm
C	北幅390cm	深さ85cm	D	南東幅412cm	深さ78cm

北西部の周堀に掘り残した「渡り」部分が確認された。周堀の外側では攪乱部分以外本墳にかかわる遺物は出土しなかった。

検出した遺物について。

☆埴輪は、刷毛目が2cmの間に12～17本で、比較的細かな刷毛目である。突帯は2段で、透し穴はほぼ円形を呈する。

☆高環は、脚部は短く円錐台形状で、裾部はラップ状に開き、裾端部は角張りを持つ、内外面に丁寧な撫で、脚柱上部に絞りが見られ赤色塗彩されている。

☆環は、6世紀中頃（No611・614）No615は6世紀末から8世紀と考えられる。

☆須恵器は高環（No616）と提瓶（No620）は和泉陶邑の分類によればⅡ型式4段階に該当するので6世紀後半から7世紀初頭と思われる。

以上のことからM-5号墳は、埴輪からすると6世紀前半に構築され環や須恵器が後から供献されたものと考えられる。

### M-6号墳

舌状台地の南端部で南東方向に緩い傾斜をしている。FD・FE・FF-23・24グリッドで標高144.6～145.2m（差が60cm）に位置する。周辺にはM-3・7・9・10号墳が存在する。

墳丘と外部施設 墳丘は耕作により削平され、ほとんど不明である。As-C軽石を含む黒色土まで掘り下げて遺構が確認された。石室部分には50～70cmの自然石が5石と他は径10～20cmの河原石の散在が確認された。周堀は北東方向に長さ4m・深さ10～20cmでAs-C軽石を含む黒色土層が堆積する。内径2.4mから外径4.2m程の円墳と思われる。

主体部の構造、石室の計測値は（単位cm）下表の通りである。

全長	玄室長			玄室幅			羨道長			羨道幅		
	左	中央	右	奥	中央	袖	左	中央	右	袖	中央	入口
218	125	128	113	55	65	54	91	92	83	30	38	42

玄室奥壁は2石で構築されていたものと思われるが自然石1石だけが存在する。東西の壁も河原

石で構築されており、その中に5個の角閃石安山岩が使用されている。羨道部は自然石と河原石が混入し径10cm以下の石が多く使用されている。床面は玄室で径5cm以下の石と羨道部は径10～20cmの河原石が敷き込まれている。玄室と羨道部の幅にあまり差がなく、玄門石を立て使用することにより区別している。框石は3石、羨道部は径10～30cmの河原石で閉塞されている。裏込石は20～50cmの厚さで築かれている。前庭部は石室正面やや右寄りに東西270cm、南北173cm、更にその中央に深掘されて東西153cm、南北173cm、最深部65cm、やや長方形を呈す。

周堀は北東部に長さ400cm、幅180cm、深さが10～20cmであった。

- 小 結
1. 推定で直径8m程の円墳と思われる。
  2. 主体部は両袖型横穴式石室
  3. 前庭部の掘り込みが東に僅かたよる。
  4. 石室に角閃石安山岩が使用されているので7世紀第4四半期の古墳と思われる。

#### M-7号墳

舌状台地の南端部で緩い傾斜地の南東隅でLF・LG・LH-27・28グリッドに所在し、標高143.10m～144.35mに位置する。周辺にはM-3・6・10号墳が所在する。

墳丘と外部施設 台地の低い部分に所在したためか、閉塞され削平が著しく、墳丘と石室もほとんどが破壊され僅かに古墳の存在したことを示す程度ある。

前庭部は石室正面やや左寄りに深掘りされている。東西380cm、南北296cm、最深部45cmを測る。周堀は石室の北側と北東方向に確認され北側で長さ約14m、深さ25～49cm、北東部で長さ2.4m、深さ26cmを測る。周堀の状況から直径9mほどの円墳であったものと考えられる。

主体部の構造 前述したように本墳は何回かの削平により、ほとんど主体部の構造は確認できなかったが、一部根石が残っていることから推測すると、全長約450cm(13.5尺)、玄室長300cm(9尺)、玄室幅130cm(4尺)、羨道長150cm(4.5尺)、羨道幅65cm(2尺)程の規模であったものと推定される。玄室及び羨道部は自然石と河原石を混ぜて使用し、床面と裏込石には河原石を使っている。

- 小 結
1. 直径約9mの円墳と思われる。
  2. 主体部は両袖型横穴式石室
  3. 前庭部の掘り込みが左に僅か片寄る。
  4. 羨道長に対し玄室長が比較的長めの石室である。
  5. 7世紀代の群集墳の一基と思われる。

#### M-9号墳

舌状台地の南端部の一段低い緩い傾斜地でEY-20、FA・FB-19・20グリッドに所在し、標高147.3～146.6mに位置する。

墳丘と外部施設 周辺にはM-5・6・7・10・12・13号墳が所在する。M-5号墳との境界部分に重機による攪乱があり、東側は土取りで掘削され墳丘及び周堀を確認することは出来なかった。

前庭部は石室正面が120cm程深堀され、全体的にはやや東寄りの梯形状の掘り込みであった。西側南北の長さが360cm、羨道部前面の幅が230cm、南端が350cmと推測される。

主体部の構造、石室の計測値は(単位cm)下表の通りである。

全長	玄室長			玄室幅			羨道長			羨道幅		
	左	中央	右	奥	中央	袖	左	中央	右	袖	中央	入口
480	260	280	283	109	133	120	198	200	196	70	78	72

玄室の奥壁は大きな自然石1個で構築し西壁は奥壁の脇に4段の石組みが見られるがその他は基盤の捨て石が1段残っていた。東壁は奥壁の高さまでが2～3段に組まれ内側に僅か傾斜している。床面は玄室及び羨道部ともに河原石を使用しているが、羨道部の方が玄室内より大きい石(径10～20cm)を使用している。遺物は石室内より鉄製品の破片、前庭部で鉄鍔の破片と甕の口縁部・底部が出土した。出土遺物№624 須恵器は6世紀末から7世紀初頭のもので墳丘の構築はそれ以降と思われる。

### M-11号墳

台地南端部中段のEV・EW・EX-10～13グリッド、標高149.0～151.9mに位置する。周辺には北にM-12号、東にM-9号、南にM-5号、西にC-8号・M-4号が所在する。試掘トレンチ調査では見出できなかったが、周辺の状況から入念に現地精査して存在確認したもので周堀の南側は曖昧で、Hr-FP軽石とAs-C軽石の混入状態が少差で周堀のつながりを確認するのがやっとであった。表土から80～120cm削り、左側羨門石2個と石室の東壁の第1石の頂上部が確認され、自然石を中心にした裏込石が散乱し、その外側にはAs-C軽石とHr-FP軽石を含む黒色土が1m位の幅で周囲に確認された。

墳丘と外部施設 調査前は耕作土の上に台地頂上部のローム土が盛土されていたため墳丘の確認は不可能であった。直径11.1m程の円墳で葺石は確認されなかった。羨道部を3石で閉塞しその前面を粘土で固めていることが確認された。

前庭部の深堀りは見られない。周堀は北西部から北側と北東部まではしっかりと掘られているが、東、南、南西部では曖昧で僅かに掘られていることがわかる程度であった。

奥壁は自然石1石、東・西壁は自然石2石づつで構築する、両袖型の横穴式石室である。

羨道部は東壁が3石、西壁が2石の自然石であった。前庭部には粘土があり、特別な施設は見

られない。玄室内の床面は径10cm以下の河原石と砂を使用し、羨道部床面は径10～20cmの自然石と河原石が使用されていた。床面はローム面をよくつき固めた上に自然石の形に掘り窪められている。裏込めは自然石を主体に河原石が5程度混入したものでしっかりと施された。その外側をAs-C軽石とHr-FP軽石を含む黒色土が80～100cm幅で取り囲んでいる。

主体部の構造、石室の計測値は(単位cm)下表の通りである。

全長	玄室長			玄室幅			羨道長			羨道幅		
	左	中央	右	奥	中央	袖	左	中央	右	袖	中央	入口
326	210	210	216	84	94	96	114	116	124	64	58	56

遺物は279点、その内M-11号墳に直接かかわるものは土師環2点、須恵器高環1点、大刀1点、耳環2点、ガラス製小玉未穿孔乳白色1点が検出された。ここでは角閃石安山岩の使用は見られない。

土師器環Na 625・631は7世紀前半のもの、須恵器高環は陶器Ⅱ型式2～3段階に該当するもので、7世紀前半の構築と思われる。

#### M-12号墳

台地南端部中段のEQ-15～17、ER・ES・ET-15・16グリッドで、標高150.0～151.3mに位置する。周辺には北にM-14号・15号、東にM-13号南東にM-9号、南西にM-11号が所在する。

墳丘と外部施設 試掘調査の段階では昭和20年代の開墾と40年代の開発で耕作土の上に更にロームが盛土されていたため石室の確認も出来なかった。墳丘は完全に削平され、石室の北側に長さ10m、幅140～330cmの周堀が部分的に確認された。前庭部には東西560cm、南北430cm、深さ84cm、の掘り込みがある。葺石は見られない。推定直径4.8～6.4mの円墳と思われる。

奥壁は自然石2石、東壁は自然石6石、西壁は自然石11石で構築する、両袖型の横穴式石室である。羨道部は東壁が5石、西壁が7石の自然石であった。扉石5石が見られる玄室の床面はソフトローム面を良くつき固めた上に径10～15cmの河原石を敷き目詰めに砂を使用している。

石室の裏込めは径5～20cmの河原石を主体に自然石も含んで20～50cm幅で確認された。玄門石は両袖とも縦て使用している。

主体部の構造、石室の計測値は(単位cm)下表の通りである。

全長	玄室長			玄室幅			羨道長			羨道幅		
	左	中央	右	奥	中央	袖	左	中央	右	袖	中央	入口
386	205	202	204	90	110	108	176	184	186	50	42	54

石室は第1石目の残存状態が良かったので規模の計測は確実なものが出来た。前庭部の掘り込みは石室をしのぐ規模である。

検出遺物は15点であった。掲載した環は前庭部から出土した№632で、8世紀初頭と思われる。角閃石安山岩は使用されていないが古墳群の中で1番新しい段階の古墳と思われる。

#### M-13号墳

台地の中央部2段目、KO-25~28、EP-21~KP-29、EQ-21~KQ-29、ER-21~KR-28、ES-21~KS-28、ET-22~KT-28、EU-22~KU-27、EV-24~KV-26グリッドに所在し、標高145.3~149.4mに位置する。北にM-20号、南東にM-10号、南西にM-9号、西にM-12号墳が所在する。

墳丘と外部施設 東側は土取りで石室から5~6mまで削り取られ、南側・西側・北側には擾乱により周堀りや前庭部が破壊され、石室はM-4号墳同様に石垣用材として石室の大きな石が利用されたと思われる。矢の跡とピッケル状の鉄製品が石室内より検出され盗掘の痕跡が見られた。主体部北側の周堀と前庭部に接する堀からすると1辺が25m~26mの方墳の可能性が考えられる。

主体部の構造、石室の計測値は(単位cm)次表の通りである。

全長	玄室長			玄室幅			羨道長			羨道幅		
	左	中央	右	奥	中央	袖	左	中央	右	袖	中央	入口
620	390	390	370	165	153	114	233	230	220	57	85	70

奥壁は自然石1石、東壁は自然石4石、西壁は自然石5石(奥壁に近い第1石には矢の跡が2カ所程みられた。)で構築された両袖型の横穴式石室である。

羨道部は東西壁とも自然石が4石使用されている。

玄室床面は白色粘土とロームの混土を良くつき固めた上に径20~30cmの自然石を敷き、次に径5~10cmの自然石を敷き、その上に径5cm以下の河原石と砂で構築している。

羨道部の床面は径20~30cmの自然石を敷いた上に径5~10cmの河原石と砂で構築している。

裏込めは径20~30cmの自然石を粘土で固め、石室部は厚く羨道部は薄くすぼまり卵形を呈している。

出土遺物 実測平面図に出土標高を記録した遺物が281点、この他に石室の土砂を全部篩いにかけてガラス製小玉160点、鉄鏝も同様にして多量の破片が検出された。前庭部から出土した土師器・環・高環・甕は7世紀後半、須恵器は6世紀後半から7世紀中頃までの遺物であるから7世紀中頃から後半にかけて築かれたものと思われる。

#### M-15号墳

台南端部中段のEO-17・18、EP-17~19、EQ-18・19グリッドで標高150.1~151.6mに位置する。

墳丘と外部施設 石室の北西方向に長さ570cm、幅150~170cm、深さ51~79cmの周堀の一部

が確認された。前庭部には東西386cm、南北316cm、深さ108cmの掘り込みがある。

墳丘及び葺石は見られない。推定直径 3.0～4.8mの円墳と考えられる。

奥壁は自然石1石、東壁は自然石7石、西壁は自然石5石で構築する。両袖型の横穴式石室で榎石4石が確認された。羨道部は東壁自然石7石、西壁自然石4石・河原石2石であった。玄室の床面はソフトローム面を良くつき固めた上に、少し大きめの自然石で、羨道部床面は河原石を敷き詰め、その目詰めに河原砂を使用している。裏込は径10～20cmの自然石を使用し20～50cm幅で構築されている。

主体部の構造、石室の計測値は(単位cm)下表の通りである。

全長	玄室長			玄室幅			羨道長			羨道幅		
	左	中央	右	奥	中央	袖	左	中央	右	袖	中央	入口
296	164	196	180	76	72	74	102	100	100	40	56	60

※M-12号墳同様に前庭部の掘り込みの大きなことが目立つ。

※羨道部入口の両側に僅かながら石組みが見られる。

検出遺物は14点、内No 849は環、No 848は鉄鏃である。環は丸底で口縁部が短く直立する特徴から7世紀後半のものと思われる。

#### M-20号墳

調査区の中央部台地の中段、KE・KI-26～28、KF・KG・KH-25～28グリッドの標高148.2～151.4mに位置する。周辺には北に21号、南にM-13号墳、確認時点で西側に19号が存在するものと考えられたが、精査の結果古墳とはならなかった。当古墳もほとんどが破壊され羨道部と前庭部の石組みが確認された。

墳丘と外部施設 主体部の北側と西側に鉤の手に周堀が確認されたことから方墳と考えられる。長さ16.4m、幅 2.0～3.4m、深さ40～90cmである。前庭部には東西388cm、南北306cm、深さ154cmの掘り込みがある。東側は袋状(オーバーハング)になっている。主体部はほとんど破壊されていて構築状態を知ることが出来ない。裏込としてロームが使用されているので掘り方プランは良く確認することが出来た。長辺16.4m以上と短辺14.0m以上の方墳と考えられる。

主体部の構造、石室の推計値は(単位cm)下表の通りである。

全長	玄室長			玄室幅			羨道長			羨道幅		
	左	中央	右	奥	中央	袖	左	中央	右	袖	中央	入口
552	328	402	396	248	296	236	200	150	146	60	76	72

玄室部について北壁に22cmと東壁に26cmの河原石が石室の根石と考えられること、左袖に50cmの自然石が使われている。又右袖にも同じ程度の石の抜き取られた様子から本古墳の石室も50cm以上の石によって石室が構築されていたものと思われる。主体部周囲(外周)にはロームとAs-

C軽石とHr-FP軽石を含む黒色土が層状に堆積している。この状況はM-13号墳の裏込と同様の構築方法が取られたものと思われる。前庭部の掘り込みも粘性の強いハードローム層を横に掘っている。これは同一質のロームを得るためであり、主体部の裏込用のローム土の供給源として掘られたものと考えられる。前庭部には「ハ」字状に開く石組みが確認された。羨道入口の第1石は右62cm、左70cmで床面より15~20cm掘り込み、立てて使用している。羨道部には角閃石安山岩が確認された。羨道部床面は径20cm前後の河原石を敷いてその上に径5cm前後の河原石で整え、玄室も径5cm前後の河原石で床面を整えている。前庭部周辺には崩壊した石の層と軽石を含む黒色土層中より136点の須恵器片が検出された。このうち掲載したのはNo. 850~858の9点で、環1点と環蓋1点、埴2点、長頸または合付の壺が5点検出された。これらの須恵器の年代と出土位置が前庭部から検出されたのでM-20号墳の構築は7世紀後半と考えられる。

### M-21号墳

調査区北側で台地の中段、KB・KC-30グリッドで標高148.2~149.0mに位置する。周辺には北にM-20号墳、南にM-23号墳が所在する。

墳丘・葺石等は確認されなかった。

前庭部は東西450cm、南北204cm、深さ136cmの掘り込みがある。

主体部の構造、石室の計測値は(単位cm)次表の通りである。

全長	玄室長			玄室幅			羨道長			羨道幅		
	左	中央	右	奥	中央	袖	左	中央	右	袖	中央	入口
314	174	178	172	66	64	68	136	136	124	44	54	52

主体部は河原石を使用した小規模な石室で第1石が残存していた。玄室の東側は、玄室と羨道が直線的であるが袖石が立っていることで区別することが出来る。片袖型横穴式石室である。平成3年度調査区で石室の西側より円形の周堀が確認された。墳丘の直径は10m前後と考えられる。

前庭部東側で検出された須恵の蓋(No. 859)のツマミは低く扁平となり蓋内面のかえりは短く形骸化し、断面は三角形を呈す。天井部外面に回転鋸削り調整が行われているのと奥壁や玄門の立石に角閃石安山岩を使用していることで7世紀後半と思われる。

(当初の確認作業時に北東方向に隣接して、転石状に石室の一部と思われる集石が確認され「M-22号墳」が考えられたが、調査の進行とともに耕作土上に土砂礫が盛り上がり、M-21号墳の石室の破壊された残骸と思われる集石あり、「M-22号墳」は欠番と成った。)

### M-23号墳

調査区の北側で台地の中段、JW・JX-30~33、JY-31・32グリッドで標高148.2~149.0mに位置する。

墳丘と外部施設 墳丘、葺石、石室ともほとんど確認することが出来なかった。残った石の

中でロームに密着している石に角閃石安山岩が7石あった。主体部の北東方向に長さ740cm、幅100~190cm、深さ10~33cmの周堀の一部が確認された。以上のことから墳丘は直径15m前後で横穴式石室を持つ円墳と考えられる。前庭部には東西420cm、南北512cm、深さ87cmの長方形の掘り込みがある。

主体部は破壊されて構築状態を知ることは出来ないが残った石から類推すると下表のようになる。

主体部の構造（単位cm）は、次のとおり推測される。

全長	玄室長	玄室幅	羨道長	羨道幅
380	240	140	140	90

奥壁石はなく、東側に5石、西側に4石、裏込範囲は掘り方状況平面図の通りである。玄室と羨道部の床面は径5~10cmの河原石で構築されていた。この古墳で検出された遺物は124点ありそのうち掲載したものは№860~869の10点で、土師器坏7点、須恵器坏と坏蓋各1点、長頸の横瓶が1点であった。これらの遺物は前庭部から検出されたものであり石室はほとんど床面まで破壊されていたが、僅かに残った第1石のなかに角閃石安山岩が含まれているので、23号墳も古墳時代最終末期、7世紀末から8世紀初頭のものと考えられる。

（当初の確認作業時にM-21~24号墳付近は小規模古墳の群集する区域と考えられたが、「M-24号墳」と考えられた所と40号試掘トレンチ西端の集石は調査の進行とともにM-23号墳を破壊した時の土砂礫と思われる集石あり、「M-24号墳」は欠番と成った。）

### （3）平安時代の住居址

#### H-1

調査区の南側中央、LU-25・26グリッドに位置する。地表面から15~30cm程掘土した確認面（As-C軽石を含む黒色土）にある。

覆土はAs-C軽石、Hr-FPを多量に含む黒色土・ソフトローム混入の黒褐色土でプランの確認に難渋した。

住居址の形状は長軸435cm・短軸230cmを測り、長方形を呈す。

主軸方向はN-62°-Eを測る。

西壁中央部に直径95cm、深さ20cmの土坑が確認された。

壁は東側15cm、西側25cm、南側20cm、北側20cm掘り込んで床面に達し、床面積は、10.04㎡を測る。

カマドは東壁の南寄りに位置する。

カマドの寸法（第一節熊の穴遺跡（3）平安時代の住居址の「カマド各部名称図」参照、以下同じ。）

$$a = 83\text{cm} \quad b = 65\text{cm} \quad f = 30\text{cm} \quad g = 60\text{cm} \quad \sigma = 52^\circ$$

## H-2

調査区の南側中央、LW-27・28、LX-27グリッドに位置する。地表面から15~30cm程掘土した確認面にある。

覆土はAs-C軽石・Hr-FPを多量に含む黒色土で堆積する。（確認面全体がAs-C軽石を含む黒色土で周囲の自然堆積層が黒褐色土のためプランの確認に難渋した。）

住居址の形状は長軸 320cm・短軸 270cmを測り、長方形を呈す。主軸方向はN-63°-Eを測る。柱穴 P1: 33×32cm、深さ20cm。 P2: 26×22cm、深さ20cm。

壁は東側10cm、西側12cm、南側11cm、北側13cm掘り込んで床面に達し、床面積は8.84㎡を測る。

カマドは東壁の中央部やや北寄りに位置する。

$$\text{カマドの寸法} \quad a = 70\text{cm} \quad b = 64\text{cm} \quad f = 40\text{cm} \quad g = 48\text{cm} \quad h = 23\text{cm} \quad \sigma = 50^\circ$$

## （4）その他の遺構

### ① 土坑

遺構	位置 (列/F)	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面 積㎡	形状及び備考
1	NK-29	100	68	6.0~16.5	0.49	長円形
2	NK-29・KO-29	171	100	5.5~28.5	1.38	楕円形
3	KP-29	255	95	11.5~50.5	2.18	楕円形
4	KP・KQ-29・30	170	123	16.0~39.5	1.71	楕円形
6	KP-30	25	25	14.5~23.5	0.06	円形
7	KP-31	95	80	16.0~39.0	0.60	円形
8	KP-31	52	49	12.0~19.5	0.20	円形
9	KP-31	45	45	11.5~27.0	0.15	円形
10	KO-31	34	30	10.0~19.0	0.08	円形
11	KO-32	64	55	14.5~21.5	0.28	円形
12	KO-32	85	73	8.5~25.5	0.33	円形
13	KP-32	39	31	15.5~21.5	0.90	円形
14	KP-32	87	73	16.5~25.5	0.45	円形
15	KQ-32	95	83	20.0~29.5	0.62	円形
16	KN-32	40	34	10.5~23.5	0.11	円形
17	KO-32	33	28	10.5~23.5	0.07	円形
18	KO-32	45	35	10.5~16.5	0.13	円形
19	KO・KN-32	50	48	12.5~20.5	0.19	円形
20	KQ-32	75	72	29.5~28.5	0.42	円形
21	KO-33	89	70	11.0~27.5	0.48	長円形

遺構	位置 (列,F)	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面 積㎡	形状及び備考
22	KO-33	68	48	9.5~25.5	0.27	円形
23	KN-33	45	35	17.0~22.5	0.12	長円形
24	KQ-34	23	23	18.5~20.5	0.04	円形
25	KQ-34	30	25	11.5~21.5	0.05	円形
26	KQ-34	60	52	17.0~38.0	0.24	円形
27	KQ-34	42	37	15.0~22.5	0.13	円形
28	KP-34	70	55	21.0~33.0	0.30	長円形
29	KP-34・35	49	42	13.5~39.0	0.15	円形
30	KQ-34	65	60	17.5~28.5	0.31	円形
31	KQ-34	43	40	14.0~37.0	0.13	円形
32	KN-35	55	43	11.0~25.5	0.18	長円形
33	KQ-35	42	39	14.5~23.5	0.12	円形
34	KO-35	100	75	22.5~41.5	0.55	長円形
35	KP-35	70	70	24.5~38.0	0.40	円形
36	KQ-35	60	55	17.0~41.5	0.27	円形
37	KR-34・35	103	55	21.5~43.5	0.46	長円形
38	KN-36	75	45	22.5~61.0	0.30	長円形
39	KN-36	54	33	11.5~36.0	0.15	長円形
40	KN-36	80	40	17.0~33.5	0.28	長円形
41	KO-36	85	73	22.5~46.5	0.49	円形
42	KP-36	52	40	34.0~44.0	0.16	円形
43	KQ-43	53	50	25.5~34.5	0.21	円形
44	KR-35	45	40	30.0~35.0	0.14	円形
45	KO-36	85	65	18.5~36.5	0.45	長円形
46	KO-36・37	52	49	21.0~37.5	0.20	円形
47	KQ-36	105	95	31.5~55.0	0.80	円形
48	KP-36	56	43	28.5~45.0	0.20	円形
49	KQ-36	72	50	28.5~53.5	0.29	長円形
50	KR-35	65	50	23.0~35.5	0.25	円形
51	KJ-31	60	57	27.5~15.0	0.25	円形
52	KK-31	61	50	35.0~18.0	0.23	長円形
53	KK-32	68	62	29.0~14.0	0.33	円形
54	KJ-32	40	39	27.5~15.0	0.12	円形
55	KL-31	73	43	47.0~ 5.0	0.25	長円形
56	KL-31	68	62	48.5~10.5	0.31	円形
57	KL-31	61	57	19.5~10.5	0.28	円形
58	KL・KM-31	98	73	29.5~ 3.0	0.56	長円形
60	KK・KL-32	93	89	27.0~ 9.0	0.64	円形
61	KJ-33	129	98	52.0~23.0	1.04	長円形
62	KJ-33	82	64	24.5~17.0	0.43	長円形
63	KK-33	37	30	20.5~11.0	0.08	長円形
64	KJ・KK-33	112	74	31.0~16.5	0.65	長円形
65	KK-33	95	65	36.5~18.5	0.48	長円形
66	KJ-33・34	71	66	36.5~19.5	0.37	円形
67	KK-33・34	89	72	34.5~22.0	0.52	長円形
68	KK-34	59	53	30.5~21.5	0.24	円形

遺構	位 置 (列/F)	長径 (cm)	短径 (cm)	深 さ (cm)	平面 積㎡	形 状 及 び 備 考
69	KK-32	68	59	39.0~10.0	0.30	円形
70	KL-33	43	41	51.0~8.0	0.14	円形
71	KL-33	46	35	76.0~18.0	0.13	円形
72	KL-34	56	43	21.0~16.0	0.19	円形
73	KM-34	65	58	24.0~14.0	0.30	円形
74	KL-34	36	34	21.0~10.0	0.09	円形
75	KL-34・35	44	32	16.0~11.0	0.12	長円形
76	KJ-35	120	87	35.5~17.0	0.84	長円形
77	KJ-35	79	74	21.5~13.0	0.44	円形
78	KK-34・35	128	78	49.0~17.0	0.82	長円形
79	KK-35	40	39	27.0~13.0	0.14	円形
80	KJ-35	96	83	43.5~13.0	0.59	円形
81	KK-35	58	56	28.5~11.0	0.25	円形
82	KK-35	46	43	22.0~13.0	0.16	円形
83	KK-35	50	48	26.5~12.0	0.19	円形
84	KJ-36	53	52	22.5~15.0	0.21	円形
86	KK-36	72	48	19.5~11.5	0.28	長円形
87	KL-35	55	48	54.0~13.0	0.21	円形 柱穴
88	KM-35・36	44	41	19.0~14.0	0.14	円形
89	KL-47	37	36	23.0~16.5	0.11	円形
90	KL-37	76	75	58.0~13.0	0.49	円形 柱穴
91	KJ・KK-37	67	58	38.0~18.0	0.31	長円形
92	KK-37	45	37	33.0~25.0	0.13	長円形
93	KJ-37	42	40	21.0~15.0	0.14	円形
94	KJ-37	68	68	31.5~18.5	0.38	円形
95	KJ-35	45	42	29.0~20.0	0.15	円形
96	KI-37	54	51	28.0~10.0	0.20	円形
97	KI-37	47	37	25.0~10.0	0.13	長円形
98	KF-32	44	43	34.0~22.5	0.14	円形
99	KG-33	92	89	32.5~16.0	0.65	円形
100	KG-33・34	83	65	33.0~16.0	0.44	長円形
101	KG・KH-32	63	53	34.5~18.0	0.26	円形
102	KH-33	127	100	50.5~25.0	0.99	長円形
103	KG-35	49	44	21.5~9.5	0.17	円形
104	KG-36	49	46	25.5~15.0	0.18	円形
105	KH-36	40	39	19.5~11.0	0.12	円形
106	KG-36	56	47	26.5~18.0	0.21	円形
107	KG-36	54	41	33.5~19.5	0.17	長円形
108	KG-36	66	59	47.0~16.0	0.28	円形
109	KG-36	63	56	34.0~10.0	0.25	円形
110	KH-36	42	42	32.0~21.5	0.14	円形
111	KF-37	49	45	30.5~17.5	0.18	円形
112	KH-37	72	70	29.0~12.5	0.38	円形
113	KF-39	110	81	53.5~26.0	0.74	長円形
114	KG-38・39	78	77	52.0~39.0	0.48	円形
115	KF-39	95	69	38.0~23.5	0.54	長円形

遺構	位置 (ｸﾞﾗﾌ)	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面 積㎡	形状及び備考
116	KF-39	76	73	46.0~26.0	0.45	円形
117	KE+KF-36	65	61	29.5~14.0	0.32	円形
118	KE-36	130	117	141.5 ~ 7	1.20	円形 特殊土坑
119	JS-34	126	95	32.5~25.0	0.96	長円形
120	JR-34	204	115	28.5~15.0	1.89	長円形
121	FC-3	25	25	9.5~14.0	0.06	円形
122	FC-3	40	35	37.5~61.0	0.11	円形
123	FC-3	67	40	14.5~29.5	0.20	長円形
124	FC-3	40	30	7.5~20.0	0.09	円形
125	FC+FD-3	100	75	8.5~39.0	0.60	円形
126	FD-3	150	125	14.0~33.0	1.50	円形
127	FD-2・3	115	82	10.5~52.0	0.74	長円形
128	FC-3・4	75	53	6.0~53.5	0.30	長円形
129	FD-3	120		15.0~34.0	0.83	変形四辺形
130	FD-3・4	70		41.5	1.22	重複土坑 土器1点
		95		41.0		
131	FC-4	30	25	15.5~25.0	0.07	円形
132	FD-4	35	25	14.0~31.0	0.07	長円形
133	FD-4	135	75	7.5~29.5	0.80	長円形
134	FC+FD-4	82	46	13.0~33.5	0.31	長円形
135	FC-4	35	27	8.0~18.5	0.06	円形
136	FC+FD-4	75	43	10.0~21.0	0.24	長円形
137	FD-4	60	35	11.0~29.0	0.20	変形長方形
138	FD-4・5	75	55	16.5~37.0	0.32	円形
139	FC-4	55	35	8.0~18.0	0.15	長円形
140	FC-5	70	40	18.0~50.0	0.21	長円形
141	FC-5	50	35	19.0~42.0	0.14	長円形
142	FC-5	60	45	4.0~32.0	0.24	長円形
143	FD-5	230	115	5.0~50.0	1.97	長円形
144	FD-5	40	25	12.5~23.5	0.07	長円形
145	FD-6	75	48	6.0~23.0	0.29	長円形
146	FD-6	75	45	8.0~31.0	0.28	長円形
147	FD-6	70	55	6.5~18.5	0.29	長円形
148	FD-6	34	30	9.0~13.0	0.07	円形
149	FD-6			7.0~63.0	0.70	変形 西側柱穴
150	FD-6	115	60	7.0~35.5	0.63	長円形
151	FD-6	53	38	7.5~20.0	0.18	長円形
152	FD-6・7	90	45	5.0~73.0	0.37	長円形 東側柱穴
153	FD-7	95	80	7.0~28.0	0.55	円形
154	FD-7	73	63	2.5~36.0	0.33	円形 西側柱穴
155	FD-7	98	71	26.0~ 7.0	0.57	長円形
156	FC+FD-7	84	57	29.5~11.0	0.39	長円形
157	FC-7	84	57	23.5~	0.39	長円形
158	FD+FE-7	141	84	46.0~ 4.0	1.00	長円形
159	FD-7	37	20	15.5~13.0	0.05	円形
160	FE-6・7・8	538	125	38.5~ 2.5	5.59	長円形

遺構	位置 (列挙)	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面 積㎡	形状及び備考
161	FD-8	111	73	34.0~9.0	0.68	長円形
162	ES-12	85	69	52.0~16.0	0.45	長円形
163	ET-EU-12	130	100	54.0~19.0	1.19	長円形
164	ET-13	67	37	24.0~19.0	0.19	円形
165	ET-13	268	142	61.5~14.0	2.85	長円形
166	ES-ET-13	81	52	38.0~27.5	0.32	長円形
167	EO-EP-15・16			~	4.69	円形 プランが調査区外に出ている
168	EU-16・17	148	76	35.0~14.0	0.92	長円形
169	FG-11	170	122	81.5~17.5	1.44	長円形
170	FI-4	127	95	72.0~13.0	0.96	長円形
171	FJ-5・6	216	143	84.0~6.0	2.66	長円形
172	FK-6	136	123	40.0~11.0	1.34	円形
173	LV-LW-28	143	136	27.0~18.0		円形

以上 173ヶ所の土坑及び柱穴群の内D-87、D-90、D-149、D-152、D-154は覆土にAs-C軽石を含む黒色土層が確認され、掘立柱建物遺構の可能性はあるが一棟分にはならない。

D-118は他の土坑と比較して北西方向に深く斜めに掘られていることから特殊土坑と考えられる。

その他の167ヶ所の土坑は覆土や間隔等から掘立柱建物遺構との関連性は少ないものと考えられる。土坑№5、59、85は風倒木跡として別記したので欠番になる。

## ② 溝

KC-43グリッドで調査区内に溝の半分が確認され、KL-39グリッドで二方向に分離する。そのまま現在の道路に平行して南下し、LG-32グリッドまで達する。通路部分は一部未調査である。LQ-29グリッドからLI-32グリッドで西に方向を変え現神沢川方向に進むものと思われる。

溝の幅はKE-42グリッド145cm、KI-40グリッド100cm、KL-39グリッド150cm、LA-34グリッド80cm、LF-32グリッド65cm、LI-32グリッド75cm、LR-29グリッド65cm、LT-25グリッド46cm、FV-21グリッド54cmである。北から南に行くにしたがって、溝の幅が狭くなることが確認された。KL-39グリッドで、調査区内を流下する溝と道路に向かう溝とに分離する。道路に向かう溝の方が新しい溝と考えられる。KE-42~KL-39までが梯形を呈するのに対し、KL-39より南で見られる溝は浅くU字状を呈している。溝の第1層には、As-CやHr-FP軽石を含む黒色土が主体をなしている。又溝底に角閃石安山岩の20cmの石が数ヶ所で検出されている。遺物としては、縄文時代と古墳時代の土器片が僅か検出された。以上のことから古墳時代に使用されていた溝と考えられるが、正確な時期決定の資料は乏しい。

溝は、KC-43~LV-21・22・23グリッドに所在している。

### ③地割れ

V-1は、KD-30・31グリッド(M-21号の南側)からKO-29グリッド(M-13号の東側)まで、標高146mから148.72mに位置する。

幅は2.7～4.5m、深さ1m以上、長さが48.2mで断面がV字状を呈する地割れが確認された。幅2.7～4.5m、長さ48.2mの間には無数の小地割れが見られた。

JX-32・33グリッド内のトレンチ床面にも小地割れが確認された。V-1の延長上のものと考えられる。暗褐色土ソフトローム層にAs-CやHr-FP軽石を含む黒色土が亀裂の間に挿入していることが観察できた。

V-2は、LH-32・33グリッド(J-1号住居の東側)からLM-28グリッドまで、標高142.10～142.18mに位置する。ほぼ等高線に沿って幅40～75cm、深さ70cm、長さが28mの規模である。断面はV字状を呈する。

V-3は、LV-26～28、LW-25～27グリッドH-1とH-2の間で等高線に沿ってV-2と同じ方向で確認された。計測値は標高140.70～140.65m、幅30～140cm、長さ16m、深さは確認面から60cmである。

以上 V-1は、古墳群と土坑の境界、傾斜値が平坦面になろうとする境に位置し、亀裂は1～3cm位のものから30cm以上のものまであり2～3段の小さな段丘を呈している。

V-2、V-3は一部に複数の各所もあるが、主に単独の亀裂が走る形が見られる。

ここでは、液状化現象は確認できなかった。時代は周辺遺跡で発見されたものと同じく弘仁9(818)年の地震によるものと思われる。

### ④ 風倒木跡

O-5号はKO-30・31グリッドに位置する。長軸245cm、短軸200cm、深さ12～68cmのほぼ円形を呈する。

土器・石器とも検出しなかった。面積3.95㎡

O-59号はKL・KM-32グリッドに位置する。長軸170cm、短軸155cm、深さ45～27.5cmのほぼ円形を呈する。

土器・石器とも検出されなかった。 平面積1.96㎡

O-85号はKJ・KK-36グリッドに位置する。長軸130cm、短軸105cm、深さ15.5～43cm

の長円形を呈する。

土器・石器とも検出されなかった。 平面積1.02㎡

## ⑤ 河川跡

調査区最南端の大グリッドS T区に河川跡が確認された。

確認面から第2層にA s - B 軽石純層のレンズ状堆積が確認できる。3層にA s - C とH r - F P を含む黒色土層、5層にはC 軽石を含まない黒色土層。3、5層がブロック状に混入していることから、この時期に埋まり始めたものと考えられる。B 軽石堆積時には凹は見られるが、以降は流路として考えられない。

幅が約20m、深さ10～12m程で調査区南端部の西側を南流する神沢川のかつての流路であると考えられ、また河川跡は、M区の北から当遺跡の東側を南流し、現在の河川とつながる可能性が考えられる。八光沼周辺にも幾筋かの流路が見られたことから赤城山を源とする河川は急峻なため度々流路を変えていることが窺われる。

## ⑥ 集石

### S-1

台地の頂上部南端、E D・E G-14～16、E E・E F-14～17グリッド、標高 155.9～157.2 m の位置に、赤城山の溶岩流の流出による大きな石塊が確認された。先に噴出した火山砕の上に溶岩流が密着した状態が見られ、所々に割られて切り石のような面がある。この石は5～10mmの角閃石の結晶を含む安山岩で、中央部で大きく分割され、さらに小さな割れ目が北側に見られる。周辺にはこれより小さいが数多くの安山岩がローム中に存在し、火砕流と考えられる。この大石の基部付近までA s - C 軽石を含む黒色土が堆積している。

出土遺物はE F-16グリッドから平安期の長頸瓶2点と刀子(30cm、288cm)2点が検出された。出土した遺物や石の状態など、石の正面北側には赤城山があることから、信仰の対象となっていたことが考えられる。

遺物 灰釉長頸瓶 平安時代(10世紀) 灰釉双耳壺 平安時代(10世紀) 長頸瓶の肩部には窠印が見られる。黒曜石の塊1個。

### S-2 EW-15グリッド集石

EW-15・16グリッドにかけて集石が確認された。

底面の標高は149.2mである。集石の形状は底面ではほぼ円形をしており、径10cm程の河原石が埋納されていた。

掘り込みはC 軽石、F P 軽石を含む黒色土層を貫き、ソフトロームの暗褐色土層に至る。

### S-3 12b号集石

M-12号墳の東側、E S・E T-17・18グリッドに確認面まで掘り下げた時点でM-12号墳と同じ規模の集石が確認された。4段階に分けて調査したが遺構らしきものは、確認できなかった。

ソフトローム面まで掘り込んだところに河原石が埋納されているが比較的新しいものと思われる。

### S-4 19号集石

E G・E H-24、K G・K H-25・26グリッドに所在し、E G-24グリッドでは径20～30cmの河原石がほぼ円形を呈する。またE H-24、K G・K H-25・26グリッドに径10cm以下の河原石が散乱していた。須恵器甕の破片が3点出土した。周辺の土層からA s-CとH r-F P軽石を含む黒色土に掘り込まれている。遺構としては確認できなかった。

### S-5 22号集石

K A・M B-31・32グリッド内にあり、当初の確認作業で古墳になると思われたが、調査の進捗とともに周辺の古墳の石・礎が開墾・土取りなどで集石されたものと思われる。

### S-6 J W-33・34グリッド集石

試掘時点で40号トレンチの北側に東西 5.5m、南北 2m程の集石があり、当初古墳と考えられたが、調査の進捗とともに土師器片1点と須恵器片1点が検出されたが、石の間には耕作土があり規則的な並びがないなどから、開墾・農耕作業で周辺の古墳の石・礎が集石されたものと思われる。

### S-7 24号集石

調査区北端のJ T・J U・J V-36、J U-37グリッドに大きなものは50×35cmの河原石を含む集石が確認されたが、調査の結果径10～15cmの河原石とロームブロックを含む黒褐色土、第2層がC+F P軽石を含む黒色土とソフトロームの混土層、第3層に堅く締まった耕作土があることから、近年になって古墳を破壊した土石などの捨て場と思われる。須恵器の長頸壺と頸部が出土している。

## ⑦ その他

④ M-11号墳の東側のE V-13・14グリッドに細かな炭化物が数多く検出された。遺物は平安時代の土器片が数点出土した。形状はやや長円形を呈す。覆土はA s-C軽石とH r-F P軽石含む黒色土に炭化物を20～30%含んでいる。柱穴、炉及びカマド等は確認されなかった。

⑤ F C・F D-9・10グリッド内のM-4号墳周堀調査中に炭化物を多く含む黒褐色土があ

りその上の層にAs-B軽石層が確認された。この地区のグリッド一括遺物中より「コ」の字状口縁を呈する甕と環の破片が検出された。

## 小 結

1. ③と④はM-4、11号墳の周堀がほとんど埋まった所に炭化物と平安時代の遺物片が検出されている
2. 炉及びカマドも確認されない。
3. 柱穴も確認されない。
4. 遺物の検出される範囲に限られている。

以上のことから祭祀にかかわる何かが平安時代にこの付近で行われたものと考えられる。

◎ DC-15グリッドの古い通路付近で寛永通寶が確認された。

## ⑧ 炭 窯

L区南西隅の標高 140.5～141.0mの平坦面に3基の炭窯跡が確認された。2号炭窯は残存状況が良く、その形状を観察することが出来た。1・3号炭窯は焼土の状況から炭窯の存在したことがわかる程度であった。

### 1号炭窯

LU-31・32グリッドに所在する。窯体の長さ250cm、窯体の床面の幅 250cmと推定される。煙出しは5個の石が使用されていた。炭は見られない。土層注記の中で3層に炭化物が見られる。確認面より70cmほど掘り込んでいる。

### 2号炭窯

LU・LV-30・31グリッドに所在する。窯体の長さ220cm、窯体床面の最大幅115cm、焼き口部幅30cm、窯体はN-20°-Wである。煙出し部は15個の石で煙道が作られている。前庭はN-33°-Wで炭の残存は焼き口部と前庭にわずか見られた。

床と周囲の壁は径15～30cmの自然石で組まれている。確認面より90cm掘り込み厚さ径6～10cmの扁平な石を敷き詰めた、(この敷石の上には2～5cmの粘性の強い黒褐色土が堆積していた。)石窯であることから硬い(白炭)を生産していたものと思われる。

地元の古老の話では「1930年代に使用されていた炭窯があった。」とのこと、セルロイドと陶器片を検出している。

### 3号炭窯

EX-20・21グリッドに所在する。炭窯の煙出し部の一部が残っていた。窯体部の長さは2m

前後、窯体奥部の幅が90cm位の規模の炭窯と思われる。確認面より40cm程掘り込んでいる。

3号炭窯の西側には本炭窯から掘り出されたと思われる焼土が、4.7×2.6mの広がりとし、30cmの厚さで確認された。

## 小 結

1. 床面は平坦で窯体奥寄りに最大幅を持つ。
2. 煙り出しは最奥部に突出して作られている。
3. 焚き口は極端に狭く大人一人通過するのも容易でない程度である。
4. 石組の炭窯である。
5. 以上3基の炭窯は同時代（昭和初期）の炭窯と思われる。

## 参 考 文 献

- 筑前市史第1巻 1971年 編集・筑前市史編さん委員会 朝日印刷工業株式会社  
群馬県史 資料編2 原始・古代2 群馬県史編さん委員会 発行・群馬県 朝日印刷工業株式会社  
群馬県史 資料編3 原始・古代3 群馬県史編さん委員会 発行・群馬県 朝日印刷工業株式会社  
芳賀県史資料集 第1巻 芳賀県歴史資料集 1-古墳-平安時代3の1- 1984-3 群馬県教育委員会  
芳賀県史資料集 第2巻 芳賀県歴史資料集 2-古墳-平安時代3の2- 1984-3 群馬県教育委員会  
松本県史 Ⅲ 1991 群馬県歴史文化財調査委員会  
内閣府資料Ⅳ 大塚公館発掘調査に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 1991 群馬県歴史文化財調査委員会  
芳賀県史資料集 住宅空間形成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 1990 群馬県歴史文化財調査委員会  
筑前市史 Ⅲ 西大塚遺跡 土地改良事業実施地区内埋蔵文化財発掘調査報告 1980 群馬県歴史文化財調査委員会  
筑前市史 1985 群馬県教育委員会 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団  
堀川古墳群 1980 群馬県教育委員会  
下巻 第1編 1989 群馬県教育委員会  
堀川遺跡 第2編 1991 群馬県教育委員会 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団  
石巻遺跡Ⅲ K-C・Vb 1985 群馬県教育委員会 群馬県教育委員会 日本道路公社  
群馬県史資料集 一関地区発掘調査(新編) 埋蔵文化財発掘調査報告第32号第一 1990 群馬県教育委員会 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団  
小舟宮の遺跡Ⅰ - - - - - 第3号第一 1991 群馬県教育委員会 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団  
前所宮の遺跡Ⅱ - - - - - 第4号第一 1991 群馬県教育委員会 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団  
茨城・群馬・栃木編 昭和51年度埋蔵文化財調査事業実施地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 1985 群馬県教育委員会 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団  
筑前土居の埴輪Ⅰ 草野・早・野間(原生埴・白石埴之)著 東京美術  
筑前土居の埴輪Ⅱ 中・後・晩期 藤村実男著 東京美術  
考古学ライブラリー5 須藤誠 中村浩吉 1984 ニューサイエンス社 販売印刷株式会社  
" 8 芳賀県編 山野良二著1982 ニューサイエンス社 販売印刷株式会社  
" 10 藤原遺跡 小野浩一著1985 ニューサイエンス社 販売印刷株式会社  
" 14 馬場 坂本美次著 ニューサイエンス社 桂光舎印刷株式会社  
" 17 埴輪 大塚初彦著 ニューサイエンス社 桂光舎印刷株式会社  
日本の考古学Ⅱ 縄文時代 藤本道雄編 1965年 河出書房新社  
日本の考古学Ⅲ 弥生時代 和島繁一編 1966年 河出書房新社  
日本の考古学Ⅳ 古墳時代 近藤繁編・藤沢祐治編 1968年 河出書房新社  
日本の考古学Ⅴ - - - - - 1998年 河出書房新社  
図説 古墳の基礎知識の講義 鈴木道之著 柏書房  
日本美術大系Ⅱ 智恵 坪井清正著 平凡社  
" 3 埴輪 小林行雄著 " 平凡社  
" 4 埴輪 伊藤昭三著 " 平凡社  
" 5 三彩・埴輪・反動 嶋崎彰一著 平凡社  
埴輪 群馬・埼玉の埴輪 会共編第一・埴田徳三・若松良一・堀田重昭・石塚久樹・鎌倉浩晴 あき毛社  
和楽陶器の研究 一 埴野原法蔵の基礎的考察 中村浩吉著 柏書房  
昭和60年 茨城北編埴輪群 発掘調査報告 茨城北編埴輪群 群馬県教育委員会 文化総合センター  
群馬考古遺産 第9号 群馬における丸瓦式土器 茂木川行 群馬考古学研究会 朝日印刷工業株式会社  
藤原村埋蔵文化財調査報告第2号 藤原村39号遺跡(埴田遺跡)発掘調査報告書 1985年 群馬県教育委員会 朝日印刷工業株式会社  
研究家2号 1985-3 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団  
考古学Ⅱ-18237 1979年 ニューサイエンス社  
古墳時代の埴輪 鎌田祐  
考古学Ⅱ-18 2 ニューサイエンス社  
考古学Ⅱ-18 3 1983年 ニューサイエンス社  
筑前市史資料集 今井野村遺跡群 筑前内藤遺跡群  
群馬県史資料集 群馬県教育委員会 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団  
群馬県の方針と埴輪 群馬の「ク」-部分をもつて 小島敏子  
堀ノ内遺跡群 図説 254号発掘調査報告書に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 群馬県埋蔵文化財調査委員会  
筑前土居の埴輪 埴輪吉岡著 筑前市史資料集  
資料衛生士教本 1 埴野原 西井隆郎・高橋和久 国産印刷株式会社 全国印刷衛生士教育協議会

### 第 3 章 調査の成果

#### 熊の穴遺跡

縄文時代の住居址 4 軒、陥穴 16 基、袋状遺構 3 基、風倒木跡 3 基、古墳時代の住居址 29 軒、奈良・平安時代の住居址 3 軒、土坑 108 基と柱穴群及び包含層等の調査を行い、出土遺物は土器片 9845 点、石器剥片 537 点、鉄器鉄滓 5 点、消失家屋の用材炭化物（櫓・櫃＝落葉広葉樹） 139 点など多くを検出した。

#### 縄文時代

No 32 の有舌尖頭器や早期の丸味を持った尖底土器（No 283・285）を始めとして前期を中心に中期・後期・晩期の遺物を検出した。

J-10b 号住居址は検出遺物が少ないので時期推定の決手が薄弱であるが、住居址プランと遺物から諸磯 c 期と思われる。

J-10c 号住居址はさらに遺物が少ないが J-10b 号住居址との重複関係からそれ以前であると考えられる。

J-30b 住居址は出土遺物が前期前半の羽状縄文系土器と考えられる。J-31 号住居址は前期後半諸磯 c 期の土器を伴う遺構と考えられる。

この遺跡は住居址に比べて陥し穴が多く確認されているのは、この時代は狩猟の場として利用されたものと思われ、遺物に石鏃、石斧等が多量に検出されている。

袋状遺構 3 基が確認されているが、調査区外の周辺地に多くの遺構の存在する可能性が考えられる。

#### 古墳時代前期

古墳時代前期の住居址が 29 軒確認された。これらの住居址から出土した遺物は弥生時代終末期から古墳時代前期の過渡期の遺物である。今回の調査対照区の熊の穴遺跡は周東隆一氏が 1967（昭和 42）年考古学ジャーナルに発表している熊の穴遺跡である。以来、樽式土器、赤井戸式土器、石田川式土器のかかわりが赤城山南麓の丘陵地で調査例が増えるに従ってその特徴についての細分化が進んでいる。

今回の調査を「横依遺跡群 1（成果と問題点）」同様に周東隆一氏の熊の穴遺跡出土の土器分類成果に従い、まとめてみると次のようになった。

#### A. 第 1 類

輪積り痕を口縁に残し、縄文を口縁と胴部に押捺したもの、一括遺物の中には検出されなかった。縄文を施文したものととして H-5 号住居址の No 132、H-9 号住居址の No 155、D-53 号土坑の No 247 がある。第 1 類の遺物は少ない。

## B. 第2類

口縁部に輪積み痕を残し、土器の装飾とした無文土器の総称、19個体（2段-9個、3段-7個、4段-3個）、一括遺物中179点の破片が検出された。輪積み痕を調整した断面は起伏に乏しく、ほぼ線状を呈す。頸部には指押さえか縦刷毛目が施されているものがほとんどである。内面も篋推で→刷毛目→その後推で消されているものがほとんどである。H-3号住居址では3~4段、H-21b号住居址ではほとんどが2段で明らかに違いが見られるが、他の住居址では1~2点でその区別のしがたい。この第2類に該当する遺物が最も多量に検出された。

## C. 第3類

複合口縁のもので肩部が張る壺型土器が5点と一括遺物の中に1点が検出された。H-3号住居址のNo115・134・173はミニチュア土器である。

A. 第1類と同じ遺構から検出されているがNo173は違っている。

## D. 第4類

櫛波状文を有するもので樽式と呼ばれているものの一種である。H-15号住居址のNo179と一括遺物中に2点検出されている。波状文は口から頸に多く胴部の中段まで見られるがほとんど擦り消されている。篋状文は見られない。

## E. 第5類

「S」字口縁を持つ台付き甕でH-3号住居址のNo126が検出されたが胴部の下半部は欠損している。なお同種の台部（H-1号住居址のNo102・103、H-3号住居址のNo121、H-21b号住居址のNo208・211）の他に一括遺物の中に184点が検出されている。「S」字状の類型に入る口縁を持つ鉢形土器（H-3号住居址のNo120・123、H-24号住居址のNo233、D-53号土坑のNo246）が検出された。

周東氏の論致に従って分類すると以上ようになる。なお小島純一氏の赤井戸式土器の研究では壺型土器の特徴から3期に分け「A：輪積み痕を強調する手法を持つもので、口縁部が開かずやや直に立ち上がるものが多い。B：頸部が短く、胴部と接合部分を強調する手法を持つもので、口縁部は頸部から鋭角に外反する。土器表面全体に赤色塗彩が施されており篋磨きの美しい土器である。C：口縁部が短く、鋭く尖るものである。」としている。

当遺跡から出土した土器は甕・壺・片口・碗・高杯・甕・器合などであるが、肩部に縄目を施したD-53号土坑のNo247(壺)に見られるが、体部に縄目を持つものは少ない。口縁部に波状文がつく土器も少ないがH-15号住居址のNo179(壺)の胴部上位に波状文が見られる。

「S」字や折り返し口縁と輪積み痕を残す口縁が多い。このことは赤井戸系と石田川系の影響を強く受けており、樽系の影響は少ないといえる。「S」字口縁を呈す石田川式の影響と、輪積

み口縁を持つ壺や甕を主とした赤井戸式土器と折り返し口縁や片口及び「く」の字状の刷毛目と波状文と樽系の影響が渾然一体となっていることが窺える。赤井戸式土器の体部の縄文が消えていく動向を新しい段階と考えるならば、本遺跡の主体は赤井戸式土器の新しい段階と考えられる。

祭祀に係る器台のミニチュア土器が各住居で検出されている。H-21b号住居址の遺物出土状況は破片が幾重にもなって出土したミニチュア土器6点・器台2点・高坏4点・埴3点・浅鉢・碗・甕5点・壺7点と、その内容が豊富であることが窺える。この他にもたくさんの遺物の破片が出土している。H-3号住居址とH-21b号住居址は出土遺物から同時期の可能性が高い。

## 上 横 俵 遺 跡

縄文時代の住居址2軒、陥し穴3基、弥生時代終末期から古墳時代初頭の方形・円形周溝墓7基、古墳時代の竪穴式小石塚4基、古墳15基、奈良・平安時代の住居址2軒、土坑173基（この他にも墳丘下には土坑の存在する可能性が考えられる、4号墳の墳丘下220㎡で41基の土坑が確認された。）溝跡1条、地割れ3条、集石6箇所、信仰の対象と思われる自然石周辺遺構、河川跡、昭和10年代の炭窯3基が確認された。E・F区の遺物包含層からは1679点の縄文時代の土器・石器が検出された。

## 周 溝 墓 の 形 式 分 類

弥生時代終末期から古墳時代初頭に構築されたとされている方形・円形周溝墓が7基確認された。この周溝墓についてM-8・13b・16・17・18・25・26の7基を小島敦子氏の分類方法にしたがって分類すると以下のようになる。

- |             |               |               |      |
|-------------|---------------|---------------|------|
| a 1. 四隅掘り残し | C-18 (一辺のみ)   | b 1. 辺中央を掘り残す | なし   |
| a 2. 二隅     | なし            | b 2. 辺中央を広くする | C-26 |
| a 3. 一隅     | なし            | b 3. 前方後方形    | なし   |
| a 4. 全周する   | C-8・13b・16・25 |               |      |

C-13bはa 4又はb 1類    C-16はa 3又はa 4類    C-17はa 2又はa 4類

C-18はa 1又はa 2類    C-25はa 1又はa 2類

C-26は楕円形に近いが辺の中央部を掘り残し、この部分の広くするb 2類と考えられる。

今回確認された周溝墓は1辺が2.1m～7.42mの小規模な周溝墓である。C-8からは有段口縁底部穿孔土器と埴型の底部穿孔土器が検出され、C-18からは底部穿孔土器が検出されている。C-26からは器台の接合部が出土している。(No443)

以上のことから古墳時代初期の墓域として、この地域が利用されていることが窺われる。さら

に論を進めると、熊の穴Ⅲ遺跡の住居址と上横俵Ⅱ遺跡の7基の周溝墓の関連性が考えられる。

### 有段口縁、底部穿孔土器

M-8・18号墳より出土した有段(複合)口縁で底部に穿孔を有する土器が検出された。ここで対象とする遺物は実測図中のNo.413・417・424・425・428は口縁部に段を持つもので、No.416・418・419・421・439は底部に穿孔が見られる遺物である。

荒砥北部遺跡群発掘調査概報によれば、①荒砥北部、②荒砥川上久保、③荒砥北原、④提東遺跡で複合口縁穿孔壺が出土している。前橋市内では前橋天神山古墳・朝倉Ⅱ号墳からも出土していることが報告されている。

当遺跡から出土した有段口縁底部穿孔土器について、その特徴を検討してみると、口唇部の面取りがされているもの4点(No.413・417・424・428)、頸部が直立するもの(No.413・417・425・428)、頸部の接合が明瞭なもの(No.413・417・424・425・428)、外面口唇部から頸部は縦又は斜位刷毛目(No.413・417・425・428)、内面口縁部は横又は斜位刷毛目(No.413・417・424・425・428)、No.428については篋撫によってほとんど刷毛目が消されている。No.416・418・419・421・439は胴部は球形を呈し、内外面とも刷毛目が篋撫によって消され、底部の穿孔は焼成前に穿たれたものと思われる。No.414は胴部が球形、頸部に接合痕が明瞭で、刷毛目は不定方向で口縁から胴部中位迄ほどこされ下半部は篋撫によって消されている。内面には篋撫が全面に見られる。No.415の胴部は球形、頸部は直立し口唇部が折り返し口縁になっている。櫛状工具と刷毛目とが頸部から胴部に見られるが、良く撫で消されて部分的にしか見られない。No.422は頸部が直立し頸部~胴中位迄刷毛目が見られる。以上No.413・414・416・417・418・419・421・422・424・425・428・439は同じ技法によって製作されたことが伺われる。

古墳時代中期に、県内各地で農業生産力の飛躍的な増大に支えられて堅穴式小石槨を主体部とする群集墳の造営が5世紀第4四半期にかけて開始された。本調査地区内からは、2b号・4b号・10号・14号の4基が確認された。このうち2b号と14号は石組のなかに角閃石安山岩が含まれているので終末期古墳と同時期に構築されたものと思われる。1号墳は、堅穴式石室である。5号墳は擾乱のため主体部が完全に消滅していて調査確認することが出来なかった。

### 円筒埴輪

5号墳の埴輪の出土状況について

5号墳から出土した埴輪は破片にして5158点を数える。第35図~第39図にその実測図と拓本をあげ、接合関係をページに表した。図中に記された番号は実測図・拓本図の番号と一致する。この図から次のことが言える。

1. 広範囲に接合関係が認められることから、墳丘上から周堀内に転落した物が殆どである。
2. 周堀内に集中して出土しており、周堀外側より遠ざかると出土しない。(攪乱部分は例外)
3. 検出状況から墳丘全体に埴輪の樹立がされていた物と思われる。円筒埴輪は南北に集中し人物・馬とそれ以外の遺物は、ともに北西部周堀から集中して検出された。
4. 人物埴輪の美豆良は下げ美豆良で身分の高い男子像と考えられる。
5. 両手首の形態から(右腕は接点がない)棒状物を持っていた可能性が考えられる。

群馬県内での円筒埴輪の出現するのが、5世紀初頭から5世紀末葉とされる。円筒埴輪の小型化と粗雑化が著しく進行する時期は6世紀の前半と考えられる。人物、動物埴輪が加わるのが5世紀第4四半期～6世紀初頭とされる。

刷毛目から見ると2cmの幅の中に何本の刷毛目が存在するか測定してみると次の通りになる。

12本/2cm : No.575

13本/2cm : No.562 ・ 563

14本/2cm : No.560 ・ 561 ・ 572 ・ 573 ・ 576 ・ 577 ・ 588 ・ 596 ・ 599

15本/2cm : No.557 ・ 559 ・ 564 ・ 565 ・ 566 ・ 569 ・ 570 ・ 571 ・ 574 ・ 580 ・ 581 ・ 584 ・  
No.585 ・ 586 ・ 589 ・ 590 ・ 591 ・ 592 ・ 594 ・ 595 ・ 598 ・ 600 ・ 602 ・ 603 ・  
No.605 ・ 607

16本/2cm : No.556 ・ 558 ・ 567 ・ 568 ・ 578 ・ 582 ・ 583 ・ 587 ・ 593 ・ 597 ・ 601 ・ 604 ・  
No.606 ・ 608 ・ 609 ・ 610

17本/2cm : No.555 ・ 579

## 円筒埴輪に見られる篋描について

円筒埴輪には、まず篋描文を有するものと、まったく印されてない物に分けられる。篋描には  と  と  の三種類があり、描かれた位置が内面と外面で二種類に分けられる。表面に描く場合は透孔の直上に描かれ、しかも、弱く小さく表現されている。

- a. 表面に  記号のあるもの No.562 ・ 577
- b. 内面に  記号のあるもの No.556 ・ 557 ・ 558 ・ 559 ・ 576
- c. 表面に  記号のあるもの No.560
- d. 内面に  記号のあるもの No.555 ・ 563 ・ 564 ・ 570 ・ 572 ・ 599
- e. 内面に  記号のあるもの No.561 ・ 571 ・ 573 ・ 584 ・ 593 ・ 601

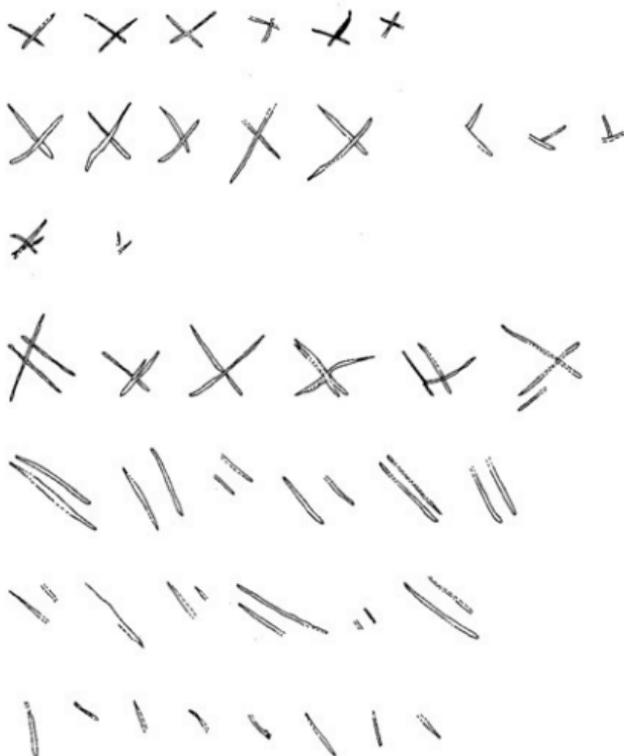
内面に描かれた  は鋭利で深い篋描きとなっているものが多い。表面にはこの記号を使ったものは見られない。

不明 No.574 ・ 575 ・ 578 ・ 579

以上6種類の違いが生産地、工房、工人の違いによるものと考えられるが更に胎土分析等各方面

からの検討が必要であろう。本来の円筒埴輪の器形を推測できるもの56点の実測図を掲載したが、そのうち竈描きが見られるもの、aが2点、bが5点、cが1点・dが6点・eが6点である。更に破片のものを加えるとaが6点、bが8点、cが2点、dが7点、eが12点、分類しにくいものが8点で合計43点となる。このことから5号墳では100個体以上の円筒埴輪が並べられていたことが推定される。

### 竈 描 の 実 測



## 横穴式石室を持つ古墳の形式分類

次に横穴式石室を持つ2号、3号、4号、6号、7号、9号、11号、12号、13号、15号、20号、21号、23号の13基の石室をもつ古墳のうち角閃石安山岩を石室の石組のなかに使用している古墳はM-2・3・6・21・23の5基である。以下、石材・規模・構築方法は、次のようになる。

### 1. 前庭部に掘り込みのあるもの

前庭部の掘り込みが右に寄るもの M-6・15

前庭部の掘り込みが正面にあるもの M-3・7・23

前庭部の掘り込みが左に寄るもの M-2・9・12・13・20・21

### 2. 玄室の平面形で中央に最大幅をもつもの M-3・9・11・21

### 3. 玄室奥壁寄りに最大幅を持つもの M-4・13

### 4. 玄室前寄りに最大幅を持つもの M-2・6・12・15

### 5. 玄門について柱状の玄門を設置した石室 M-6・9・12

### 6. 多石積の玄室を設置した石室 M-2・3・7・13・15・21・23・20

### 7. 大きな1石で玄門と羨道を設置し前庭に掘り込みがないもの M-4・11

### 8. 前庭部を台形プランの石組で構成した古墳 M-13・20、M-9もこの範疇に入るものと考えられる。

### 9. 前庭部に台形プランを持たない古墳 M-2・3・4・6・7・11・12・15・21・23

以上の特徴を整理してみると

#### I. 前庭部に掘り込みと柱状の石を使用しない型 M-4・11

#### II. 胸張のみある型 M-2・4・9・12・13・20

#### III. 羨門に柱状の石を使用している型 M-20

#### IV. 前庭・胸張がセットになっている型 M-9・12・13・20

#### V. 前庭・玄門がセットになっている型 M-6・9・12

#### VI. 胸張・玄門がセットになっている型 M-9・12

#### VII. 前庭・胸張・玄門の三条件がセットになっている型 M-9・12

石室について以上7形式に分類できるが、墳丘規模の大小に関係するものと考えられる。

以上の分類と各古墳より検出された土器類から時期区分すると本古墳群で石室を持つ古墳はM-1・2・3・4・6・7・9・11・12・13・15・20・21・23の14基である。そのうち1号墳は竪穴式で4世紀中頃から5世紀初頭に位置付けられる。

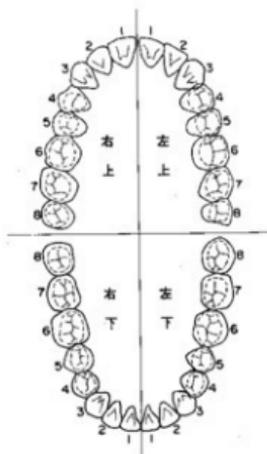
次に5号墳が6世紀前半、4・11号墳が7世紀前半で2・3・6・7・13・15・20・21号墳が7世紀後半、12・23号墳は7世紀末から8世紀初頭に構築時期を位置付けられる。

#### 4号墳から検出された人骨と歯について

人骨と思われる骨片が3点出土した。

(歯科医師 井上和雄先生の鑑定による)

1. 左上第1大白歯 B-5 (30~40才代)
2. 左上小白歯 (No 6)
3. 左上第1小白歯 B-2 (20才代)
4. 右上第2大白歯 B-5 (20才代)
5. 右上第2小白歯 B-3 (20才代)
6. 右上第1大白歯 B-4 (50才代)
7. 右上第1大白歯 B-1 (50才代)
8. 右上第2大白歯 B-2 (20才代)
9. 右下第1大白歯 (No 4) (50才代)
10. 左下第1大白歯 B-6 (20才代)
- 右下第1大白歯 B-3 (20才代)



歯については、B-5のみ象牙質が残っていた。

以上11点の資料から20才代の歯が6点、30~40代の歯が1点、50才代の歯が3点検出された。耳環も3対出土し、首飾りも勾玉と大粒のビーズ玉が太刀の北側で確認され、切り玉を主体とする首飾りが玄室西側で確認されている。このことから2~3人の複葬が考えられる。

#### ガラス製小玉の発色について

M-4・11・13号墳から出土したガラス製小玉(ビーズ玉)には青・藍・紺・灰白・黄緑・黄色が観察された。上越クリスタル硝子株式会社(群馬県利根郡月夜野町後閑737)専務取締役倉田善弘氏の協力によりこれらのガラス玉の発色方法について御教授戴いた。

##### 色と発色剤

- |      |  |
|------|--|
| 黄色   | 硫化カドミ(Cds)コロイド発色   |
| グリーン | 酸化第2銅(CuO)イオン発色  |
| グリーン | 重クロム酸カリ(K <sub>2</sub> Cr <sub>2</sub> O <sub>7</sub> )イオン発色 |
| ブルー  | 酸化コバルト(CO <sub>3</sub> O <sub>4</sub> )イオン発色                 |
| 濃紫色  | 二酸化マンガン(MnO <sub>2</sub> )イオン発色                              |

以上の着色剤の混入量や温度等によりその中間色の発色を行っているとのことであった。

## おわりに

今回の調査範囲は55haの建設予定地の内の3.3ha についての埋蔵文化財発掘調査の報告書であります。

熊の穴、上横俵遺跡は横俵遺跡群の中で遺構・遺物の集中する中心的な位置にあります。

今回の調査では下記に示すような多くの遺構が確認されました。

- ※ 縄文時代の住居址6軒、陥し穴19基、袋状遺構3基、風倒木跡6ヶ所、包含層遺物。
- ※ 弥生時代終末期から古墳時代初頭の住居址29軒、周溝墓7基。
- ※ 古墳時代の小石塚4基、古墳15基。
- ※ 奈良・平安時代の住居址5軒。
- ※ その他の遺構で、土坑 281基、溝1条、集石6ヶ所、地割3条、信仰の対象としての自然石1個所、河川跡1個所、昭和の炭窯3基。

本報告書の執筆を終りに、前橋工業団地造成組合を始めとする前橋市の担当部局並びにプラス株式会社の多大な協力によるものと感謝するものであります。

熊の穴遺跡 出土遺物観察表

法量：①口径②底径③胴部最大径④頸部・椀部径⑤高さ⑥幅⑦厚み⑧穿孔径⑨重さ（①～⑧はcm、⑨はg）（）は推定値を表す

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	実測
1	J-10b	深鉢	破片	粗砂	良好	明赤褐色	縄文・踏襲 b 口縁部刻目を持つ厚縁文。	口縁部	1
2	J-10b	深鉢底部	② (9.2)	砂粒	やや軟	橙	踏襲 b 式土器 底部部かな斜行縄文が見られる。	底部 1/4	1
3	J-10b	石皿	① 1.6 ② 1.3 ③ 0.2 ④ 0.35	-	-	色調：オリーブ灰 凹基無蓋縁 変成岩 前期		完形	1
4	J-30b	石皿	① 2.8 ② 2.3 ③ 0.4 ④ 1.8	-	-	灰 凹基無蓋縁 灰褐色チャート 前期		完形	1
5	J-30b	磨製石斧	縦 11.7 横 6.6 ③ 3.8 ④ 440	-	-	緑灰 両面に稜面、中央部は良く研磨されている。		ほぼ完	1
6	J-30b	石斧	① 12.6 ② 6.8 ③ 4.2 ④ 440	-	-	-	黒色頁岩 摩耗顕著	完形	1
7	J-30b	石斧	① 7.8 ② 3.4 ③ 1.7 ④ 50	-	-	-	黒色頁岩	基部欠損	1
8	J-30b	バチ形石斧	① 9.1 ② 7.8 ③ 10.8 ④ 120	-	-	-	黒色頁岩 早期の直刃斧	完形	1
9	J-30b	深鉢	③ (19.8)	粗砂	良好	赤褐色	羽状縄文系 前期前半 (黒式土器群)	胴下半部	1
10	J-30b	基石	① 9.8 ② 6.5 ③ 3.8 ④ 400	-	-	-	両面凹石 角閃石安山岩	完形	1
11	J-30b	縄文	-	砂粒	良好	明赤褐色	平行波線縄文	破片	1
12	J-30b	石皿	① 20.3 ② 18.1 ③ 5.2 ④ 2920	-	-	-	角閃石安山岩 裏面は凹石として使用。	完形	1
13	J-31	磨製石斧	① 15.4 ② 5.3 ③ 3.0 ④ 360	-	-	-	粘り質 輝石安山岩	一部欠損	2
14	J-31	磨製石斧	① (5.2) ② 4.2 ③ 1.3 ④ 40	-	-	-	輝石安山岩	両端欠損	2
15	J-31	縄文	破片	砂粒	良好	鈍い黄褐色	沈線と R.L. の縄文 中期後半の土器	胴部	2
16	J-31	石斧	① 9.2 ② 4.9 ③ 1.2 ④ 80	-	-	-	玄武岩	完形	2
17	J-31	基石	① 13.1 ② 10.1 ③ 5.2 ④ 850	-	-	-	表裏面に摩耗痕。角閃石安山岩	完形	2
18	D-1	深鉢	破片	粗砂	良好	鈍い黄褐色	縄文 口縁部は刻目を持つ厚縁文。	口縁部	2
19	D-1	縄文	破片 胎土：多量の砂粒を含む	良好	暗緑	暗緑	粘り質による平行波線文。踏襲 c	胴部	2
20	D-1	凹石	① 7.7 ② 7.3 ③ 4.2 ④ 280	-	-	-	角閃石安山岩 両面に使用痕。	完形	2
21	D-2	凹石	縦 18.1 横 13.1 ③ 8.2 ④ 2180	-	-	-	岩石中に角閃石の結晶の種かな層分有り。片面使用。	完形	2
22	D-13	石皿	① 2.2 ② 1.8 ③ 0.3 ④ 0.71	-	-	-	前期 凹基無蓋縁 黒色頁岩	完形	3
23	D-15	短冊形石斧	① (5.9) ② 4.4 ③ 1.3 ④ 40	-	-	-	角閃石安山岩 刃部は摩耗。	基部欠損	3
24	D-75	縄文	① (36.3)	粗砂	やや軟	緑	波状口縁、口縁に平行して3条の凹形文。その下にレンズ状の刻目。円形の斜穴文が見られる。	口縁部	3
25	H-1	石皿	① (3.7) ② 2.5 ③ 0.5 ④ 3.99	-	-	-	後期 凹基無蓋縁 黒色頁岩	先端と基部欠損	3
26	H-2	凹石	縦 9.1 横 5.7 ③ 5.0 ④ 290	-	-	-	角閃石安山岩	5ヶ所欠損	3
27	H-7	石皿	① 2.5 ② 1.6 ③ 0.3 ④ 1.18	-	-	-	後期 凹基無蓋縁 変成岩	完形	3
28	H-11	石皿	① (3.2) ② 1.6 ③ 0.5 ④ 2.16	-	-	-	後期 凸基有蓋縁 黒色頁岩	先端部欠損	3
29	H-11	削片石斧	① 9.0 ② 2.9 ③ 1.4 ④ 49	-	-	-	黒色頁岩 自然面を残す。	完形	3
30	H-17	短冊形石斧	① 4.2 ② 3.8 ③ 1.3 ④ 40	-	-	-	輝石安山岩 磨り方調査中に検出。	基部	3
31	H-20	磨製石斧	① (6.4) ② 5.1 ③ 1.0 ④ 40	-	-	-	摩耗。黒色頁岩	刃部	3
32	H-20a	有舌尖頭器	8.5 × 2.3 ③ 0.8 ④ 11.86	-	-	-	黒色頁岩 側面に稜面状を残す。草創期 磨り方調査中に検出。	先端部欠損	3
33	GG-48	凹石	縦横 12.3 横 10.9 ③ 5.0 ④ 700	-	-	-	角閃石安山岩 片面使用痕。	完形	3
34	GG-44	縄文	破片	粗砂	良好	明赤褐色	前期 2条の浮線文に刻目。	胴部	3
35	GG-47	縄文	胎土：多量の砂粒	良	鈍い赤褐色	赤褐色	「く」の字状の口縁で斜行縄文施文。前期 踏襲 c	口縁部	3
36	GL-45	凹石	10.4 × 7.5 ③ 4.8 ④ 440	-	-	-	角閃石安山岩 両面使用。	完形	3
37	GM-46	縄文	胎土：多量の粗砂を含む	良好	鈍い黄褐色	黄褐色	口縁部に1条の沈線。風線状。斜行縄文施文	口縁部	3
38	GM-47	分銅形石斧	① (8.0) ② 6.9 ③ 2.3 ④ 160	-	-	-	黒色頁岩	片残	4
39	GI-45	縄文	胎土：多量の砂粒を含む	良好	黄褐色	黄褐色	口縁部に貼り付け文。胴部は斜行縄文。前期 踏襲 c	口縁部	4
40	GO-45	縄文	胎土：多量の砂粒を含む	良好	灰黄褐色	灰黄褐色	浅鉢形の口縁部から胴部に6条の浮線文に刻目あり。	口縁部	4

法量：①口徑②底徑③材料最大径④彫部・接合部⑤彫径⑥器高⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔孔⑪重さ（①～⑧はcm、⑨⑩はg）は推定値を表す

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	実測
41	00-47	浅鉢	破片	粗砂混入	良好	褐	口縁部は部曲する。地文に縄文を施し、平行沈線で盛り上がった部分に刻み目を施す。	口縁部	4
42	02-43	深鉢	破片	粗砂混入	良好	暗赤褐	縄文を地文として7条の浮線文が有り、刻み目も施す。	胴部	4
43	02-43, 45, 46	深鉢	胎土：多量の粗砂を含む	良好	鈍い黄緑	平行沈線 + 3条の浮線文 + 刻み目		胴部	4
44	02-46	鉢	胎土：多量の粗砂を含む	やや軟	鈍い黄緑	平行沈線 + 刻み目 諸磯c		胴部	4
45	02-49	深鉢	胎土：多量の粗砂を含む		良	橙	平行沈線 諸磯c	胴下部	4
46	03-47	深鉢	破片	粗砂混入	良好	明赤褐	平行沈線 諸磯c	胴部	4
47	05-51	深鉢	破片	粗砂	良	暗褐	口縁部は内傾し、頸部は締まる。平行沈線はすり消される。	口縁部	4
48	06-45	石盤	①2.8 ②1.4 ③0.5 ④1.45	-	-	-	黒曜石 前期 巴里須賀窯 ガラス質	完形	4
49	07-47	楕円形石斧	①12.4 ②5.5 ③2.7 ④210	-	-	-	黒色頁岩	完形	4
50	08-48	短冊形石斧	①7.0 ②4.4 ③2.4 ④100	-	-	-	黒色頁岩	基部のみ	4
51	09-41	深鉢	破片 胎土：多量の粗砂を含む	良好	鈍い橙	縄織土器 地文は羽状縄文。平行沈線沈線。		口縁部	4
52	09-42	深鉢	破片 胎土：多量の粗砂を含む	良好	鈍い黄緑	羽状縄文 + 沈線		口縁部	4
53	09-42	石鏃	①2.2 ②(1.9) ③0.3 ④0.71	-	-	-	挽り深い。早期の羽根無家鏃の破片。黒色頁岩	片残	4
54	01-42	石斧	①8.7 ②5.2 ③1.6 ④80	-	-	-	黒色頁岩 割片石器	完形	5
55	01-44	楕円形石斧	①10.2 ②5.2 ③1.5 ④120	-	-	-	安山岩を使用した楕円形石斧。	刃部欠損	5
56	01-45	深鉢	破片	粗砂混入	良好	淡黄	縄織土器 斜行縄文 前期	胴部	5
57	01-45	深鉢	破片	粗砂	良	鈍い橙	口縁部は半軟竹管によるクシ目状の刻み目を施し同一工具による縦位の長放射状の施文。浮線與津線式	口縁部	5
58	08-41	深鉢	破片 胎土：多量の粗砂を含む	やや軟	鈍い橙	口縁部に3条、口ノ頸部には斜行する浮線が5条、いずれも刻み目が入る。		口縁部	5
59	01-42	小型壺	②6.0 ③12.0 ④8.6	粗砂	良好	明赤褐	外面：縦方向の深割り波状な巻き。底部深割り。内面：刷毛目状の。底面は刷毛目のみ。	口ノ頸部欠損	5
60	01-46	凹石	8.9 × 5.9 ④4.1 ⑤260	-	-	-	角閃石安山岩 両面使用。	完形	5
61	06-52	擦石	12.3 × 8.3 ④4.9 ⑤660	-	-	-	表面とも良く研磨	完形	5
62	01-51	深鉢	破片	粗砂混入	良好	明赤褐	輪轡目位置での割れ。斜行縄文 前期	胴部	5
63	01-51	緑泥灰岩	11.2 × 3.5 ④3.4 ⑤260	-	-	-	三浦川系の成成層。緑泥灰岩の間に層状に石英及び白雲角が挿入する。	完形	5
64	01-52	凹石	10.3 × 7.6 ④5.4 ⑤480	-	-	-	角閃石安山岩 両面使用。	完形	5
65	08-51	石斧	①(6.0) ②4.1 ③1.4 ④40	-	-	-	輝石安山岩	基部のみ	5
66	08-52	深鉢	破片	粗砂	良	暗褐	半軟竹管による平行沈線。口縁部では刺突。外面：口ノ頸部は刻み目。諸磯c	口縁部	6
67	09-52	深鉢	破片 胎土：多量の粗砂を含む	良好	鈍い黄緑	HLの斜行縄文		胴部	6
68	06-52	深鉢	破片	粗砂	良	オレンジ	波状の浮線文 + 刻み目。浮線文に平行して刺突文が見られる。諸磯b	胴部	6
69	06-52	深鉢	破片 胎土：多量の粗砂を含む	良	鈍い黄緑	平行沈線 + 縄文		胴下部	6
70	05-52	石鏃	①(3.2) ②2.04	-	-	-	石鏃かと考えられる。	完形	6
71	06-52	深鉢	破片 胎土：多量の粗砂を含む	良好	褐	縄文はなし、3条の平行沈線。頸部の沈線一本。		口縁部	6
72	06-48	多孔石	①19.4 ②18.3 ③10.3 ④4100	-	-	-	角閃石安山岩	一部欠損	6
73	02-51	鉢	破片	粗砂	良好	淡黄	口縁部で彎曲する鉢の口唇部にごく近い部分。	口縁部	6
74	02-50	鉢	破片	粗砂	良	赤褐	黄い斜行縄文。	胴部	6
75	03-50	深鉢	破片 胎土：多量の粗砂を含む	良	赤褐	隆起帯の中に太い縄文を施文する。内外面に赤褐色染。中期		口縁部	6
76	03-55, 56	鉢	破片 胎土：多量の粗砂を含む	良好	鈍い黄緑	斜行縄文、外面からの縞筋孔。		口縁部	6

法量: ①口部②底径③胴部最大径④頸部・接合部径⑤総径⑥高さ⑦口径⑧厚み⑨穿孔径⑩重さ ①～⑧はcm、⑨はg ( )は推定値を表す

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	実測 図
77	NS-55, 56	鉢	破片	胎土: 多量の確を含む	良	鈍い黄	内外面に平行沈線を描す。三波川系の黄変石の確を多量に含む。表面白土が剥着。前期	底部	6
78	NS-55, 56	鉢	破片		粗砂	良好	黒赤褐色	胴上半部	6
79	NS-55, 56	甕	④4.7 ⑤7.8		細砂	良好	鈍い黄 外面: 網目状で消し、胴部上位に指環状。内面: 磨き。胴部上位に絞り目を残し、胴部後半さえの磨き。	胴部残存	6
80	NT-54	模形石斧	⑦8.7 ⑧4.3 ⑨1.5 ⑩80	-	-	-	黒色頁岩 刀部磨耗。	基部欠損	6
81	NO-50	短冊形石斧	⑦8.4 ⑧4.0 ⑨1.6 ⑩80	-	-	-	玄武岩 一部磨耗	基部欠損	6
82	NW-57	鉢	破片	胎土: 多量の確砂を含む	良好	淡黄	上半部は平行沈線と刺突文。下半部は地文の確文が見られる。	胴部	7
83	NY-56	深鉢	破片	胎土: 多量の砂粒を含む	良好	粗	口唇部に斜め目、地文に確文を施し浮線を描り付け、斜め目を入れる。総破り	口縁部	7
84	OB-54	深鉢	破片	胎土: 多量の砂粒を含む	良好	明赤橙	半軟竹管と円形刺突文 総破り	胴上半部	7
85	2E-19	部石	⑦8.4 ⑧9.0 ⑨3.0 ⑩230	-	-	-	角閃石安山岩 両面に使用痕。	完形	7
86	2E-19	部石	⑦8.0 ⑧(6.5) ⑨3.4 ⑩220	-	-	-	角閃石安山岩 両面に使用痕。	片断残	7
87	2E-19	片断形石器	⑦(10.5) ⑧5.2 ⑨5.0 ⑩300	-	-	-	黒色頁岩	完形	7
88	2E-19	石鏡	⑦(1.5) ⑧1.2 ⑨0.2 ⑩0.29	-	-	-	黒曜石 基部欠損	先端部	7
89	2E-19	石鏡	⑦4.0 ⑧3.3 ⑨0.6 ⑩8.29	-	-	-	玄武岩 斜長石の剥点と顆石が見られる	完形	7
90	2E-19	鉢	破片	胎土: 砂粒を含む	良	橙	縞織土器 隆起文を境にして上位は斜行確文、下半部と内面に平行沈線。	胴上半部	7
91	2E-19	鉢	破片		微砂	良好	鈍い黄橙 一層波付谷。斜行確文 縞織土器	胴部	7
92	2E-19	深鉢	破片	胎土: 多量の砂粒を含む	良	鈍い橙	地文に確文、平行沈線によって盛り上がった部分に斜め目、窪みに斜突文を施す。総破り	胴部	7
93	試10H	模形石斧	⑦10.2 ⑧4.5 ⑨1.5 ⑩100	-	-	-	黒色頁岩 自然面を利用した新片石斧。表面淡黄褐色に染色。	完形	7
94	1E-19	片断形石器	⑦12.9 ⑧5.7 ⑨4.7 ⑩380	-	-	-	黒色頁岩 自然面を利用した。4トレ付近に横孔。	完形	7
95	試1H	石鏡	①1.28	-	-	-	黒曜石 基部欠損	先端部	7
96	H-1	埴	①11.4 ②2.8 ③6.9	細砂	良好	鈍い黄橙	内外面とも磨削り後磨き、二次焼成あり。口唇部縁部で、口縁部内外面に一部赤色染着。	片残	8
97	H-1	鉢	①(11.5) ②3.3 ③6.1	細砂	良好	鈍い黄	外面: 丁寧な磨削り後磨き、二次焼成あり。内面: 削り口縁部縁部で。	片残	8
98	H-1	甕	①(12.7)	細砂	良好	鈍い黄橙	外面: 縦位の斜め目。内面: 横・斜位の斜め目	口縁部 片残	8
99	H-1	壺	①10.7 ②6.2 ③19.7 ④9.2 ⑤20.7	細砂	良好	黄橙	外面: 磨削り後磨き、口縁部磨削り後磨き、煤付痕。内面: 磨削り後磨き、削り口縁部縁部で。削り口縁部縁部で。	完形	8
100	H-1	甕	①(14.0) ②(14.7)	細砂	良好	暗橙	外面: 口縁3段の輪筋、指挿え、横筋で、胴部は磨削り後磨き。内面: 丁寧な磨き。	口～胴 片残	8
101	H-1	器台	①7.2 ②11.4 ③8.7 ④1.2	細砂	良好	淡黄橙	外面: 磨削り後磨き。内面: 受部磨き、台部磨削り後磨き。穿孔部3ヶ所、受部中心に1ヶ所。内外面に煤付痕。	完形	8
102	H-1	台付甕	②7.7	砂粒	良好	明黄	石田式土器 外面: 台部、胴下半部も目目後磨き。内面: 台部磨削り後磨き、接合部明部。台部磨削り。煤付痕。	胴部下 位から 台部残	8
103	H-1	ミニチュア高坏	④接合部2.3	細砂	良好	淡黄橙	外面: 磨き。内面: 網目。	高坏状の 接合 部分	8
104	H-1	埴	①14.5 ②3.9 ③12.7	細砂	良好	淡黄橙	外面: 体～口縁部磨削り後磨き、二次焼成あり。内面: 体～口縁部外面より丁寧な磨き。頸～口に赤色染着。	完形	8
105	H-2	小甕	①(14.0) ②5.5 ③15.8 ④14.0	細砂	良好	鈍い橙	外面: 磨削り後磨き、口縁部縁部で磨き、指挿え、一部赤色を遺す。内面: 磨削り後磨き、口縁丁寧な磨き。磨削り後磨き、口縁部縁部で。削り口縁部縁部で。削り口縁部縁部で。	口～底 片残	8
106	H-2	壺	②8.0	細砂	良好	鈍い黄橙	外面: 磨削り後磨き、赤色染着。二次焼成あり。内面: 磨削り後磨き。	底～胴 下半部	8
107	H-2	鉢	①15.6 ②3.9 ③5.7	砂粒	良好	橙	外面: 削り後磨き、二次焼成あり。内面: 丁寧な磨き、縦方向後端方向の磨き、内外面赤褐色～片染着。	完形	8

法量: ①口部定底径②料部最大径③頸部・接合部径④裾径⑤蓋高⑥長さ⑦幅⑧厚み⑨穿孔径⑩重さ (①～⑥はcm, ⑦⑧はg) は推定値を表す

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	実測
108	H-2	器台	① (19.8) ② 1.25	細砂	良好	橙	外面:口部部接合で、体部施釉で後焼方向の施釉。内面:施釉で後丁家な施釉。内外面赤色塗彩。口部直直中央と環状上段2ヶ、下段2ヶの穿孔あり、上段4ヶ下段4ヶの穿孔が推定される。	坏部 1/4強	9
109	H-2	鉢	① (12.6) ② 4.4 ③ 6.4	砂粒	良好	明赤黒	外面:施釉り後焼き。内面:口縁部後焼方向の施で、体部施釉で後焼方向の施。赤色塗彩。	1/4強	9
110	H-2	磨石製玉	① 1.6 ② 0.6 ③ 0.2 ④ 0.71	-	-	-	穿孔は両端から行われたものと思われる。暗緑7灰色	完形	9
111	H-3	ミニチュア	② 3.7	細砂	良好	鈍い黄緑	手裡 指押さえ、輪積み痕。粗雑な器面調整。	1/4強	9
112	H-3	ミニチュア	① 3.7 ② 2.1 ③ 4.2	砂粒	良好	暗赤黒	手裡 台部は直立し、体部も直立する。外面指押さえ後丁家な焼き、二次焼成有り。内面:施で、内外面に赤色塗彩有り。	完形	9
113	H-3	ミニチュア	① (5.0) ② (5.3)	細砂	良好	鈍い黄緑	手裡 外面:指押さえ痕。指押さえ一部施釉り後焼向き。内面:施釉り後焼。	口～胴 1/4強	9
114	H-3	小玉壺	② 3.5	細砂	良好	緑	外面:施釉り後焼き。内面:施釉り後焼。底部施釉で、底部分のみ	底部のみ	9
115	H-3	ミニチュア (小玉壺環)	① (6.4)	砂粒	良好	明赤黒	外面:施で後焼向き。口縁部施釉で後焼き、接合部刺毛目。内面:施で後焼分的焼き。口縁部施釉で、台部刺毛目。	裾部欠損	9
116	H-3	磨石製玉	① 1.2 ② 0.4 ③ 0.2 ④ 0.56	-	-	-	穿孔は両端から行われている。暗緑7灰色	完形	9
117	H-3	増	① (11.2) ② (3.7) ③ 5.4	細砂	良好	橙	外面:施釉り後焼向き。内面:施釉り後焼向きに焼き。	口～底 約1/4強	9
118	H-3	土製鈴車	② 5.2 ③ 1.2 ④ 0.8 ⑤ 40.26	細砂	良好	鈍い黄緑	施釉り後丁家な焼き。	完形	9
119	H-3	つまみ	① (3.1) ② (5.3) ③ 1.5 ④ 0.35 ⑤ 8.58	砂粒	良好	鈍い黄緑	土器から割られたものと思われる。	一部分	9
120	H-3	鉢	① 14.0 ② 4.0 ③ 5.4	砂粒	良好	明赤黒	外面:施釉り後焼き、口縁部施釉で後焼き、二次焼成有り。内面:施焼き、刺れ有り。内外面赤色塗彩。	ほぼ完形	9
121	H-3	壺	② 7.8	砂粒	良好	明赤黒	外面:刺毛目後焼で滑し、刺毛上位に指刺痕。内面:脚部上位指押さえ後焼位の施で、赤色塗彩。	脚部残	9
122	H-3	鉢	① 16.5 ② 3.3	砂粒	良好	明赤黒	外面:口縁部施釉は「S」字状を呈し、施で、体部は施釉り後焼き。内面:口縁部施釉で後一花焼き有り。底部は僅かに上段塗彩。内外面赤色塗彩。	約1/4強	9
123	H-3	壺	② (4.4) ③ (13.6)	細砂	良好	鈍い赤黒	外面:丁家な焼き。内面:横方向の施施で、内外面赤色塗彩。底部に二次焼成有り。	1/4強	9
124	H-3	高環	① (11.2) ② (11.6) ③ 9.3 ④ 1.1	細砂	良好	鈍い黒	坏部:内外面丁家な研削。脚部:内外面研削、穿孔3ヶ所。	1/4強	9
125	H-3	壺	② 7.5	細砂	良好	鈍い黄緑	外面:刺毛目後焼り口縁部方向へ施釉り後焼方向の施。基部で後焼方向の施。内面:施で後焼下半～底部に焼き、指刺痕有り。刺付着。	1/4強	9
126	H-3	壺	① (16.4) ② (25.2)	砂粒	良好	鈍い黄緑	内外面口縁部施釉で、肩部右下斜方向の刺毛目、脚部右下斜方向の刺毛目。内面:肩部指刺痕。口縁部「S」字状を呈す。施釉はやや丸みを帯び刺毛目上平に影を帯び、器内は滑し。二次焼成。	1/4強	9
127	H-3	壺	④ (13.3)	細砂	良好	緑	外面:口縁部輪積み痕を残し指押さえを施す。胴～胴斜位方向の焼き、二次焼成有り。内面:施で後焼き。	胴～胴 上半部	9
128	H-3	壺	① (16.3) ② 6.3 ③ 23.1 ④ 25.8	細砂	良好	明赤黒	外面:脚部施釉り後焼き、口縁部4段の輪積み痕。指押さえ施で。内面:施釉り後焼で後焼き、刺れ有り。赤色塗彩。二次焼成。	ほぼ完形	9
129	H-3	壺	① (14.0)	砂粒	良好	黒黒	外面:口縁部輪積み痕を残し指押さえ、爪痕を施す。肩部と脚中部は刺毛目。胴上部は刺毛目。内面:口縁部施釉地帯は口～胴斜位鈍い刺毛目。脚部施釉り後焼。内外面二次焼成。	1/4強	10
130	H-4	鉢	① (20.0)	砂粒	良好	赤黒中央部黒	外面:刺毛目後丁家な焼き、二次焼成。内面:施で後丁家な焼き。内外面赤色塗彩。腹り方で後出。	1/4強	10
131	H-4	壺	① (16.8) ② (20.2)	砂粒	良好	鈍い黄緑	外面:肩部施釉は口方部施釉り後焼方向の施。口縁部3段の輪積み痕。内面:口縁部施釉で後丁家な焼き、脚部施釉り後焼で、施分的に刺毛目。灰化物付着。	1/4強	10
132	H-5	鉢	① (11.2)	砂粒	やや軟	鈍い黄緑	外面:口縁部に焼位の文様。胴部に刺毛目付着。内面:指押さえ口縁部指押さえ、基部施釉方向。	口～胴 1/4強	10

法量: ①口径②底径③胴部最大径④頸部・接合部径⑤相径⑥部高⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔径⑪重さ (①-⑧はcm、⑨⑪はg) ( )は推定値を表す

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	実測
133	H-5	土製鉢罐	④4.6 ⑤0.9 ⑥31.43	砂粒	良好	鈍い黄緑	外面: 粗い磨き。	上部欠損	10
134	H-6	器台 (小型)	①7.5 ②0.9	細砂	良好	鈍い黄緑	外面: 強で後上方磨き。内面: 磨削り痕。環状内外面残存。	裾部1/4残	10
135	H-6	滑石製円盤	①3.2 ②3.3 ③0.3 ④0.15 ⑤8.02	-	-	-	穿孔付近割損。反対側に脈石が1cm程見られる。	完全	10
136	H-6	鉢	①15.5 ②4.8 ③6.0	細砂	良好	鈍い黄緑	外面: 口縁-体部磨削り痕磨きの磨き。底部 (腰部) に指環状磨削り。部分的に赤色塗彩。内面: 口縁-体部磨削り痕で後上方磨き。底部縁方向磨き。底部縁から上段で立ち上がり部を持つ。	完全	10
137	H-6	土罐	④1.2 ⑤0.4 ⑥4.88	細砂	良好	鈍い黄緑	残存長3.4cm	約1/4残	10
138	H-6	甕	① (21.7) 胎土: 多量の砂粒を含む。	-	良好	橙	外面: 口縁部に3段の輪積み痕、口-腹部に指押さえ痕磨き。内面: 口縁部で後上方磨き、胴部左下から右上方向に磨削り。内外面赤色塗彩。	口-腹部1/4残	10
139	H-6	蓋	①22.0	砂粒	良好	淡黄	外面: 口縁部剛毛目後縁で、頸部剛毛目後磨き、胴部縁で、内面: 口縁部剛毛目後縁で、頸部磨き、胴部縁で。輪積み痕有り。	胴-口縁部残	10
140	H-6	伊石	①29.0 ②10.4 ③8.3 ④3700	-	-	-	伊の石 石英斑岩	完全	11
141	H-7	銅鏡	①8.5 ②1.7 ③1.0	-	-	-	有茎 茎部分に環状の筋痕跡が見られる。	1/4残	11
142	H-7	鉄製品	①6.3 ②2.5 ③0.5	-	-	-	- 古栗片かと思われる。	不明	11
143	H-7	碧玉	①1.9 ②0.5 ③0.2 ④0.86	-	-	-	細粒灰 穿孔は刃端から行われている。	完全	11
144	H-7	ミニチュア	④2.4 ⑤0.5	細砂	良好	鈍い黄緑	器台、内外面磨き、内面黒色。受部中心に穿孔1つ、一部二次焼成痕。遺存: 受部下位-胴部	11	11
145	H-7	鉢	①10.8	細砂	良好	鈍い黄緑	外面: 口縁部磨削り、体部丁寧な磨き、一部赤色塗彩。内面: 強で、丁寧な磨き。	1/4残	11
146	H-7	瓶	① (11.6) ②2.9 ③6.1 ④1.1	細砂	良好	鈍い橙	口縁部磨削り。口-体は左→右横方向の磨削り痕磨削り方向の剛毛目後不定方向磨削り。内面: 剛毛目後不定方向磨削り。	1/4残	11
147	H-7	器台	① (8.0) ②12.0 ③9.2 ④1.0 中心1.2	細砂	良好	黄緑	外面: 強で後磨き。一部赤色塗彩。内面: 受部縁で後磨き、胴部縁で剛毛目後部分的な磨き。受部中心に1つ、頸部2段6つの穿孔。	受部1/4残	11
148	H-7	甕	① (15.15)	細砂	良好	暗赤黒	外面: 口縁部3段の輪積み痕を強く指押さえ痕を指す。頸部-胴部縁方向の剛毛目。内面: 口縁部剛毛目後縁で。	1/4残	11
149	H-7	蓋	①19.0	粗砂混入	良好	橙	外面: 口縁部剛毛目後縁近し口縁を貼り付け後剛毛目と指押さえ、頸部剛毛目後磨き、胴部縁で後磨き、赤色塗彩。内面: 口縁部剛毛目、強で、磨き。頸部剛毛目後磨き、胴部縁磨き痕、磨削り痕で磨く。	口縁-胴部残	11
150	H-7	蓋	③ (34.6) ④ (8.0)	砂粒混入	良好	明赤黒	(厚口縁壺型土器) 外面: 磨削り後左上→右下方磨き、胴部一帯の押圧痕。強面内面: 磨削り後磨き。胴部縁磨削り痕有り。内外面赤色塗彩頸部から強り気味の器台へと続く。	1/4残	11
151	H-8	高杯	⑤7.6	砂粒混入	良好	明赤黒	外面: 体部縁の磨き、胴部縁で後磨き。内面: 体部縁で後磨き、胴部縁の磨き。胴部に2ヶの穿孔が見られるか本末3ヶ所が想定される。赤色塗彩。遺存: 体部の一部、裾部1/4残	11	11
152	H-8	煮飯部	②7.0	胎土: 粗砂混入	良好	橙	外面: 磨削り、指文有り。内面: 剛毛目と強で。	底部残	11
153	H-8	鉢	① (20.0) ②4.3 ③7.2 胎土: 黒色の砂粒を多量に含む。	-	良好	明赤黒	口縁部は外反し、体部で内磨す。外面: 磨削り後磨き。内面: 口縁部で、体部左下→右上方向に磨き。内外面腐蝕物の付着。	口-底1/4残	11
154	H-9	甕	② (7.5)	細砂	良好	鈍い橙	外面: 磨削り剛毛目後磨き。内面: 剛毛目後縁で、底面指押さえ。遺存: 胴下部-底部1/4残	11	11
155	H-9	蓋	③ (38.0)	粗砂	良好	鈍い橙	外面: 頸部1単位9条の明筋文、胴部丁寧な磨き。胴部縁磨削り痕が部分的に剥離されている。内面: 縁部で割れが著しい。内外面二次焼成痕。	頸部-胴部1/4残	12
156	H-9	片口	①12.3 ②5.8 ③8.7	砂粒	良好	橙	外面: 口縁部に輪積み痕を残す。縁部で後磨き。胴部剛毛目後縁の強で体部まで施す。片口部に僅かに指押さえが見える。二次焼成痕。内面: 縁部磨き。内外面赤色塗彩。	完全	12
157	H-9	甕	①13.6 ②6.3 ③22.2	細砂	やや軟	黒黒	外面: 剛毛目後磨き。口縁部所り返し痕。内面: 口縁部剛毛目後磨き、胴部縁磨き。内外面二次焼成痕。	口-底1/4残	12
158	H-10a	埴	①12.2	粗粒	やや軟	黄黒	外面: 磨削り剛毛目後粗い磨き、口唇部縁で。内面: 剛毛目後磨削り。	1/4残	12
159	H-10a	手捏	① (3.5) ② (1.5) 胎土: 黒色の粗粒を多く含む	-	良	橙	外面: 指押さえ。内面: 指押さえ後磨削り。	1/4残	12

法量：①口径②底径③胴部最大径④頸部・接合部径⑤根径⑥芯高⑦長さ⑧輪⑨厚み⑩穿孔孔⑪重さ（①～⑥はcm、⑦⑧はg（ ）は推定値を表す）

No	位置	器種	法量	胎土	戦成	色調	特徴	遺存	実測図
160	H-10a	手檜	①(5.2) ③2.8 ⑤2.8	細砂	良好	明褐色	体部は直線的に外反し口縁部で僅かに内傾する。内外面磨き、特に外面は丁寧な磨きが見られる。外面に一部赤色塗彩。	体部 1/4 欠片	12
161	H-11	器台	①(8.7)	砂粒	良好	鈍い黄褐色	外面：口縁部刷毛目後磨き。内面：磨き、赤色塗彩。	受部 1/4 残	12
162	H-11	台付宴脚台部	②(8.5)	粗粒	良	鈍い黄褐色	外面：刷毛目後磨き。内面：刷毛目後磨き。	台部 1/4 残	12
163	H-11	壺	②5.7	細砂	良好	明赤褐色	外面：丁寧な磨き。内面：横位の物で、割られ。遺存：胴下位～底部 1/4 残		12
164	H-13	壺	①(17.0)	細砂	良	黒褐色	外面：彫削り後磨き。口縁部4段の輪郭も微細押さえ入れで。二次焼成。内面：無で。口縁部磨き後磨き。	口～胴 1/4 残	12
165	H-13b	壺	②6.0	砂粒 やや軟	明赤褐色	明赤褐色	外面：刷毛目後磨き、底部磨きで、底部周辺に指捺圧痕が見られる。二次焼成。内面：丁寧な磨き後磨きが見られる。	胴～底部 1/4 残	12
166	H-14	鉢	①10.4 ②3.6 ④4.4	細砂	良好	明褐色	外面：口縁部磨きで、胴部磨きで、底部磨き後磨き。内面：磨き、内外口縁部に二次焼成。	ほぼ完形	12
167	H-14	高杯	②(14.0) ③1.4	細砂	良	橙	外面：環状、縦筋磨きで後縁方向の丁寧な磨き。内面：口縁部で後磨き、脚部磨きで後磨き。脚部に3ヶ所の穿孔孔。赤色塗彩。	環状～口縁部 1/4 残	12
168	H-14	器台	①10.2 ②11.2 ③9.3 ④中央1.3 脚1.5	細砂	良好	明赤褐色	内外面とも刷毛目後丁寧な磨き、赤色塗彩。穿孔孔3ヶ所、受部中心に1ヶ所。	完形	12
169	H-14	器台	①(10.4) ②10.5 ③10.5 ④中央1.3 脚1.3	細砂	良好	赤褐色	受部と脚部間に横溝で、内外面全体に丁寧な磨き、横溝付。内外面赤色塗彩。受部中央に1ヶ、脚部に3ヶの穿孔孔。遺存：ほぼ完形（口縁部一部欠片）	完形	12
170	H-14	鉢	①17.6 ②4.7 ③8.8	細砂	良好	橙	外面：彫削り後磨き、底部付近に彫削りが見られる。赤色塗彩。内面：磨きで丁寧な磨き、内外面同位置に内彫の焼成。	完形	13
171	H-14	石	②35.7 ③11.3 ④6.8 ⑤9680	-	-	-	砂の石 角閃石安山岩	完形	13
172	H-15	滑石製碧玉	①1.4 ②0.45 ③0.2 ④0.45	-	-	-	穿孔は陶師が行う。帯けり灰色	完形	13
173	H-15	小型壺	①9.2	細砂	良好	橙	有段口縁の1ニチュア。外面：磨き、口縁部磨きで。内面：口縁部刷毛目後一磨き。内外面に赤色塗彩。	口縁部 1/4 残	13
174	H-15	小型壺	①(9.2) ③8.3	細砂	やや軟	暗褐色	外面：磨り後磨き。内面：磨きで後磨き。口縁部磨き後磨きで。内外面二次焼成。	口縁部 1/4 残	13
175	H-15	脚台部	③(11.2)	砂粒	良好	鈍い黄褐色	外面：縦から接合部方向へ縦方向の彫削り後細かな刷毛目後磨きで。内面：磨きで。二次焼成。	台部 1/4 残	13
176	H-15	1ニチュア	②(3.6) ③5.3 胎土：粗、細砂混入		やや軟	鈍い橙褐色	頸部に段を持つ。外面刷毛目。内面：指捺で後磨き。	頸～底部 1/4 残	13
177	H-15	鉢	①(11.0) ②3.0 ④4.5	細砂	良好	黒褐色	体部は内傾しながら立ち上がり口縁部で外傾する。二次焼成。外面：磨削り後磨き。内面：磨き。	口～底部 1/4 残	13
178	H-15	鉢	①12.0 ②3.3 ③6.0	細砂	良好	明赤褐色	外面：磨削り後磨き、口縁部磨きで。二次焼成。内面：無で後磨き、口縁部丁寧な磨き。	完形	13
179	H-15	壺	①15.9 胎土：細砂と粗砂混入		良	明赤褐色	外面：口縁部から胴部上段に波状文（7-8単位）を施文。縦方向彫削り後僅か磨き。二次焼成。内面：口縁部刷毛目後磨きで後磨き、胴部磨き。	口～胴 1/4 残	13
180	H-15	壺	①(15.7) ③(19.1)	細砂	良好	黒褐色	内外面とも丁寧な磨き、口縁部磨きで、二次焼成。口縁部は「く」の字状に外反する。	口～胴 1/4 残	13
181	H-16	埴	②3.1	細砂	良好	鈍い黄褐色	胎体下半部。外面：刷毛目後磨き。二次焼成。内面：磨きで後磨き。	体～底部 1/4 残	13
182	H-16	器台	①8.2 ②11.3 ③7.7 ④1.2 中心1.4	細砂	良好	明赤褐色	外面は合指捺圧痕。受部：内外面同向。胴部：外面縦方向磨き、内面磨きで。内外面赤色塗彩。穿孔孔3ヶ所、受部中心に1ヶ所。	完形	13
183	H-16	鉢	①14.2 ③3.9 ④6.7 胎土：粗、砂粒を多量に含む	やや軟	橙	橙	外面：磨きで後磨き。二次焼成。内面：磨削り後磨きで後磨きに磨かれている。	完形	13
184	H-17	壺	①(25.2)	細砂	良好	明赤褐色	外面：口縁部横位の彫削り後磨き、縦から口縁は縦方向の彫削り後縦方向磨き。内面：刷毛目後磨き、スヤスヤ入成が口縁部に見られる。内厚な折り返し口縁。内面に炭化物付着。	口縁部 1/4 残	14
185	H-17	壺	②(10.0)	細砂	良好	淡褐色	外面：胴部磨削りの後縁方向の磨き。内面：磨きで磨きされる。底部は粘土土、接合部が残る。突出部のある平底。	1/4 残	14
186	H-17	壺	①16.0 ③19.0	砂粒	良好	鈍い黄褐色	外面：胴部刷毛目後磨き、横溝付。口縁部刷毛目後磨きで、2段の輪郭も微、指捺さえ有り。内面：胴部磨き磨き、口縁部磨き。	口～胴 1/4 残	14

法量: ①口径②底部全斜率最大径③頸部・接合部径④総径⑤高さ⑥幅⑦厚み⑧穿孔径⑨重さ (①-⑧はcm、⑨はg) ( )は規定値を表す

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	(実測)
187	H-18	壺	①(17.3) ②(6.6) ③19.5	細砂	良好	鈍い黄緑	外面: 頸部彫り後磨き、口縁部4段の輪縁のみ、指押さえ、撫で。内面: 彫り撫で後磨き。口縁部取られず。二次焼成跡少々。	片残	14
188	H-18	小型埴	①(10.4) ②2.5 ③6.2	細砂	良好	鈍い黄緑	外面: 右方向彫り後丁寧な磨き。二次焼成跡。内面: 磨き、口縁部撫で後磨き。僅か割れ。	ほぼ完形	14
189	H-18	甌台	①7.7 ②11.7 ③8.2 ④1.0 中心1.4	細砂	良好	黒	受部: 内外面撫で。腹部: 外面縦方向の彫り後磨き。内面撫で。裾部彫りに赤色塗彩。穿孔は千鳥状に2段、計9ヶ所、受部中心に1ヶ所。出土時受部と甌台接合部とが割れて検出された。	完形	14
190	H-19	甌	②4.0 ③1.7	細砂	良好	橙	外面: 体部撫で後丁寧な磨き。底部付近に指押さえ。赤色塗彩。内面: 撫で後不定方向の磨き。裾部彫りと思われる。	体部片残	14
191	H-19	鉢	①(14.6) ②4.0 ③6.5	細砂	良好	浅黄	外面: 口縁部撫で。体部彫り後磨き。内面: 口縁部撫で。胴部上半部磨き、下半部割れ。内外面一部赤色。	ほぼ完形	14
192	H-19	土製勾玉	①(3.1) ②1.5 ③1.5 ④6.36	細砂	良	黒	穿孔は一方から、距離3ヶ所。	片残	14
193	H-19	高杯	①(20.5)	細砂	良好	鈍い黄緑	外面: 口縁～体部丁寧な縦方向の磨き。口縁部に指押さえ。内面: 口縁～体部縦方向の磨き。部分的に赤色塗彩。杯は凸凹しなから大きく開く。	杯部片残	14
194	H-19	鉢	①(17.8)	細砂	良好	鈍い橙	外面: 口縁部撫で後磨き。体～底部は彫り後磨き。口辺部彫り残す。二次焼成跡。内面: 撫で後磨き。	片残	14
195	H-21b	手捏土器	①4.2 ②2.6 ③2.5	細砂	良好	鈍い黄	平底を呈し口径と高さの比がほぼ等しい。体部直立する。外面: 底部は丁寧な磨き。体部の一部に磨き。内面: 磨き後残す撫で。	ほぼ完形	15
196	H-21b	小型埴	④(4.0)	細砂	良好	鈍い黄	外面: 彫り後磨き。底部は平底で良く磨かれている。内面: 不定方向の磨き。内外面二次焼成跡。	底部のみ	15
197	H-21b	小型壺	②4.8 胎土: 砂粒、粗砂も僅かに混入	良好	橙	橙	平底の底部。胴部は内磨ししながら立ち上がる。外面: 丁寧な磨き。二次焼成跡。内面: 彫り後撫で。底部付近に指押さえ。	胴部下部～底部残	15
198	H-21b	ミニチュア	①(7.0) ②(3.4) ③6.0	細砂	良好	鈍い黒	口縁部輪縁のみ割れ。内面: 彫り。外面: 指押さえ残す磨き。二次焼成跡。底部彫り。	口～底部残	15
199	H-21b	小型壺	①3.5 ②7.5 ③4.5 胎土: 砂粒を多量に含む	やや軟	黄灰	黄灰	胴部は球形を呈す。外面: 彫り撫で。胴部から底部まで磨き。内面: 丁寧な磨き。底部未彫り。	片残	15
200	H-21b	高杯(脚部)	②7.0	細砂	良好	橙	外面: 頸部縦方向の磨き。内面: 胴部上位に指押さえ。横方向撫で。内外面とも赤色塗彩。	胴部片残	15
201	H-21b	高杯	①(21.5) ④5.5	細砂	良好	灰黄	外面: 口縁部刷毛による撫で。体部彫り後刷毛目後磨き。内面: 口縁部撫で後磨き。内外面二次焼成跡。	片残	15
202	H-21b	鉢	①13.3 ②4.7 ③5.8	粗砂 僅かに混入	良好	明緑	外面: 縦方向の彫り後横方向磨き。内面: 縦方向磨き。口縁部撫で。内外面焼付着。	ほぼ完形	15
203	H-21b	高杯	⑤(15.2) ⑥1.3	粗砂 混入	良好	赤橙	外面: 縦方向の彫り後丁寧な磨き。内面: 横方向の彫り後撫で。内外面部分的に赤色塗彩。穿孔3ヶ所。二次焼成跡。	台部片残	15
204	H-21b	甌台	①(20.8) ③1.2 中心1.4	粗砂 混入	やや軟	明赤黒	外面: 口縁部撫で。体部縦の磨き。裾部彫り後磨き。内面: 口縁～体部は横方向の磨き(部分的に撫で消し)内外面赤色塗彩。採付着。受部中央と受部に2段計14ヶ所の穿孔。	受部片残、台部片残	15
205	H-21b	高杯	①(8.5) ②(14.0) ③8.5 ④1.0 中心1.5	細砂	良好	明赤黒	外面: 受部、胴部ともに彫り後丁寧な磨き。内面: 受部、裾部磨き。受部接合部分は粗い。内内外面赤色塗彩。胴部に7ヶ所の穿孔が見られる。この位置から20ヶ所の穿孔が推測される。	杯部～脚部片残	15
206	H-21b	高杯	①(13.4) ②(13.8) ③11.8 ④0.9	砂粒	良好	橙	外面: 環部、胴部とも彫り後磨き。内面: 環部、裾部撫で後磨き。裾部撫で。穿孔は3段に施され上段3、中段5、下段6の計12個。内外面赤色塗彩。	ほぼ完形	15
207	H-21b	高杯	②10.6 ③1.0	細砂	良好	鈍い橙	外面: 彫り後磨き。内面: 撫で。穿孔3ヶ所。杯部: 磨き。胴部: 内面部分的に赤色塗彩。	台部のみ	15
208	H-21b	壺	⑤(9.8) 胎土: 砂粒多量に混入	良好	鈍い黄緑	鈍い黄緑	外面: 頸部彫り後磨き。胴部は撫で、折り返し部に指押さえが顕著。内外面赤色塗彩。	胴部、一線残	15
209	H-21b	埴	①(16.0) ②(4.2) 胎土: 僅か砂粒を含む、ほとんど細砂	良好	鈍い黄緑	鈍い黄緑	外面: 彫り後磨き。口縁部刷毛目後撫で。内面: 彫り後撫で後磨き。	片残	15

法量：①口縁②底縁③胴部最大径④頸部⑤接合部⑥断面⑦器高⑧長さ⑨幅⑩厚み⑪穿孔⑫重さ（①～⑭はcm、⑮はg（ ）は推定値を表す）

No	位置	器種	法量	胎土	構成	色調	特徴	遺存	実測
210	H-21b	台付甕	② (9.5)	細砂	良好	明赤褐	外面：縦方向の斜り接合部残痕で、台部残痕で。内面：撫で、底部は削がれ、胴下半部深付着。	胴下段～台部残	15
211	H-21b	台付甕	② (10.6)	砂粒	やや軟	鈍い黄褐色	外面：頸部始めの刷毛目。内面：撫痕で、底部に炭化物付着。胴部内外面赤色塗彩。	胴部残	15
212	H-21b	鉢	① 13.3	粗砂混入	良好	暗赤褐	口縁部短く外傾し、体部は球形を呈す。外面：口縁部に輪積み痕、施刷り刷毛目兼丁寧な磨き。内面：刷毛目残痕。内外面赤色塗彩。二次焼成痕。	口～胴 残	15
213	H-21b	甕	① 11.5 胎土：多量の細砂を含む	良好	黒褐	外面：胴上位刷毛目の痕で、口縁部2段の輪積み痕、指押さへ。内面：口縁部刷毛目後撫で、胴上位撫で、口唇端部は面取りされる。全体に煤付着。	口～胴 上位残	15	
214	H-21b	埴	① (12.6) ② (3.3) ③ 6.0	細砂	良好	橙	外面：横方向の斜り後縦方向磨き。赤色塗彩。二次焼成痕。内面：撫で、胴位方向の磨き。	ほぼ完形	15
215	H-21b	埴	① (9.0) ② (10.0)	細砂	良好	鈍い橙	胴部は原形し体部は球形を呈す。外面：施刷り丁寧な磨き、口縁部残痕で。二次焼成痕。内面：撫で、口～胴は磨き。	口～胴 残	15
216	H-21b	甕	② 7.0 ③ 24.0	粗砂	良	鈍い黄	外面：斜り後縦方向の刷毛目状の痕で、煤付着。内面：横位の撫痕で。	胴～底 部残	15
217	H-21b	小壺型	① 14.6 ② 5.0 ③ 11.7	細砂	良好	橙	「く」の字状に屈曲する単口縁。外面：口縁部は指押さへ後刷毛目、胴部は刷毛目後撫で、胴部施刷り、横部に磨き加減で。No.218に比べて検出される。内面：口縁部刷毛目後撫で、胴部施刷り後撫で。内外面赤色塗彩。	完形	16
218	H-21b	小壺型	① 9.8 ② 4.5 ③ 11.2	砂粒	良好	黒褐	外面：口縁部施刷り後撫な磨き、頸～胴部刷毛目後撫で。全体に煤付着。内面：口縁部以下半部は刷毛目後撫で、頸から胴上位は施刷り可辨。底部削がれ。No.218は土肉内に立ちNo.217が被った状態で検出された。	完形	16
219	H-21b	鉢	① (13.0)	細砂	良好	灰黄褐	外面：口縁部輪積み痕を残し指押さへを施す。胴部削り刷毛目後。二次焼成痕。内面：丁寧な磨き。	口～胴 残	16
220	H-21b	甕	① 16.5	砂粒	やや軟	黒褐	外面：胴部、頸部刷毛目、口縁部残痕で。炭化物付着。内面：胴部撫で、頸部刷毛目、口縁部削り刷毛目。	口～胴 上半部	16
221	H-21b	小壺型	② 4.0	細砂	良好	鈍い橙	外面：丁寧な磨き。内面：刷毛目状の痕で、底部は粗粒な撫で、胴部は球形を呈す。内外面赤色塗彩。	胴～底 残	16
222	H-21b	小壺型	① 9.8 ② 10.6 ③ 7.8	粗砂	良好	赤褐	外面：口縁部残痕で、頸部残痕で。胴部施刷り後撫な磨き。二次焼成痕。内面：撫痕で後撫な磨き。内外面赤色塗彩。	口～胴 残	16
223	H-21b	甕	② 3.0	砂粒	良好	赤	外面：縦方向の磨き。内面：撫痕で、頸部縦方向の磨き。胴部外側面に赤色塗彩。	胴部外 側残	16
224	H-21b	甕	② 4.1 ③ 12.8 ④ 6.7	砂粒	良好	鈍い橙	平底で胴部は球形を呈す。外面：胴部施刷り後不定方向の磨き。二次焼成痕部分的に赤色塗彩。内面：磨刷り残痕で。	口縁部 欠損	16
225	H-21b	小壺型	① (13.2)	細砂	良好	黄灰	外面：口縁部輪積み痕、指押さへ後上位撫痕で。胴部磨き。内面：施刷り後磨き。煤付着。	口～胴 上位残	16
226	H-21b	甕（底部）	② 8.2	粗砂 僅か混入	良好	明赤褐	外面：胴部は縦方向、底部付近は斜位の丁寧な磨き。赤色塗彩。二次焼成痕。内面：撫痕で後撫痕で。	残	16
227	H-21b	甕	① 18.2	細砂	良好	鈍い黄褐色	外面：斜り施し口縁撫で、頸部刷毛目、胴部～胴部上段（底→口方向）施刷り後磨き。二次焼成痕。内面：口縁部施刷り刷毛目後撫な磨き、頸部～胴部上半部刷毛目後撫痕で。	口～胴 残	16
228	H-21b	小壺型	① (13.6) ② (17.0) 胎土：多量の砂粒を含む	やや軟	橙	外面：施刷り後磨き。口縁部2段の輪積み痕、指押さへ、撫痕で。二次焼成痕。内面：撫で、口縁部磨き。	口～胴 下半部	16	
229	H-23	土玉	② 3.1 ③ 2.9 ④ 21.27	細砂	良好	黄褐色	表面は穿孔に対して横方向の丁寧な施刷り後磨き。	完形	17
230	H-23	甕	① 16.3 胎土：多量の細砂を含む	やや軟	鈍い黄褐色	外面：口縁部残痕で、頸部は刷毛目、煤付着。内面：口縁部施刷り後撫な磨き、胴部残痕で後撫な磨き。内外面赤色塗彩。	口～底 部残	17	
231	H-23	甕	① 13.6	細砂	良好	鈍い黄褐色	外面：口縁部に4段の輪積み痕、指押さへ後、胴部磨き。煤付着。内面：口縁部丁寧な磨き、胴部削り残痕で。	残	17
232	H-23	甕	① (14.3)	細砂	良好	暗赤褐	外面：口縁部撫で、頸部施撫で、胴部施刷り、刷毛目後撫で。内面：口縁丁寧な磨き、胴部に接合痕。胴部丁寧な磨き。内外面炭化物付着。	口～胴 残	17
233	H-24	鉢	① (23.7) ② 5.4 ③ 9.1	細砂	良好	暗赤褐	外面：施刷り刷毛目兼丁寧な磨き。内面：口縁部削り丁寧な磨き体～底部に削がれ。二次焼成痕。	胴部残	17
234	H-24	甕台	① 8.9 ② 12.3 ③ 10.8 ④ 1.3 中心1.5	細砂	良好	鈍い黄褐色	外面：施刷り後縦方向の磨き。内面：受部磨き、胴部撫で、穿孔3ヶ所を施刷り、受部中心に1ヶ所。二次焼成痕。	ほぼ完形	17

注量: ①口径②底径③胴部最大径④頸部・接合部径⑤喉径⑥器高の長さ⑦輪径⑧厚み⑨穿孔径⑩重さ (①～⑩はcm、⑪はg) ( )は推定値を表す

No	位置	器種	法 量	胎土	焼成	色調	特 徴	遺存 実測
235	H-25	甌台	①中心1.7	細砂	良好	橙	外面:磨き。内面:撫で。穿孔3ヶ所、受部中心に穿孔。	接合部のみ 17
236	H-25	小壺	②(6.0)	砂粒	良好	鈍い黄橙	底部付近のみ。外面:指押さえ磨き。内面:3~4mmの底による磨き。	底面 另様 17
237	H-25	鉢	①(15.0) 胎土:多量の砂粒混入		良	橙	外面:口縁部焼成で、刷毛目後部分的に磨き。内面:撫で。	口縁口縁のみ 17
238	H-26	土玉	⑦縦3.4 横3.4 ③0.3 ④0.3	細砂	良好	灰黄	表面は斜方向の磨き、穿孔は筒の下から上に棒状の工具を抜き取ったと思われる。	ほぼ完形 17
239	H-26	蓋	②(9.0) ③(26.6)	砂粒	良好	明赤橙	球を穿する蓋の割下半部。外面:刷毛目後丁寧な磨き。内面:撫で。内外面二次焼成。	割破線 17
240	H-29	埴	①15.4 ②3.7 ③8.8	僅かに粗砂混入	良好	橙	小さな平底から体部は半球形を呈し口縁部は直線的に大きく開く。外面:磨削り後磨き。二次焼成。内面:不定方向の磨き。内外面に赤色塗彩。	完形 17
241	H-29	高坏	①16.2 ②10.2 ④4.4 ⑤14.3 ⑥1.5	細砂	良好	鈍い黄橙	底部は半球形を呈し、深い体部は内彎しながら立ち上がり、口唇部で外反する。頸部は「ハ」の字状に開き上部で膨らみを持つ。体部内外面丁寧な磨き。頸部外磨き。内面撫で後粗い磨き。穿孔3ヶ所。内外面二次焼成。	完形 17
242	H-29	小壺	①5.5 ②3.0 ③5.1 ④6.8	細砂	良好	褐	平底、胴部は口徑より僅か張りを持ち頸部で「く」の字状を呈し口縁部は直線的に外反する。外面:丁寧な磨き。内面:丁寧な磨き割が有り。赤色塗彩。二次焼成。	完形 17
243	H-30a	甕	②4.8 ③14.6 ④9.4 胎土:多量に含む		やや軟	鈍い橙	底部はやや上底、胴部は球形を呈し口縁部は「く」の字状の頸部から直線的に外反する。外面:刷毛目後磨き。内面:刷毛目後で、内外面二次焼成。	口縁部欠損 17
244	H-30a	甕	①9.6 ②3.5 ③8.6 ④6.7 胎土:多量に含む		良好	黒用	底部は上底、胴部は半球形を呈し口縁部に最大径を持つ。外面:磨削り後磨き。二次焼成。内面:撫で後磨き。口縁部焼成。	口縁 18
245	H-30a	磁石	⑦(16.8) ⑧(13.0) ⑨(6.8) ⑩1760			-	粘灰質 2面使用痕有り。	3面欠損 18
246	D-53	鉢	①(17.0) ②4.5 ③6.5	砂粒	良好	鈍い黄橙	底部は上底。外面:磨削り後磨き。内面:口縁部焼成で磨き。内外面二次焼成。	口一底部 另様 18
247	D-53	壺	②5.5 ③6.6	砂粒を多量に含む	良好	黄橙	頸部は直線的に立ち口縁部は外反する。外面:頸部に印順R1、縦文施文。胴部一底部撫で後丁寧な磨き。内面:粘土帯の輪溝が最も顕著。刷毛目後撫で。割下半部に磨き孔、部分的に磨削されている。胴部は球形を呈し、頸部から頸部にかけて緩やかに立ち上がる。底部は僅かに上底意味。外面二次焼成。	另様 18
248	D-53	石皿	縦21.4 横20.0 ③12.2 ④5500			-	石皿状の皿あり。輝石角閃安山岩	一部欠損 18
249	D-103	甕	②9.0	砂粒	良好	褐	外面:丁寧な磨き。内面:底面撫で。しっかりした平底。椀付蓋。No.250と共に出土している。古墳時代の土坑と考えられる。	割下位一底面 18
250	D-103	深鉢	②6.8 ③16.2 胎土:多量に砂粒を含む		良好	明赤橙	縄文前期 No.249と共に出土した。	胴一底面 18
251	2E-19	高坏	②10.4 ③3.5 ④1.3 胎土:多量に砂粒を含む		良	橙	外面:磨削り後磨き。頸部に僅か刷毛目。内面:撫で。穿孔3ヶ所有り。	胴部のみ 18
252	1E-19	蓋	②4.2 ③13.8 胎土:多量の粗砂		良好	明赤橙	外面:磨削り後刷毛目、二次焼成。内面:刷毛目後磨き。内外面に赤色塗彩。	胴一底面 另様 18
253	2E-19	蓋	②4.4 ③10.5	微砂	良好	黄橙	外面:磨削り後磨き。二次焼成。内面:撫で後磨き。	胴一底面 18
254	1E-19	甕	①(14.2) ③11.1	砂粒	良	橙	外面:口縁部焼成で、頸部は緩やかなクシ目。赤色塗彩。内径1~1.5mmのクシ状工具による施文。	口一胴 另様 18
255	1E-19	三角錐型石罨	⑦13.9 ⑧7.5 ⑨6.3 ⑩660			-	黒色頁岩。3・4トレンチ付近出土	完形 18
256	1E-19	小壺	②(4.2) ③13.0	細砂	良好	明赤橙	外面:刷毛目後丁寧な磨き。内面:撫で後僅か刷毛目と磨き。底面撫で。	胴一底面 另様 19
257	1E-19	土製結縵車	②(5.6) ③1.9 ④1.9 胎土:多量に砂粒を含む		良好	鈍い褐	上面底面とも磨削り。	口縁 19
258	1E-19	蓋	②5.1 ③(13.3) 胎土:多量に砂粒を含む		良	黄橙	外面:磨削り後刷毛目。内面:刷毛目後一部磨き。内外面二次焼成。	胴一底面 另様 19
259	H-20	坏	①12.6 ②6.6 ③2.5	粗	普通	明赤橙	外面:口縁部焼成で、体部指押さえ後磨削り、底面磨削り。内面:磨削り。内外面共通く椀付蓋。	ほぼ完形 19

注：①口径②底径③胴部最大径④頸部・接合部径⑤喉径⑥高さ⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔径⑪重さ（①～⑧はcm、⑨はg（ ）は推定値を表す）

No	位置	器種	法 量	胎土	焼成	色調	特 徴	遺存	実測 図
260	H-20	環	①12.0 ②7.4 ③2.7	粗	普通	明赤褐色	外面：口縁部縁飾で、体部凹押し、底面凹削り。内面：無で。内外面とも腰書痕（内面腰書は大井、外面は井のみ）	完形	19
261	H-20	須恵器高台付甕	①(17.5) ②8.1 ③5.6	細砂	還元	灰白	高台を付した底部から大きく内押ししながら立ち上がる体部、口唇部で外反する。高台は貼り付け接合部縁で、潰れ掛けによる換飾。	口～底 残	19
262	H-20	高台付甕	①14.0 ②7.6 ③3.4	細砂	還元	灰白	底面は高台を付し体部は直線的で口唇部で外反する。貼り付け高台、接合部縁で。	口～底 残	19
263	H-20	環	①12.0 ②6.6 ③2.5	粗	普通	明赤褐色	外面：口縁部縁飾で、体部凹削り後部で、底面凹削り。横付書。内面：縁飾で、ひび割れ。内面底部に大井の名の墨書。	完形	19
264	H-21	甕	①20.6 ②(4.0) ③21.4 ④(27.1) 胎土：細砂を多量に含む		良好	明赤褐色	小さな平底から上位に膨らみをもって内押し一旦直立して外反する。口縁部は「コ」の字状を呈し胴上位に最大径を持ち平底は小さい。外面：胴下位縦方向、胴上位横割削り、口唇内外面縁で。	ほぼ完 形	19
265	H-21	須恵器環	①12.0 ②5.2 ③3.7	砂粒	やや軟	灰黄	底面は不安定な平底、外傾する体部、左回転糸切り未調整。ロット修整痕縁飾で。	完形	19
266	H-21	環(土師)	①11.6 ②7.2 ③3.7	細砂	良好	鈍い赤褐色	底面はやや丸底、体部は丸みを帯びて立ち上がり口唇部で外反する。外面：底面凹削り、口唇部縁飾で。内面：凹縁飾で。	ほぼ完 形	19
267	H-21	環(土師)	①12.0 ②7.3 ③3.2	砂粒	良	鈍い黄	底面は丸底、体部は内押し口唇部で外反する。外面：口唇部縁飾で、体部凹削り。内面：換飾で。	ほぼ完 形	19
268	H-21	環	①(11.9) ②(7.2) ③3.2	砂粒	良	褐	やや扁平な底面から体部は丸みを帯びて立ち上がり口唇部で外反する。外面：底面凹削り、口唇部縁飾で。内面：凹縁飾で。	残	19
269	H-21	甕	①12.0 ②13.5	砂粒	良好	暗赤褐色	口～頸部は「コ」の字状を呈し上位に最大径を持つ、頸部に強てによる横を持つ、胴上位凹削り、口縁部内外面縁で、胴部外面上位縁位の縦凹痕。外面二次焼成。	口～胴 残	19
270	H-22	環(土師)	①12.8 ②9.5 ③3.2	砂粒	良	褐	底面は扁平で体部は丸みを持って立ち上がり口唇部で僅か内傾する。外面：底面凹削り、二次焼成による割がれ、口縁部縁飾で。内面：換飾で。	完形	19

# 上横依遺跡 出土遺物観察表

法量：①口径②底径③胴部最大径④胴部⑤接合部径⑥胴部高さ⑦長さ⑧輪高⑨厚み⑩片厚⑪容量（①～⑭はcm、⑮はg（ ）は推定値を表す）

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	実測 図
271	J-1	深鉢	①21.1 ②9.7 ③20.5	細砂	良好	明赤褐	口縁は4稜位の波状口縁、胴部上位に輪孔有り。施土工具により横方向の磨き。	ほぼ完形	20
272	J-1	深鉢	②10.5	細砂	良好	明黄褐	底部の貼り付け切跡。早期RLの羽状縄文。	底面残	20
273	J-1	深鉢	③16.3	粗粒	良	明赤褐	深鉢型土器胴下半部。結節縄文。	胴下半	20
274	J-1	深鉢	①(12.4) ③11.4	細砂	良好	暗赤褐 等赤褐 内面赤褐	早期RLの羽状縄文。	口～胴上半部	20
275	J-1	深鉢	②(8.0) ③11.3	細砂	良好	暗赤褐	早期RL羽状縄文。	胴下半	20
276	J-1	小型の深鉢型土器	①(14.0) ③9.5 ④9.4	多量砂粒	良	暗赤褐	口縁部は外括し開き、胴部下半に磨みを持つ。RLの羽状縄文。	底部欠損	20
278	J-1	深鉢	①(15.0) ②9.4 ③16.3	砂粒	良好	暗赤褐	胴部上位に輪孔あり。平底の底部より直線的に開く深鉢型土器。明透LRの羽状縄文。	片残	20
303	J-2	口縁部	胎土：砂粒 焼成：良好 色調：暗赤褐				口唇部内外面に縄文施文。前期後半		22
309	J-2	胴部	胎土：多量の砂粒 焼成：良好 色調：鈍い黄褐				無文。胴下半部。前期後半		22
337	J-2	口縁部	胎土：砂粒 焼成：良 色調：暗褐				縄文施文。		23
338	J-2	胴部	胎土：砂粒 焼成：良 色調：鈍い黄褐				縄文。		23
369	J-2	石皿	⑦27.5 ⑧19.2 ⑨7.8 ⑩5900				表面に僅か窪状の窪み有り。石材：安山岩		26
282	C-8	注口土器	①6.7 ②7.0 ③11.5 ④(6.4) ⑤(10.6)	細砂	やや軟	淡黄	壺形土器。底部より底面端で安定性がある。把手（注口）はほぼ完形部分に欠損。口縁部丁寧な做で、胴部は割れあり。	ほぼ完形	21
283	EP-15-16土坑	深鉢	胎土：多量の砂粒を含む 焼成：良 色調：赤褐				縄文系丸底土器 RL。遺存：胴下半部 片残		21
284	EP-30	深鉢	②6.5	砂粒	良	明赤褐	胴部は直線的で底部は安定感のある平底。底部には木葉模が映る。外面文様はなく、内面不定方向の縄文で。遺存：底辺のみ残		21
285	EP-15-16土坑	深鉢	①(21.5) ③24.0	多量の砂粒	良	赤褐	底部は丸底で胴部は直線的で口縁部に至る。細線を含む。底面は黄褐色を呈する事から中に刺して使用した事が考えられる。羽状縄文系土器。口縁部付近に灰化物の付着。内面は割れが見られ黒灰色を呈す。RLの縄文。縄文時代早期。		21
286	C-8	深鉢口縁	①(32.9)	砂粒	良好	鈍い黄褐	口唇部に一条の波線を巡らし円形刺突文が数箇所刻されている。口縁部無文。		21
287	M-13	鉢	②(7.4) 胎土：白色砂粒を多量に含む 焼成：良 色調：明黄褐				表面は無文。内外面には所々指頭圧痕あり。器口が厚く重量感がある。底面は直線部。		21
288	EP-15	深鉢底部	②5.1	砂粒	良好	灰黄褐	底面縄文。胴部下位無文。後期 遺存：胴下半部～底部 片残		21
289	2E-18	深鉢底部	②11.2	粗粒	良	明褐	輪郭の胴部と平底の接合。内外深細かい磨いで整形。底面縄文。前期後半		21
290	EW-14	底部	胎土：砂粒 焼成：良好 色調：明赤褐				地文に縄文施文。胎土に繊維を含む。丸底土器。早期後半		22
291	EP-18	深鉢底部	胎土：粗砂粒混入 焼成：良 色調：明赤褐				地文にLRの縄文施文。胎土に繊維を含む。内面黒色。胴下半部丸底土器と思われる。早期後半。		22
292	C-8	鉢の胴部	胎土：多量の砂粒 焼成：良 色調：褐				縄文。早期		22
293	C-8	口縁部	胎土：粗砂粒混入 焼成：良好 色調：赤褐				外括する口縁部無文。前期		22
294	1E-18	胴上半部	胎土：細粒 焼成：良好 色調：褐				平行波線。縄文。前期		22
295	1E-18	胴上半部	胎土：砂粒 焼成：良 色調：褐				半截竹管による平行波線と地文に細かな縄文施文。前期		22
296	LK-30	胴上半部	胎土：砂粒 焼成：良好 色調：暗褐				平行波線+刺突文。前期前半		22
297	M-4	深鉢	胎土：砂粒 焼成：良好 色調：明赤褐				口縁～胴部 半截竹管を45°程度に差し込み、えぐって施文。腹は貝殻模線文+沈線。前期後半		22
298	EO-11	口縁部	胎土：砂粒 焼成：良好 色調：褐				地文に縄文を施し、沈線と円形刺突文を施文。前期後半		22
299	1E-18	口縁部	胎土：砂粒 焼成：良好 色調：暗赤褐				平行波線 地文は縄文を施す。前期後半		22
300	EX-5	口縁部	胎土：砂粒 焼成：良好 色調：赤褐				口唇部波状の平行波線に連続爪形文。地文に縄文、円形刺突文。前期後半		22
301	EO-18	口縁部	胎土：細砂 焼成：良 色調：鈍い褐				半截竹管による連続爪形文、地文に縄文。前期後半		22
302	EO-12	口縁部	胎土：砂粒 焼成：良好 色調：赤褐				縄文。前期後半		22
304	1E-18	胴部	胎土：砂粒 焼成：良好 色調：暗褐				平行波線、地文に縄文を併し平行波線を加える。前期後半		22
305	EO-15	口縁部	胎土：細砂 焼成：良好 色調：オリブ褐				口縁部無文帯。縄文。前期後半		22
306	EP-11	底部	胎土：砂粒 焼成：良好 色調：暗赤褐				縄文施文。前期後半		22

法量: ①口徑②底徑③胴部最大徑④頸部・接合部⑤喉徑⑥器高⑦長さ⑧軸⑨厚み⑩穿孔径⑪重さ (①～⑧はcm、⑨⑩はg) は推定値を表す

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	実測図
307	EF-10	底部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 黄褐				LRの縄文施文。前期後半。	22	
308	EF-10	底部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 褐				縄文。前期後半。	22	
310	EF-11	胴部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 暗赤褐				胴部に半截竹管による横位と縦位の平行沈線・竹管文。地文に縄文。前期後半	22	
311	1E-18	胴部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 赤褐				半截竹管で斜交+平行沈線と竹管による円形刻文を施文。地文に縄文。前期後半	22	
312	1E-18	胴上半部	胎土: 多量の砂粒 焼成: 良 色調: 明赤褐				縄文+刻目を持つ厚線文。前期後半	22	
313	1E-18	胴上半部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 鈍い黄橙				縄文+刻目を持つ厚線文。前期後半	22	
314	2P-15	口縁部	胎土: 粗砂粒混入 焼成: 良好 色調: 暗褐				口縁部は無文帯、縁飾が施される。前期後半	22	
315	EF-15	胴部	胎土: 粗砂粒混入 焼成: 良好 色調: 赤褐				集合沈線。前期後半	22	
316	DQ-17	口縁部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 暗褐				縄文を地文とし2条の隆帯に押圧を施す。中期	22	
317	FF-16	口縁部	胎土: 粗粒 焼成: 良好 色調: 黄褐				沈線と1条の隆帯に情門形の押圧を施す。中期	22	
318	FC-16	口縁部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 暗褐				口縁部に刻目の押圧。胴部縄文。中期	23	
319	FE-21	胴上半部	胎土: 砂粒 焼成: やや軟 色調: 鈍い黄橙				沈線+彫文。中期	23	
320	FL-15	口縁部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 赤褐				外面は2条の隆帯に押圧を施す。内面にも1条の沈線。中期	23	
321	KF-30	胴上半部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 鈍い黄橙				横位と情門の隆帯等+縄文。内面着色。中期末	23	
322	KF-30	口縁部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 鈍い黄橙				内面する口縁部 口縁部隆位の隆帯等+縄文。中期末	23	
323	1E-18	胴上半部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 灰黄				沈線+彫文 両色文。後期	23	
324	EM-22	口縁部	胎土: 多量の砂粒 焼成: 良好 色調: 淡黄				横い隆帯に刻目。沈線による区画内に縄文を施す。後期	23	
325	C-8	口縁部	胎土: 細砂 焼成: 良好 色調: 灰オリーブ				内面平行沈線と内側面の字子。外面張り付けり、輪郭孔。後期	23	
326	M-5	口縁部	胎土: 細砂 焼成: 良好 色調: 鈍い黄				内面口唇部に沈線で縦溝状を呈し平行沈線と刻文を施し、外面口唇部に凹彫文を施す。後期	23	
327	EY-11	口縁部	胎土: 細砂 焼成: 良好 色調: 鈍い黄				口縁部内面に平行沈線と穿孔あり。外面無文。後期	23	
328	EO-17	口縁部	胎土: 細砂 焼成: 良好 色調: 淡黄				口唇部は縦溝状を呈し内面に4条の沈線を施す。後期	23	
329	M-4	深鉢	胎土: 粗砂混入 焼成: 良好 色調: 明褐				口縁一部 口唇部連続刻目+彫形刻文の跡あり。口縁部沈線に平行連続刻目が入る。後期	23	
330	EM-13	深鉢	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 明褐				口唇部に刻目。沈線間に刻文を浅く残した部分と磨消した部分とがある。口縁部に突起貼り付け。後期	23	
331	KO-40	口縁部	胎土: 粗砂混入 焼成: 良好 色調: 黄				横位沈線+縄文。後期	23	
332	EY-16	胴上半部	胎土: 多量の砂粒 焼成: 良好 色調: 鈍い黄褐				口縁部には無文帯下に沈線施し胴部にかけて斜格子状に施す。内面黒色。後期	23	
333	EX-9	口縁部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 鈍い黄				口唇部に刻目。柱状粘土の貼り合わせ。後期	20	
334	KE-40	口縁部	胎土: 粗砂 焼成: 良好 色調: 黒褐				刻目+沈線間に光沢縄文。後期	23	
335	FA-3	底部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 鈍い黄褐				底に磨目文。後期	23	
336	EX-16	口縁部	胎土: 砂粒 焼成: 良好 色調: 暗オリーブ褐				口縁部は無文。僅な墨染文。	23	
339	M-5	胴上半部	胎土: 砂粒 焼成: 良 色調: 鈍い黄褐				墨染赤弧文+縄文。弥生後期	23	
413	C-8	蓋	①(20.0) ③19.8 ④8.2 ⑤21.5 ⑥4.0	細砂	良好	鈍い黄	庵合口縁で接合痕を残す。頸部は直立筒状で口唇部は面取りされる。外面: 口唇部刷毛目状隆帯で、口縁部から頸部は縦及び斜位の刷毛目。段の所は横方向の刷毛目。接合部は縦位と不定方向の刷毛目、胴下半部は僅かに刷毛目が見られる程の無で調整。内面: 口縁部隆及び斜位の刷毛目、胴部は隆帯で後飾が見られる。底面穿孔は焼成痕。	1/4残	29
414	C-8	埴	①(15.2) ③19.8 ④8.3 ⑤23.2 ⑥4.6	刷毛目 僅か 含む	酸化 良好	黄	口縁は緩やかに内傾しながら立ち上がる。頸部から胴部にはほぼ球形を呈す。頸部と胴部に接合痕が見られる。内外面口縁部上位角方向隆帯で、下半部は僅かに刷毛目が見られる。胴部下位一底面磨り後飾。内面: 胴部一底面隆帯。外面赤色塗彩あり。	1/4残	29
415	C-8	蓋(土師)	①(14.8) ③22.6 ④(9.4)	胎土: 粗砂多量に混入	良好	鈍い黄	折り返し口縁で胴部は球形を呈す。外面: 胴部刷毛目状隆帯による刷毛目後了事な隆帯。胴部隆帯付着。内面: 口縁部隆帯磨き。頸部内面入り。胴部隆帯で。	1/4残	29
416	C-8	蓋(土師)	③(3.7)	細砂	酸化	明赤褐	胴部は球形を呈し、底部に穿孔を持つ。外面: 刷毛目後飾磨り。赤色塗彩。内面: 隆帯で。底部穿孔周辺に僅かな凹出が見られる。	底面1/4残	29

注量：①口径②底径③胴部最大径④頸部・接合部径⑤胴部径⑥高さ⑦幅⑧厚み⑨穿孔径⑩重さ（①～⑧はcm、⑨⑩はg）は推定値を表す

No	位置	器種	法 量	胎土	焼成	色調	特 徴	遺存	表割
417	C-8	壺	①20.2 ④(8.3)	細砂混入	良好	鈍い黄	口縁部は段を有し、頸部は直立型味で胴部は球形を呈するものと思われる。内面：口縁～頸部に横並びの刷毛目、上半部は横で、外面：口唇部横線で、口縁部～頸部と胴上半部は縦の刷毛目。	口縁部のみ	29
418	C-8	壺(土師)	②(5.3) ③17.6 ④(3.8)	細砂	良好	明赤褐	胴部は球形を呈す。胴部上半部に刷毛目横線で、胴下半部内面に磨削り横線で、穿孔横線あり。	胴下半部	29
419	C-8	壺(土師)	④3.5	細砂多量混入	良好	明赤褐	胴部は張りを持ち球形を呈す。突出した底部に穿孔有り。外面：胴～底部刷毛目横線あり。非色塗。内面：胴部不定方向刷毛目。	底部1/4残	29
420	C-8	壺(土師)	①11.6 ②6.6 ③17.9	粗砂混入	良好	明赤褐	不安定な平底。胴部は球形をなし内側に肩部に横を持つ。口縁部上半で外反する。外面：磨削り、口縁部横線で、内面：横で。	ほぼ完整	29
421	C-8	壺(土師)	③(20.4) ④(3.4)	砂粒	良	鈍い黄緑	胴部は球形で張りを持つ。底部に穿孔有り。外面：胴部中間刷毛目横で、下半部刷毛目横線あり。内面：胴部中間横線で、下位頸部刷毛目有り。	胴部1/4残	29
422	C-8	壺(土師)	③(18.4) ④(8.6)	細砂	良好	明焼	頸部は直立型味に立ち上がる。胴部は球形を呈す。外面：刷毛目横線あり。内面：横線で、頸部に横並びの刷毛目。	頸～胴1/4残	29
423	C-8	器台(土師)	④(5.6) ⑤15.3 ⑥3.8	細砂	良好	鈍い黄	脚台部は直線的に開き、端部に凹凸あり。(漬物器のスカシ窓を持つ茶碗の模倣か)スカシ窓4ヶ所。外面：器台上位粗かな磨削り、中間横線で、下位横線の刷毛目横で、内面：丁寧な刷毛目整形。褐色塗。	脚部1/4残	30
424	C-8	壺(土師)	①17.4	細砂	良好	褐	口縁部は大きく外反する有段複合口縁。外面：上段縦方向の刷毛目整形、口唇部は横線で、下段は横線で縦線方向の刷毛目。内面：横並び斜位の刷毛目、口唇部横線で。	口縁部のみ残	30
425	C-8	壺(土師)	①(20.7) ④10.0	細砂	良好	明焼	口縁部は大きく外反する有段複合口縁で、頸部は直立型味に立ち上がる。外面：口唇部横線で、口唇部斜位の刷毛目、頸部刷毛目横線あり。内面：口唇部横線で、口縁部斜位の刷毛目、頸部刷毛目横線あり。赤褐色。	口縁部1/4残	30
426	C-8	壺(土師)	①11.6 ②5.0 ③12.3 ④10.5 ⑤12.9	砂粒	やや軟	鈍い黄緑	口縁部に1段の輪縁あり。面取り、胴部は球形を呈す。外面：胴部上段に刷毛目、胴部下段は刷毛目磨削り。内面：口縁部刷毛目、頸から底部は横線。底部は未調整。	1/4残	30
427	C-8	器台(土師)	④2.6 ⑤(10.5) ⑥1.1	細砂多量	良	明焼	底部で広がった上段3ヶ所、下段3ヶ所の穿孔有り。内外面刷毛目横線で、頸部斜位から縦方向刷毛目。	胴部のみ残	30
428	C-8	壺	①(19.0) ④(7.8)	細砂	良好	鈍い赤褐	複合口縁で頸部は直立型味で面取り磨削目を施す。外面：刷毛目横線あり、横線でよりほとんと刷毛目を消す。内面：口縁部は縦方向の刷毛目横線で消し、頸部は長く横でられている。	口縁部1/4残	30
429	C-8	壺	①(12.2) ④(10.4)	細砂混入	良好	淡黄緑	単口辺で面取り、胴部は球形を呈するものと思われる。外面：頸部縦位刷毛、胴部不定方向の刷毛目横線丁寧な横で、内面：横線で。	口～胴上半部	30
430	C-8	壺(土師)	②5.4	細砂	良好	淡黄緑	平底。胴部は球形で底部穿孔土型と同じ張りを持つ。外面：刷毛目横線で、底部磨削り。内面：横線で横で、縦線ありと底部接合部有り。	胴下半部～底部残	30
431	C-8	坏(土師)	①(12.0) ②9.0 ③3.1	砂粒	良	鈍い黄	平底。体部は縦やかに内傾し、口唇部で内傾する。口唇部横線で、外面：体部面取りさき、体～底部磨削り。内面：横で。	1/4残	30
432	C-8	坏(土師)	①(12.8) ②(8.3)	多量の細砂	良	褐	底部はほぼ平底。口縁部は外反し体部は鈍い丸を持つ。外面：口縁部横線で、体部面取り、底部磨削り。	1/4残	30
433	C-8	坏(土師)	①(14.5) ②3.7	細砂	良好	褐	底部は不安定な平底で体部は縦やかに内傾し口縁部で外傾し口唇部で立つ。外面：底～底部磨削り。内面：横で。	1/4残	30
434	C-8	壺(土師)	②4.1	細砂多量混入	やや軟	黄褐	平底。胴部は球形で底部穿孔土型と同じ張りを持つ。黒斑あり。外面：磨削り。内面：磨削り横線あり。	胴下半部～底部残	30
435	C-8	甕(土師)	①14.8 ②7.5 ③5.0	粗砂混入	良	灰	高台は断面台形を呈す。体部は縦やかに内傾し口縁部で外反する。内外面体部がコの字型。底部磨削り。内外面：底物付により黒色を呈す。	1/4残	30
436	C-8	甕(土師)	①(14.8) ②7.3 ③4.4	細砂	良	灰	高台は断面台形を呈す。体部は縦やかに内傾し口縁部で外反する。内外面体部がコの字型。底部磨削り。内外面：底物付により黒色を呈す。	1/4残	30

法量：①口径②底径③胴部最大径④頸部・接合部径⑤胴径⑥器高⑦長さ⑧輪廻厚⑨穿孔径⑩重さ（①～⑧はcm、⑨⑩はg）は推定値を表す

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	実測 図	
437	C-8	甗(土師質)	①(14.5) ②7.3 ③4.6	粗砂 混入	やや 軟	暗灰黄	底～口縁部に傾かって直線的に開く高台付。底部は断面形状で向く外傾する。体部は縦やかに彎曲し口縁部で外反する。口縁部整形、付合、回転糸切り、炭化物の付着により黒色を呈す。	片破	30	
438	C-8	鉢	①(19.4) ②(7.0) ③9.0	細砂	良好	鈍い黄	口縁部は僅かに外反し、体部は直線的に開く、底部はほぼ平底を呈す。外面：口縁部は丁寧な輪で、体部は鈍な輪で、体下半部から底部は削削り。内面：全体に丁寧な輪で、炭化物の付着が著しい。(接合にならなかつた同一面体と思われる部分では炭化物の盛り上がりが見られる)	片破	30	
439	C-18	甗(土師)	②5.8 ③4.5		砂粒	酸化	胴下部に盛りを持ち球形を呈す。底部は平底で穿孔がある。外面：胴部明毛目後傾位の輪で、底部傾斜。内面：明毛目後傾。	胴下半部 片破	30	
440	C-18	甗(土師)	①(12.2) ②5.0 ③12.6 ④9.8 ⑤11.7	粗砂 混入	やや 軟	鈍い黄	口縁部は外反し胴中央部に最大径を有す。底部は傾斜した上唇、蓋着き。胴部下位付り。内面は横及び外傾は鈍い明毛目。	片破	31	
441	C-18	甗(土師)	③(17.0)	粗砂 多量 混入		良	明赤褐	胴部は球形を呈す。外面：胴部上位細かな明毛目、胴部中位クランク目。内面：横及び傾位の輪で、一部明毛目有り。	胴部片 破	31
442	C-18	手捏土器 (土師)	②3.4	細砂	良	明赤褐	平底を呈し、口縁部は整形されず器内は厚い。	片破	31	
443	C-26	高坏部 (土師)	④(3.0)	粗砂 多量 混入	良好	明赤褐	坏部の底部が一層になる。外面：横上蓋部付り後傾。内面：横方向削削り後傾で、同じ高さの穿孔有り。	接合部 のみ	31	
445	M-3	長頸甗 (須恵)	②9.7 ③18.5 ④5.9	細砂	良好	オリーブ 灰	頸部より胴部にやや張りを持ち、沈線3条残す。外面：口縁部横方向削削り後傾、胴部削削り後傾。底部削削り後高台貼り付けの為の2～3条の沈線は付合後傾。内面：頸部・胴部・底部3ヶ所の接合部明毛目。縦な横方向傾で、下位指押さえ。	片破	31	
446	M-4	坏(土師)	①11.6 ④4.4	粗か 粗砂 混入	良好	橙	底部は丸底。体部は縦やかに内湾し口縁部との境に接を持つ。口縁部は外反しながら立つ。内外面尖角位の輪で。外面：体～底部削削り。陥形に重みを持つ。	完形	31	
447	M-4	坏(土師)	①12.3 ④4.2	粗か 粗砂 混入	良好	橙	底部は丸底。口縁部は縦やかに外反し、横を有す。胴部横傾。外面：体部削削り。内面：削削り。	ほぼ完 形	31	
448	M-4	坏(土師)	①12.0 ④4.5	砂粒	良好	黒黒	底部は丸底。体部は扁平で口縁部は内湾傾斜に立つ。口縁部横傾。外面：体部削削り。内面：削削り。	完形	31	
449	M-4	甗	①13.6 ②6.9	細砂	良好	鈍い黄 橙	口唇部は僅かに内傾し、先端は丸形を持つ。体～底部は丸形を持つ。外面：横方向削削り後傾。内面：丁寧な丸で。口縁部から1.6cmに横い沈線有り。	片破	31	
450	M-4	瓊瓶(須恵)	①(10.7) ②22.2 ③6.5 ④26.2	粗砂 混入	良好	青灰	胴部に穴を穿孔し口縁部接合。胴部上位削削り後傾。把手を持つ。胴表面に凹むを伴う明毛目。胴表面は凹削削り。	片破	31	
451	M-4	長頸甗 (須恵)	①9.8 ②8.2 ③17.8 ④4.5 ⑤23.2	細砂	良好	緑灰	長い頸部はラッパ状を呈し、頸部上唇及び下半に2条1単位の沈線。その間に黒斑文。口唇部で僅かに内傾する。胴部に盛りを持ち底部に至る。胴部と胴部上位に1条の沈線。その間を黒斑文で充満する。外面：胴部下位～底部に削削り、平底。内面：横傾。	ほぼ完 形	31	
452	M-4	甗(土師)	①14.2 ②6.0 ③18.8 ④11.7 ⑤22.2	砂粒	良好	黄橙	底部は不安定な平底。胴部は丸形を持ち頸部に傾く傾を持つ。口縁部は外反する。外面：口～頸部は横傾で、胴部削削り後不方向の輪着き。内面：口～胴部横傾で、胴部は横傾で、削削り有り。	ほぼ完 形	31	
453	M-4	フラスコ 長頸甗 (須恵)	①8.0 ②22.4	細砂	良好	青灰	球形の胴部完成後中央部に口縁部を接合。口唇部は2段傾成を呈す。中央部に沈線2条。焼成時上面に自然熱。	ほぼ完 形	31	
454	M-4	平底	①(8.0) ②8.0 ③18.3 ④4.9 ⑤17.9	細砂	還元	時オリーブ 灰	底部は天井部、胴部削削りに穴を穿孔し口縁部を接合する。口唇部をつまみだし、漏斗状を呈す口縁部は有口縁部を持つ。胴部下位から底部へ削削り後傾。天井部から胴部に緑色自然熱。内面：天井部には本来胴部の付くべき後が見られ底部は接合有り。	ほぼ完 形	31	
455	M-4	瓊瓶(須恵)	①6.9 ③18.4	砂粒	還元	青灰	扁平な胴部完成後中央に口縁部接合。成形時の底部～天井部まで口縁部整形による明毛目文を呈す。水筒型土師。口縁部に1条の沈線有り。	完形	32	
456	M-4	高坏(須恵)	①11.6 ②10.2 ③14.5	砂粒	還元	暗青灰	坏部は体部に2条の沈線を送らせ、蓋んで内湾傾斜の口縁部。胴部はラッパ状に開き傾部で削削る。胴部中位と底部に沈線有り。	完形	32	

法量：①口径②底径③胴部最大径④頸部・接合部径⑤解径⑥高さ⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔径⑪重さ（①～⑧はcm、⑨⑩はg（）は推定値を表す）

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	実測 図
457	M-4	長頸壺 (須恵)	② (14.5) ④ (6.9)	細砂	良好	暗青灰 (内面施 色)	底部に比較的高い高台を付す。太めの頸部が同一個体と思われ。外面：横方向の刷毛目。内面：輪指の痕を残す。頸部は丁寧な造り。	口縁部と胴部 欠損	32
554	M-4	大型壺 (須恵)	①24.8 ③48.2 ④17.7 残存高62.0cm	粗砂 混入	良好	青灰	口縁部は外反し、胴部は緩やかに内彎する。胴部は長筒型を呈す。胴部上位に廻らみを持つ。外面：口縁部は縁帯をなし1条の沈線がまわり7～8mm幅の襷織文を有す。頸部には2条の沈線とその下に波状文を施す。胴部全体に平行叩き目痕跡～胴中に横位のクシ痕で。内面：口縁部刷毛目で、胴部内面に叩き目文。	口縁部 34	34
611	M-5	環(土師)	① (13.6) 胎土：暗赤褐色砂粒を含む		良好	赤褐	底部は大底。体部は緩やかに内彎し縁を持つ。直立気味の口縁部は口唇部で取り除かれる。外面：体～底縁部刷り。内面：横位の痕。	口縁部 38	38
612	M-5	高環部	④3.9 ⑤9.6		良好	明赤褐	脚柱部は細く円筒台形状で、胴部はカップ状に開く。短縮部は外側へ。内外面とも丁寧な造りで。内面：脚柱上部に絞り目、環部の底も無地で、赤色塗装。	脚部 38	38
613	M-5	壺(土師)	②4.5		良好	やや 黄 褐	体部は球形と見られる。底部に上底。外面：体部、底部刷毛目で。内面：底縁部刷り後無地。	口縁部 38	38
614	M-5	環(土師)	① (12.8) ⑤4.6		良好	赤褐	底部は大底。体部は緩やかに内彎し縁を持つ。口縁部は直立気味に外反する。外面：口縁部刷毛目で。体～底縁部刷り。内面：無地。	口縁部 38	38
615	M-5	環(須恵)	① (14.0) ② (5.3) ③ (3.7)		良好	還元 灰褐	底部は大底。体部は直線的に開き縁を持つ。口縁部は外反する。内外面口縁～体部刷毛目で。底縁部刷り。	口縁部 38	38
616	M-5	高環(須恵)	① (10.6) ④2.7 ⑤9.1 ⑥12.0		良好	灰	環部は直立に近い口縁。体部に2条の凸線を通り短縮部波状の文様帯。脚部は「ハ」の字形に外反し脚部を思わせる。4方向に長三角形のスキャン有り。外面：環部、底部刷り。	環部 口縁部 38	38
617	M-5	横瓶(須恵)	③19.5 ④8.2		良好	灰オリーブ	頸部に凸部帯を。頸部から外傾する。体部は波状に横に傾る。外面：体部平行叩き目。自然釉付着。内面：同心円叩き目、頸部接合部。頸～体部下底方向に向かって3cm程度の凹みで覆り消し。	口縁部 38	38
618	M-5	高環	④4.2 ⑤11.0		良好	明赤褐	胴上半部は緩く膨らみ、接合部は厚みを持ち、胴中位から頸部は均一な厚みで水平気味に開く。外面：底縁部刷り。内面：環の底は無地で、脚柱接合部磨りさへ、その他は刷毛目後無地。	脚部 38	38
619	M-5	高環(土師)	① (18.2) ③ (3.4) ⑤12.6 ⑥ (12.3)		良好	赤褐	口縁部直線的に大きく開く。短縮部と環で緩く膨らみを持ち、頸部は直線的に水平に開く。環部と脚部の接点なし。内外面とも環部、頸部丁寧な造り。	ほぼ完 形	38
620	M-5	規瓶(須恵)	② (26.6) ③7.6		良好	暗青灰	把手の割れが確認出来る。胴部～底部クシ工具による痕で。内面：胴部時の指あと痕認め。胴部接合部で、天井部を磨き跡。胴部中央に絞り痕を残す。側面に円を穿ち口縁部を接合。自然釉付着。	口縁部 38	38
621	M-5	大型壺 (須恵)	①25.8 ③43.2 ④17.2 胎土：多量の砂粒を含む		良好	黒褐	口縁部は外反し口唇部は幅15mmの縁帯を持つ。口縁部中位に2条の沈線がまわり、その上下に波状文が施されている。外面：平行叩き目文。部分的に消し跡認め。内面：平行叩き目痕跡有り。約半分が割れ。底縁部帯は短縮部帯有り。	口縁部 38	38
624	M-9	壺(須恵)	① (14.6) ④12.0		良好	暗青灰	なだらかな頸部から外傾する口縁。口唇部で直立する。内外面無地。外面：平行叩き目文。内面：同心円叩き目文。	口縁部 部分欠 損	40
625	M-11	環(土師)	① (11.2) ③3.9		良好	黒褐	扁平な丸底で口縁部は僅かに内彎しながら立ち口唇部で外反する。口縁部刷毛目で。外面：底縁部刷り。僅か割れが見られる。内面：無地。	ほぼ完 形	40
626	M-11	高環(須恵)	① (12.1) ④2.9		良好	青灰	胴の基部は細く長方形のスキャンが4方向に見られる。内外面回刷毛目後無地で調整。頸部は欠損。	口縁部 38	38
631	M-11	壺(土師)	①21.5 ③ (32.9) ④ (16.2) 胎土：細砂を多量を含む		良好	明灰	口縁部は「く」の字形に外反し頸部に縁を持つ。頸部は膨らみ胴中位に最大径を持つものと思われる。口縁部内外面横溝で。外面：胴部刷毛目、頸部にクシ目。内面：無地で後部分的に刷毛目有り。	胴部下 半欠損	40
632	M-12	環(土師)	①10.5 ③3.3		良好	橙	底部は大底。体部は緩やかに内彎し口縁部は直立する。口縁部刷毛目で。外面：体～底縁部刷り。内面：体直造り。	ほぼ完 形	40
633	M-13	中型壺 (須恵)	① (22.5) ④ (18.3)		良好	還元 且 灰	口縁部は外反し口唇部で縁帯状を呈す。自然釉付着。内外面口縁部刷毛目で。外面：刷毛目整形。内面：同心円叩き目文。	口～胴 部一 部 損	40

注量：①口縁②底径③胴部最大径④頸部・接合部径⑤輪径⑥高さの比⑦口縁厚み⑧穿孔径⑨置き（①～⑧はcm、⑨はg（ ）は推定値を表す）

No	位置	器種	法 量	胎土	焼成	色調	特 徴	遺存 実測 図
634	M-13	大型甕	③ (37.5)	細砂	良好	灰	胴部破片。外面：平行卵き目文。内面：同心円文。	胴下部 40
635	M-13	台付甕	② (11.7) ③ (22.0)	細砂	良好	灰オリ ープ	口～胴部欠損。胴部に2条以上の沈線を描す。胴部は丸みを持つ。中央部にコロボ整形。貼付高台部は「ハ」の字状に開くものと思われる。	胴下部 40
636	M-13	フラスコ型 須恵 (須恵)	①10.3 ③ (19.4) ④4.4 ⑤25.4	細砂	良好	灰オリ ープ	口縁部は成焼時胴部中央に接合。口唇部は2段構成を呈す。中央部に沈線2条。外面卵き目文。自然釉付着。表側に同心円状の節目横文、胴部全体に平行卵き目文。胴部に重ね焼き痕。	胴残 40
637	M-13	長塚壺 (須恵)	①7.8 ②16.2 ③5.1 ④24.3	細砂	良好	灰オリ ープ	口唇部は基部細く緩やかに外反し上部に1条の沈線。口縁部は丸い。胴部にやや張りをもつ。底部に短い脚を付す。外面：体部下位部は縦割り後焼成で、自然釉付着。底部に重ね焼き痕有り。	胴残 41
638	M-13	高坏	①12.0 ②2.9 ③10.4 ④12.1 色調：胴部-オリープ灰	砂粒	良好	坏部- 青黒	体部は丸みを持って立ち上がり口縁部は外傾し口唇部は丸く仕上げられている。胴部はラッパ状に開き比較的長い。胴部は下方へ黒曲させ段をなす。内外面丁寧な磨成で、自然釉。	ほぼ完 形
639	M-13	罎	①10.2 ③3.6	細砂	良好	灰	口縁部の立ち上がりは細く短縮は丸く仕上げられ胴部も長い。底部は凹形縦割りで調整。自然釉でも施すが積み上げ痕有り。	完形 41
640	M-13	平瓶 (須恵)	①8.6 ②8.8 ③18.5 ④5.2 ⑤15.4	粗砂 混入	良好	オリーブ 灰	胴部は直立し口唇部は外反しながら開く。天井部は扁平で胴部は丸みを持ち胴部は外傾し底部は上底形状の平底。外面：縦割りで、口縁と胴部に4条の沈線有り。底部は縦割りで、天井部中央に絞り痕。口縁部は別の所に穿孔し接合底部にも接合痕有り。	胴残 41
641	M-13	高坏	①15.5 ③13.0 ④12.4	粗砂	良	鈍い緑	口縁部は外反安縁に開き、坏部は厚みを呈す。胴部は太い円錐形を呈し胴部でラッパ状に開く。内外面口縁部は横割りで、体部中央は縦割りで、胴部は横割りで、胴部は縦割りで沈線無く、坏部と胴部の接合部と胴部に指形さえ明瞭。縦割り横割りで。	ほぼ完 形
642	M-13	坏 (土師)	①10.1 ③3.2 胎土：多量の砂粒を含む		良好	緑	底部は丸底。体部は内傾して立ち上がり、口縁部で強く直立する。口縁部横割りの痕で。外面：体-底部面割で。内面：横割で。	片残 41
643	M-13	坏 (土師)	① (10.8) ③3.7		良好	明緑	底部は丸底。体部は内傾して立ち上がり、口縁部で内傾する。外面：体-底部面割り。内面：横割で。	胴残 41
644	M-13	小型甕	① (9.1) ③ (11.4) ④ (8.9)		や軟 緑	緑	口縁部は直線的に立ち胴部は丸みを持つ。外面：口縁部は横割りで、胴部は縦割り。内面：口縁部横割で、胴-胴部は横割で。赤色地肌。	口～胴 部残
645	M-13	罎 (土師)	① (20.8) ②29.9 ④16.8 ⑤28.1		良好	緑	底部は丸底。体部は丸く内傾し胴部上半部に最大径を有する。口縁部外反。器表はやや厚い。内面：横割で。口縁部横割の痕で、胴部縁及び斜位の箇所、胴部内外横割付着。	胴残 41
646	M-13	円筒埴輪	③1.2		良好	明黄緑	断面径 12/2cm 外面：縦割り。内面：横割で。	破片 41
647	M-13	形象埴輪	③1.3		良好	緑	帯部分の割れ痕有り。断面径 12/2cm	破片 41
849	M-15	坏 (土師)	① (12.0)	粗砂 混入	良	暗青緑	底部は丸底。体部は緩やかに内傾して立ち上がり口縁部で強く直立する。口縁部横割りの痕で。外面：体-底部面割り。内面：体部横割で。	胴残 43
850	M-20	甕 (須恵)	①14.0 ③3.5 つまみ径3.1		良好	暗青灰	大井部は丸みを有し中央に環状のつまみを付す。かえりはなく底部を内側へ傾曲する。外面：天井部縦割り調整。内面：凹形横割で。重ね焼き痕。	完形 43
851	M-20	甕 (須恵)	①11.6 ② (6.5) ③ (5.0)		良好	灰オリ ープ灰	体部は丸みを有して立ち上がる。コロボ整形。底部凹形赤切り後付高台部。外面：体部下位部は縦割りで。内面：凹形横割で。	高台端部 欠損
852	M-20	高台付甕 (須恵)	① (10.3) ③6.3 ④5.8		良好	灰	コロボ整形で底部凹形赤切り付高台。外面：自然釉付着。	胴残 43
853	M-20	坏 (須恵)	① (13.2) ②7.8 ③3.5		良好	灰	底部は上底。体部は直線的に外傾し口縁部に至る。内面横割で。コロボ整形。底部凹形赤切り未調整。自然釉付着。	胴残 43
854	M-20	台付長頸甕 (須恵)	②9.9 ③18.5 ④ (6.1)		良好	灰	体部はほぼ球形をなし底部に高台を付す。胴部はならかな丸みを有す。コロボ整形。内外面縦割りで。底部は凹形赤切り。胴部と底部内面に自然釉。胴部の輪の上に黄褐色粘土の付着有り。	口縁～ 頸部欠 損
855	M-20	台付長頸甕 (須恵)	② (8.1) ③17.0 ④5.0		良好	黄緑	口～頸部欠損。球形の胴部はならかに底部に続く。底部は「ハ」の字状の貼付高台。胴部と胴部の接合部調整。胴部に卵き目の指形滑り調整後緑色の自然釉。胴部に黄褐色粘土の付着有り。内面：丁寧な磨成で、底部中央に自然釉。	口～頸 部欠 損

法量: ①口径②底径③胴部最大径④頸部・接合部径⑤筒径⑥器高⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔径⑪重さ(①～⑧はcm, ⑨はg)は測定値を表す

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	実測 図
856	M-20	台付蓋 (須臾)	②(13.2) ③21.3	細砂	良好	灰オリーブ	胴部にやや張りを持ち、胴部は直線的にすぼまる付合は「ハ」の字状に開く。ロケの残痕。外面: 胴部縁方向の隆起有り。内面: 隆起で、胴部と底部の接合時の隆起を認む。	胴-底部 43	
857	M-20	台付長頸蓋 (須臾)	②(12.8) ③(21.9) ④5.8	細砂	良好	暗青灰	天井部中央に穴を穿ち口縁部後縁。胴部に最大径を持つ。底部に比較的高い高台を付す。外面: 胴下部に隆起有り。	胴-底部 43	
858	M-20	長頸蓋 (須臾)	①9.0 ②10.5 ③18.0 ④4.8 ⑤26.1	砂粒	良好	暗赤褐	頸部は僅かに外傾しながら立ち上がる。胴部と頸部はやや張りを持たせながら底部に至る。頸部回転跡有り。外面: 胴部から柔の沈線、胴部・底部隆起で、内面: 胴と胴部に接合部を認む。頸部回転跡有り。胴部に顕著な回転跡で、胴部下部にシラ状の文様帯を認む。	胴-底部 43	
859	M-21	蓋(須臾)	①(20.0) ②(3.3) つまみ径(4.2)	砂粒	良好	灰黄褐	天井部は扁平に前られ中央に頂状のつまみを有する。口縁部内側に明瞭なかえし有り。ロケ整形。天井部外周に隆起有り。つまみ貼付。回転跡で。	胴-底部 44	
860	M-23	坏(土師)	①(11.8) ②3.5 胎土: 多量の砂粒を含む		良	明赤褐	底部は丸底。体部は緩やかに内傾し口縁部は短く内傾する。口縁部縁位の狭で。外面: 体-底部は隆起有り。内面: 体部隆起で。	胴-底部 44	
861	M-23	坏(土師)	①13.0 ②4.4 胎土: 多量の砂粒を含む		良	鈍内褐	底部は丸底。体部は内傾して立ち上がり口縁部は短く直立する。口縁部縁位の狭で。外面: 体-底部は隆起有り。内面: 体部隆起で。	胴-底部 44	
862	M-23	坏(土師)	①11.8 ②3.5	砂粒	良	橙	底部は丸底。体部は緩く内傾し口縁部は短く内傾する。口縁部縁位の狭で、口縁部全体に粘土付着。外面: 体-底部は隆起有り。内面: 体部隆起で。	完形	
863	M-23	坏(土師)	①12.2 ②3.6	粗砂 混入	良	橙	底部は丸底。体部は緩く内傾し口縁部は短く内傾する。口縁部縁位の狭で。外面: 体-底部は隆起有り。内面: 体部隆起で。	胴-底部 44	
864	M-23	坏(土師)	①11.3 ②3.5 胎土: 多量の砂粒を含む		やや 軟	黄褐	底部は丸底。体部は内傾して立ち上がり口縁部は短く内傾する。口縁部縁位の狭で。外面: 体-底部は隆起有り。内面: 体部隆起で。	胴-底部 44	
865	M-23	坏(土師)	①(12.7) ②4.0	細砂	良	灰黄褐	底部は丸底。体部は内傾して立ち上がり口縁部は短く直立する。口縁部縁位の狭で。外面: 体-底部は隆起有り。内面: 体部隆起で。口縁部に擦り跡有り。	胴-底部 44	
866	M-23	坏(土師)	①(11.6) ②3.0	粗砂 混入	やや 軟	橙	底部は丸底。体部は内傾して立ち上がり口縁部は短く直立する。口縁部縁位の狭で。外面: 体-底部は隆起有り。内面: 隆起で。	胴-底部 44	
867	M-23	蓋(須臾)	①(18.5) ②4.2 つまみ径(4.8) かえり径(16.0) かえり高0.4	砂粒	良好	灰	天井部のやや丸い大型の環蓋。つまみは扁平なメタン状。身受部の立ち上がりは口縁部と同じ高さ。外面: 隆起有り。内面: 不定方向の隆起有り。	胴-底部 44	
868	M-23	坏(須臾)	①(17.2) ②10.5 ④4.4	細砂	良好	灰黄	蓋付の环。内外面ロケを伴う隆起で。底部は回転糸切り後高台を付け回転跡で、高台部は外側に傾かれる。	胴-底部 44	
869	M-23	長頸頸瓶	①16.6 ④4.7 ⑤(26.6) 胎土: 多量の微砂混入		良	褐灰	頸部と胴部に2本の沈線。外面: 右腹は隆起有り、胴中央から左腹に隆起。頸部後縁部隆起に沿って円形の狭で。内面: 暗褐色。靱帯痕に接合部。	ほぼ完 形	
870	IE-18	紡錘車 (土師)	①1.7 ②0.9 ④(14.48)	砂粒	良好	明赤褐	断面環状の土師紡錘車。上径(3.3) 下径(4.5)	胴-底部 44	
871	M-23	大型蓋 (須臾)	③(50.2) 胎土: 砂粒多量に混入		良好	明青灰	胴部は丸みを持ち体部は内傾する。外面: 平行な目文。内面: 同心円状目文。胴上部即ち口縁部は2～3本の隆起で残る。	破片	
872	S-7	長頸蓋 (須臾)	④6.1	細砂	良好	青灰	口縁部は短く口縁部はラック状に開く。口縁部縁位の狭で横方向に顕目整形。接合部は隆起有り。口縁部欠損。	口縁部 のみ残	
873	M-11	罎(土師質)	①16.0 ②(6.2)	粗石 粒混入	軟	褐	体部はわずかに丸みを持って立ち上がり、口縁部で反外する。底部に回転糸切り行高台有り。外面は口縁部、内面隆起で。	胴-底部 44	
874	FF-7	羽蓋 (土師質)	①(15.2) ③(21.5) 胎土: 多量に砂粒を含む		良	暗赤褐	口縁部は内傾し口唇部は丸みを持つ。内面: 隆起が蓋目立つ。蓋形部。内外面隆起有り後縁で、指圧痕。胴に最大径を持つ。	口縁部 の片残	
875	M-23	蓋环	①18.2 ②3.9 つまみ径3.2 つまみ高0.8	細砂	良好	灰	天井部中央につまみを有し、口縁部付着に比較的高いかえりを有す。つまみは蓋面整形後貼付。つまみは扁平で中央を高くし重台に丸みを持ち筒巻状の顕目整形が見られる。回転跡で調整を天井部上面とつまみ縁部に施している。内面隆起が見られる。自然釉。	ほぼ完 形	
876	M-23	坏	①16.9 ②11.0 ④4.9	細砂	良好	灰黄	平底で口縁部がやや外反気味に厚い「ハ」の字状の高台は環蓋成形後貼付。底中央部に回転跡有りを施している。その他の各部は回転跡で調整。	ほぼ完 形	
877	M-23	広口小型蓋 (須臾)	①(13.0) ③18.0 ④10.2 ⑤15.5	細砂	良好	灰	丸底の底部から胴部は内傾して立ち上がり胴部に張りを持つ。口縁部は外傾し縁を持つ。頸-胴部に自然付着。胴部外周に平行な目文で消し。胴部内周に同心。胴部から口縁部は隆起で。	胴-底部 45	

法量：①口径②底径③胴部最大径④器部・接合部径⑤喉径⑥器高⑦長さ⑧幅⑨厚み⑩穿孔径⑪重量（①～⑧はcm、⑨⑩はg（）は推定値を表す）

No	位置	器種	法量	胎土	焼成	色調	特徴	遺存	実測図
878	M-23	甕	①(24.0) ④(17.5)	粗砂	青黒	灰	口縁部は外反し口部部は施曲でより種をなす。外面：肩から平行円き目文。内面：口縁部施曲で、胴部は同心円文が施される。	口縁部 片残	45
879	H-2	環(土師)	①(12.2)	粗砂	良好	明赤焼	体部はやや丸み持ち立ち上がる。口縁部と体部の境でわずかに反れる。口縁部施曲で、底部削削り、内面口～体部にかけて彫文。	底面欠 損	45
880	H-1	環(灰土)	①(12.0) ⑦2.7 ⑧3.5	粗砂 混入	良	鈍い黄 緑	上げ蓋。体部は内傾しながら立ち上がり、口縁部でわずかに外反する。内外部ワタリ整形。底部施曲に切り未調整。内面底部一部に僅かな彫文。	片筒残	45
881	S-1	甕(灰土)	③18.0	細砂	良好	灰	胴部から胴部へとなだらかに内傾する。胴部にカマ目。外面：一帯の沈線を含む。自然彫削り。内外面回転を伴う隆起で、無で調整。	胴部片 残	45
882	S-1	長頸瓶 (須臾)	②(12.3) ③20.2	微砂	良好	灰白	胴部は直線的に外傾し口部で沈線状をなす。胴部はなだらかに、肩下段回転削削り後焼成。付着台。内面は輪積り口を強く残す。肩部と頸部に灰積。	口～ 肩欠損	45

### 石 鏡

単位：長・幅・厚はcm、重はg（）は残存量または推定値を表す

No	位置	器種	長	幅	厚	重	石材・特徴及び備考	実測図
380	M-4	凹基無蓋鏡	1.1	1.1	0.1	0.16	変成岩 早期	28
381	M-4	凹基無蓋鏡	1.1	0.8	0.2	0.17	黒曜石 前期	28
382	M-4	凹基無蓋鏡	(1.3)	(0.8)	0.2	0.21	変成岩 先端部のみ残存。前期	28
383	M-4	凹基無蓋鏡	1.3	1.1	0.15	0.19	変成岩 前期	28
384	M-4	凹基無蓋鏡	1.3	1.1	0.16	0.27	変成岩 後期	28
385	M-4	凹基無蓋鏡	1.4	1.1	0.3	0.29	変成岩 前期	28
386	C-8	凹基無蓋鏡	1.5	1.1	0.45	0.42	変成岩 中期	28
387	M-4	凹基無蓋鏡	1.5	1.1	0.4	0.49	チャート 基部欠損。後期	28
388	M-4	凹基無蓋鏡	1.5	1.3	0.4	0.46	変成岩 中期	28
389	M-4	凹基無蓋鏡	1.5	1.45	0.35	0.30	チャート 早期	28
390	M-9	凹基無蓋鏡	1.5	1.15	0.3	0.29	変成岩 後期	28
391	M-20	凹基無蓋鏡	1.5	1.2	0.2	0.44	乳白色チャート 前期	28
392	M-1	凹基無蓋鏡	1.6	1.4	0.3	0.68	チャート 後期	28
393	M-15	平基無蓋鏡	1.6	1.2	0.5	0.78	変成岩 基部に残りえぐりが入る。中期	28
394	M-4	凹基無蓋鏡	1.7	1.5	0.4	0.76	変成岩 中期	28
395	EQ-18	凹基無蓋鏡	1.7	1.3	0.3	0.23	黒曜石(烏質) 後期	28
396	FE-4	凹基無蓋鏡	1.8	1.4	0.5	1.11	変成岩 中期	28
397	M-4	平基無蓋鏡	1.9	1.5	0.4	1.20	変成岩 中期	28
398	M-13	凹基無蓋鏡	1.9	1.5	0.4	0.80	変成岩 前期	28
399	KG-30	凹基無蓋鏡	1.9	1.6	0.3	0.65	乳白色チャート 地割れ内出土。前期	28
400	M-11	凹基無蓋鏡	2.0	1.6	0.4	0.57	黒曜石 後期	28
401	2E-18	平基無蓋鏡	2.1	1.2	0.5	0.65	変成岩 中期	28
402	FK-6	凹基無蓋鏡	(2.2)	(1.5)	0.6	0.96	変成岩 基部と先端部欠損。前期	28
403	2E-18	凹基無蓋鏡	2.3	1.9	0.3	0.85	黒色頁岩 中期	28
404	FY-19	凹基無蓋鏡	2.3	1.9	0.5	1.30	黒曜石(烏質) 前期	28
405	M-4	凹基無蓋鏡	2.3	1.9	0.45	1.35	変成岩 先端部欠損。早期	28
406	M-11	凹基無蓋鏡	(2.4)	(1.0)	0.3	0.57	黒曜石 基部欠損。前期 長脚鏡	28
407	LJ-32	凹基無蓋鏡	2.5	1.7	0.5	1.05	黒色頁岩 後期	28
408	M-1	凹基無蓋鏡	2.6	1.9	0.3	1.33	頁岩 早期	28
409	C-8	凹基有蓋鏡	3.2	1.5	0.6	2.26	頁岩 基部欠損。後期	28
410	C-8	凹基無蓋鏡	(3.3)	1.7	0.6	2.46	変成岩 先端部欠損。後期	28
411	M-20	凹基有蓋鏡	3.5	1.4	0.5	1.56	黒色頁岩 後期	28
412	C-18	凹基無蓋鏡	3.8	2.0	0.6	2.50	黒色頁岩 前期	28

## 鉄製品

単位 (cm), ( ) は残存長を表す

No	位置	名称	全長 長径×短径	刀 類			鉄 鎌			厚み	重さ (g)	備 考	実測 図	
				刃部	茎部	目釘穴	鎌身部	莖部	茎部					
444	M-3	刀子	(14.8)	(9.7)	(4.5)	-	-	-	-	-	34.26	両端欠損	31	
525	M-4	太刀	74.9	63.4	11.5	1	-	-	-	-	455	ハバキ 鉄製目釘 四角形2.0cm	33	
526	M-4	太刀	95.2	80.5	14.9	2	-	-	-	-	795	ハバキ 鐔に銅象嵌有り	33	
527	M-4	刀子	39.8	28.4	11.5	1	-	-	-	-	220	ハバキ残存	33	
528	M-4	刀子	(33.8)	27.3	6.5	不明	-	-	-	-	135	ハバキ残存	33	
529	M-4	刀子	26.4	20.4	6.0	1	-	-	-	-	135	刀身のみ	33	
530	M-4	刀装具類	6.0×4.4	-	-	-	-	-	-	-	0.5~0.6	21.21	肥塚	33
531	M-4	刀装具類	6.8×5.1	-	-	-	-	-	-	-	0.5	29.86	肥塚	33
532	M-4	刀装具類	3.0×2.7	-	-	-	-	-	-	-	0.6	2.99	樽目1.0×1.0高(0.6) 鉄製部分と金剛部分 木目盛	33
533	M-4	刀装具類	-	-	-	-	-	-	-	-	1.15	-	樽目1.0×1.0高(1.0) 金剛製	33
534	M-4	刀装具類	3.7×2.9	-	-	-	-	-	-	-	0.3~0.4	23.81	石突	33
535	M-4	鉄鎌	(11.1)	-	-	-	長 3.8 幅 0.7	(7.3)	-	-	-	8.10	茎部欠損	33
536	M-4	鉄鎌	(8.9)	-	-	-	-	-	-	0.5	9.30	鎌身部、茎部欠損	33	
537	M-4	鉄鎌	(6.4)	-	-	-	長 1.6 幅 1.0	(4.8)	-	-	-	4.80	莖部、茎部欠損	33
538	M-4	鉄鎌	(5.3)	-	-	-	-	(1.8)	3.5	-	-	8.53	鎌身部、茎部欠損	33
539	M-4	鉄鎌	(10.5)	-	-	-	-	(7.6)	(2.9)	-	-	8.56	鎌身部欠損	33
540	M-4	馬具	6.1×5.1	-	-	-	-	-	-	-	0.6	35.93	鞍具	33
541	M-4	馬具	6.1×5.0	-	-	-	-	-	-	-	0.4	26.78	鞍具	33
542	M-4	不明	5.2×3.2	-	-	-	-	-	-	-	0.5	9.06	寄金具	33
543	M-4	馬具	9.7×4.4	-	-	-	-	-	-	-	0.9	73.37	鞍具	33
544	M-4	馬具	9.6×3.0	-	-	-	-	-	-	-	0.8	35.68	鞍具	33
545	M-4	馬具	(3.5)×2.2	-	-	-	-	-	-	-	1.1	4.70	飾金具 新数2ヶ	34
546	M-4	馬具	(7.2)×3.0	-	-	-	-	-	-	-	0.9	18.70	飾金具 新数5ヶ	34
547	M-4	馬具	(5.0)×2.8	-	-	-	-	-	-	-	0.3	13.96	飾金具 新数4ヶ	34
548	M-4	馬具	3.7×2.7	-	-	-	-	-	-	-	0.9	6.82	飾金具 新数3ヶ	34
549	M-4	馬具	3.8×2.9	-	-	-	-	-	-	-	0.8	7.34	飾金具 新数3ヶ	34
550	M-4	馬具	3.5×2.6	-	-	-	-	-	-	-	0.9	5.70	飾金具 新数3ヶ	34
551	M-4	馬具	(4.4)×(5.2)	-	-	-	-	-	-	-	-	25.83	飾金具 雲珠 鉄巻2.3cm 中心部のみ	34
552	M-4	馬具	(7.5)×(6.3)	-	-	-	-	-	-	-	-	38.22	飾金具 雲珠 中央鉄の高さ2.2cm	34
553	M-4	馬具(樹)	計測値は実測図中に掲載した。									330	-	34
627	M-11	太刀	74.1	65.5	(8.6)	1	-	-	-	-	-	625	鐔 鐔から目釘穴の間に纏縁有り。刃部に木目盛付着。	40
813	M-13	鉄鎌	(14.5)	-	-	-	長 1.5 幅 1.1	10.3	(2.7)	-	-	11.97	ほぼ完形	42
814	M-13	鉄鎌	(11.8)	-	-	-	長 1.8 幅 1.1	9.6	-	-	-	9.91	茎部欠損	42
815	M-13	鉄鎌	(13.2)	-	-	-	長 1.9 幅 1.2	9.5	(1.8)	-	-	15.09	茎部欠損	42
816	M-13	鉄鎌	15.6	-	-	-	長 3.3 幅 0.7	9.3	2.8	-	-	12.77	ほぼ完形	42
817	M-13	鉄鎌	(8.5)	-	-	-	長 1.5 幅 1.15	(6.9)	-	-	-	7.10	茎部欠損	42
818	M-13	鉄鎌	(6.2)	-	-	-	長 1.5 幅 1.1	(4.7)	-	-	-	4.20	莖部、茎部欠損	42
819	M-13	鉄鎌	(6.7)	-	-	-	長 1.7 幅 0.9	(5.0)	-	-	-	2.83	莖部、茎部欠損	42
820	M-13	鉄鎌	(5.3)	-	-	-	長 1.3 幅 1.1	(4.0)	-	-	-	3.13	莖部、茎部欠損	42
821	M-13	鉄鎌	(4.2)	-	-	-	長 1.5 幅 1.1	(2.7)	-	-	-	4.01	莖部、茎部欠損	42

単位 (cm), ( ) は残存長を表す

No	位置	名称	全長 長径×短径	刀 類			鉄 鎌			厚み	重さ (g)	備 考	実測 図
				刃部	基部	目釘穴	鎌身部	鎌趾部	基部				
822	M-13	鉄鎌	(2.6)	-	-	-	長 1.5 幅 1.2	(1.1)	-	-	1.53	鎌趾部、基部欠損	42
823	M-13	鉄鎌	(3.6)	-	-	-	長 (1.5) 幅 (1.2)	(2.1)	-	-	3.11	鎌趾部、基部欠損	42
824	M-13	鉄鎌	(7.7)	-	-	-	長 (1.5) 幅 0.65	(6.2)	-	-	6.77	鎌趾部、基部欠損	42
825	M-13	鉄鎌	(5.1)	-	-	-	-	-	-	-	2.42	幅 0.7cm	42
826	M-13	鉄鎌	(11.6)	-	-	-	-	(8.4)	(2.6)	-	10.49	鎌身部欠損 口巻遺存	42
827	M-13	鉄鎌	(8.9)	-	-	-	-	(6.1)	(2.8)	-	7.17	口巻遺存 基部に埋埋痕	42
828	M-13	鉄鎌	(5.5)	-	-	-	-	(4.8)	(1.7)	-	8.66	口巻遺存 基部に木質残付着 鎌身部欠損	42
829	M-13	鉄鎌	(9.7)	-	-	-	-	(5.2)	(4.5)	-	8.21	鎌身部と鎌趾部欠損	42
830	M-13	鉄鎌	(13.25)	-	-	-	-	9.55	3.7	-	10.33	鎌身部と鎌趾部欠損	42
831	M-13	鉄鎌	(10.2)	-	-	-	-	(6.9)	(3.3)	-	7.69	鎌身部と鎌趾部欠損	42
832	M-13	鉄鎌	(14.8)	-	-	-	-	(11.8)	(3.0)	-	14.76	鎌身部欠損	42
833	M-13	鉄鎌	(13.2)	-	-	-	長 1.6 幅 1.0	9.3	(2.9)	-	12.85	基部欠損	42
834	M-13	鉄鎌	(9.2)	-	-	-	-	(8.3)	(0.9)	-	7.74	鎌身部と鎌趾部欠損	42
835	M-13	鉄鎌	(9.2)	-	-	-	-	(6.6)	(2.6)	-	7.60	鎌身部と鎌趾部欠損	42
836	M-13	鉄鎌	(8.2)	-	-	-	-	(8.2)	-	-	6.92	鎌身部と基部欠損	42
837	M-13	鉄鎌	(8.0)	-	-	-	-	(5.5)	(2.5)	-	6.73	鎌身部と鎌趾部欠損	42
838	M-13	鉄鎌	(8.0)	-	-	-	-	(5.8)	(2.2)	-	7.13	鎌身部と鎌趾部欠損	42
839	M-13	鉄鎌	(7.0)	-	-	-	-	(4.0)	(3.0)	-	11.99	鎌身部と鎌趾部欠損	42
840	M-13	鉄鎌	(4.4)	-	-	-	-	(1.4)	(3.0)	-	3.53	鎌身部欠損	42
841	M-13	刀装具類	3.7×2.8	-	-	-	-	-	-	-	21.16	ハバキ	42
842	M-13	刀装具類	3.6×2.1	-	-	-	-	-	-	0.2	11.87	ハバキ 幅 2.3cm	42
843	M-13	刀装具類	4.6	-	-	-	-	-	-	-	3.45	金剛製	42
844	M-13	刀装具類	4.1	-	-	-	-	-	-	-	2.76	金剛製	42
845	M-13	矢	5.9×2.8	-	-	-	-	-	-	2.3	175	現代の石加工用	42
846	M-13	馬具	7.4×6.3	-	-	-	-	-	-	0.8	80.37	高さ 4.6cm 帯金具	42
847	M-13	不明	(9.2)×2.0	-	-	-	-	-	-	0.15	16.53	-	42
848	M-15	鉄鎌	(12.1)	-	-	-	-	(9.7)	2.4	-	10.56	鎌身部欠損	43
883	S-1	刀子	29.8	22.0	7.8	1ヶ	-	-	-	-	150	錆による腐蝕が激しい	45
884	S-1	刀子	28.8	22.8	6.0	1ヶ	-	-	-	-	130	錆による腐蝕が激しい	45
885	S-1	刃部	(5.5)	-	-	-	-	-	-	-	10.99	幅 1.9cm	45
886	S-1	不明	(7.8)	-	-	-	-	-	-	0.8	25.67	U字形の鉄製品 幅 4.3cm	45

石器類

単位：長・幅・厚はcm,重はg。( )は残存額または推定額を表す

No	位置	器種	長	幅	厚	重	石材・形状・調整加工の特徴	実測図
277	J-1	磨製石斧	11.1	4.7	1.9	150	緑泥変質 結刀型。	20
279	J-1	磨製石斧	16.2	5.0	2.3	230	緑泥変質 結刀型。	20
280	J-1	磨製石斧	20.8	5.5	3.0	420	緑泥変質 刃部欠損。	21
281	J-1	多孔石	24.6	20.6	11.3	7300	角閃石安山岩 両面多孔石。両面磨り、窪み痕。	21
340	M-1	模製石斧	11.6	5.0	2.0	160	黒色頁岩 片面に自然面を残す。色：明灰-灰	24
341	M-1	三角錐型石器	7.2	3.3	2.7	85.36	粘板岩 平らな自然面残る。色：灰白	24
342	M-3	分銅型石斧	9.7	6.4	2.4	185	黒色頁岩 摩耗痕有り。色：灰	24
343	M-4	磨製石斧	7.7	2.9	1.6	51.13	安山岩 (粘板岩) 自然面を利用した小型磨製石斧。結刀型磨製痕が残り有り。色：灰	24
344	M-4	スタンプ型石器	10.3	7.5	4.5	500	輝石角閃安山岩 稜を分割した状態のもの。色：明緑灰	24
345	M-4	磨製石斧	8.8	4.8	2.2	150	黒色頁岩 結刀型。自然面を利用。刃部に打痕連続製。色：灰黄	24
346	M-4	石棒	6.4	2.4	1.1	23.25	先端部が精錬化、扁平化。小型平頭石棒。色：灰灰-灰	24
347	M-4	磨石	9.1	8.5	5.8	615	石英変質 円形、両面磨痕。両面に磨痕有り。色：淡黄	24
348	M-4	石楾	(11.7)	8.4	3.5	440	輝石安山岩 石楾の上半部。色：淡黄	24
349	M-4	凹石	11.9	10.6	6.2	1010	輝石角閃安山岩 円形。表面のみ使用。全体に磨り痕有り。色：灰白	24
350	M-5	スタンプ型石器	11.4	8.6	3.9	620	多くの長石と僅かに角閃石を含む安山岩。稜を分割したのもの。色：灰-灰	25
351	C-8	砥石	12.4	4.7	3.2	140	粘板岩 11面に使用痕。断面が窪り状を呈す。色：淡黄	25
352	M-7	凹石	9.4	9.0	3.4	310	角閃石安山岩 両面使用。色：淡黄	25
353	C-8	凹石	6.8	6.2	4.3	225	角閃石安山岩 両面使用。色：淡黄	25
354	C-8	三角錐型石器	8.5	4.1	4.7	225	黒色頁岩 平らな自然面有り。色：淡黄	25
355	K-1	砥石	8.5	2.9	2.6	102.12	輝石安山岩 色：灰黄	25
356	EM-18	磨石	10.3	8.1	4.6	550	輝石安山岩 楕円形。両面使用。色：灰灰-灰	25
357	EK-16	凹石	10.3	7.3	4.0	450	輝石安山岩 両面使用。裏面磨痕。色：明赤灰	25
358	EM-20	磨石	6.0	3.1	1.2	196.1	黒色頁岩 1面に刃部割離。色：明灰-灰	25
359	C-8	三角錐型石器	9.4	5.7	4.8	260	輝石安山岩 色：灰	25
360	ED-16	石砧	5.0	7.7	0.9	29.77	黒色頁岩 楕円形磨石砧。色：灰黄	25
361	V-1	凹石	9.0	7.4	5.2	390	角閃石安山岩 両面使用。色：灰黄	25
362	EN-13	模製石斧	11.4	4.6	2.0	95.19	黒色頁岩 模型に近い形態。色：灰	25
363	ER-12	石楾	21.0	8.6	5.4	1220	黒色頁岩 大型の石楾。色：淡黄	26
364	ER-12	凹石	10.0	7.6	3.5	250	角閃石安山岩 全体に表面が滑い。両面使用。色：灰灰-灰	26
365	ET-13	三角錐型石器	10.1	4.9	4.5	240	黒色頁岩 平らな自然面残る。色：淡黄	26
366	ES-13	多面体磨石	19.0	6.7	5.2	1020	輝石角閃安山岩 平頭型左側に磨り痕。	26
367	ES-13	三角錐型石器	10.6	6.2	5.1	260	黒色頁岩 凡字形石斧。色：灰黄	26
368	EP-15	石砧	8.8	2.3	0.9	17.26	頁岩 縦型石砧。色：淡黄	26
370	EU-11	石楾	36.3	24.4	12.6	13900	角閃石安山岩 両面使用痕有り。	26
371	FJ-8	分銅型石斧	9.5	6.3	2.2	170	黒色頁岩 括れ部分の摩耗有り。色：灰-灰	27
372	FX-14	石楾	30.9	23.3	13.2	9000	角閃石安山岩 片面に使用痕。	27
373	KA-33	多孔石	23.9	20.4	8.6	4900	安山岩 裏面は浅い凹状を呈す。	27
374	2E-18	砥石	(3.1)	(2.2)	1.1	8.09	安山岩 色：灰黄	27
375	2E-18	模製石斧	(9.6)	8.7	2.2	220	黒色頁岩 色：明灰-灰	27
376	1E-18	分銅型石斧	14.8	8.6	2.0	320	安山岩 刃部等に磨痕。括れ部分で接合する。	27
377	1E-18	打製石斧	14.8	5.5	4.0	440	黒色頁岩 石斧の刃部のような打痕有り。色：灰	27
378	JW-45	両面多孔石	18.0	11.6	9.7	2230	角閃石安山岩 4面に凹有り。色：灰白	28
379	JX-35	凹石	11.1	8.6	4.3	580	輝石角閃安山岩 楕円形。表面がやや平坦両面に集合打痕。色：鈍い黄	28

## 5号古墳埴輪

( ) は残存量または推定値を示す

No	名称	① 最高 ② 口径 ③ 底径 (cm)	器厚 (cm)	透孔：下段 (cm)	突 帯 (cm)				胴毛目 本数 /20cm	色調	胎土	佛成	成形調整・備考	実測 図
					1	2	3	4						
555	普通円 筒埴輪	① 33.4 ② 22.3 ③ 13.4	A 0.8 B 0.9 C 1.3	F 14.4 G 5.4 H 6.1	I 11.9 J 0.3	21.0 0.2	-	-	17	明赤 泥	糠粒砂	良好 硬い	内面：指撫で。上部横刷毛。龍記号 斜2条。下部短い横又は斜刷毛。外 面：縦刷毛。突帯貼付。	35
556	普通円 筒埴輪	① 34.5 ② 24.9 ③ 14.1	A 0.9 B 1.0 C 1.5	F 14.5 G 6.7 H 6.3	I 9.9 J 0.3	22.3 0.4	-	-	16	橙	糠粒砂	良好 硬い	内面：指撫で。上部横刷毛。龍記号 有り。下部細い刷毛目。斜撫で。外 面：縦刷毛。突帯貼付。	35
557	普通円 筒埴輪	① 33.0 ② 26.2 ③ 13.5	A 0.8 B 0.9 C 1.5	F 12.5 G 6.0 H 6.8	I 7.5 J 0.2	19.1 0.5	-	-	15	赤橙	糠粒砂	良好 硬い	内面：指撫で上部横刷毛。龍記号有 り。下部刷毛目斜撫で。外面：縦刷 毛。上部斜刷毛。突帯貼付。左。	35
558	普通円 筒埴輪	① 36.1 ② 26.4 ③ 13.0	A 1.0 B 1.1 C 1.1	F 19.8 G 4.3 H 4.5	I 14.6 J 0.4	23.5 0.4	-	-	16	明赤 泥	糠粒砂	良好 硬い	内面：粗い斜刷毛撫で。上部横刷 毛。龍記号有り。下部粗い斜刷毛撫 で。外面：縦刷毛。突帯貼付。左。	35
559	普通円 筒埴輪	① 31.6 ② (25.5) ③ 14.0	A 1.0 B 0.9 C 1.1	F 14.7 G 5.8 H 6.3	I 10.5 J 0.3	22.5 0.4	-	-	15	赤橙	細粒砂	良好 硬い	内面：粗い斜刷毛撫で。上部横や斜 刷毛撫で。龍記号有り。下部粗い 斜刷毛撫で。外面：縦刷毛。突帯貼 付。	35
560	普通円 筒埴輪	① 31.1 ② 22.8 ③ 13.6	A 0.8 B 0.8 C 1.0	F 13.4 G 5.5 H 5.6	I 10.4 J 0.5	20.5 0.3	-	-	14	赤橙	糠粒砂	良好 硬い	内面：指撫で。上部粗い横刷毛。下 部指撫で。外面：粗い縦刷毛。龍記 号有り。突帯貼付。左。	35
561	普通円 筒埴輪	① 34.3 ② 26.3 ③ 12.9	A 0.7 B 1.0 C 1.2	F 18.6 G 5.1 H 5.9	I 13.0 J 0.5	24.1 0.5	-	-	14	明赤 泥	細粒砂	良好 硬い	内面：指撫で。上部横刷毛。龍記号 有り。下部粗い斜刷毛。外面：縦や 斜刷毛。突帯貼付。	35
562	普通円 筒埴輪	① 30.9 ② 25.9 ③ 14.1	A 0.8 B 0.8 C 1.4	F 13.2 G 4.6 H 5.3	I 9.1 J 0.4	17.2 0.4	-	-	13	黄橙	糠粒砂	良好 硬い	内面：指撫で。上部粗い横刷毛。下 部指撫で。外面：縦刷毛。上部龍記 号有り。突帯貼付。	35
563	普通円 筒埴輪	① 32.4 ② 23.2 ③ 14.0	A 1.0 B 1.0 C 1.1	F 13.7 G 6.2 H 6.2	I 8.7 J 0.5	21.3 0.2	-	-	13	淡橙	糠粒砂	良好 硬い	内面：粗い刷毛撫で。上部横刷毛。 龍記号有り。下部粗い刷毛撫で。外 面：やや斜刷毛。突帯貼付。指撫で。	35
564	普通円 筒埴輪	① 32.8 ② 22.0 ③ 14.3	A 0.9 B 0.9 C 1.4	F 14.7 G 5.5 H 6.1	I 8.8 J 0.3	21.0 0.5	-	-	15	明赤 泥	細粒砂	良好 硬い	内面：指撫で。上部横刷毛。龍記号 有り。下部指撫で。外面：縦刷毛。 突帯貼付。左。	35
565	普通円 筒埴輪	① (23.7) ② - ③ 13.0	A 0.7 B 0.9 C 1.1	F 13.7 G 5.3 H 5.4	I 11.3 J 0.4	19.9 0.5	-	-	15	赤橙	1~3mm の小石 を含む	良好	内面：指撫で。外面：縦刷毛。突帯 貼付。口縁部欠損。左。	35
566	普通円 筒埴輪	① (11.5) ② - ③ 13.5	A - B 1.1 C 1.6	F - G - H -	I 5.4 J 0.2	-	-	-	15	明赤 泥	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：横、斜刷毛。外面：縦刷毛。突 帯貼付。短い基底筋。口縁部欠損。 左。	35
567	普通円 筒埴輪	① (17.4) ② (26.4) ③ -	A 0.9 B 0.7 C -	F - G - H -	I - J -	- 0.4	-	-	16	赤泥	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：口唇部塊撫で。横、斜刷毛。 外面：縦刷毛。突帯貼付。胴部一部 欠損。	35
568	普通円 筒埴輪	① (19.6) ② - ③ 13.9	A - B 0.8 C 1.0	F - G - H -	I 16.2 J 0.7	-	-	-	16	赤泥	1~3mm の小石 を含む	良好	内面：横、斜刷毛。外面：縦刷毛。突 帯貼付。	35
569	普通円 筒埴輪	① (18.1) ② - ③ (13.7)	A - B 1.0 C 0.9	F - G - H -	I 11.3 J 0.2	-	-	-	15	橙	粗砂混 入	良好	内面：基底部刷毛目撫で。外面：斜 刷毛。突帯貼付。基底部分残存	35
570	普通円 筒埴輪	① 32.9 ② 26.6 ③ 14.6	A 0.7 B 0.9 C 1.2	F 15.8 G 6.3 H 7.1	I 11.7 J 0.4	23.5 0.3	-	-	15	黄橙	細粒砂	普通	内面：指撫で。上部横刷毛。龍記号 有り。下部粗い刷毛撫で。外面：縦 刷毛。突帯貼付。左。	36
571	普通円 筒埴輪	① 34.7 ② 23.0 ③ 13.6	A 1.0 B 0.9 C 1.2	F 14.5 G 4.8 H 5.6	I 11.9 J 0.2	20.7 0.5	-	-	15	赤橙	糠粒砂	良好 硬い	内面：指撫で。上部横・斜刷毛。龍 記号有り。下部粗い斜撫撫で。外 面：縦刷毛。突帯貼付。	36
572	普通円 筒埴輪	① 36.0 ② 23.1 ③ 14.7	A 0.9 B 0.7 C 1.5	F 16.8 G 5.1 H -	I 12.8 J 0.4	24.3 0.7	-	-	14	赤	糠粒砂	良好 硬い	内面：粗い刷毛撫で。上部斜刷毛。 龍記号有り。下部粗い斜刷毛撫で。 外面：縦刷毛。突帯貼付。左。	36

( ) は残存値または推定値を示す

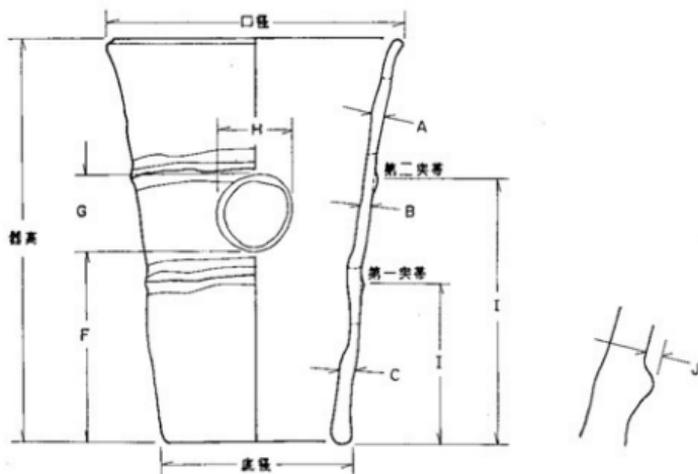
No	名称	① 最高 ② 口径 ③ 底径 (cm)	器厚 (cm)	透孔：下段 (cm)	突 帯 (cm)				刷毛目 本数 /2cm	色調	胎土	焼成	成形調整・備考	実測 図
					1	2	3	4						
573	普通円筒埴輪	① 34.4 ② 24.5 ③ 15.3	A 0.9 B 0.8 C 1.0	F 16.1 G 5.9 H -	I 12.0 J 0.2	22.0 0.2	-	-	14	赤黒	糠粒砂	普通	内面：粗い刷毛痕で、上部埴刷毛。施記号有り。下部粗い刷毛痕で。外面：刷刷毛、突帯貼付。左。	36
574	普通円筒埴輪	① 33.2 ② (18.5) ③ 12.8	A 0.7 B 0.7 C 1.0	F - G - H -	I 12.9 J 0.6	23.8 0.5	-	-	15	赤黒	糠粒砂	普通	内面：粗い刷毛痕で、上部埴刷毛。外面：刷刷毛、突帯貼付。左。	36
575	普通円筒埴輪	① 30.7 ② 24.9 ③ 13.7	A 0.7 B 0.7 C 1.1	F 14.3 G 4.9 H 6.1	I 11.8 J 0.4	21.1 0.4	-	-	12	赤橙	糠粒砂	良好 硬い	内面：指痕で、上部粗い刷毛痕。外面：刷刷毛、施記号有り。突帯貼付。左。	36
576	普通円筒埴輪	① 33.4 ② 24.8 ③ 13.7	A 1.0 B 0.8 C 1.4	F - G - H -	I 11.0 J 0.3	22.0 0.5	-	-	14	赤	糠粒砂	良好 硬い	内面：指痕で、上部埴刷毛。施記号有り。下部粗い刷毛痕で。外面：刷刷毛、突帯一部残。左。	36
577	普通円筒埴輪	① 31.5 ② 24.7 ③ 13.9	A 0.9 B 1.1 C 1.3	F 14.1 G - H 6.3	I 12.0 J 0.2	21.1 0.2	-	-	14	淡赤橙	細粒砂	良好 硬い	内面：指痕で、上部粗い刷毛痕。下部指痕で。外面：やや斜刷毛。突帯一部残。施記号有り。左。	36
578	普通円筒埴輪	① 32.9 ② 19.5 ③ 14.3	A 0.8 B 0.6 C 0.8	F - G - H -	I 13.5 J 0.5	24.3 0.4	-	-	16	淡赤橙	細粒砂	普通	内面：指痕で。(白色に変色)上、下部共に斜刷毛。外面：やや斜刷毛、突帯貼付。左。	36
579	普通円筒埴輪	① 33.8 ② 25.2 ③ 16.4	A 0.9 B 0.9 C 1.3	F - G - H -	I 13.1 J 0.4	22.3 0.3	-	-	17	赤橙	粗砂混入	良好 硬い	内面：指痕で。上部埴刷毛。下部一部斜刷毛。外面：刷刷毛、突帯貼付。左。	36
580	普通円筒埴輪	① (17.4) ② - ③ 15.3	A - B 1.1 C 1.4	F - G - H -	I 11.6 J 0.2	-	-	-	15	橙	粗砂 (0.5mm の小石	良好	内面：基底部刷毛目痕で。外面：刷刷毛、突帯貼付。基底部欠残存。	36
581	普通円筒埴輪	① (18.9) ② - ③ 14.1	A - B 0.7 C 0.8	F 14.8 G - H -	I 8.7 J 0.3	-	-	-	15	橙	粗砂 (0.6mm の小石 を含む)	良好	内面：基底部刷毛目、唇部刷毛目痕で。外面：刷刷毛、突帯貼付。基底部1本の正産。基底部、唇部の一部残存。左。	36
582	普通円筒埴輪	① (15.6) ② - ③ (13.8)	A - B 0.8 C 1.4	F - G - H -	I 8.8 J 0.4	-	-	-	16	明橙	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：基底部斜刷毛痕で。外面：刷刷毛、突帯貼付。口縁部欠残。	36
583	普通円筒埴輪	① (18.3) ② - ③ (13.4)	A - B 1.0 C 1.2	F - G - H -	I 12.9 J -	-	-	-	16	明赤黒	砂粒	良好	内面：基底部刷毛目、唇部痕で。外面：刷刷毛、突帯貼付。基底部欠残存。	36
584	普通円筒埴輪	① (19.0) ② (22.8) ③ -	A 0.6 B 0.8 C -	F - G - H 4.6	I - J -	- 0.5	-	-	15	鈍い 赤黒	粗砂 (0.7mm の小石	良好	内面：口唇部痕で、口唇部刷毛目痕で。口唇部施記号有り。外面：刷刷毛、突帯貼付。左。	36
585	朝顔型 円筒埴輪	① (43.2) ② - ③ 15.8	A1.1 B1.1 C1.1 D1.0 E1.7	F 21.6 G 8.7 H 6.1	I 13.2 J 0.5	28.0 0.3	34.9 0.8	39.3 0.6	15	淡橙	細粒砂	普通	内面：指痕で、一部指痕で。上、下部共に埴刷毛。外面：須部指痕で、突帯貼付。左。	37
586	普通円筒埴輪	① (27.1) ② - ③ 13.7	A 0.7 B 0.9 C 1.1	F 15.0 G - H -	I 10.7 J 0.6	21.5 0.2	-	-	15	明赤黒	粗砂混入 (0.6mm の小石を 含む)	良好	内面：刷刷毛、基底部指痕で。外面：刷刷毛。基底部、唇部残存。	37
587	普通円筒埴輪	① (29.8) ② - ③ (16.0)	A 1.0 B 1.1 C 1.5	F 16.9 G 5.4 H 5.9	I 12.5 J 0.4	23.2 0.4	-	-	16	赤黒	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：刷刷毛、指痕で。外面：刷刷毛、突帯貼付。口縁部欠残。	37
588	普通円筒埴輪	① (29.2) ② - ③ 14.9	A 1.0 B 1.0 C 1.4	F 14.4 G 4.3 H -	I 11.5 J 0.4	20.6 0.4	-	-	14	明赤黒	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：口唇部刷毛目、基底部指痕で。外面：刷刷毛、底帯部1本の正産有り。突帯貼付。口縁部欠残。	37
589	普通円筒埴輪	① (28.5) ② - ③ (15.2)	A 1.7 B 1.3 C 1.2	F 16.3 G 4.3 H -	I 13.9 J 0.5	22.7 0.4	-	-	15	赤黒	1cm~ 1cmの小石 を含む	良好	内面：基底部、斜位の刷毛目、指痕で。外面：刷刷毛、突帯貼付。口縁部欠残。左。	37
590	普通円筒埴輪	① (16.7) ② (24.4) ③ -	A 0.6 B 0.7 C -	F - G - H -	I - J -	- 0.5	-	-	15	明橙	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：口唇部指痕で、口唇部刷毛目。外面：口唇部刷毛目、突帯貼付。左。	37

( ) は検存値または推定値を示す

No	名称	① 器高 口径 底径 (cm)	器厚 (cm)	透孔：下段 (cm)	突 源 (cm)				副毛目 本数 /2cm	色調	粘土	焼成	成形調整・備考	実測 図
					1	2	3	4						
561	普通内 陶埴輪	① (13.4) ② - ③ (12.8)	A - B 0.8 C 1.1	F - G - H -	1 10.0 J 0.3	-	-	-	15	明褐	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：基底部指痕で。外面：基底部 縦刷毛、突部貼付。	37
562	普通内 陶埴輪	① (31.2) ② - ③ 13.4	A 1.0 B 1.0 C 1.5	F 17.3 G 5.5 H 6.1	1 12.2 J 0.5	24.1 0.6	-	-	15	明赤 褐	粗砂 (0.7mm の小石)	良好	内面：基底部刷毛目、脚部指痕で。 外面：縦刷毛、突部貼付。	37
563	普通内 陶埴輪	① 34.3 ② 24.9 ③ 14.4	A 0.9 B 1.0 C 1.1	F - G - H -	1 12.0 J 0.3	23.2 0.3	-	-	16	明赤 褐	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：口縁部横刷毛、脚部指痕で。 基底部縦刷毛。外面：縦刷毛、突部 貼付。左。	37
564	普通内 陶埴輪	① (23.9) ② - ③ (15.3)	A - B 1.0 C 1.1	F - G - H -	1 15.3 J 0.2	-	-	-	15	橙	粗砂 (0.6mm の小石)	良好	内面：基底部刷毛目、脚部指痕で。外 面：縦刷毛、突部貼付。脚部~基底 部残存。左。	37
565	普通内 陶埴輪	① (29.1) ② - ③ (14.6)	A 0.8 B 1.0 C 1.2	F 16.3 G 5.2 H 6.1	1 10.6 J 0.4	22.0 0.5	-	-	15	明赤 褐	0.5 ~ 1cmの 小石を 含む	良好	内面：斜刷毛、指痕で。外面：縦、斜 刷毛、突部貼付。口縁部欠損。	37
566	普通内 陶埴輪	① (10.0) ② - ③ -	A 0.8 B - C -	F - G - H -	1 - J -	-	-	-	14	明赤 褐	粗砂 (0.3mm の小石)	良好	内面：口部指痕で、口縁部指痕で。 外面：縦刷毛。	37
567	普通内 陶埴輪	① (25.1) ② - ③ (15.2)	A 0.9 B 0.9 C 1.2	F - G - H -	1 10.6 J 0.4	22.2 0.3	-	-	16	赤褐	0.5 ~ 1cmの 小石を 含む	やや軟	内面：指で、基底部縦、斜刷毛。外 面：縦刷毛、突部貼付。口縁部欠損。	37
568	普通内 陶埴輪	① (16.7) ② (24.5) ③ -	A 0.9 B 0.8 C -	F - G - H -	1 - J -	-	0.3	-	15	明赤 褐	粗砂直入	良好	内面：口部指痕で、口縁部刷毛目、 脚部指痕で。外面：斜刷毛、突部貼付。	37
569	普通内 陶埴輪	① (20.5) ② 24.7 ③ -	A 0.8 B 0.9 C -	F - G 5.9 H 5.8	1 - J -	-	0.3	-	14	橙	粗砂 (1cmの 小石を 含む)	良	内面：口部指痕で、口縁部指痕で。 口縁部縦記号有り。外面：斜刷毛、 突部貼付。内外面割れあり。	37
600	普通内 陶埴輪	① (17.8) ② (23.4) ③ -	A 0.9 B 0.9 C -	F - G - H -	1 - J -	-	0.2	-	15	橙	粗砂 (0.4mm の小石)	良好	内面：口部指痕で、口縁部刷毛目、 指で。外面：斜刷毛、突部貼付。	37
601	普通内 陶埴輪	① (19.8) ② 23.1 ③ -	A 0.8 B 1.1 C -	F - G - H -	1 - J -	-	0.4	-	16	明赤 褐	粗砂 (0.6mm の小石)	良好	内面：口部指痕で、口縁部刷毛目、 脚部指痕で。外面：縦刷毛、突部貼付。 口縁部一部残存。	38
602	普通内 陶埴輪	① (13.3) ② - ③ -	A 0.9 B 1.0 C -	F - G - H -	1 - J -	-	0.3	-	15	赤褐	粗砂直入	良好	内面：口部指痕で、口縁部刷毛目指 で。外面：斜刷毛、突部貼付。	38
603	普通内 陶埴輪	① (11.4) ② - ③ -	A 0.7 B 0.8 C -	F - G - H -	1 - J -	-	0.4	-	15	明赤 褐	粗砂 (0.6mm の小石)	良好	内面：口部指痕で、口縁部指痕で。 端正磨有り。外面：斜刷毛、突部貼付。 口縁部一部残存。	38
604	普通内 陶埴輪	① (15.0) ② (22.1) ③ -	A 0.7 B 1.0 C -	F - G - H -	1 - J -	-	0.3	-	16	明赤 褐	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：口部指痕で、横、縦刷毛指 で。外面：縦、斜刷毛、突部貼付。 口縁部一部残存。	38
605	普通内 陶埴輪	① (16.3) ② (22.2) ③ -	A 1.0 B 1.0 C -	F - G - H -	1 - J -	-	0.6	-	15	暗赤 褐	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：口部指痕で、横、縦刷毛指 で。外面：縦、斜刷毛、突部貼付。 口縁部一部残存。	38
606	普通内 陶埴輪	① (15.7) ② 20.0 ③ -	A 0.9 B 0.7 C -	F - G - H -	1 - J -	-	0.5	-	16	明赤 褐	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：口縁部縦刷毛、脚部縦指痕 で。外面：縦刷毛、突部貼付。	38
607	普通内 陶埴輪	① (19.5) ② (26.0) ③ -	A 1.0 B 0.9 C -	F - G - H -	1 - J -	-	0.3	-	15	明赤 褐	1~5mm の小石 を含む	良	内面：口部指痕で、横、斜刷毛指 で。外面：縦刷毛、突部貼付。口縁 部一部残存。	38
608	普通内 陶埴輪	① (21.4) ② 26.0 ③ -	A 0.9 B 0.9 C -	F - G - H -	1 - J -	-	0.4	-	16	明赤 褐	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：口部指痕刷毛、脚部縦指痕で。 外面：縦刷毛、突部貼付。	38

( ) は現存値または推定値を示す

No	名称	① 器高 ② 口径 ③ 底径 (cm)	器厚 (cm)	透孔：下段 (cm)	突帯 (cm)				刷毛目 木数 /2cm	色調	胎土	焼成	成形調整・備考	実測 図
					1	2	3	4						
609	普通河 貝埴輪	① (16.5) ② (25.5) ③ -	A 0.9 B 0.8 C -	F - G - H -	I - J -	- 0.3	- -	- -	16	明赤 赭	0.5 ~ 1cmの 小石を	良好	内面：口唇部残物で、横、斜刷毛指 で。外面：縦刷毛、突帯貼付。口縁 部残存。	38
610	普通河 貝埴輪	① (15.6) ② (26.0) ③ -	A 0.9 B 0.9 C -	F - G - H -	I - J -	- 0.6	- -	- -	16	明赤 赭	1~5mm の小石 を含む	良好	内面：口唇部残物で、横、斜刷毛指 で。外面：縦、斜刷毛、突帯貼付。 口縁部残存。	38
622	彩象埴 輪 (人)	色調は赤褐色。胎土に砂粒を含む。焼成は良好。頸部部から胎の先端部まで41.7cm。胴部は14.5cm、厚みは9~9cm、輪部の幅23.0cm、厚みは11~11.5cm。首は9.5cm。首飾りは1.2×1.8cm及び1.2×2.0cmの玉が3点貼り付けられている。外面は縦刷毛目指物で。内面は指物で調整。髪は美豆良に付い、顔は内側も胎土がつまっている。手首には0.7~0.9cmの腕輪が見られる。手のひらの丸みから大刀等を持っていたものと考えられる。首や美豆良に彩色有り。												39
623	彩象埴 輪 (馬)	色調は赤褐色。胎土に砂粒を含む。焼成は良好。器高は胴部がなく、頸長部分で40.1cm、全長76.5cmを測る。外面は鹿皮で・指物でを施し首と胎土灰の部分に刷毛目が見られる。内面は指物でと一部刷毛目が見られ、内面黒色・灰褐色を示する痕跡あり。たて髪は欠損。面頬には幅1.5cmの帯・帯に8部の鉄釘が見られる。鬃は直径4.3cm。手綱は1.5~1.9cm。輪数は不明であるが尻繫と同様のものが2個見られるのでこの部分に接合されるものと思われる。(4.4×4.5と4.8×4.5cm) 鞍は前輪が1.2cm、後輪が0.9cm、鞍の幅は12cmである。鞍から伸びた2本の帯は持ち付きの尻繫の置珠にとりつけている。尻尾は9.7cm、幅2.5cm、先端は尖り上を向いている。												39



## 耳環及び玉類

( ) は推定値または残存値を示す

No	位置	名称	計測値 (cm)						重さ (g)	色調	残存状態	実測図
			a	b	c	d	e	f				
464	M-4	耳環	2.82	2.53	1.61	1.47	0.60	0.65	17.69	金	完形	32
465	M-4	耳環	2.81	2.54	1.61	1.41	0.65	0.62	17.99	金	完形	32
466	M-4	耳環	2.76	2.44	1.47	1.25	0.74	0.65	18.01	緑青	完形	32
467	M-4	耳環	2.85	2.55	1.54	1.31	0.79	0.67	19.38	緑青	完形	32
468	M-4	耳環	3.05	2.70	1.65	1.40	0.68	0.68	21.49	緑青	完形	32
469	M-4	耳環	3.30	3.07	1.68	1.51	0.80	0.80	31.72	緑青	完形	32
628	M-11	耳環	2.68	2.40	1.67	1.48	0.52	0.49	9.00	緑青	完形	40
629	M-11	耳環	2.64	2.42	1.68	1.52	0.48	0.46	9.22	緑青	完形	40
648	M-13	耳環	(1.8)	(1.7)	(1.1)	(0.9)	(0.47)	(0.37)	1.51	緑青	破損 3片	41
649	M-13	耳環	2.40	2.24	1.33	1.20	0.57	0.55	8.96	緑青	完形	41
650	M-13	耳環	2.22	2.14	1.17	1.18	0.78	0.52	11.51	緑青	完形	41
651	M-13	耳環	2.27	2.10	1.29	1.17	0.80	0.59	12.54	緑青	完形	41

No	位置	名称	計測値 (cm)				材質	重さ (g)	色調	残存状態	実測図
			a	b	c	d					
458	M-4	切子玉	a <sub>1</sub> 1.59 a <sub>2</sub> 1.57	b <sub>1</sub> 0.57 b <sub>2</sub> 0.62	1.08	d <sub>1</sub> 0.96 d <sub>2</sub> 0.20	水晶	2.26	透明	完形	32
459	M-4	切子玉	a <sub>1</sub> 2.10 a <sub>2</sub> 2.08	b <sub>1</sub> 1.03 b <sub>2</sub> 0.92	1.60	d <sub>1</sub> 0.34 d <sub>2</sub> 0.18	水晶	5.76	透明	完形	32
460	M-4	切子玉	a <sub>1</sub> 1.86 a <sub>2</sub> 1.82	b <sub>1</sub> 0.83 b <sub>2</sub> 0.84	1.46	d <sub>1</sub> 0.52 d <sub>2</sub> 0.19	水晶	4.84	透明	完形	32
461	M-4	切子玉	a <sub>1</sub> 1.57 a <sub>2</sub> 1.55	b <sub>1</sub> 0.80 b <sub>2</sub> 0.75	1.33	d <sub>1</sub> 0.36 d <sub>2</sub> 0.18	水晶	3.24	透明	完形	32
462	M-4	切子玉	a <sub>1</sub> 1.86 a <sub>2</sub> 1.85	b <sub>1</sub> 0.61 b <sub>2</sub> 0.67	1.22	d <sub>1</sub> 0.38 d <sub>2</sub> 0.20	水晶	3.63	透明	完形	32
463	M-4	薬玉	a <sub>1</sub> 1.82 a <sub>2</sub> 1.64	b <sub>1</sub> 0.66 b <sub>2</sub> 0.61	0.95	d <sub>1</sub> 0.27 d <sub>2</sub> 0.25	琥珀	0.84	鈍い赤褐色	ほぼ完形	32
470	M-4	均玉	2.60	1.67	0.95	d <sub>1</sub> 0.50 d <sub>2</sub> 0.30	瑪瑙	4.87	暗赤褐色	完形	32
471	M-4	均玉	2.78	1.60	1.01	d <sub>1</sub> 0.30 d <sub>2</sub> 0.63	瑪瑙	5.93	明緑	完形	32
472	M-4	均玉	2.48	1.64	0.81	d <sub>1</sub> 0.14 d <sub>2</sub> 0.32	瑪瑙	4.38	明緑	完形	32
473	M-4	均玉	2.66	1.63	0.86	d <sub>1</sub> 0.41 d <sub>2</sub> 0.48	瑪瑙	4.61	明緑	完形	32
474	M-4	均玉	3.15	1.74	0.89	d <sub>1</sub> 0.18 d <sub>2</sub> 0.43	瑪瑙	6.24	鈍い緑	完形	32
475	M-4	均玉	2.46	1.46	0.78	d <sub>1</sub> 0.27 d <sub>2</sub> 0.16	瑪瑙	4.13	赤褐色	完形	32
476	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.72 a <sub>2</sub> 0.71	b <sub>1</sub> 0.73 b <sub>2</sub> 0.74	1.03	d <sub>1</sub> 0.14 d <sub>2</sub> 0.14	ガラス	1.11	青	完形	32
477	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.74 a <sub>2</sub> 0.68	b <sub>1</sub> 0.64 b <sub>2</sub> 0.62	0.88	d <sub>1</sub> 0.19 d <sub>2</sub> 0.19	ガラス	0.88	青	完形	32
478	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.50 a <sub>2</sub> 0.46	b <sub>1</sub> 0.70 b <sub>2</sub> 0.72	0.97	d <sub>1</sub> 0.16 d <sub>2</sub> 0.17	ガラス	0.78	青	完形	32
479	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.58 a <sub>2</sub> 0.52	b <sub>1</sub> 0.65 b <sub>2</sub> 0.70	0.96	d <sub>1</sub> 0.26 d <sub>2</sub> 0.27	ガラス	0.77	青	完形	32
480	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.64 a <sub>2</sub> 0.65	b <sub>1</sub> 0.66 b <sub>2</sub> 0.66	0.95	d <sub>1</sub> 0.15 d <sub>2</sub> 0.14	ガラス	0.72	青	完形	32
481	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.63 a <sub>2</sub> 0.60	b <sub>1</sub> 0.60 b <sub>2</sub> 0.61	0.88	d <sub>1</sub> 0.25 d <sub>2</sub> 0.23	ガラス	0.71	うすい青	完形	32
482	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.54 a <sub>2</sub> 0.51	b <sub>1</sub> 0.67 b <sub>2</sub> 0.66	0.95	d <sub>1</sub> 0.14 d <sub>2</sub> 0.15	ガラス	0.68	青	完形	32
483	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.50 a <sub>2</sub> 0.50	b <sub>1</sub> 0.56 b <sub>2</sub> 0.56	0.78	d <sub>1</sub> 0.12 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.45	青	完形	32

No	位置	名称	計測値 (cm)				材質	重さ (g)	色調	残存状態	実測図
			a	b	c	d					
484	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.58 a <sub>2</sub> 0.57	b <sub>1</sub> 0.50 b <sub>2</sub> 0.56	0.69	d <sub>1</sub> 0.13 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.44	青	完形	32
485	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.41 a <sub>2</sub> 0.39	b <sub>1</sub> 0.65 b <sub>2</sub> 0.66	0.81	d <sub>1</sub> 0.18 d <sub>2</sub> 0.17	ガラス	0.40	青	完形	32
486	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.50 a <sub>2</sub> 0.46	b <sub>1</sub> 0.32 b <sub>2</sub> 0.34	0.52	d <sub>1</sub> 0.20 d <sub>2</sub> 0.21	ガラス	0.17	紫青	完形	32
487	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.38 a <sub>2</sub> 0.33	b <sub>1</sub> 0.54 b <sub>2</sub> 0.55	0.55	d <sub>1</sub> 0.18 d <sub>2</sub> 0.19	ガラス	0.17	紫青	完形	32
488	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.38 a <sub>2</sub> 0.36	b <sub>1</sub> 0.45 b <sub>2</sub> 0.41	長0.52短0.47	d <sub>1</sub> 0.13 d <sub>2</sub> 0.14	ガラス	0.14	藍	完形	32
489	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.36 a <sub>2</sub> 0.30	b <sub>1</sub> 0.38 b <sub>2</sub> 0.36	0.51	d <sub>1</sub> 0.16 d <sub>2</sub> 0.14	ガラス	0.11	黄緑	完形	32
490	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.29 a <sub>2</sub> 0.28	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.30	0.46	d <sub>1</sub> 0.13 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.08	淡青	完形	32
491	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.26 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.26	0.40	d <sub>1</sub> 0.12 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.06	淡青	完形	32
492	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.34 a <sub>2</sub> 0.21	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.24	0.38	d <sub>1</sub> 0.12 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.05	黄	完形	32
493	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.19 a <sub>2</sub> 0.17	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.22	0.36	d <sub>1</sub> 0.13 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.04	緑	完形	32
494	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.60 a <sub>2</sub> 0.60	b <sub>1</sub> 0.54 b <sub>2</sub> 0.59	0.70	d <sub>1</sub> 0.17 d <sub>2</sub> 0.20	ガラス	0.58	濃藍	完形	-
495	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.57 a <sub>2</sub> 0.53	b <sub>1</sub> 0.62 b <sub>2</sub> 0.62	0.76	d <sub>1</sub> 0.13 d <sub>2</sub> 0.23	ガラス	0.54	濃藍	完形	-
496	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.59 a <sub>2</sub> 0.57	b <sub>1</sub> 0.63 b <sub>2</sub> 0.42	0.85	d <sub>1</sub> 0.17 d <sub>2</sub> 0.15	ガラス	0.60	藍	完形	-
497	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.60 a <sub>2</sub> 0.60	b <sub>1</sub> 0.56 b <sub>2</sub> 0.62	0.80	d <sub>1</sub> 0.12 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.66	濃藍	完形	-
498	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.40 a <sub>2</sub> 0.35	b <sub>1</sub> 0.57 b <sub>2</sub> 0.52	0.75	d <sub>1</sub> 0.13 d <sub>2</sub> 0.16	ガラス	0.29	濃藍	完形	-
499	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.52 a <sub>2</sub> 0.50	b <sub>1</sub> 0.58 b <sub>2</sub> 0.63	長0.86短0.81	d <sub>1</sub> 0.17 d <sub>2</sub> 0.16	ガラス	0.53	淡藍	完形	-
500	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.62 a <sub>2</sub> 0.58	b <sub>1</sub> 0.68 b <sub>2</sub> 0.62	0.87	d <sub>1</sub> 0.14 d <sub>2</sub> 0.14	ガラス	0.75	濃藍	完形	-
501	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.61 a <sub>2</sub> 0.60	b <sub>1</sub> 0.67 b <sub>2</sub> 0.64	0.93	d <sub>1</sub> 0.14 d <sub>2</sub> 0.14	ガラス	0.78	濃藍	完形	-
502	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.66 a <sub>2</sub> 0.55	b <sub>1</sub> 0.61 b <sub>2</sub> 0.66	0.77	d <sub>1</sub> 0.20 d <sub>2</sub> 0.19	ガラス	0.58	濃藍	完形	-
503	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.60 a <sub>2</sub> 0.54	b <sub>1</sub> 0.70 b <sub>2</sub> 0.55	長0.86短0.82	d <sub>1</sub> 0.12 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.66	濃藍	完形	-
504	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.70 a <sub>2</sub> 0.62	b <sub>1</sub> 0.66 b <sub>2</sub> 0.66	0.86	d <sub>1</sub> 0.16 d <sub>2</sub> 0.16	ガラス	0.83	濃藍	完形	-
505	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.63 a <sub>2</sub> 0.56	b <sub>1</sub> 0.62 b <sub>2</sub> 0.62	長0.88短0.77	d <sub>1</sub> 0.14 d <sub>2</sub> 0.17	ガラス	0.70	濃藍	完形	-
506	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.66 a <sub>2</sub> 0.64	b <sub>1</sub> 0.75 b <sub>2</sub> 0.77	0.94	d <sub>1</sub> 0.16 d <sub>2</sub> 0.16	ガラス	1.00	藍	完形	-
507	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.55 a <sub>2</sub> 0.53	b <sub>1</sub> 0.56 b <sub>2</sub> 0.54	0.79	d <sub>1</sub> 0.13 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.54	藍	完形	-
508	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.68 a <sub>2</sub> 0.62	b <sub>1</sub> 0.69 b <sub>2</sub> 0.67	長0.94短0.78	d <sub>1</sub> 0.16 d <sub>2</sub> 0.15	ガラス	0.75	藍	完形	-
509	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.70 a <sub>2</sub> 0.69	b <sub>1</sub> 0.71 b <sub>2</sub> 0.70	長0.98短0.92	d <sub>1</sub> 0.17 d <sub>2</sub> 0.17	ガラス	1.02	濃藍	完形	-
510	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.67 a <sub>2</sub> 0.64	b <sub>1</sub> 0.70 b <sub>2</sub> 0.70	長0.92短0.86	d <sub>1</sub> 0.18 d <sub>2</sub> 0.19	ガラス	0.89	藍	完形	-
511	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.60 a <sub>2</sub> 0.56	b <sub>1</sub> 0.78 b <sub>2</sub> 0.76	0.97	d <sub>1</sub> 0.15 d <sub>2</sub> 0.14	ガラス	0.90	濃藍	完形	-
512	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.57 a <sub>2</sub> 0.48	b <sub>1</sub> 0.72 b <sub>2</sub> 0.70	長0.84短0.76	d <sub>1</sub> 0.13 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.61	濃藍	完形	-
513	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.56 a <sub>2</sub> 0.54	b <sub>1</sub> 0.62 b <sub>2</sub> 0.62	長0.74短0.70	d <sub>1</sub> 0.14 d <sub>2</sub> 0.14	ガラス	0.49	濃藍	完形	-

No	位置	名称	計 測 値 (cm)				材質	重さ (g)	色調	残存状態	実測 写真
			a	b	c	d					
514	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.77 a <sub>2</sub> 0.79	b <sub>1</sub> 0.69 b <sub>2</sub> 0.71	長0.93短0.83	d <sub>1</sub> 0.14 d <sub>2</sub> 0.14	ガラス	0.90	濃藍	完形	-
515	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.47 a <sub>2</sub> 0.40	b <sub>1</sub> 0.44 b <sub>2</sub> 0.44	長0.48短0.44	d <sub>1</sub> 0.14 d <sub>2</sub> 0.15	ガラス	0.15	濃藍	完形	-
516	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.40 a <sub>2</sub> 0.40	b <sub>1</sub> 0.46 b <sub>2</sub> 0.44	長0.51短0.45	d <sub>1</sub> 0.12 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.16	藍	完形	-
517	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.28	0.35	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.04	黄	完形	-
518	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.44 a <sub>2</sub> 0.40	b <sub>1</sub> 0.29 b <sub>2</sub> 0.27	0.50	d <sub>1</sub> 0.13 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.14	藍	完形	-
519	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.32 a <sub>2</sub> 0.30	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.28	0.42	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.09	青	完形	-
520	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.28 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.40	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	淡青	完形	-
521	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.35 a <sub>2</sub> 0.34	b <sub>1</sub> 0.40 b <sub>2</sub> 0.36	0.50	d <sub>1</sub> 0.13 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.14	淡藍	完形	-
522	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.28 a <sub>2</sub> 0.18	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.25	0.36	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.04	青	完形	-
523	M-4	小玉	a <sub>1</sub> 0.34 a <sub>2</sub> 0.33	b <sub>1</sub> 0.43 b <sub>2</sub> 0.42	長0.60短0.50	d <sub>1</sub> 0.13 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.16	藍	完形	-
524	M-4	麗玉	a <sub>1</sub> - a <sub>2</sub> (1.17)	b <sub>1</sub> - b <sub>2</sub> (0.77)	(0.94)	d <sub>1</sub> - d <sub>2</sub> (0.32)	ガラス	0.26	鈍い赤緑	破片	-
630	M-11	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.14	0.37	-	ガラス	0.05	灰白	未穿孔	-
652	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.30 a <sub>2</sub> 0.28	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.26	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.07	紺	完形	41
653	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.44	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.08	濃紺	完形	41
654	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.27 a <sub>2</sub> 0.27	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.25	0.40	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.07	淡紺	完形	41
655	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.25 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.25	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.06	紺	完形	41
656	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.27 a <sub>2</sub> 0.25	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.24	0.39	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.06	淡紺	完形	41
657	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.21 a <sub>2</sub> 0.18	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.28	0.41	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.05	紺	完形	41
658	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.27 a <sub>2</sub> 0.25	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.27	0.40	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.06	濃紺	完形	41
659	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.18	b <sub>1</sub> 0.29 b <sub>2</sub> 0.30	長0.45短0.37	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	41
660	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.23 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.27	0.38	d <sub>1</sub> 0.07 d <sub>2</sub> 0.06	ガラス	0.06	濃紺	完形	41
661	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.29 a <sub>2</sub> 0.28	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.34	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	淡紺	完形	41
662	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.21	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.24	0.40	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	41
663	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.21	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.24	0.36	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	41
664	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.24	0.40	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	41
665	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.16	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.27	0.39	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	41
666	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.22	0.37	d <sub>1</sub> 0.07 d <sub>2</sub> 0.07	ガラス	0.04	紺	完形	41
667	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.18 a <sub>2</sub> 0.17	b <sub>1</sub> 0.23 b <sub>2</sub> 0.20	0.32	d <sub>1</sub> 0.07 d <sub>2</sub> 0.08	ガラス	0.03	紺	完形	41
668	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.18 a <sub>2</sub> 0.16	b <sub>1</sub> 0.23 b <sub>2</sub> 0.24	0.32	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.03	紺	完形	41
669	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.25 a <sub>2</sub> 0.25	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.26	0.38	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-

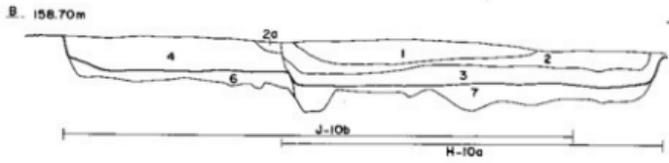
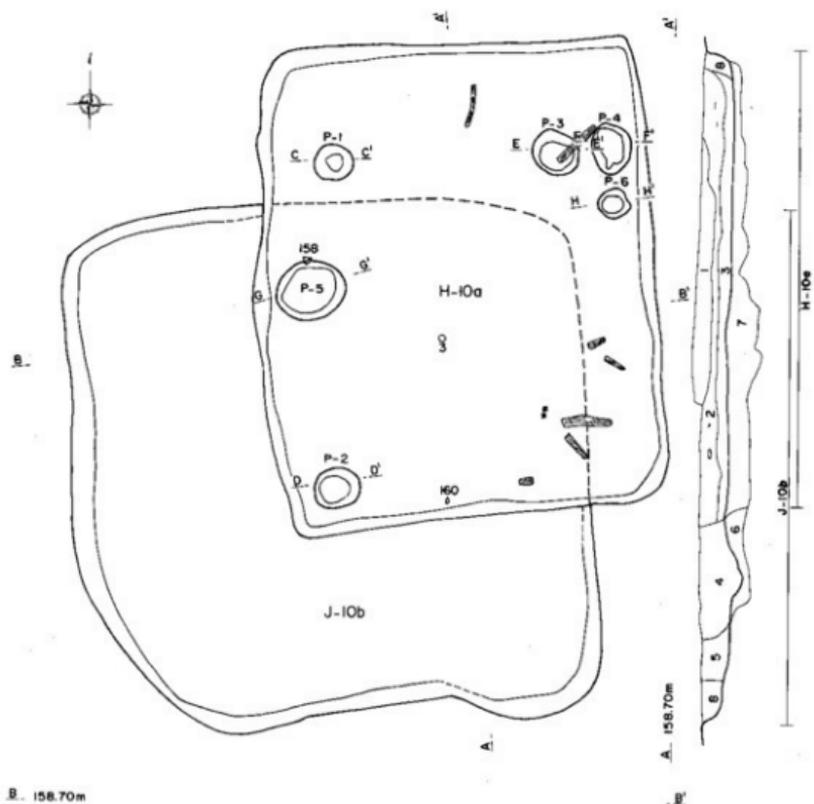
No	位置	名称	計測値 (cm)				材質	重さ (g)	色調	残存状態	実測図
			a	b	c	d					
670	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.29 a <sub>2</sub> 0.28	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.22	0.37	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.06	紺	完形	-
671	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.29 b <sub>2</sub> 0.29	0.36	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.05	紺	完形	-
672	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.29 a <sub>2</sub> 0.28	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.26	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.06	紺	完形	-
673	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.29 a <sub>2</sub> 0.34	b <sub>1</sub> 0.31 b <sub>2</sub> 0.29	0.37	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.06	紺	完形	-
674	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.31 a <sub>2</sub> 0.29	b <sub>1</sub> 0.32 b <sub>2</sub> 0.23	0.38	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.06	紺	完形	-
675	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.28 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.24	0.35	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.06	紺	完形	-
676	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.21 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.32 b <sub>2</sub> 0.24	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.04	紺	完形	-
677	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.21 a <sub>2</sub> 0.19	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.27	0.36	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.04	紺	完形	-
678	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.25	0.37	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.05	紺	完形	-
679	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.32 b <sub>2</sub> 0.24	0.37	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
680	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.28	0.40	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
681	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.23 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.23	0.36	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
682	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.31 b <sub>2</sub> 0.28	0.37	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.04	紺	完形	-
683	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.24	0.36	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.04	紺	完形	-
684	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.27 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.31 b <sub>2</sub> 0.30	0.37	d <sub>1</sub> 0.08 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
685	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.27	0.40	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
686	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.21	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.26	0.37	d <sub>1</sub> 0.08 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.04	淡紺	完形	-
687	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.25 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.27	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.06	紺	完形	-
688	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.24	0.35	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.04	紺	完形	-
689	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.25 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.25	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.05	紺	完形	-
690	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.23 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.22	0.35	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.04	紺	完形	-
691	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.32 b <sub>2</sub> 0.25	0.37	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
692	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.29 b <sub>2</sub> 0.23	0.36	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
693	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.23	0.38	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
694	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.32 b <sub>2</sub> 0.26	0.37	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
695	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.25	0.35	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
696	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.25 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.33 b <sub>2</sub> 0.26	0.40	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.05	紺	完形	-
697	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.22	0.38	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.08	ガラス	0.06	紺	完形	-
698	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.20	0.36	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.05	紺	完形	-
699	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.33 b <sub>2</sub> 0.29	0.38	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.05	紺	完形	-

No	位置	名称	計 測 値 (cm)				材質	重さ (g)	色調	残存状態	実測図
			a	b	c	d					
700	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.24 a <sub>2</sub> : 0.22	b <sub>1</sub> : 0.30 b <sub>2</sub> : 0.28	0.38	d <sub>1</sub> : 0.09 d <sub>2</sub> : 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
701	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.18 a <sub>2</sub> : 0.18	b <sub>1</sub> : 0.26 b <sub>2</sub> : 0.24	0.36	d <sub>1</sub> : 0.09 d <sub>2</sub> : 0.10	ガラス	0.04	紺	完形	-
702	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.20 a <sub>2</sub> : 0.20	b <sub>1</sub> : 0.30 b <sub>2</sub> : 0.30	0.41	d <sub>1</sub> : 0.09 d <sub>2</sub> : 0.11	ガラス	0.04	紺	完形	-
703	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.23 a <sub>2</sub> : 0.22	b <sub>1</sub> : 0.30 b <sub>2</sub> : 0.24	0.39	d <sub>1</sub> : 0.11 d <sub>2</sub> : 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
704	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.20 a <sub>2</sub> : 0.20	b <sub>1</sub> : 0.30 b <sub>2</sub> : 0.27	0.34	d <sub>1</sub> : 0.09 d <sub>2</sub> : 0.11	ガラス	0.04	紺	完形	-
705	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.22 a <sub>2</sub> : 0.21	b <sub>1</sub> : 0.30 b <sub>2</sub> : 0.28	0.37	d <sub>1</sub> : 0.11 d <sub>2</sub> : 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
706	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.23 a <sub>2</sub> : 0.22	b <sub>1</sub> : 0.24 b <sub>2</sub> : 0.24	0.37	d <sub>1</sub> : 0.06 d <sub>2</sub> : 0.08	ガラス	0.06	紺	完形	-
707	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.20 a <sub>2</sub> : 0.18	b <sub>1</sub> : 0.32 b <sub>2</sub> : 0.28	0.37	d <sub>1</sub> : 0.08 d <sub>2</sub> : 0.09	ガラス	0.05	紺	完形	-
708	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.24 a <sub>2</sub> : 0.21	b <sub>1</sub> : 0.30 b <sub>2</sub> : 0.26	0.38	d <sub>1</sub> : 0.08 d <sub>2</sub> : 0.09	ガラス	0.05	紺	完形	-
709	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.21 a <sub>2</sub> : 0.17	b <sub>1</sub> : 0.24 b <sub>2</sub> : 0.24	0.36	d <sub>1</sub> : 0.08 d <sub>2</sub> : 0.09	ガラス	0.04	紺	完形	-
710	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.24 a <sub>2</sub> : 0.22	b <sub>1</sub> : 0.30 b <sub>2</sub> : 0.27	0.38	d <sub>1</sub> : 0.07 d <sub>2</sub> : 0.08	ガラス	0.05	紺	完形	-
711	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.24 a <sub>2</sub> : 0.20	b <sub>1</sub> : 0.30 b <sub>2</sub> : 0.26	0.38	d <sub>1</sub> : 0.09 d <sub>2</sub> : 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
712	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.20 a <sub>2</sub> : 0.16	b <sub>1</sub> : 0.27 b <sub>2</sub> : 0.25	0.34	d <sub>1</sub> : 0.11 d <sub>2</sub> : 0.12	ガラス	0.04	淡紺	完形	-
713	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.21 a <sub>2</sub> : 0.19	b <sub>1</sub> : 0.26 b <sub>2</sub> : 0.26	0.36	d <sub>1</sub> : 0.11 d <sub>2</sub> : 0.12	ガラス	0.04	紺	完形	-
714	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.24 a <sub>2</sub> : 0.24	b <sub>1</sub> : 0.26 b <sub>2</sub> : 0.24	0.37	d <sub>1</sub> : 0.10 d <sub>2</sub> : 0.11	ガラス	0.06	濃紺	完形	-
715	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.25 a <sub>2</sub> : 0.24	b <sub>1</sub> : 0.27 b <sub>2</sub> : 0.24	0.37	d <sub>1</sub> : 0.09 d <sub>2</sub> : 0.10	ガラス	0.06	濃紺	完形	-
716	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.20 a <sub>2</sub> : 0.18	b <sub>1</sub> : 0.27 b <sub>2</sub> : 0.26	0.36	d <sub>1</sub> : 0.09 d <sub>2</sub> : 0.10	ガラス	0.04	紺	完形	-
717	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.25 a <sub>2</sub> : 0.25	b <sub>1</sub> : 0.28 b <sub>2</sub> : 0.27	0.39	d <sub>1</sub> : 0.12 d <sub>2</sub> : 0.12	ガラス	0.05	紺	完形	-
718	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.22 a <sub>2</sub> : 0.21	b <sub>1</sub> : 0.28 b <sub>2</sub> : 0.28	0.38	d <sub>1</sub> : 0.10 d <sub>2</sub> : 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
719	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.24 a <sub>2</sub> : 0.20	b <sub>1</sub> : 0.26 b <sub>2</sub> : 0.24	0.34	d <sub>1</sub> : 0.12 d <sub>2</sub> : 0.11	ガラス	0.03	淡紺	完形	-
720	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.25 a <sub>2</sub> : 0.24	b <sub>1</sub> : 0.28 b <sub>2</sub> : 0.29	0.37	d <sub>1</sub> : 0.09 d <sub>2</sub> : 0.10	ガラス	0.06	紺	完形	-
721	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.25 a <sub>2</sub> : 0.22	b <sub>1</sub> : 0.28 b <sub>2</sub> : 0.26	0.35	d <sub>1</sub> : 0.10 d <sub>2</sub> : 0.11	ガラス	0.04	紺	完形	-
722	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.24 a <sub>2</sub> : 0.22	b <sub>1</sub> : 0.27 b <sub>2</sub> : 0.24	0.38	d <sub>1</sub> : 0.09 d <sub>2</sub> : 0.10	ガラス	0.05	淡紺	完形	-
723	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.22 a <sub>2</sub> : 0.21	b <sub>1</sub> : 0.26 b <sub>2</sub> : 0.24	0.36	d <sub>1</sub> : 0.10 d <sub>2</sub> : 0.11	ガラス	0.04	紺	完形	-
724	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.20 a <sub>2</sub> : 0.20	b <sub>1</sub> : 0.28 b <sub>2</sub> : 0.24	0.36	d <sub>1</sub> : 0.11 d <sub>2</sub> : 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
725	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.26 a <sub>2</sub> : 0.25	b <sub>1</sub> : 0.28 b <sub>2</sub> : 0.30	0.35	d <sub>1</sub> : 0.11 d <sub>2</sub> : 0.12	ガラス	0.06	紺	完形	-
726	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.23 a <sub>2</sub> : 0.22	b <sub>1</sub> : 0.25 b <sub>2</sub> : 0.26	0.36	d <sub>1</sub> : 0.11 d <sub>2</sub> : 0.12	ガラス	0.05	紺	完形	-
727	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.22 a <sub>2</sub> : 0.22	b <sub>1</sub> : 0.25 b <sub>2</sub> : 0.25	0.36	d <sub>1</sub> : 0.09 d <sub>2</sub> : 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
728	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.26 a <sub>2</sub> : 0.25	b <sub>1</sub> : 0.28 b <sub>2</sub> : 0.28	0.40	d <sub>1</sub> : 0.11 d <sub>2</sub> : 0.12	ガラス	0.06	紺	完形	-
729	M-13	小玉	a <sub>1</sub> : 0.20 a <sub>2</sub> : 0.20	b <sub>1</sub> : 0.26 b <sub>2</sub> : 0.26	0.37	d <sub>1</sub> : 0.09 d <sub>2</sub> : 0.09	ガラス	0.04	紺	完形	-

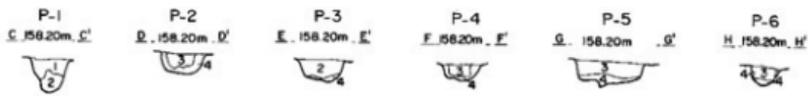
No	位置	名称	計 測 値 (cm)				材質	重さ (g)	色調	残存状態	実測図
			a	b	c	d					
730	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.17	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.22	0.37	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.04	淡紺	完形	-
731	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.18 a <sub>2</sub> 0.15	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.24	0.34	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.03	淡紺	完形	-
732	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.26	0.37	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.05	紺	完形	-
733	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.25 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.23 b <sub>2</sub> 0.22	0.39	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.06	濃紺	完形	-
734	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.25	0.37	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.06	紺	完形	-
735	M-13	小玉	-	-	-	-	ガラス	0.05	紺	破損	-
736	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.24	0.36	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
737	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.26 a <sub>2</sub> 0.26	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.17	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.08	ガラス	0.06	紺	完形	-
738	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.21	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.22	0.35	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.04	紺	完形	-
739	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.25 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.29	長0.39短0.37	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.08	ガラス	0.05	紺	完形	-
740	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.25	0.36	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
741	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.22 b <sub>2</sub> 0.27	0.39	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.08	ガラス	0.05	淡紺	完形	-
742	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.40	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	淡紺	完形	-
743	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.24	0.40	d <sub>1</sub> 0.08 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.06	紺	完形	-
744	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.17	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.26	0.36	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.04	紺	完形	-
745	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.18	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.37	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
746	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.18	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.24	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
747	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.19	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.30	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
748	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.21 a <sub>2</sub> 0.19	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.27	0.38	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.05	紺	完形	-
749	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.17 a <sub>2</sub> 0.16	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.24	0.34	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.04	淡紺	完形	-
750	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.27	0.40	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
751	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.23 b <sub>2</sub> 0.25	0.37	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
752	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.21 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
753	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.28	長0.40短0.38	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.06	紺	完形	-
754	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.27	0.40	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.06	紺	完形	-
755	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.26 a <sub>2</sub> 0.16	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.28	0.40	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.06	淡紺	完形	-
756	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.23	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.05	濃紺	完形	-
757	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.27	0.38	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.05	紺	完形	-
758	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.24	0.40	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
759	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.21 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.36 b <sub>2</sub> 0.36	0.38	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.05	紺	完形	-

No	位置	名称	計測値 (cm)				材質	重さ (g)	色調	残存状態	実測区
			a	b	c	d					
760	M-13	小玉	-	-	-	-	ガラス	0.04	淡紺	破損	-
761	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.28	0.38	d <sub>1</sub> 0.12 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.06	紺	完形	-
762	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.30	0.40	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.06	紺	完形	-
763	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.22	0.37	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
764	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.22 b <sub>2</sub> 0.26	0.40	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	淡紺	完形	-
765	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.26	0.38	d <sub>1</sub> 0.08 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.06	淡紺	完形	-
766	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.38	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
767	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.40	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	淡紺	完形	-
768	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.19	b <sub>1</sub> 0.33 b <sub>2</sub> 0.33	0.42	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.06	紺	完形	-
769	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.17	b <sub>1</sub> 0.22 b <sub>2</sub> 0.23	0.35	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.04	紺	完形	-
770	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.35 b <sub>2</sub> 0.35	0.37	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.05	濃紺	完形	-
771	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.23 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.30	0.43	d <sub>1</sub> 0.12 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.06	紺	完形	-
772	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.27	0.40	d <sub>1</sub> 0.08 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.06	濃紺	完形	-
773	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.19	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.37	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
774	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.18	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.26	0.35	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
775	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.18	b <sub>1</sub> 0.20 b <sub>2</sub> 0.25	0.35	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.08	ガラス	0.04	紺	完形	-
776	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.19	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.39	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
777	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.24	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
778	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.26 a <sub>2</sub> 0.25	b <sub>1</sub> 0.23 b <sub>2</sub> 0.26	0.38	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	濃紺	完形	-
779	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.23 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.38	d <sub>1</sub> 0.08 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.05	紺	完形	-
780	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.23	0.36	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.04	淡紺	完形	-
781	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.23 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.30	0.40	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
782	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.24	0.40	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
783	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.26 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.39	d <sub>1</sub> 0.08 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.07	紺	完形	-
784	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.25 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.27	0.42	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	淡紺	完形	-
785	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.19 a <sub>2</sub> 0.17	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.27	0.40	d <sub>1</sub> 0.12 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.04	紺	完形	-
786	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.19	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.25	0.39	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.08	ガラス	0.05	淡紺	完形	-
787	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.26 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.24	0.37	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
788	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.23 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.26	0.40	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	淡紺	完形	-
789	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.19	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.30	0.40	d <sub>1</sub> 0.12 d <sub>2</sub> 0.13	ガラス	0.05	紺	完形	-

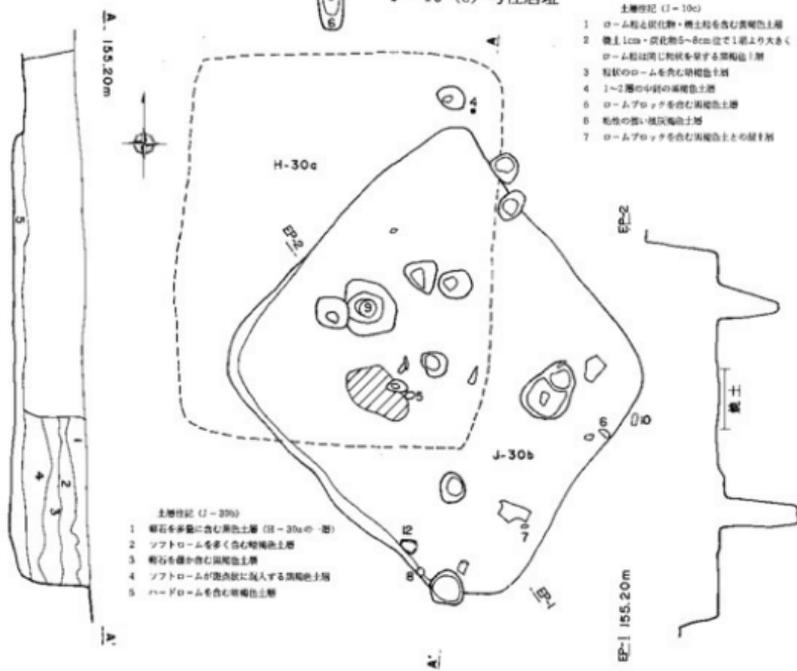
No	位置	名称	計 測 値 (cm)				材質	重さ (g)	色調	残存状態	実測図
			a	b	c	d					
790	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.25 a <sub>2</sub> 0.25	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.26	0.40	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.07	淡紺	完形	-
791	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.19 a <sub>2</sub> 0.17	b <sub>1</sub> 0.30 b <sub>2</sub> 0.23	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.04	紺	完形	-
792	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.28 a <sub>2</sub> 0.24	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.28	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.06	紺	完形	-
793	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.25	長0.38短0.36	d <sub>1</sub> 0.12 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.05	紺	完形	-
794	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.24	0.37	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
795	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.23 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.28 b <sub>2</sub> 0.26	0.42	d <sub>1</sub> 0.11 d <sub>2</sub> 0.12	ガラス	0.06	淡紺	完形	-
796	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.22 b <sub>2</sub> 0.26	0.39	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.06	淡紺	完形	-
797	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.19	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.38	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	淡紺	完形	-
798	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.22	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.28	0.37	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
799	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.18	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.25	0.33	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.03	紺	完形	-
800	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.23	0.33	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.04	紺	完形	-
801	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.21 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.25	0.37	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.05	紺	完形	-
802	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.22 a <sub>2</sub> 0.20	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.25	0.35	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.05	紺	完形	-
803	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.17 a <sub>2</sub> 0.17	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.24	0.33	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.03	紺	完形	-
804	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.28 a <sub>2</sub> 0.21	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.27	0.40	d <sub>1</sub> 0.07 d <sub>2</sub> 0.08	ガラス	0.05	紺	完形	-
805	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.24 a <sub>2</sub> 0.23	b <sub>1</sub> 0.27 b <sub>2</sub> 0.28	0.36	d <sub>1</sub> 0.07 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.05	紺	完形	-
806	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.18 a <sub>2</sub> 0.17	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.23	0.35	d <sub>1</sub> 0.08 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.04	紺	完形	-
807	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.18 a <sub>2</sub> 0.16	b <sub>1</sub> 0.25 b <sub>2</sub> 0.25	0.32	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.02	紺	完形	-
808	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.19 a <sub>2</sub> 0.16	b <sub>1</sub> 0.26 b <sub>2</sub> 0.26	0.36	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.04	紺	完形	-
809	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.19	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.24	0.37	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.04	紺	完形	-
810	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.19	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.24	0.32	d <sub>1</sub> 0.08 d <sub>2</sub> 0.09	ガラス	0.03	紺	完形	-
811	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.21 a <sub>2</sub> 0.18	b <sub>1</sub> 0.23 b <sub>2</sub> 0.21	0.34	d <sub>1</sub> 0.09 d <sub>2</sub> 0.10	ガラス	0.03	紺	完形	-
812	M-13	小玉	a <sub>1</sub> 0.20 a <sub>2</sub> 0.18	b <sub>1</sub> 0.24 b <sub>2</sub> 0.24	0.33	d <sub>1</sub> 0.10 d <sub>2</sub> 0.11	ガラス	0.03	紺	完形	-



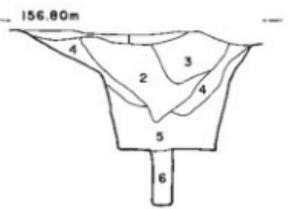
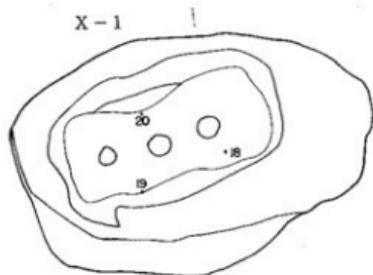
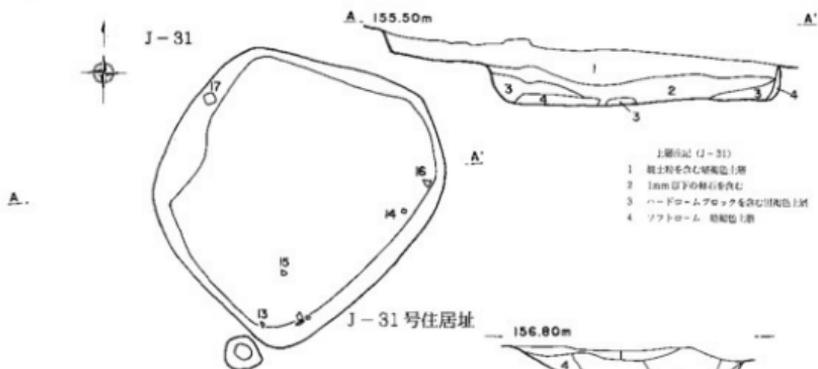
- 土層図記 (H-10aJ-10b)
- |                     |                       |                       |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 F・Pを含む赤色土層        | 4 2層より厚く軟らかい赤褐色土層     | 土層図記 (H-10aJ-10b 1-6) |
| 2 礫石を含む黒褐色土層 礫化物も含む | 5 4層より厚く柱状ロームを含む赤褐色土層 | 1 ロームと黒褐色土の混土層        |
| 2a 礫石を多く含む赤褐色土層     | 6 ロームと黒褐色土の混土層        | 2 礫石の多い赤褐色土層          |
| 3 礫石を多く含む赤褐色土層      | 7 6層より厚い混土層           | 3 ローム層                |
|                     | 8 ノットローム層             | 4 礫石の多い見られない赤褐色土層     |



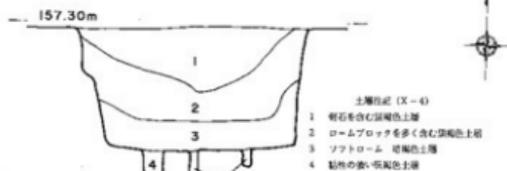
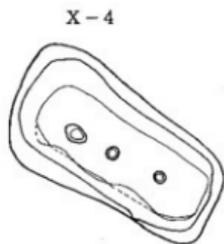
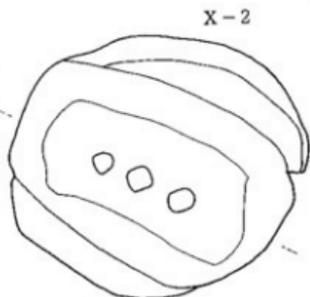
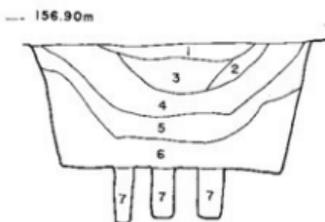
H-10 (a), J-10 (b) 号住居址



J-30 (b) 号住居址

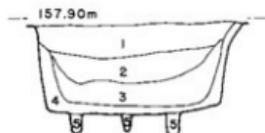
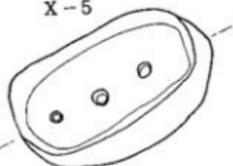


- 土層記号 (X-2)
- 1 黄褐色土層
  - 2 礫石を多く含む黄褐色土層
  - 3 礫石を多く含む黄褐色土層
  - 4 黄褐色土層 1より明るい
  - 5 4よりやや強い黄褐色土層
  - 6 黄褐色土層
  - 7 礫石の多い黄褐色土層



陥 穴

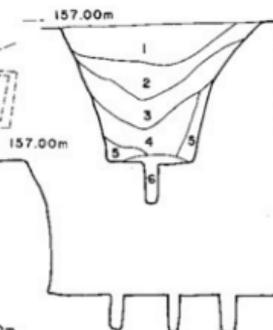
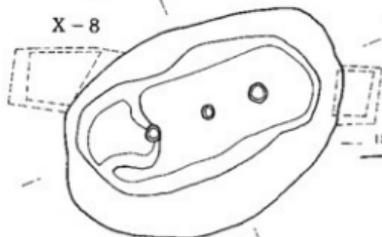
X-5



土層記 (X-5)

- 1 灰化物を含むロームが混在する黄褐色土層
- 2 1層より礫石の少ない黄褐色土層
- 3 2層より礫石層を有する黄褐色土層
- 4 3層より更に礫石の黄褐色土層
- 5 粘性の強い黄褐色土層

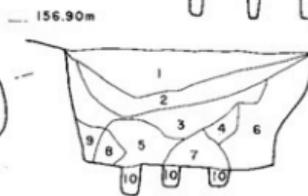
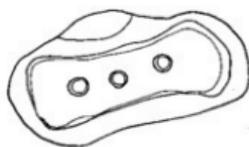
X-8



土層記 (X-8)

- 1 黄褐色土層
- 2 黄褐色土の混在状を呈する黄褐色土層
- 3 2より薄い混在状を呈する黄褐色土層
- 4 粒状ロームを含む黄褐色土層
- 5 礫か念珠を持つ黄褐色土層 一次埋積層
- 6 粘性の強い黄褐色土層

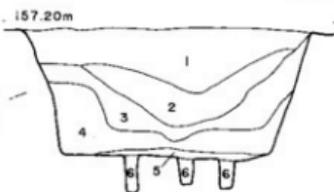
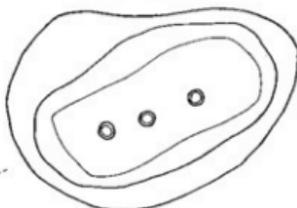
X-9



土層記 (X-9)

- 1 広く積まっている黄褐色土層
- 2 薄く混在状を呈する黄褐色土層
- 3 ロームブロックを含む積まっている黄褐色土層
- 4 黄褐色土層
- 5 ロームブロックを含むやや軟かい黄褐色土層
- 6 軟かい黄褐色土層
- 7 ロームブロック 粒状土層
- 8 近い黄褐色土層
- 9 粒状ロームを多く含む黄褐色土層
- 10 粘性の強い黄褐色土層

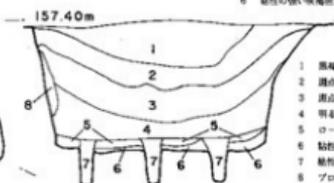
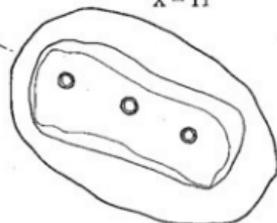
X-10



土層記 (X-10)

- 1 粒状の礫土と灰化物 (1mm以下) を含む黄褐色土層
- 2 粒状の礫土と灰化物 (1mm以下) を含むより明るい黄褐色土層
- 3 1, 2より礫土と灰化物の粒が大きい (2-3mm) 黄褐色土層
- 4 塊状土層 一次埋積層
- 5 黄褐色土層
- 6 粘性の強い黄褐色土層

X-11

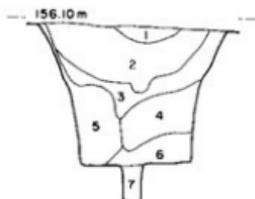
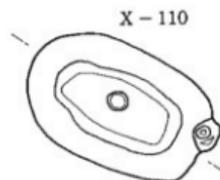


土層記 (X-11)

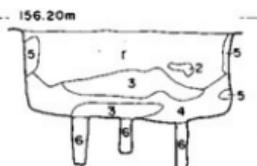
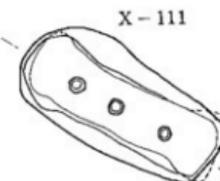
- 1 黄褐色土層
- 2 混在状を呈する黄褐色土層
- 3 混在状が2より不明確な黄褐色土層
- 4 明るいロームブロックを含む黄褐色土層
- 5 ロームブロックを含む黄褐色土層
- 6 粘性の強い礫か念珠を呈する黄褐色土層
- 7 粘性の強い黄褐色土層
- 8 ブロック状のハードローム

陥穴

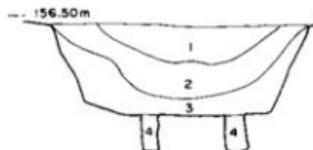
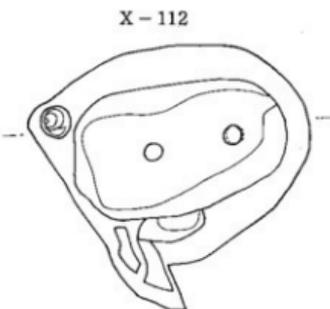




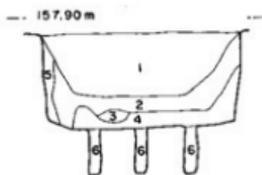
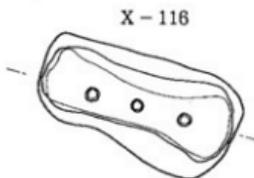
- 土層記号 (X-110)
- 1 10cm以下の礫石を多量に含む褐色土層
  - 2 ローム状と礫石を含む強い凝結土層
  - 3 ロームアロップと凝結土の複合層
  - 4 粘性が非常に軟らかい弱い凝結土層
  - 5 明るい褐色(褐色)土層
  - 6 粘性の強い凝結土層
  - 7 粘性の強い収縮土層



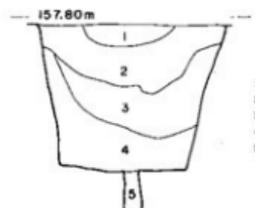
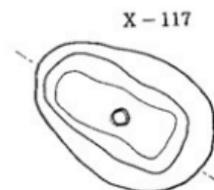
- 土層記号 (X-111)
- 1 礫石 (10cm以下) とローム状と凝結土が混在した弱凝結土層
  - 2 凝結土上のアロップに僅かな凝結土を含む褐色土層
  - 3 ハードロームと凝結土の複合土層にロームが多く明るい褐色を呈す
  - 4 ロームの小アロップを含む粘質のある凝結土層
  - 5 アロップ状の凝結土層
  - 6 粘性の強い褐色土層



- 土層記号 (X-112)
- 1 礫石 (10cm以下) とハードロームを僅かに含むソフトロームが主体を呈す弱凝結土層
  - 2 ソフトロームが凝結土を呈すより明るい凝結土層
  - 3 ロームアロップを含む弱凝結土層
  - 4 粘性の強い褐色土層



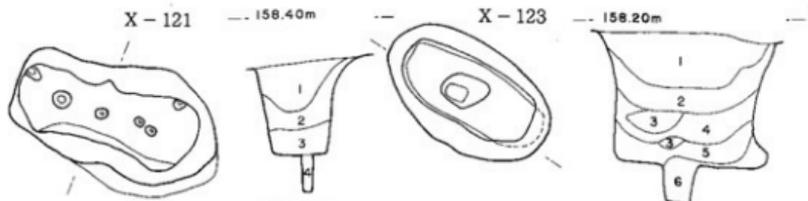
- 土層記号 (X-116)
- 1 ロームが混在した褐色土層
  - 2 ロームが主体でより強い凝結土層
  - 3 粘性の強い褐色土層
  - 4 僅かに凝結土を含む褐色土層
  - 5 軟らかく黄褐色土層
  - 6 粘性の強い収縮土層



- 土層記号 (X-117)
- 1 黄土を多く含む褐色土層
  - 2 黄土・砂化物を含む凝結土層
  - 3 粘性の強い褐色土層
  - 4 2より更に粘性が強く軟らかい凝結土層
  - 5 粘性の強い収縮土層

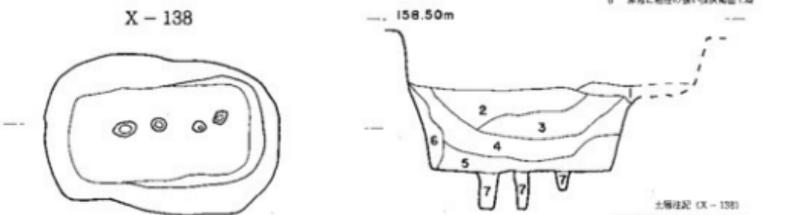
陥穴



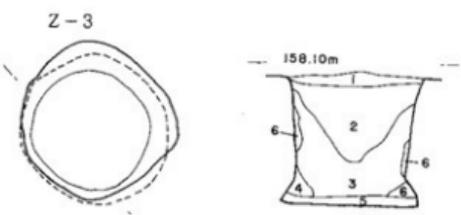


- 土層序記 (X-121)
- 1 隅角状の暗褐色土を含む暗褐色土層
  - 2 より暗褐色土を多く含む暗褐色土層
  - 3 ロームブロックを多く含む黄褐色土層
  - 4 粘性の強い黄褐色土層

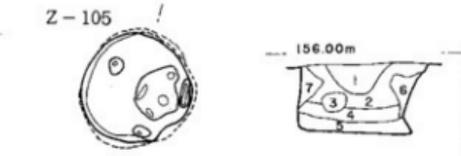
- 土層序記 (X-123)
- 1 塊状・炭化物・ローム粒を含む黄褐色土層
  - 2 ロームブロックを含む暗褐色土層
  - 3 アロック状の黄褐色土層
  - 4 ロームを多く含む暗褐色土層
  - 5 粘性の強い2、4層より強い暗褐色土層
  - 6 非常に粘性の強い暗褐色土層



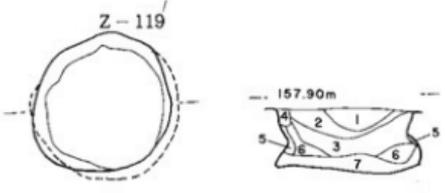
- 土層序記 (X-138)
- 1 黄褐色土と暗褐色土の混在層
  - 2 炭化物や骨が混ざりこんだ暗褐色土層
  - 3 2層より粘り強い暗褐色土層
  - 4 粘性のある黄褐色土層
  - 5 炭化物を含む暗褐色土層
  - 6 アロック状の黄褐色土層
  - 7 粘性の強い黄褐色土層



- 土層序記 (Z-3)
- 1 灰褐色土層
  - 2 2mm以下の礫石を含む黄褐色土層
  - 3 暗褐色土層
  - 4 ロームを含む軟らかい暗褐色土層
  - 5 粘性のある軟らかい暗褐色土層
  - 6 ロームブロック



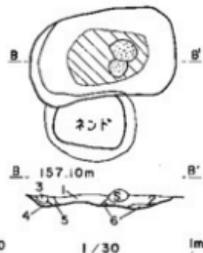
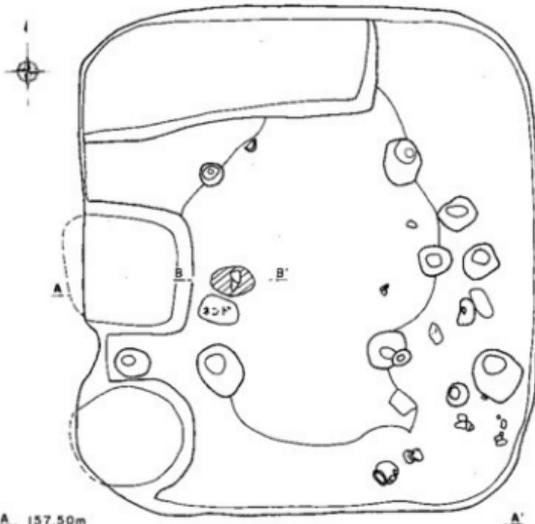
- 土層序記 (Z-105)
- 1 ローム粒と礫土と軽石 (3mm以下) を含む黄褐色土層
  - 2 よりローム粒、ロームブロックの混入の多い黄褐色土層
  - 3 褐色ロームの大きなアロック
  - 4 2層より強い暗褐色土層
  - 5 1、2、4層より軟らかい暗褐色土層
  - 6 ロームブロックに骨が混入した土を含む明るいローム層
  - 7 6よりロームの混入の少ない黄褐色土層



- 土層序記 (Z-119)
- 1 礫石を含む黄褐色土層
  - 2 より粘り強い暗褐色土層
  - 3 暗褐色ロームが隅角状を呈する暗褐色土層
  - 4 ロームブロック
  - 5 ハードローム
  - 6 1-3層より粘り強い暗褐色土層
  - 7 1、2、3、6層の内側・粘り強い黄褐色土層



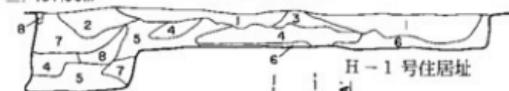
陥穴・袋状遺構



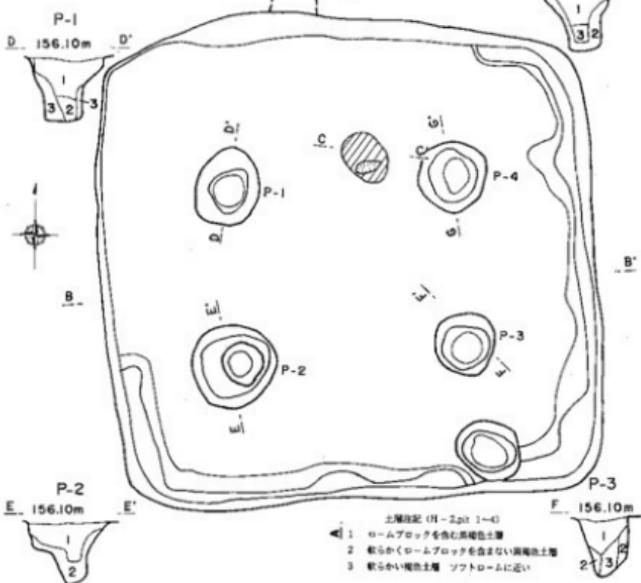
- 1階住居 (H-1-6)
- 1 赤褐色土層
  - 2 砂赤褐色土層
  - 3 赤褐色土層
  - 4 ローム
  - 5 ロームアロックを含む赤褐色土層
  - 6 壁上 (砂赤褐色土層)

- 1階住居 (H-1)
- 1 黄色土とロームの混成土層
  - 2 軟弱な赤褐色土層
  - 3 褐色ローム層に硬質赤褐色土を含む土層
  - 4 ロームアロック
  - 5 柱状ロームを含む赤褐色土層
  - 6 ソフトロームと赤褐色土の混成土層
  - 7 赤褐色土層
  - 8 ソフトローム層

A. 157.50m



D. 156.10m



E. 156.10m

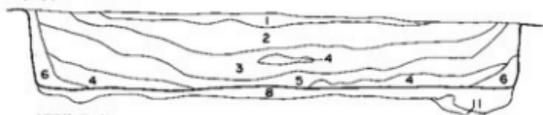
- 1階住居 (H-2) 1-4
- 1 ロームアロックを含む赤褐色土層
  - 2 軟らかくロームアロックを含まない赤褐色土層
  - 3 軟らかい褐色土層 ソフトロームに近い

H-2 号住居

A. 157.00m

F. 156.10m

B. 15700m



土層序記 (H-2)

- |                             |                         |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1 礫石を含む褐色土層                 | 5 ローム粒を含む褐色土層           |
| 2 褐色土層 (ソフトローム)             | 6 軟らかい褐色粘土の一次堆積層        |
| 2a 2より褐色土を含む薄い褐色土層 (ソフトローム) | 7 黒褐色土層 (粘土堆積) 深く締まっている |
| 3 ロームブロック (3~10cm) を含む褐色土層  | 8 褐色ローム (粘土堆積) 深く締まっている |
| 4 ロームブロックを含む褐色土層            | 9 ロームブロックと褐色土の厚土層       |
|                             | 10 程度ローム (セロロイドローム)     |
|                             | 11 ロームブロック              |

B'

C. 15610m

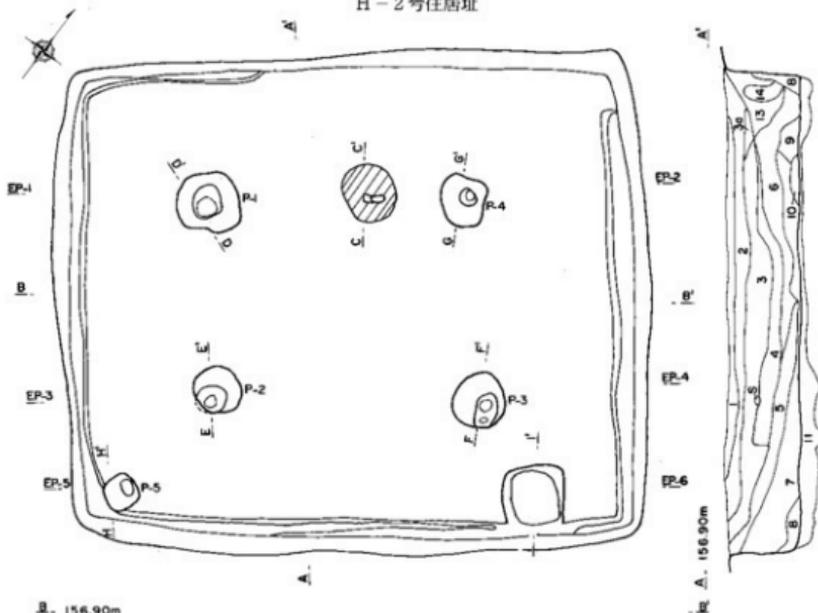


土層序記 (H-2B)

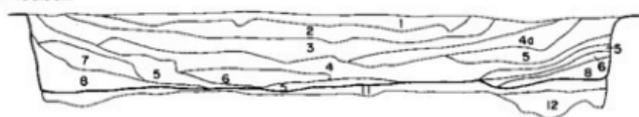
- |                  |
|------------------|
| 1 粘土             |
| 2 褐色土層 (礫石を含む)   |
| 3 ロームブロックを含む褐色土層 |

0 1/30 1m

## H-2号住居址



B. 15690m

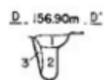
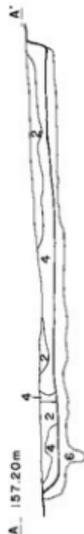
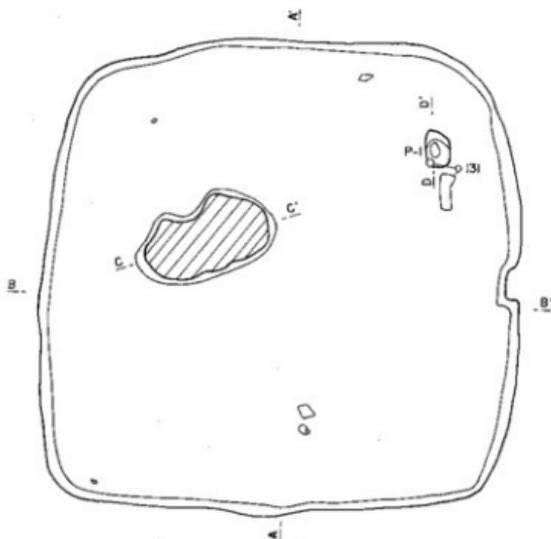


土層序記 (H-3)

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| 1 C礫石を含む褐色土層          | 7 ロームブロックを含む褐色土層 部分的に深く締っていた |
| 2 C礫石を少量に含む褐色土層       | 8 柱状ロームで非常に軟らかい              |
| 3 ロームブロックを含む褐色土層      | 9 8より薄い褐色土層                  |
| 3a 3より薄い褐色土層          | 10 5層に褐色土を含む                 |
| 4 ロームブロックを含む褐色土層      | 11 ロームと褐色土の厚土層               |
| 4a 4より薄い褐色土層          | 12 褐色土とロームの厚土層               |
| 5 ロームブロックを含む褐色土層      | 13 ロームブロックをほとんど含まない褐色土層      |
| 6 ブロック状ロームを含む軟らかい褐色土層 | 14 ローム粒を含む褐色土層               |

## H-3号住居址

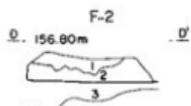
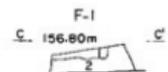
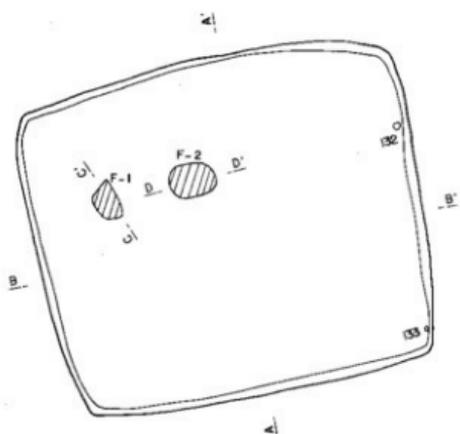




- 土層地記 (H-4)
- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 砂石を含む黒褐色土層     | 5 赤土層            |
| 2 砂石を含む黒色土層      | 6 ロムアロックと炭酸ナトリの層 |
| 3 黒褐色土層          | 7 ロム製を含む黒褐色土層    |
| 4 ソフトロームを含む黒褐色土層 | 8 粘土土層           |

H-4号住居址

- 土層地記 (H-4附 1)
- |               |
|---------------|
| 1 砂石を含む黒褐色土層  |
| 2 砂石を含む黒褐色土層  |
| 3 粘土土層 ソフトローム |



0 1/30 1m

- 土層地記 (H-5, 敷土①・②)
- |              |
|--------------|
| 1 黄土         |
| 2 砂石を含む黒褐色土層 |
| 3 砂石を含む黒褐色土層 |

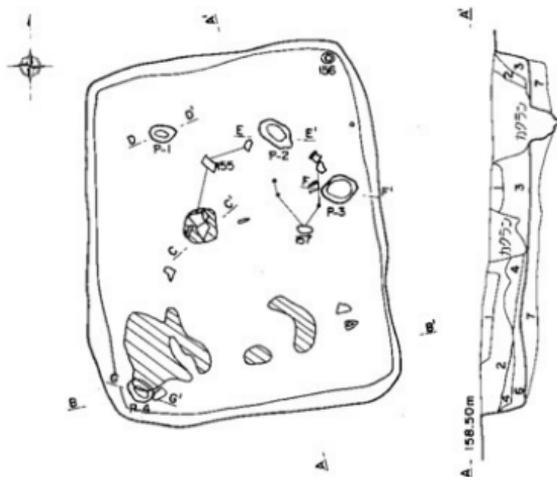
H-5号住居址



土層図記 (H-5)

- 1 礫石を含む褐色土層
- 2 灰褐色土層 (ソフトロームより浅い部)
- 3 ソフトローム層 二次埋積層
- 4 ロームと珪砂土との積土層
- 5 礫石を含む褐色土層

H-5号住居址



P-1  
D. 157.90m D'



P-2  
E. 157.90m E'



P-3  
F. 157.90m F'



P-4  
G. 157.90m G'



土層図記 (H-9, pit 1~4)

- 1 礫石を含む褐色土層
- 2 ロームと珪砂土の積土層
- 3 珪砂土層
- 4 礫石を多く含むより緩く傾斜を呈す



土層図記 (H-9)

- 1 礫石を含む褐色土層
- 2 礫石を多量に含む褐色土層
- 3 ソフトロームの二次埋積層
- 4 礫石を僅か含む褐色土層
- 5 灰褐色土と珪砂土の層
- 6 礫石を多く含む褐色土層
- 7 灰褐色土とソフトロームの積土層



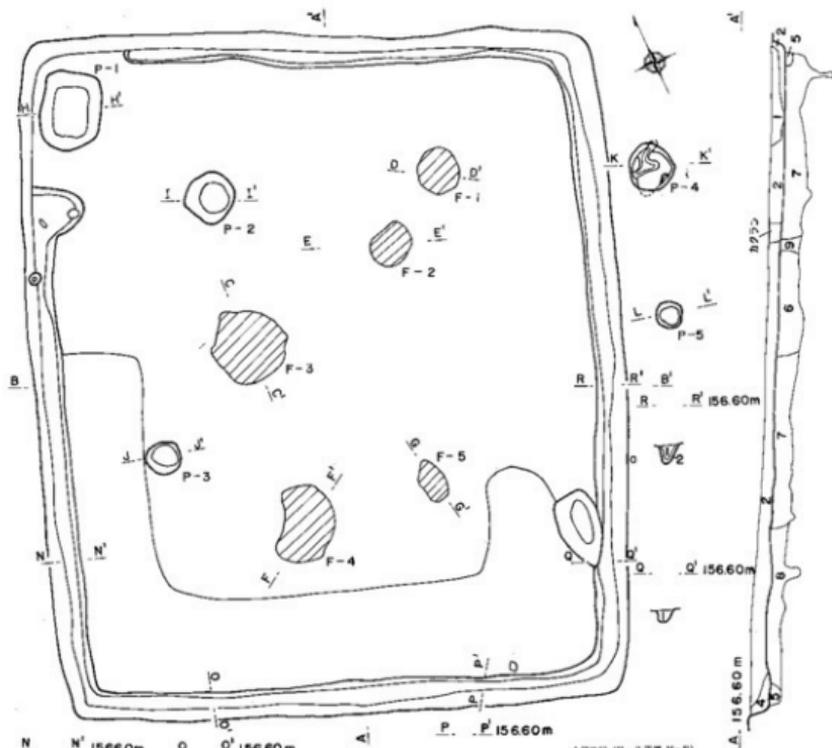
土層図記 (H-9, 断面)

- 1 珪砂土と中央部にやや大きめの灰褐色を含む珪砂土層
- 2 粉砂の凝結物によりやや細かい赤褐色を呈す
- 3 礫石を多量に含む灰褐色土とロームの積土層 (石灰凝結と考えられる)

0 1/30 1m

H-9号住居址





N. N' 156.60m O. O' 156.60m A. A' 156.60m P. P' 156.60m

土壁日記 (H-7, 居間 N-R)

- 1 壁石を含む黒褐色土層
- 2 ローム状を含む黒褐色土層

B. 156.60m

土壁日記 (H-7, 廊下 1-5)

- 1 ローム状を含む黒褐色土層
- 2 壁石を多量に含む黒褐色土層
- 3 壁石を含む黒褐色土層
- 4 炭化物を含む黒褐色土層

土壁日記 (H-7)

- 1 壁石を含む黒褐色土層
- 2 壁石とローム状を含む黒褐色土層
- 3 壁石を含む黒褐色土層
- 4 壁石を含む黒褐色土層
- 5 壁石を多く含む炭褐色土層 (壁洞溝)
- 6 フロア材(ローム)を多く含む黒褐色土層
- 7 より明るい褐色土層
- 8 壁石を含む黒褐色土とロームの壁土層
- 9 赤褐色土層 (黄土)

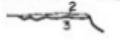
P-1 H. 156.30m H' I 156.30m J' J 156.30m K 156.40m K' L 156.50m L' M 156.60m M'



土壁日記 (H-7, 廊下 1-5)

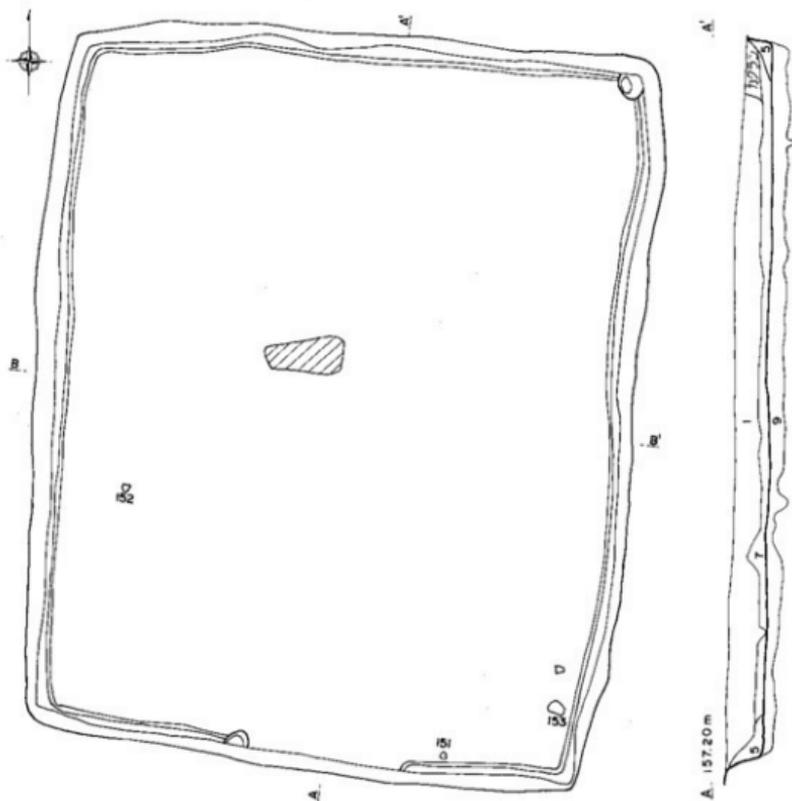
- 1 焼土製を含む黒褐色土層
- 2 焼土ブロック (壁くぼき跡)
- 3 黒褐色土とロームの壁土層
- 4 白色の壁石を含む黒褐色ローム層

F-1 D. 156.20m F' E. 156.30m E' C. 156.30m F-3 (壁) C' F. 156.30m F' G. 156.30m G'



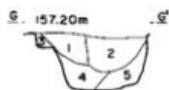
0 1/30 1m

H-7号住居址

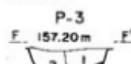
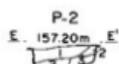


土層生記 (H-8)

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1 礫石を含む砂土層     | 5 黒褐色土層 一次平紋面         |
| 2 礫石を多数に含む黒色土層 | 6 黒褐色土とソフトロームの混土層     |
| 3 礫石を含む黒色土層    | 7 ソフトロームを多数に含む黒褐色土層   |
| 4 ロームと黒色土の混土層  | 8 褐色ロームと黒色土の混土層       |
|                | 9 礫石を多く含む黒褐色土とロームの混土層 |



### H-8号住居址

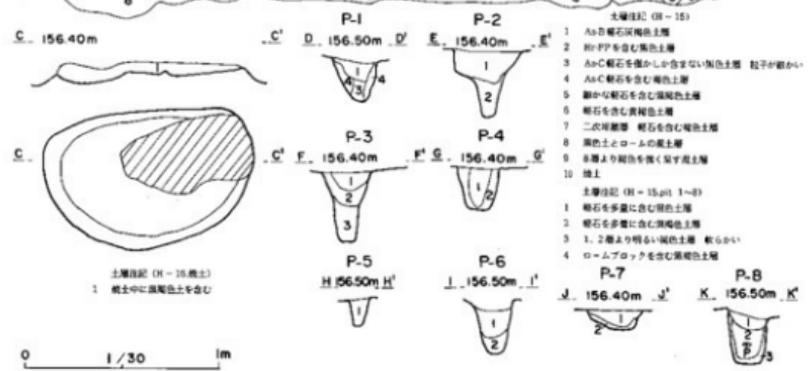
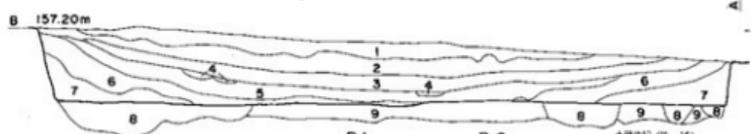
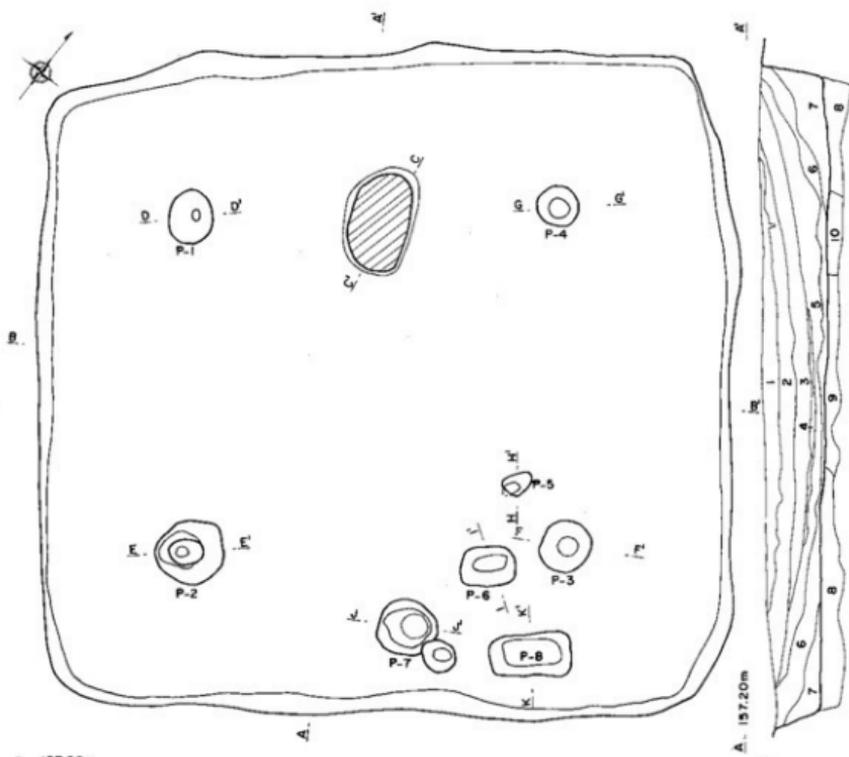


土層生記 (H-11) 1~3貯蔵穴

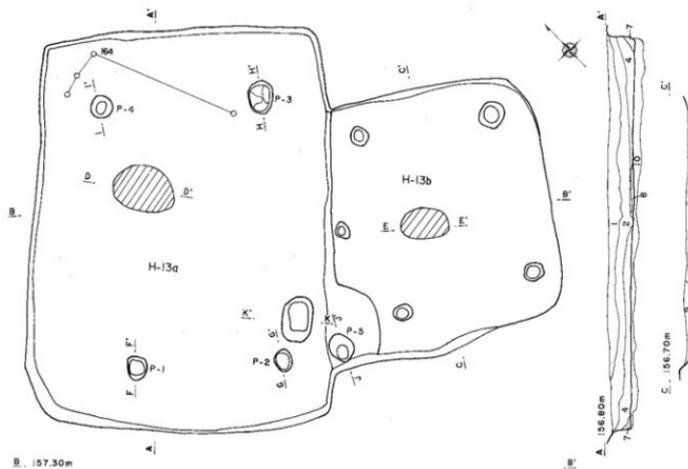
- |                       |
|-----------------------|
| 1 礫石を含む黒色土層           |
| 2 礫石を多く含む黒褐色土層        |
| 3 黒褐色土を含む黒色土層         |
| 4 ロームブロックと炭化物を含む黒褐色土層 |
| 5 3より細かい黒色土層          |

### H-11号住居 柱穴・貯蔵穴

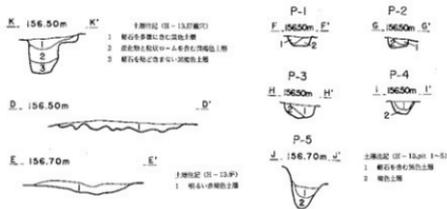
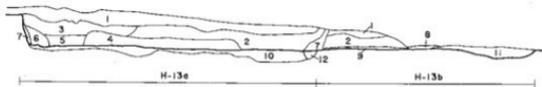




H-15号住居址



B. 157.30m



- 北側付記 (H-13a,b)
- 1 多数のフタを有した陶製土器
  - 2 硝子土器の破片土器
  - 3 2層のラームを有した高筒甕を有す
  - 4 シェアリ様の陶製土器 コムプロップを有す
  - 5 ローム層と、泥炭層を含むシベリヤ的陶製土器
  - 6 硝子細片を有する陶製土器
  - 7 ソフトローム陶製土器 (ソフトロームの破片を有)
  - 8 陶製土器のローム付着層
  - 9 陶製土器
  - 10 硝子土器
  - 11 硝子土器の陶製土器
  - 12 硝子土器の陶製土器

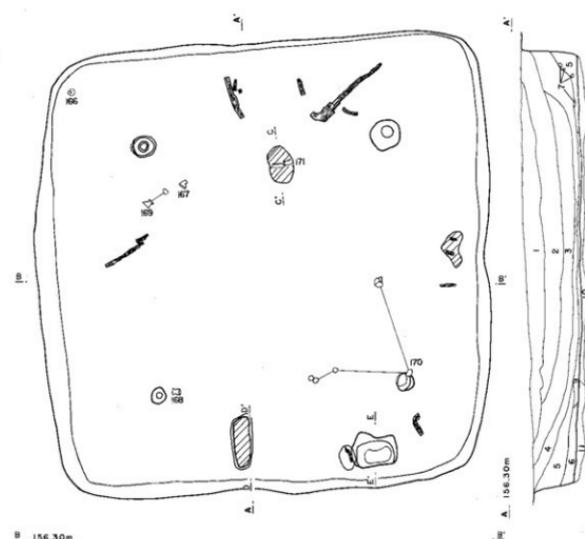
北側付記 (H-13a) (H-13)

- 1 硝子土器の陶製土器
- 2 硝子土器

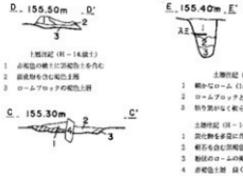
1 硝子土器 (H-13a)

- 1 硝子土器の陶製土器

Q 1/30 1m



B. 156.30m

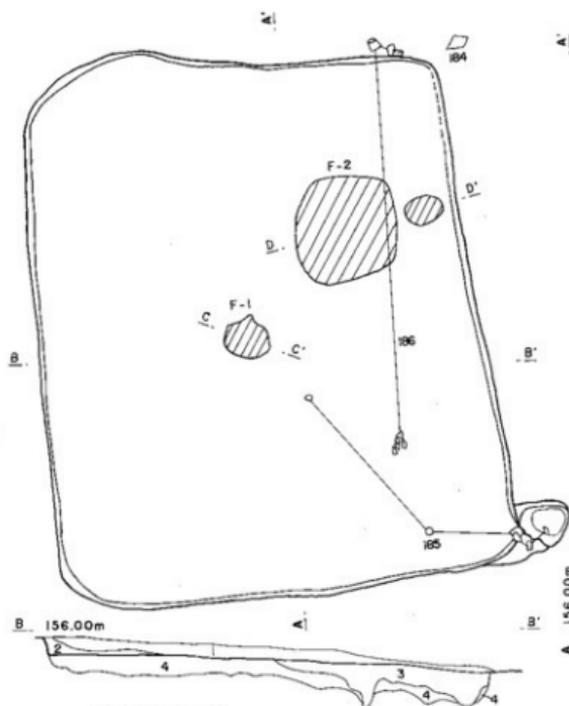


- 北側付記 (H-14)
- 1 硝子土器の破片土器
  - 2 硝子土器の破片土器
  - 3 硝子土器の破片土器
  - 4 硝子土器の破片土器
  - 5 硝子土器の破片土器
  - 6 硝子土器の破片土器
  - 7 硝子土器の破片土器
  - 8 硝子土器の破片土器
  - 9 硝子土器の破片土器
  - 10 硝子土器の破片土器
  - 11 硝子土器の破片土器
  - 12 硝子土器の破片土器
  - 13 硝子土器の破片土器
  - 14 硝子土器の破片土器
  - 15 硝子土器の破片土器
  - 16 硝子土器の破片土器
  - 17 硝子土器の破片土器
  - 18 硝子土器の破片土器
  - 19 硝子土器の破片土器
  - 20 硝子土器の破片土器
  - 21 硝子土器の破片土器
  - 22 硝子土器の破片土器
  - 23 硝子土器の破片土器
  - 24 硝子土器の破片土器
  - 25 硝子土器の破片土器
  - 26 硝子土器の破片土器
  - 27 硝子土器の破片土器
  - 28 硝子土器の破片土器
  - 29 硝子土器の破片土器
  - 30 硝子土器の破片土器
  - 31 硝子土器の破片土器
  - 32 硝子土器の破片土器
  - 33 硝子土器の破片土器
  - 34 硝子土器の破片土器
  - 35 硝子土器の破片土器
  - 36 硝子土器の破片土器
  - 37 硝子土器の破片土器
  - 38 硝子土器の破片土器
  - 39 硝子土器の破片土器
  - 40 硝子土器の破片土器
  - 41 硝子土器の破片土器
  - 42 硝子土器の破片土器
  - 43 硝子土器の破片土器
  - 44 硝子土器の破片土器
  - 45 硝子土器の破片土器
  - 46 硝子土器の破片土器
  - 47 硝子土器の破片土器
  - 48 硝子土器の破片土器
  - 49 硝子土器の破片土器
  - 50 硝子土器の破片土器
  - 51 硝子土器の破片土器
  - 52 硝子土器の破片土器
  - 53 硝子土器の破片土器
  - 54 硝子土器の破片土器
  - 55 硝子土器の破片土器
  - 56 硝子土器の破片土器
  - 57 硝子土器の破片土器
  - 58 硝子土器の破片土器
  - 59 硝子土器の破片土器
  - 60 硝子土器の破片土器
  - 61 硝子土器の破片土器
  - 62 硝子土器の破片土器
  - 63 硝子土器の破片土器
  - 64 硝子土器の破片土器
  - 65 硝子土器の破片土器
  - 66 硝子土器の破片土器
  - 67 硝子土器の破片土器
  - 68 硝子土器の破片土器
  - 69 硝子土器の破片土器
  - 70 硝子土器の破片土器
  - 71 硝子土器の破片土器
  - 72 硝子土器の破片土器
  - 73 硝子土器の破片土器
  - 74 硝子土器の破片土器
  - 75 硝子土器の破片土器
  - 76 硝子土器の破片土器
  - 77 硝子土器の破片土器
  - 78 硝子土器の破片土器
  - 79 硝子土器の破片土器
  - 80 硝子土器の破片土器
  - 81 硝子土器の破片土器
  - 82 硝子土器の破片土器
  - 83 硝子土器の破片土器
  - 84 硝子土器の破片土器
  - 85 硝子土器の破片土器
  - 86 硝子土器の破片土器
  - 87 硝子土器の破片土器
  - 88 硝子土器の破片土器
  - 89 硝子土器の破片土器
  - 90 硝子土器の破片土器
  - 91 硝子土器の破片土器
  - 92 硝子土器の破片土器
  - 93 硝子土器の破片土器
  - 94 硝子土器の破片土器
  - 95 硝子土器の破片土器
  - 96 硝子土器の破片土器
  - 97 硝子土器の破片土器
  - 98 硝子土器の破片土器
  - 99 硝子土器の破片土器
  - 100 硝子土器の破片土器

Q 1/30 1m

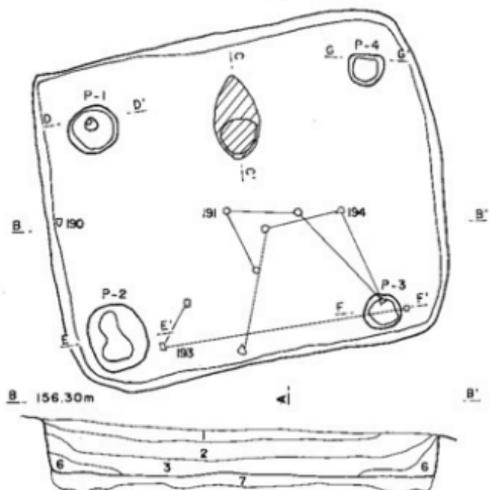
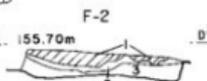
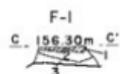
H-13 (a), H-13 (b) 号住居址

H-14号住居址



H-17号住居址

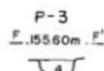
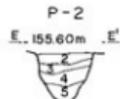
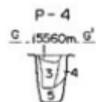
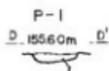
- 土層序記 (H-17)
- 1 珪石を多く含む黒褐色土層
  - 2 珪石を多く含む黒褐色土層
  - 3 ロームを含む赤心黒褐色土層
  - 4 ロームを多く含む黒褐色土層
  - 5 赤褐色土層 (焼土)



H-19号住居址

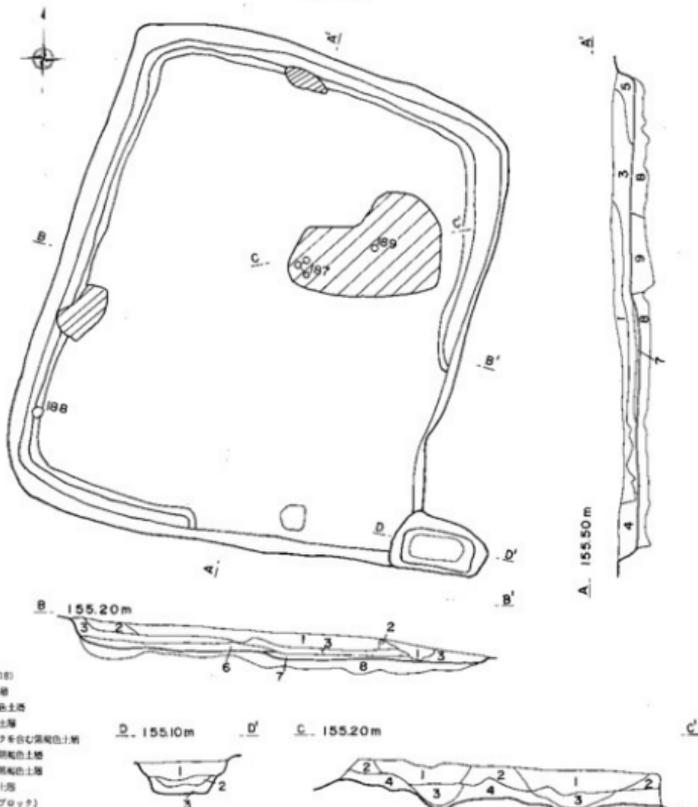
- 土層序記 (H-19, 遺土1, 2)
- 1 赤褐色土層 (焼土)
  - 2 腐食を受けやすい黒褐色土層
  - 3 珪石を多く含む黒褐色土層 (ソフトローム)

- 土層序記 (H-19)
- 1 多量に珪石を含む黒褐色土層
  - 2 多量に珪石を含む黒褐色土層
  - 3 珪石を多く含む赤心黒褐色土層
  - 4 ロームを多く含む黒褐色土層
  - 5 珪石を多く含む黒褐色土層
  - 6 珪石を含む黒褐色土層
  - 7 黒褐色土層とロームを多く含む土層

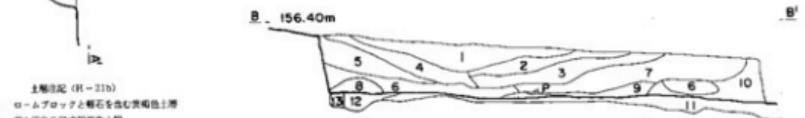
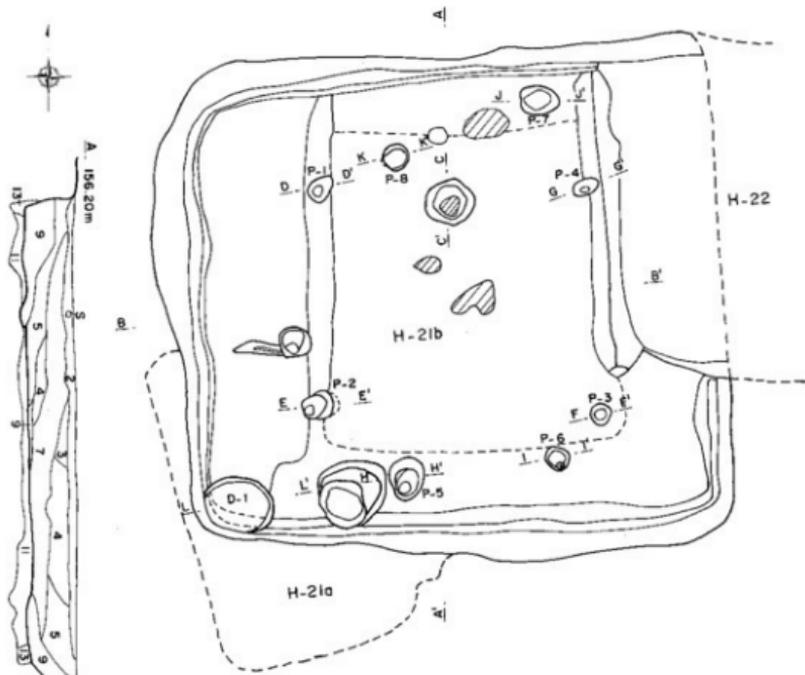


- 土層記 (H-19, pit 1~4)
- 1 礫石を僅か含む赤褐色土と黄褐色ロームの混成層
  - 2 礫石を多量に含む赤褐色土層
  - 3 石灰粉を含む黄褐色土層
  - 4 礫石を含む褐色土とロームの混成層
  - 5 僅か礫石を含む赤褐色土層

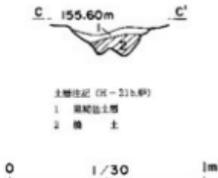
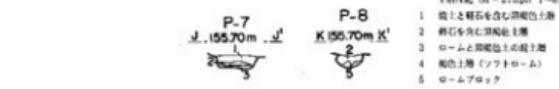
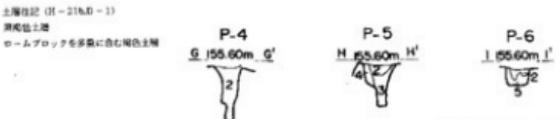
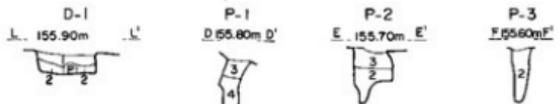
H-19号住居址



H-18号住居址



- 土層序記 (H-21b)
- 1 ロームブロックと軽石を含む黄褐色土層
  - 2 塊状軽石を伴う黄褐色土層
  - 3 塊状軽石を伴う黄褐色土層
  - 4 1層より厚く軽石が少い黄褐色土層
  - 5 軽石10層以下のロームブロックを含む黄褐色土層
  - 6 軽石を多数に含む黄褐色土層
  - 7 軽石を多数に含む黄褐色土層
  - 8 5層より厚く軽石の少ない黄褐色土層
  - 9 軽石を多数に含む黄褐色土上にロームブロックを含む
  - 10 7層より厚く黄色を呈する黄褐色土層
  - 11 ロームに覆われた黄褐色土の厚土層
  - 12 黄褐色土上のロームブロックを含む
  - 13 黄褐色土層にロームの厚土層

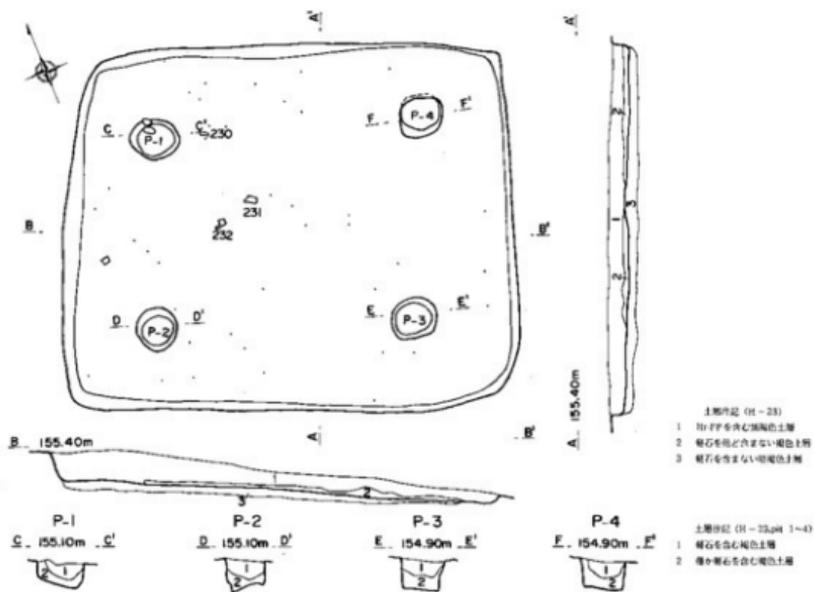


- 土層序記 (H-21b. 中)
- 1 黄褐色土層
  - 2 土

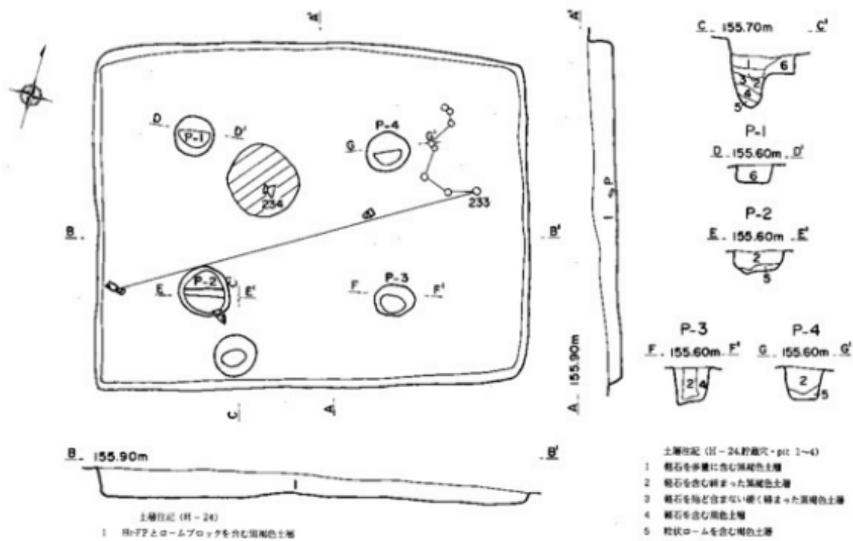
- 土層序記 (H-21b. 下 1-8)
- 1 黄土と軽石を含む黄褐色土層
  - 2 軽石を含む黄褐色土層
  - 3 ロームと黄褐色土の厚土層
  - 4 黄褐色土層 (ノアローム)
  - 5 ロームブロック



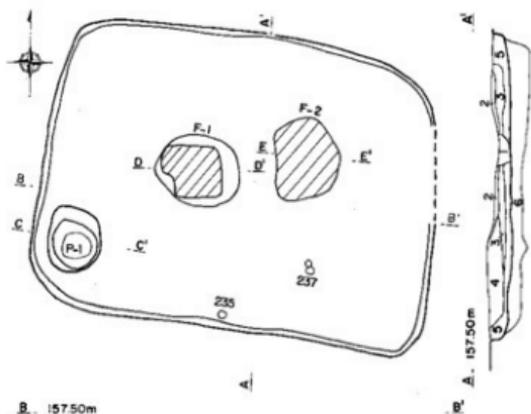
H-21 (b) 号住居址



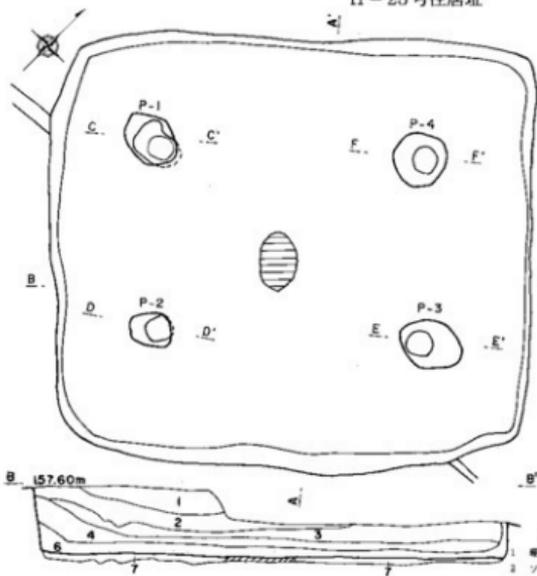
H-23号住居址



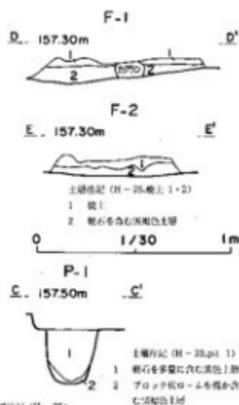
H-24号住居址



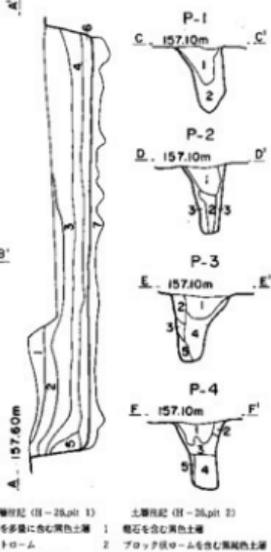
H-25号住居址



H-26号住居址



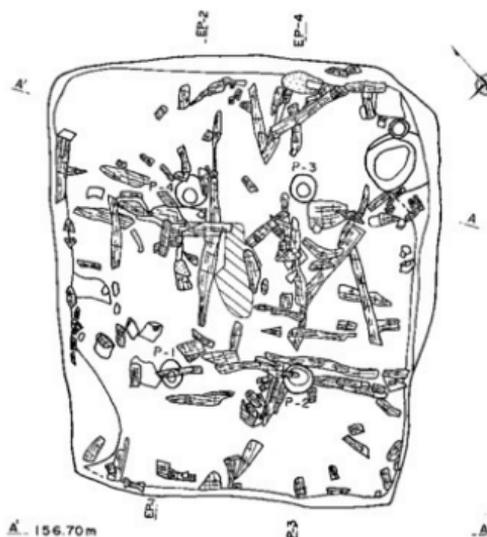
- 土層序記 (H-25, pit 1)
- 1 礫石
  - 1 礫石を含む灰色土層
  - 2 礫石を多く含む灰色土層
  - 3 礫石を多く含む灰色土層
  - 4 礫石を多く含む灰色土層
  - 5 礫石を多く含む灰色土層
  - 6 礫石を含む灰色土層



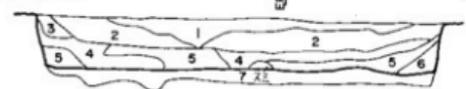
土層序記 (H-25)

- 1 A-C 礫石と10-F-Fを含む灰色土層
- 2 1層より礫石を多く含む灰色土層
- 3 礫石を多く含む灰色土層
- 4 礫石を多く含む灰色土層
- 5 ソフトロームの一次堆積層 褐色土層
- 6 礫石は粗かき含まれない灰色土層
- 7 褐色土層とロームの層土層

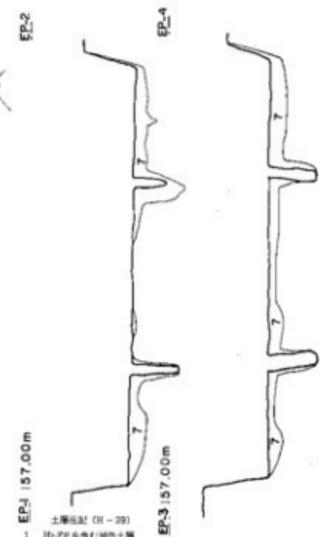
- 土層序記 (H-26, pit 1)
- 1 礫石を多量に含む灰色土層
  - 2 ソフトローム (柱穴からはずれる)
- 土層序記 (H-26, pit 2)
- 1 礫石を含む灰色土層
  - 2 ソフトロームを多く含む褐色土層
- 土層序記 (H-26, pit 3)
- 1 礫石を含む灰色土層
  - 2 礫石を多く含む褐色土層
  - 3 礫石の褐色土層
  - 4 褐色土層
  - 5 褐色土層 礫石あり
- 土層序記 (H-26, pit 4)
- 1 礫石を含む灰色土層
  - 2 ソフトローム
  - 3 褐色土層
  - 4 褐色土層 (柱穴からはずれる)
  - 5 褐色土層 礫石あり



A. 156.70m



H-29号住居址

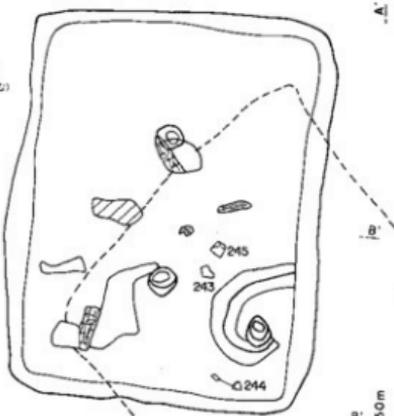


EP-2 157.00m

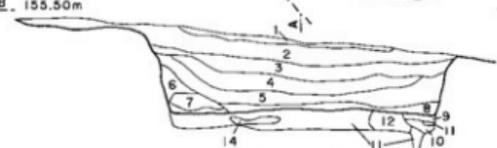
EP-4 157.00m

- 土層区分 (H-29)
- 1 H-FPを含む褐色土層
  - 2 礫石は少量でロームを含む黄褐色土層
  - 3 礫石を含む黄褐色土層
  - 4 ロームブロックを含む黄褐色土層
  - 5 炭化物を含む黄褐色土層
  - 6 礫石から成る土層
  - 7 黄褐色土とロームの積上層
- 右図は一次埋藏と認められる

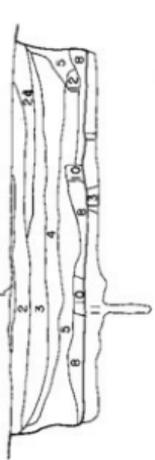
- 土層区分 (H-30)
- 1 Aa礫石を含む黄褐色土層 (下に一部黒褐色の火山灰)
  - 2 H-FPを含む黄褐色土層 (3-5cmの大型のH-FPを含む)
  - 2a 2よりH-FPが少なく3より多い黄褐色土層
  - 3 H-FPとAa礫石を含む黄褐色土層
  - 4 1mm以下の礫石を多く含む黄褐色土層
  - 5 礫石を含む黄褐色土層
  - 6 礫石を殆ど含まない黄褐色土層
- 右
- 7 ロームブロックを含む黄褐色土層
  - 8 炭化物と礫土を含む黄褐色土層
  - 9 粉状粘土層
  - 10 灰層
  - 11 黄褐色土とロームの積上層
  - 12 黄褐色土層
  - 13 ロームブロック
  - 14 黄土



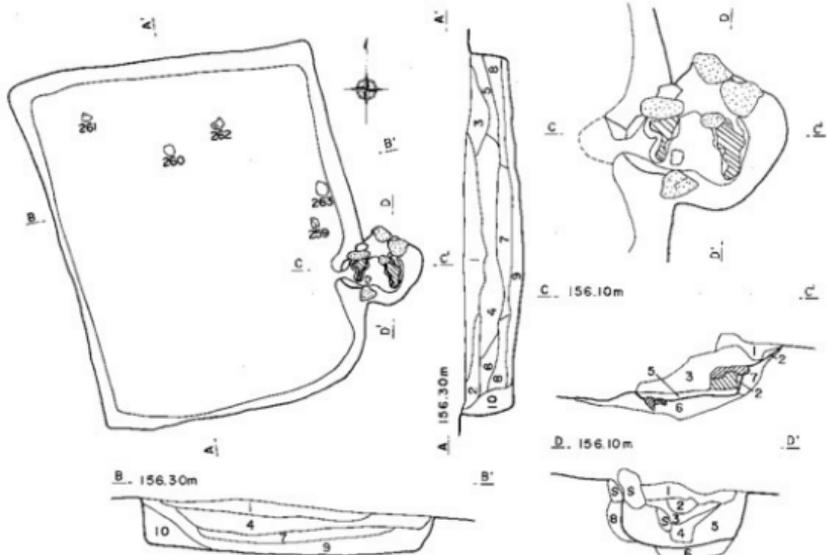
B. 155.50m



H-30 (a) 号住居址



A. 155.50m

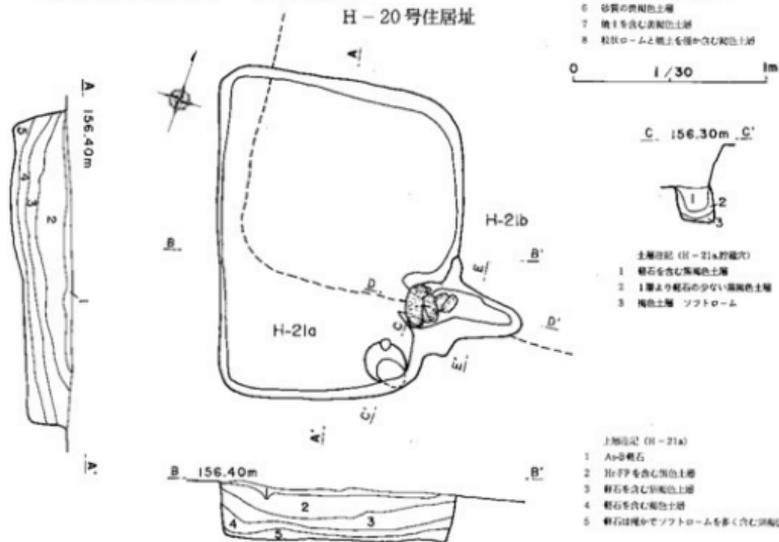


土層序記 (H-20)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 A-B 礫石 (下層に黒褐色の火山灰の堆積) | 5 礫石を多量に含む褐色土層 2層より厚い |
| 2 礫石を多量に含む褐色土層           | 7 炭化物を多量に含む褐色土層       |
| 3 礫石を僅かに含む褐色土層           | 8 多量の礫石と僅かに炭化物を含む褐色土層 |
| 4 30-FP を多量に含む褐色土層       | 9 炭化物を僅かに含む褐色土層       |
| 6 粘土粒と礫石を多量に含む褐色土層       | 10 礫石を含む褐色土層          |

土層序記 (H-20 續)

- |                      |
|----------------------|
| 1 粘土を含む褐色土層          |
| 2 赤褐色土層              |
| 3 明褐色土層              |
| 4 ソフトローム             |
| 5 粘土ブロックを含む赤褐色土層     |
| 6 砂質の赤褐色土層           |
| 7 粘土を含む赤褐色土層         |
| 8 柱状ロームと粘土を僅かに含む褐色土層 |



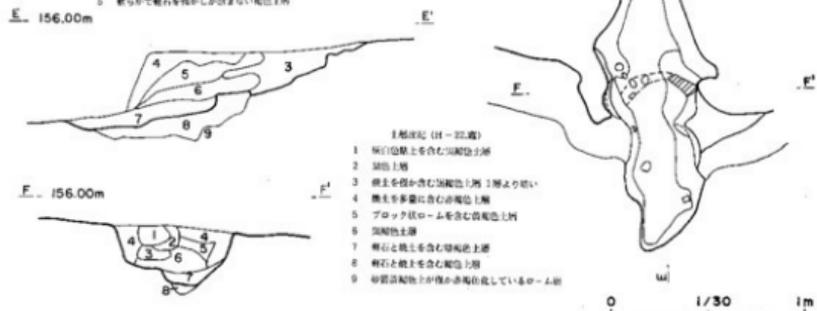
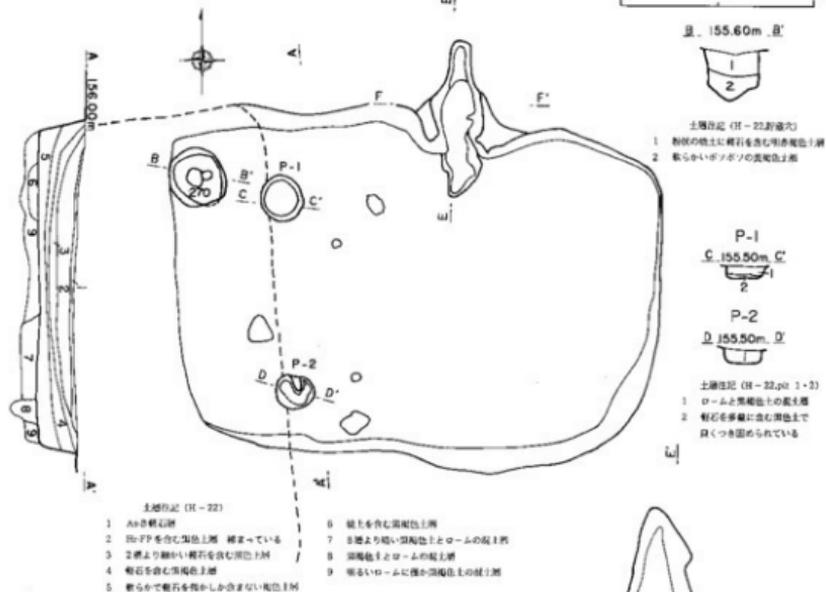
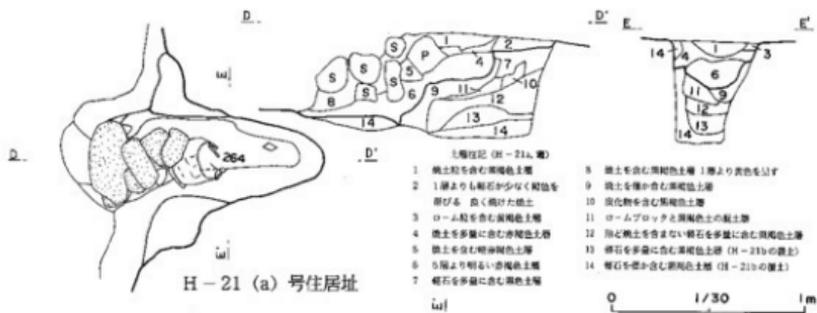
H-21 (a) 号住居址

土層序記 (H-21a 詳細図)

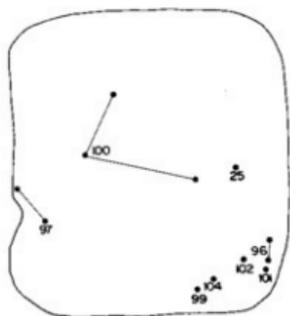
- |                   |
|-------------------|
| 1 礫石を含む赤褐色土層      |
| 2 1層より礫石の少ない黄褐色土層 |
| 3 褐色土層 ソフトローム     |

土層序記 (H-21a)

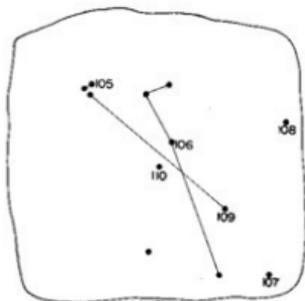
- |                         |
|-------------------------|
| 1 A-B 礫石                |
| 2 H-FP を含む褐色土層          |
| 3 礫石を含む褐色土層             |
| 4 礫石を含む褐色土層             |
| 5 礫石は僅かにソフトロームを多く含む褐色土層 |



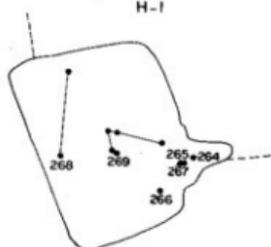
H-22 号住居



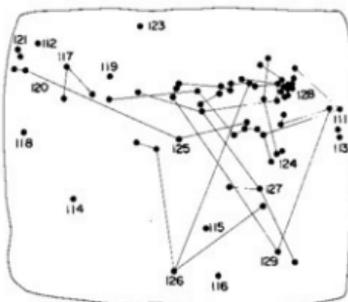
H-1



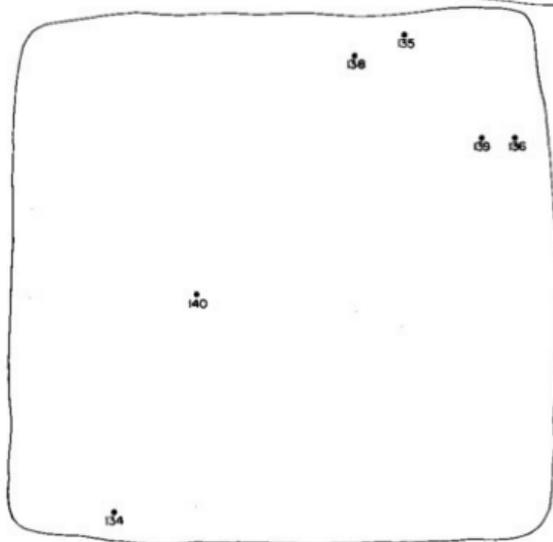
H-2



H-21a



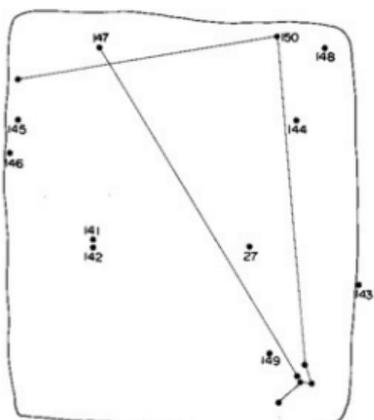
H-3



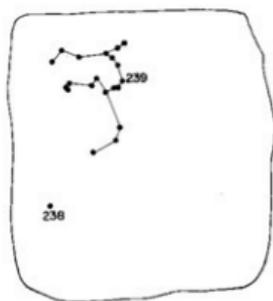
H-6



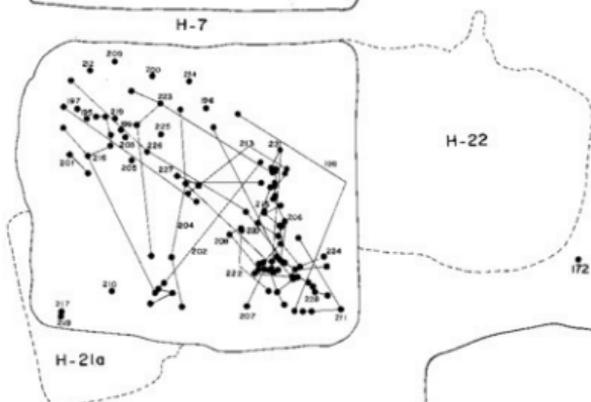
遺物分布



H-7

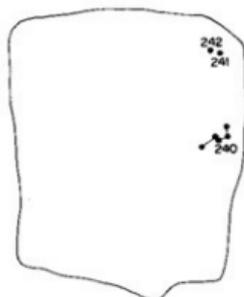


H-26

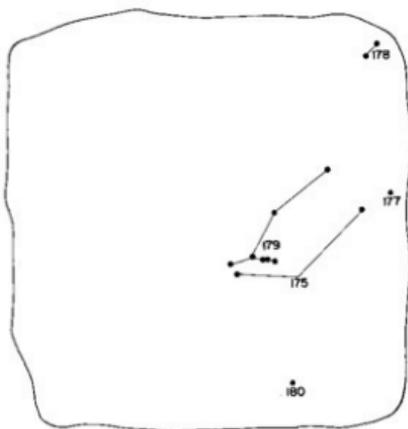


H-22

H-21a

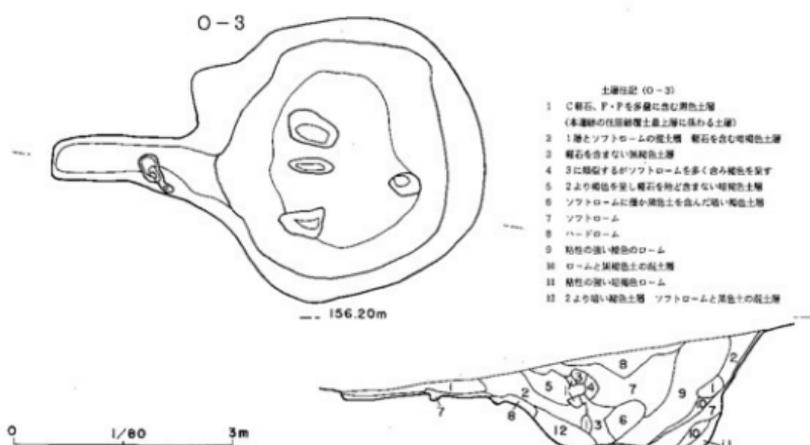
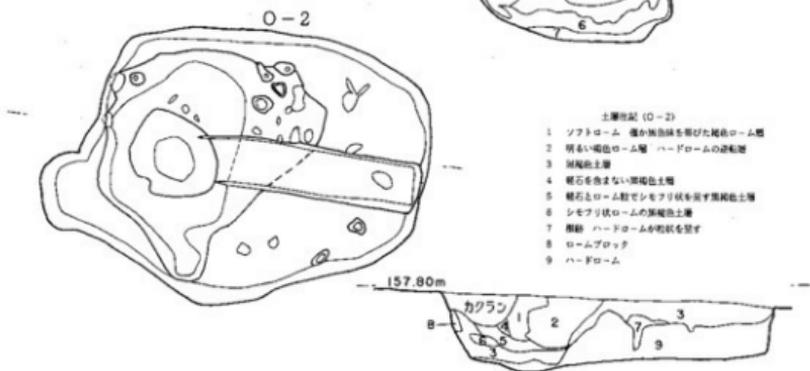
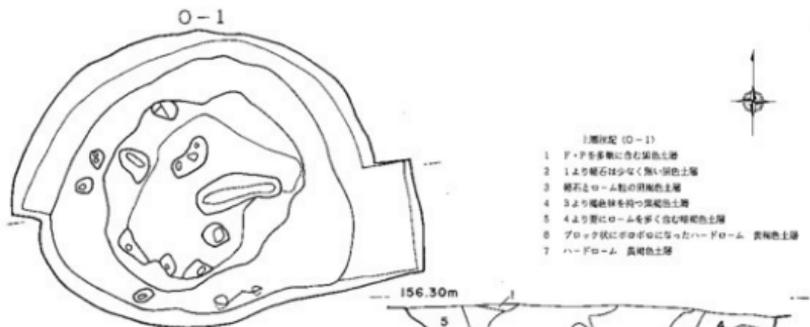


H-29



H-15

0 1 / 100 4m



0 1/80 3m

風倒木跡

D-13



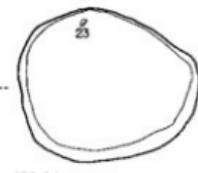
157.00m



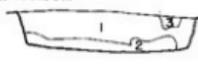
土層序記 (D-13)

- 1 礫石を含む黄褐色土層
- 2 ソフトローム 礫石を盛か含む
- 3 ハードローム

D-15



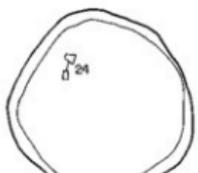
156.80m



土層序記 (D-15)

- 1 礫石を盛か含む灰黄褐色土層
- 2 粒状ロームを含む黄褐色土層
- 3 ロームブロック

D-75



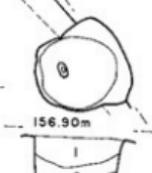
155.60m



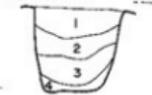
土層序記 (D-75)

- 1 堆中状の礫石を含む黄褐色土層
- 2 粗粒状ブロックと礫石状化物を含む黄褐色土層

D-134



156.90m



土層序記 (D-134)

- 1 粒子の細かい土層
- 2 中や細まった礫石を含むより細かい褐色土層
- 3 (焼土・炭化物・ローム) を含む黄褐色土層
- 4 ロームブロックと土の黄褐色土との層

D-135



155.60m



土層序記 (D-135)

- 1 礫石を含む黄褐色土層
- 2 1より黄褐色で礫石が少ないロームブロックを含む黄褐色土層
- 3 中や細かい黄褐色土層 (ソフトローム)
- 4 硬く締まりがちな黄褐色土層

## 縄文時代の土坑

D-7



158.40m



土層序記 (D-7)

- 1 礫石を含む褐色土層
- 2 黄褐色土層
- 3 黄褐色土層

D-18



156.40m



土層序記 (D-18)

- 1 灰黄褐色土層 4層より明るい
- 2 5層より細かいローム層を含む黄褐色土層
- 3 粒状ロームを含む黄褐色土層 6より明るい
- 4 礫石を含む灰黄褐色土層
- 5 ブロック状のロームを含む黄褐色土層
- 6 粒状ロームを含む黄褐色土層

D-20



157.10m



土層序記 (D-20)

- 1 礫石を盛か含む黄褐色土層
- 2 褐色ローム層
- 3 黄褐色ローム層

D-27



157.30m



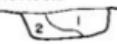
土層序記 (D-27)

- 1 灰黄褐色土層の礫石を含む黄褐色土層

D-21



157.00m



土層序記 (D-21)

- 1 黄褐色土層
- 2 褐色土層

土層序記 (D-28)

- 1 灰黄褐色土層の礫石を含む黄褐色土層
- 2 礫石と炭化物を含む褐色土層
- 3 黄褐色土層

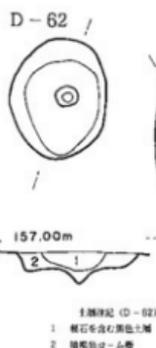
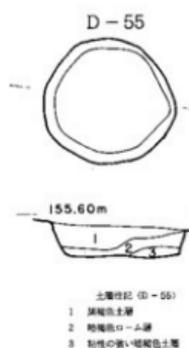
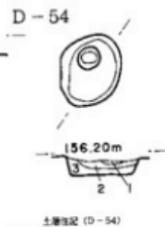
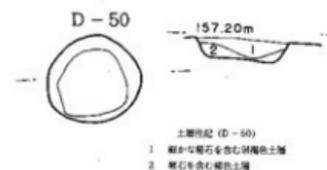
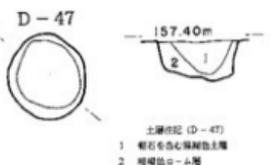
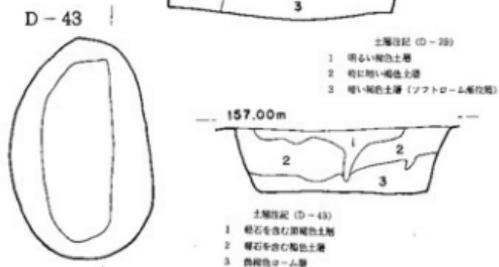
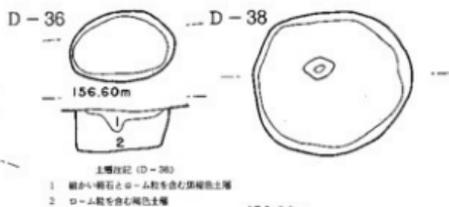
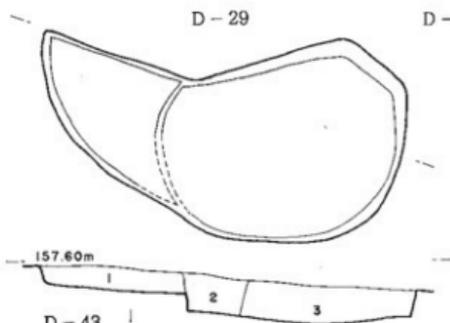
D-28



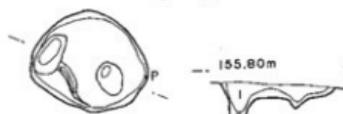
157.10m



## 古墳時代以降の土坑



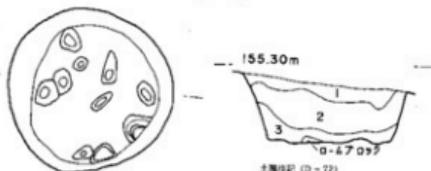
D-71



土層序記 (D-71)

- 1 礫石を含む褐色土層
- 2 暗褐色土層 (シ1B)

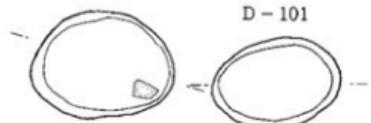
D-72



土層序記 (D-72)

- 1 礫石を含む褐色土層
- 2 暗褐色土層
- 3 暗褐色土層 2層より深いブロックを含む

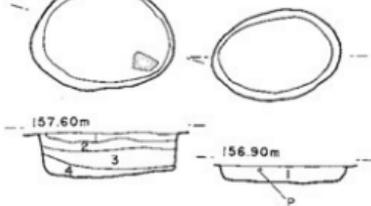
D-77



土層序記 (D-77)

- 1 礫石を含む暗褐色土層
- 2 礫石と礫石を含む暗褐色土層
- 3 暗褐色土層 2層より深い
- 4 褐色ローム (ソフトローム)

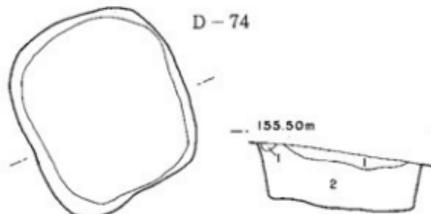
D-101



土層序記 (D-101)

- 1 礫石を含む褐色土層が認められる  
暗褐色土層 (シ1B)

D-74



土層序記 (D-74)

- 1 礫石を含む褐色土層
- 2 暗褐色ローム層

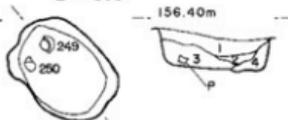
D-102



土層序記 (D-102)

- 1 黄褐色土層
- 2 ロームを含む黄褐色土層
- 3 2より厚い黄褐色土層
- 4 3より更に褐色を帯びる黄褐色土層
- 5 褐色ロームブロックを含む黄褐色土層

D-103

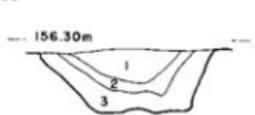


土層序記 (D-103)

- 1 炭化物を含む暗褐色土層
- 2 ロームブロックを含む暗褐色土層
- 3 1, 2より厚い暗褐色土層
- 4 褐色土層

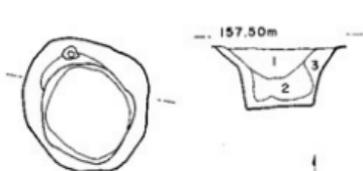
D-129

D-109



土層序記 (D-109)

- 1 深く締まった暗褐色土層
- 2 均質のロームを含む暗褐色土層
- 3 更にロームを多く含む暗褐色を帯びた暗褐色土層

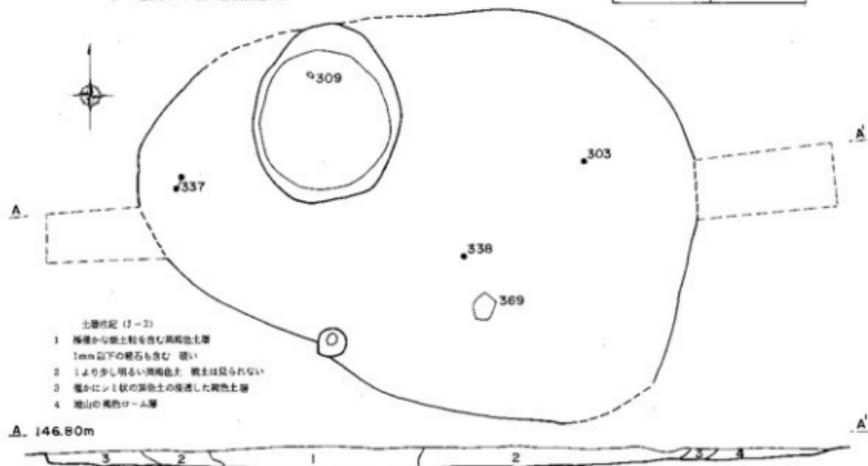
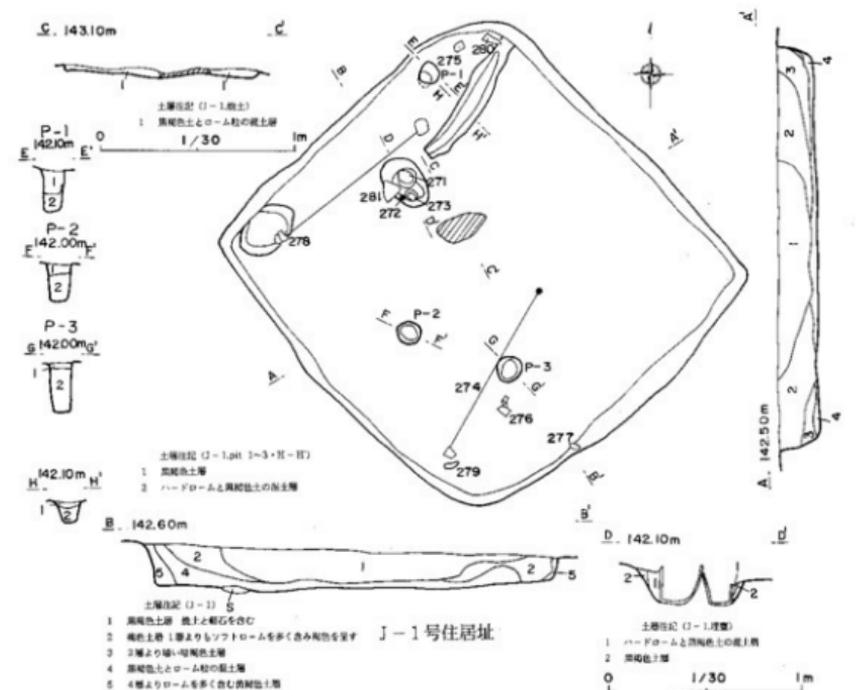


土層序記 (D-129)

- 1 鋼点状の暗褐色ロームを含む黄褐色土層
- 2 炭化物・焼土を含む黄褐色土層
- 3 褐色ロームと黄褐色土の黄土層



古墳時代以降の土坑



J-2号住居址

1. 149.20m 2.

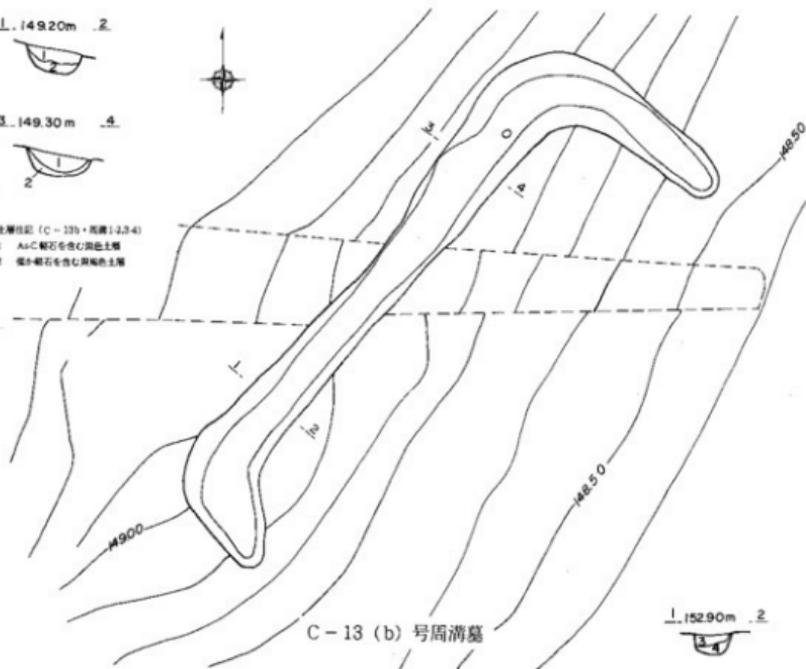


3. 149.30m 4.



土層地記 (C-13b・周溝1-2-3-4)

- 1 AsC 礫石を含む褐色土層
- 2 礫石を含む褐色土層



C-13 (b) 号周溝墓

1. 152.90m 2.



3. 152.50m 4.

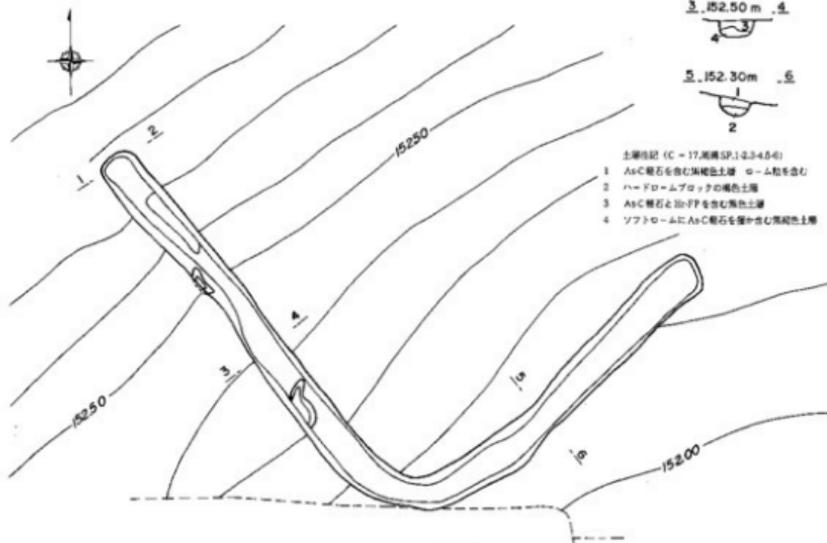


5. 152.30m 5.



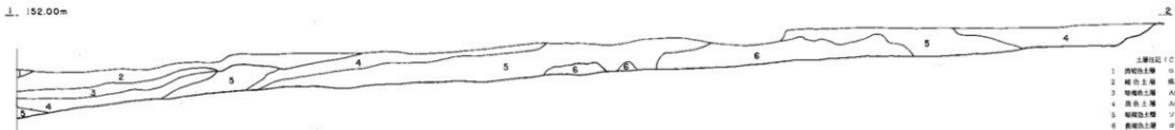
土層地記 (C-17, 周溝SP1-2-3-4-5-6)

- 1 AsC 礫石を含む褐色土層 G-M 粒を含む
- 2 ハーフD-ムブゴツの褐色土層
- 3 AsC 礫石とSPを含む褐色土層
- 4 ソフトロー-AにAsC 礫石を伴った褐色土層



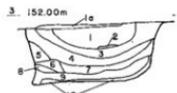
C-17号周溝墓

1. 152.00m



1. 152.00m

1. 152.00m
- 主層位 (C-8) 土層位 (1) 1) 遺物出土層 コーム層 (柱石 100cm)
- 2 雑土層 雑土
- 3 埋没土層 AaC 層位 (多量出土層) 埋没土層
- 4 雑土層 AaC 層位 (少量出土層) 埋没土層
- 5 埋没土層 ソフトローム 柱石は少ない 埋没土層 (多量)
- 6 埋没土層 ソフトローム



3. 152.00m

3. 152.00m
- 主層位 (C-8) 土層位 (2-4)
- 1 AaC 層位 (多量) 埋没土層
- 2 AaC 層位 (少量) 埋没土層 (ソフトローム 多量出土層)
- 3 T54 年の遺物出土層 埋没土層
- 4 AaC 層位 (少量) 埋没土層 (ソフトローム 多量出土層)
- 5 ソフトロームに AaC 層位 (少量) 埋没土層
- 6 5層より少し埋没 (埋没) 埋没土層
- 7 5層より埋没 (ソフトローム) に AaC 層位 (多量) 埋没土層
- 8 T54 年の遺物出土層 (埋没) 埋没土層
- 9 7層より埋没 (埋没) 埋没土層
- 10 ソフトロームと埋没土層の埋没土層



5. 152.00m

5. 152.00m
- 主層位 (C-8) 土層位 (5-6)
- 1 AaC 層位
- 2 AaC 層位 (少量) 埋没土層 (ソフトローム 多量出土層)
- 3 AaC 層位 (少量) 埋没土層 (ソフトローム 多量出土層)
- 4 T54 年の遺物出土層 (埋没) 埋没土層
- 5 AaC 層位 (少量) 埋没土層 (ソフトローム 多量出土層)
- 6 ソフトロームと埋没土層
- 7 ソフトロームと埋没土層
- 8 AaC 層位 (少量) 埋没土層 (ソフトローム 多量出土層)
- 9 ソフトロームと埋没土層
- 10 ソフトロームと埋没土層 (埋没) 埋没土層 (埋没)



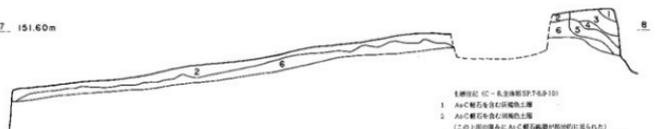
15. 151.10m

15. 151.10m
- 主層位 (C-8) 土層位 (13-14) (5-10)
- 1 AaC 層位 (多量) 埋没土層 (AaC 層位)
- 2 ソフトローム 埋没土層 (埋没) 埋没土層
- 3 コーム層 埋没土層 (ソフトローム)



16. 151.10m

7. 151.60m



7. 151.60m

7. 151.60m
- 主層位 (C-8) 土層位 (7-8) (12)
- 1 AaC 層位 (多量) 埋没土層
- 2 埋没土層 (埋没) 埋没土層 (AaC 層位)
- 3 雑土層
- 4 AaC 層位 (多量) 埋没土層 (AaC 層位)

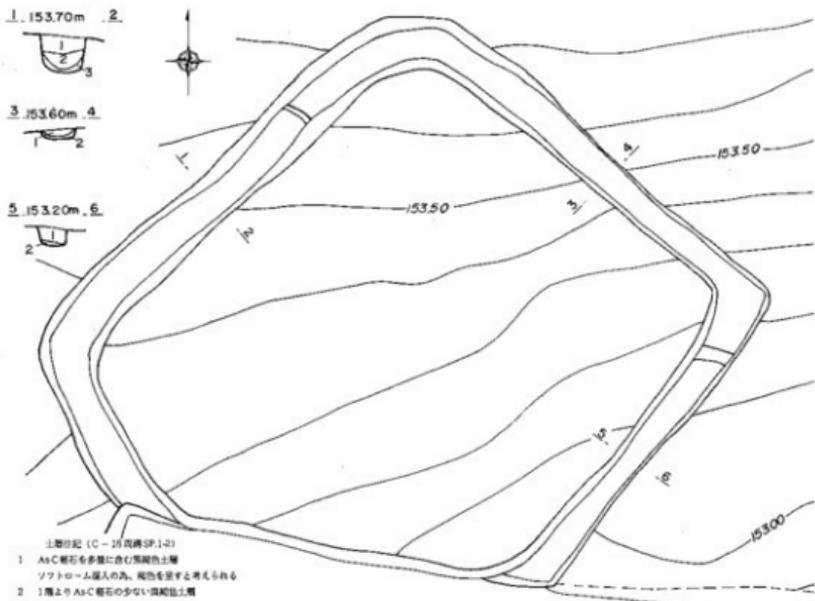
9. 151.30m



9. 151.30m

9. 151.30m
- 主層位 (C-8) 土層位 (7-8) (10)
- 1 AaC 層位 (多量) 埋没土層
- 2 AaC 層位 (多量) 埋没土層
- (この上の埋没土層は AaC 層位 (埋没) 埋没土層)
- 3 AaC 層位 (多量) 埋没土層 (ソフトローム) に AaC 層位 (多量)
- 4 埋没土層 (埋没) 埋没土層 (ソフトローム) に AaC 層位 (多量) 埋没土層
- 5 AaC 層位 (多量) 埋没土層 (埋没) 埋没土層
- 6 埋没土層 (埋没) 埋没土層

C-8号周溝墓



土層記号 (C-16 周溝 SP.1-2)

- 1 AsC 礫石を多数に含む暗褐色土層  
ソフトローム層入りのみ、褐色を呈すと考えらる
- 2 1層よりAsC 礫石の少ない深褐色土層
- 3 ローム層 フォッパ層 明褐色

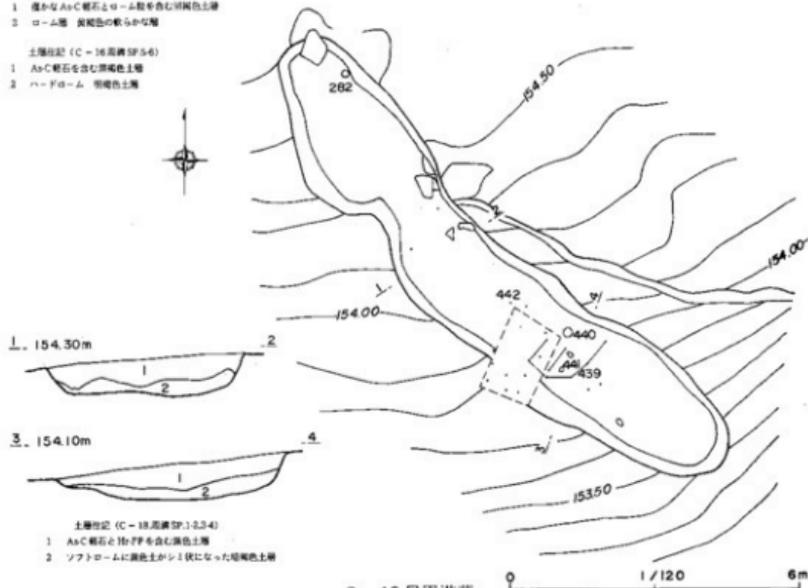
土層記号 (C-16 周溝 SP.3-4)

- 1 僅かなAsC 礫石とロームを含む暗褐色土層
- 2 ローム層 黄褐色の軟らかい層

土層記号 (C-16 周溝 SP.5-6)

- 1 AsC 礫石を含む暗褐色土層
- 2 ハードローム 明褐色土層

C-16号周溝墓



1. 154.30m 2.

3. 154.10m 4.

土層記号 (C-18 周溝 SP.1-2,3-4)

- 1 AsC 礫石とH-FPを含む褐色土層
- 2 ソフトロームに褐色土がシロになった暗褐色土層

C-18号周溝墓

0 1/120 6m

1. 14710m



3. 14690m

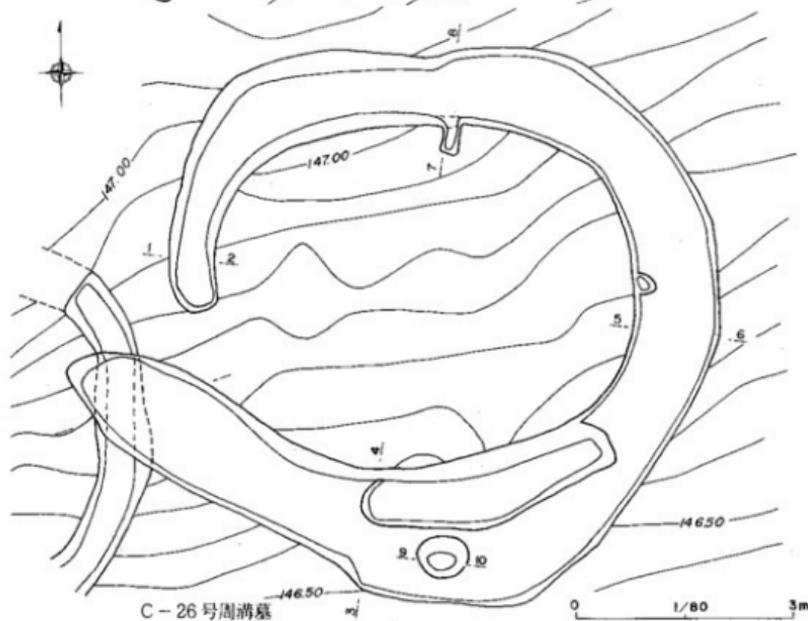
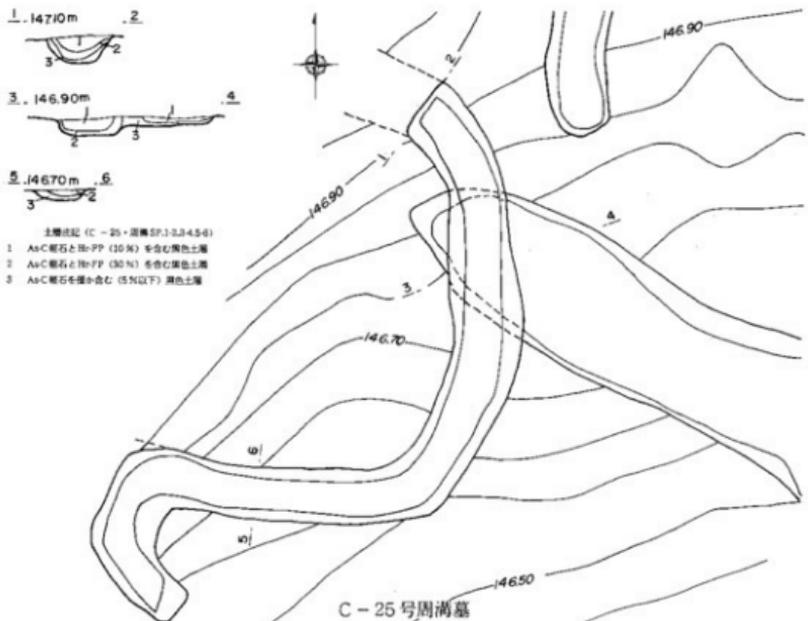


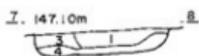
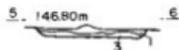
5. 14670m



土壤层记 (C-25+周溝SP.1,3,4,5,6)

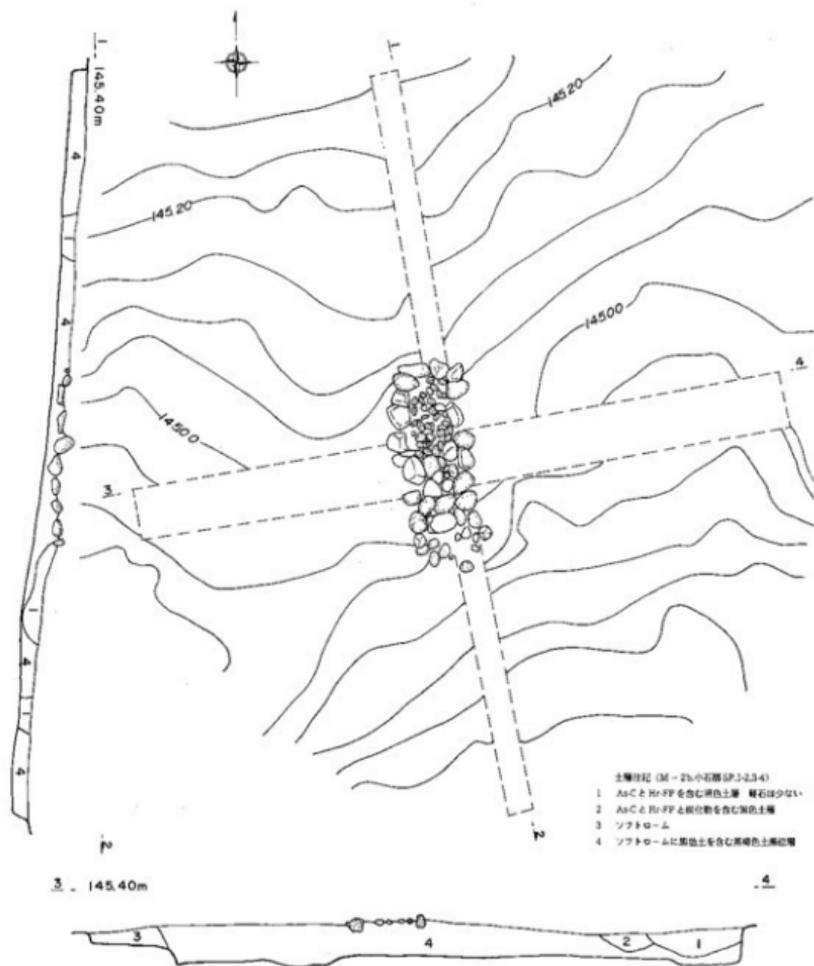
- 1 AsC 礫石+砂+PP (10%) 灰色砂质土壤
- 2 AsC 礫石+砂+PP (30%) 灰色砂质土壤
- 3 AsC 礫石+砂+砂+砂 (5%以下) 褐色土壤



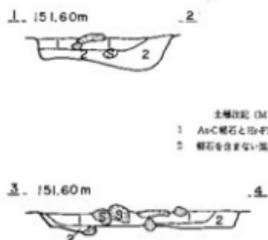
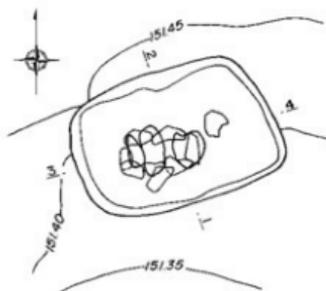


- 土層記号 (C-26 周溝 SP1-8・土坑 SP3-10)
- 1 As-C 層に Hr-PP (10-20%) を含む褐色土層
  - 2 As-C 層に Hr-PP (5%以下) を含む褐色土層
  - 3 ソフトローム層 (硬軟褐色土層)
  - 4 ソフトローム 褐色土層

C-26号周溝墓

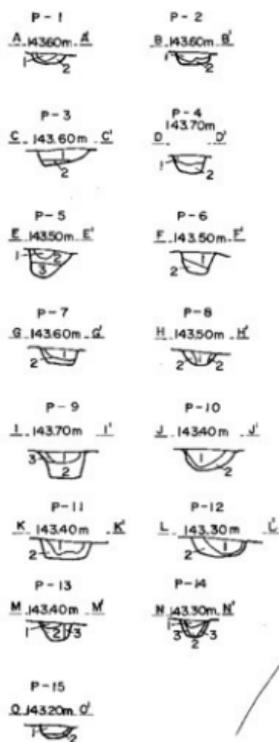


M-2 (b) 号墳

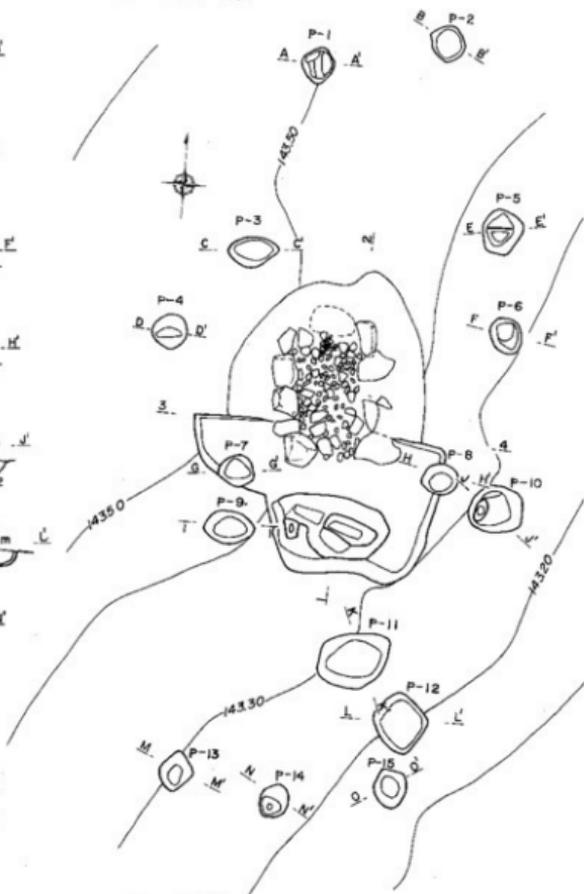


土層記号 (M-4b小石層)  
 1 As-C礫石と砂-PPを含む棕色土層  
 2 礫石を含む少ない泥質土層

M-4 (b) 号墳



土層記号 (M-10周辺 pit 1~15)  
 1 礫石を含む棕色土層  
 2 砂-PPとAs礫石上の棕色土層  
 3 白灰色の礫石を含む礫石層より多い砂-PP

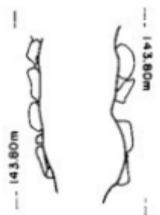


M-10号墳

1. 143.90m



2.



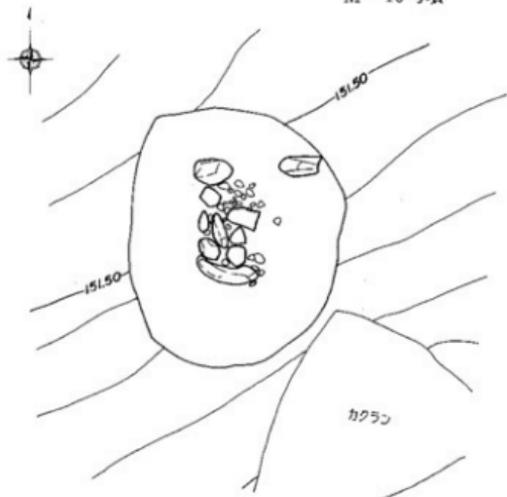
3. 143.90m



4.

土層注記 (M-10小石層17,143-4)  
1 礫石を多数に含む褐色土層  
2 ソフトローム 腐植質を呈し流石を散らす

M-10号墳



カクラン



0 1/30 1m

M-14号墳

C. 147.60m



D.

A. 147.80m



B.

E. 147.60m



F.

H.

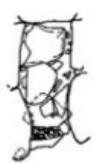


147.80m



147.70m

A.



C.



B.

D.

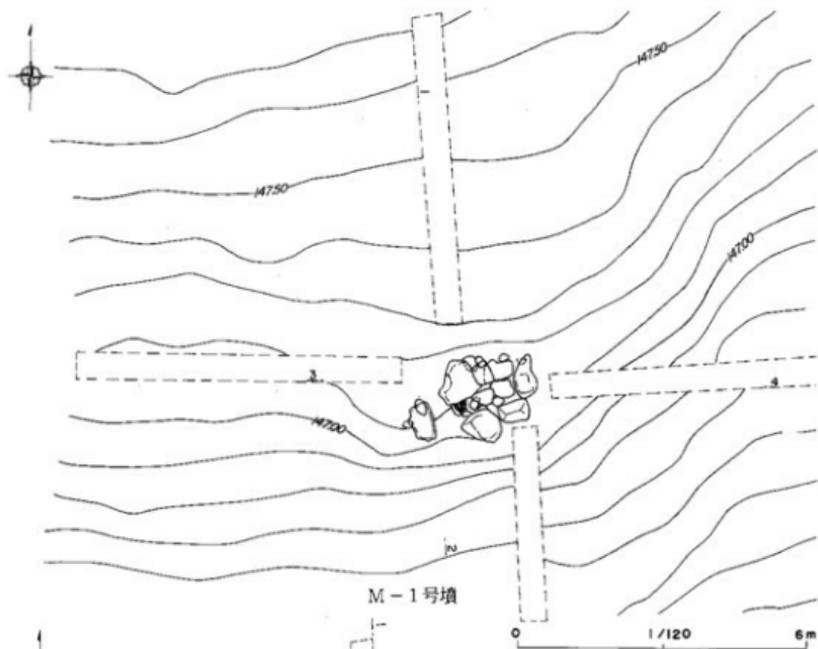


147.80m

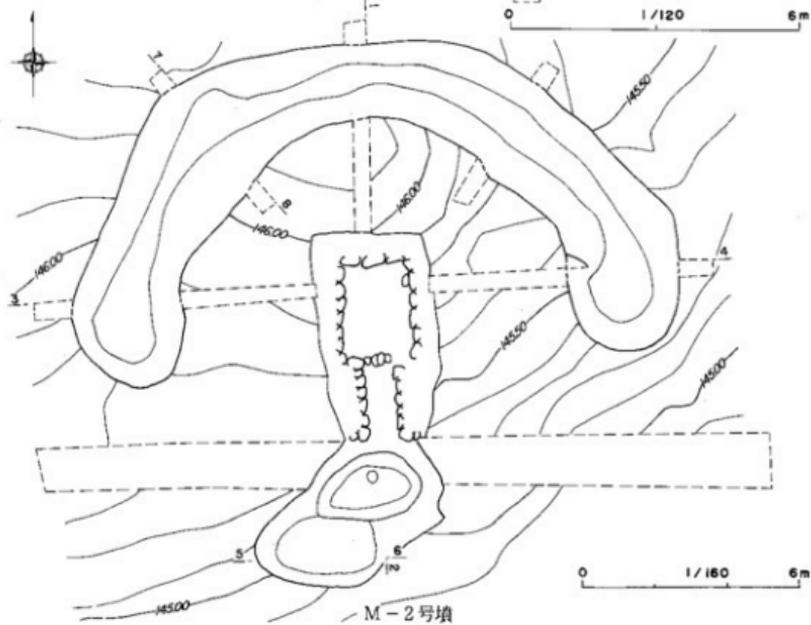
F.

M-1号墳

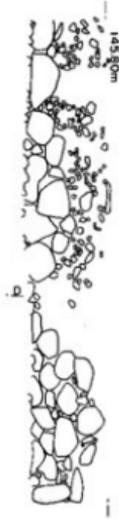
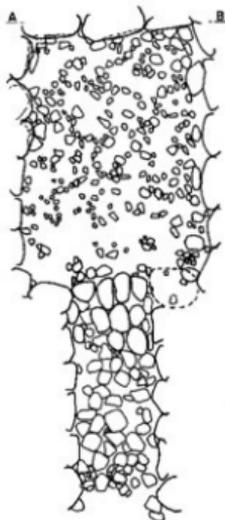
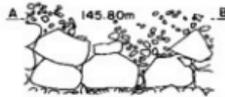




M-1号墳



M-2号墳



G. 146.00m

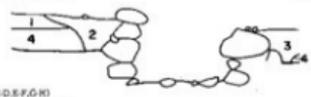
H



C. 146.00m

D. 146.00m

E



- 土層注記 (M-2, SP, C, D, E, F, G, H)
- 1 褐色土層 As-C 軽石を両々に含む
  - 2 暗褐色土層 As-C 軽石を含む褐色土とローム粒の混じり
  - 3 褐色土層 As-C 軽石を含む褐色土とローム粒と軽石上の混じり (腐植の混入あり)
  - 4 ソフトローム

5. 145.30m



6

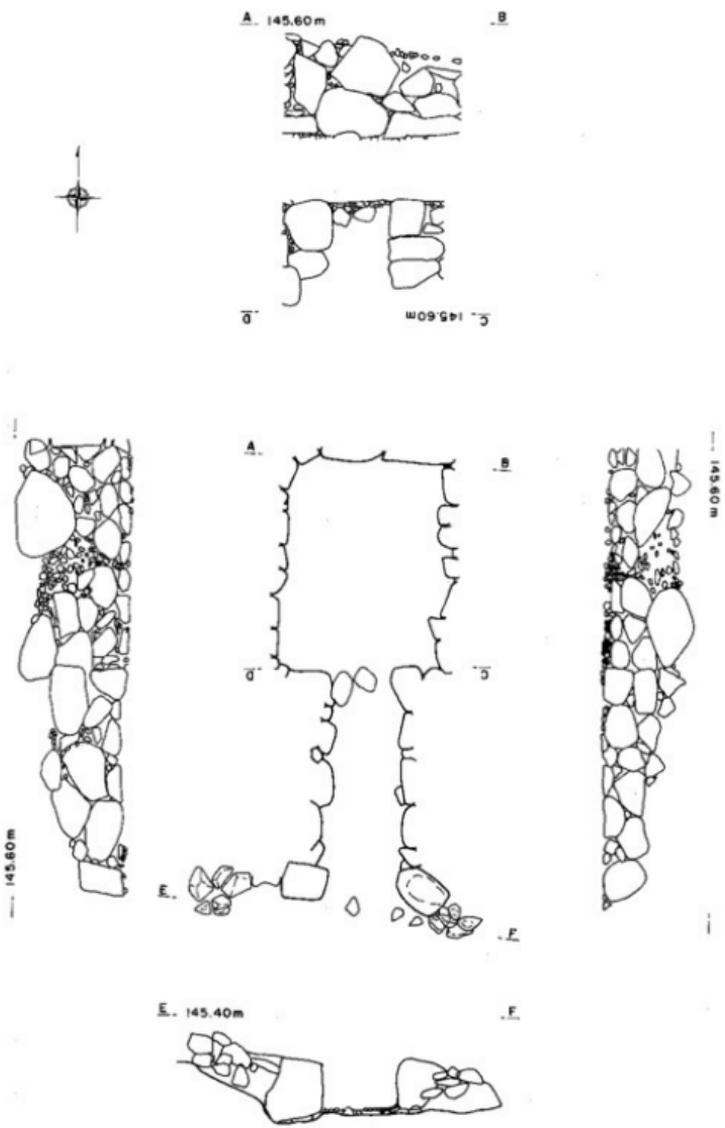
- 土層注記 (M-2, 腐植層 SP, D, G)
- 1 褐色土層 As-C 軽石を多く含む
  - 2 暗褐色土層 1層と2層の混じり
  - 3 黄褐色土層 ローム層を両々に含む

7. 146.40m



8

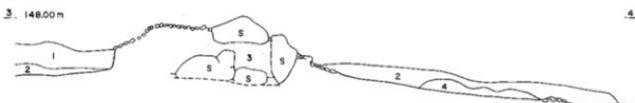
- 土層注記 (M-2, 腐植層 SP, 7, 4)
- 1 褐色土層 軽石が少なく As-C 軽石を多く含む
  - 2 As-C 軽石混層
  - 3 褐色土層 軽石が有り As-C 軽石を含む 両々に SP を含む



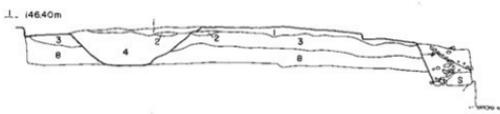
M-3号墳



- 土層構成 (M-1, SP1, 2, 3, 4)
- 1 礫石土層 A/C層の砂多量含有
  - 2 礫石土層 A/C層の砂多量含有 礫石は少ない
  - 3 A/C層の砂にPP層を含む礫石土層 A/C層の砂は少ない
  - 4 礫石



M-1号墳



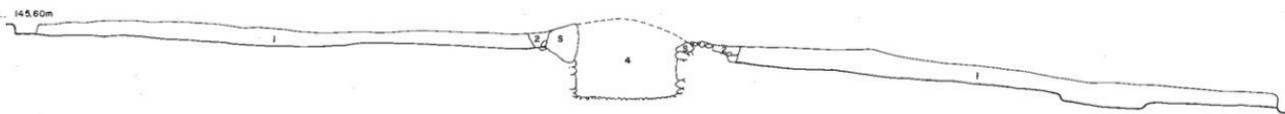
- 土層構成 (M-2, SP1, 2)
- 1 礫石土層 礫石が少なく A/C層の砂多量含有
  - 2 A/C層の礫石
  - 3 礫石土層 礫石が少なく A/C層の砂多量含有 礫石は PP層を含む
  - 4 礫石土層 A/C層の砂多量含有 礫石は PP層を含む
  - 5 礫石土層 礫石が PP層よりも多い A/C層の砂多量含有に含む
  - 6 礫石土層 礫石が PP層よりも多い PP層よりも多い
  - 7 礫石土層 A/C層の砂多量含有 礫石は PP層を含む
  - 8 PP層

M-2号墳



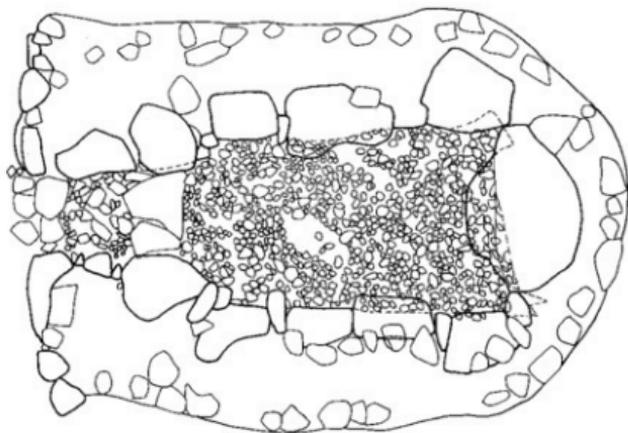
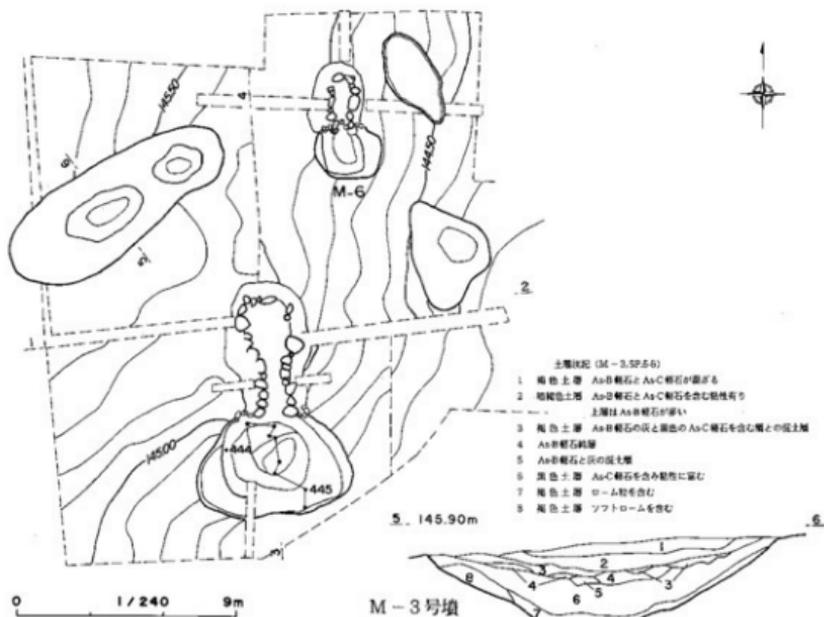
- 土層構成 (M-2, SP1, 3, 4)
- 1 礫石土層 礫石が少なく A/C層の砂多量含有
  - 2 礫石土層 礫石が PP層よりも多い A/C層の砂は少ない
  - 3 A/C層の礫石
  - 4 PP層

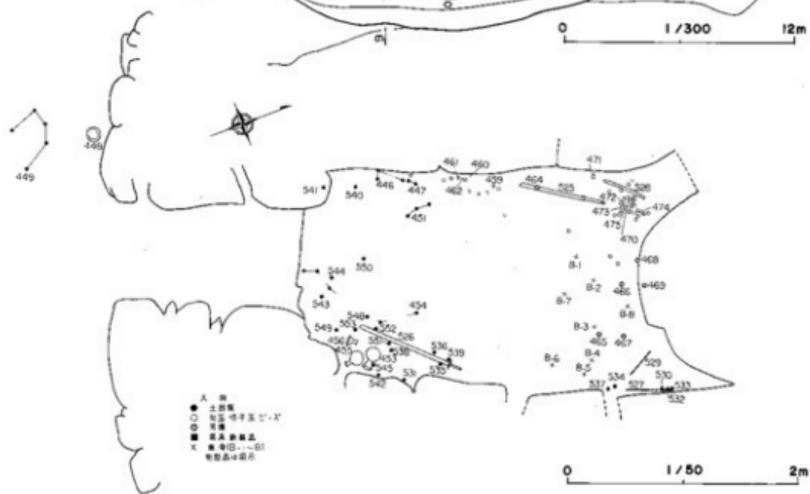
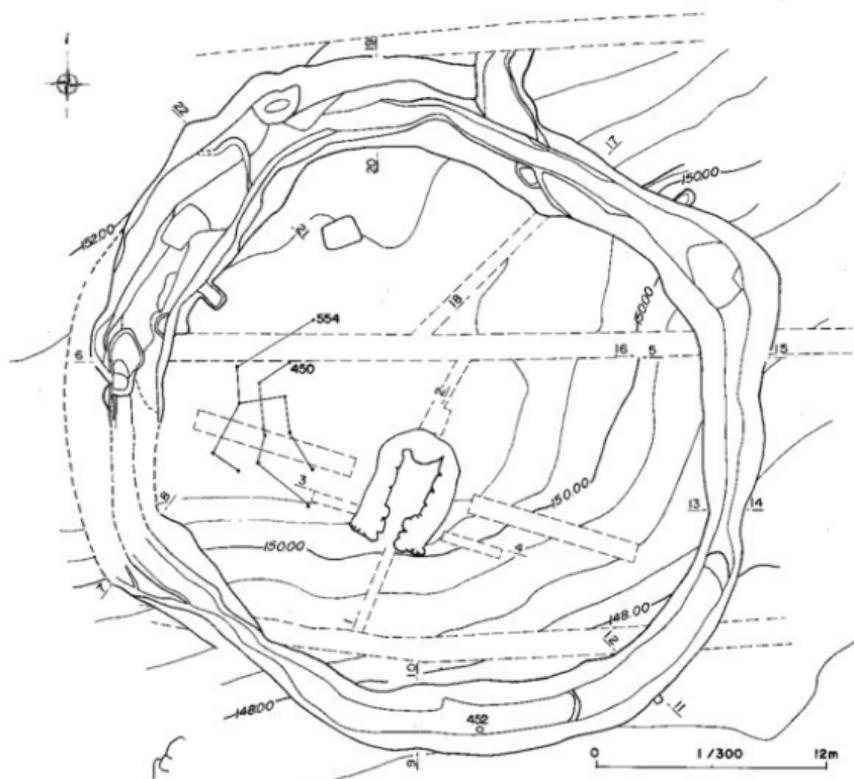
M-3号墳



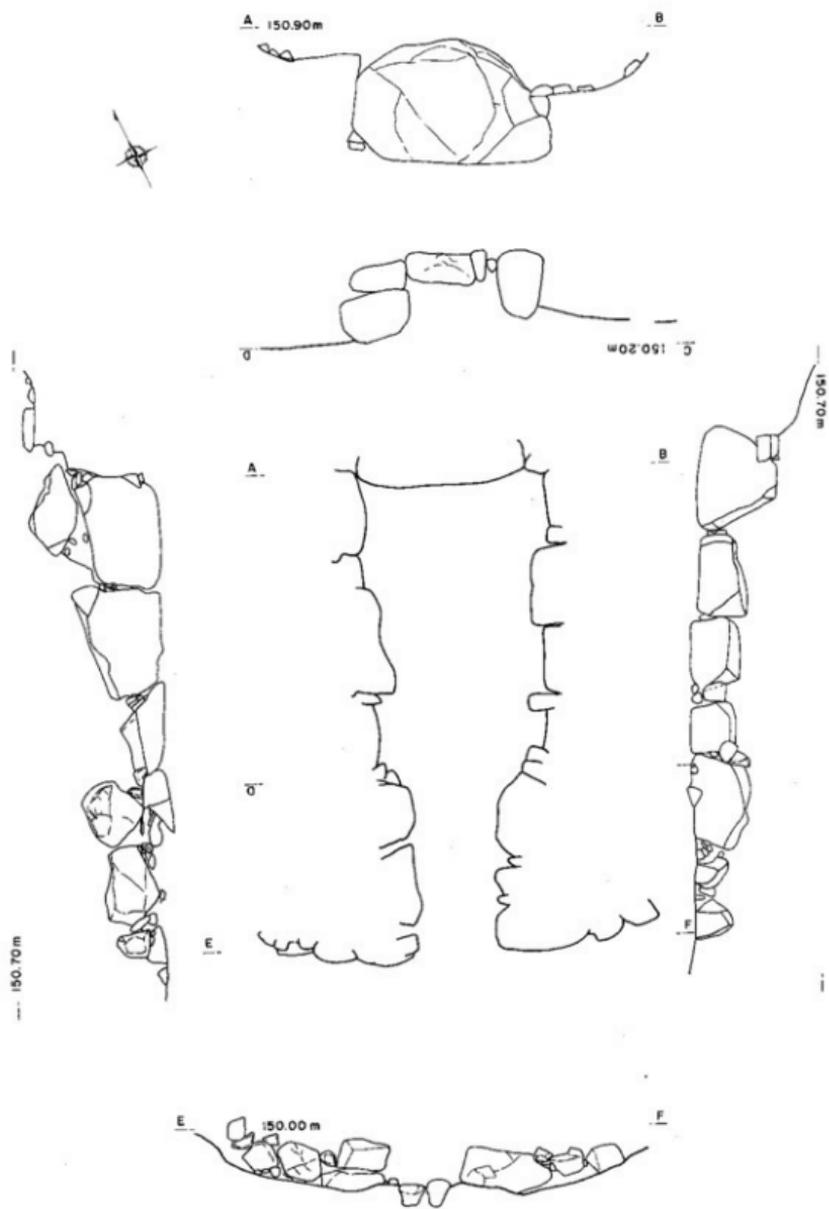
- 土層構成 (M-3, SP1, 2, 3, 4)
- 1 礫石土層 A/C層の砂多量含有
  - 2 礫石土層 A/C層の砂多量含有に含む 礫石は PP層を含む
  - 3 礫石土層 ソフト層よりも多い A/C層の砂多量含有
  - 4 礫石土層 A/C層の砂に PP層を含む 礫石は PP層よりも多い

M-1・2・3号墳



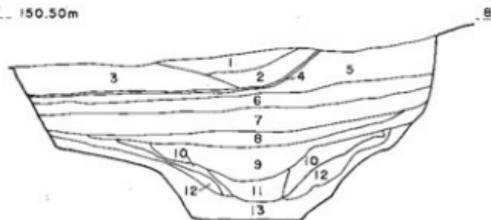


M-4号墳



M-4 号墳

7. 150.50m



土層注記 (M-4, 国測SP.7-8)

- 1 最も新しい粘土 ローム層状土層
- 2 1より層が厚い褐色土層
- 3 腐植土層
- 4 落ち葉の層
- 5 ハードロームの層 (1~5層まで挿す)
- 6 腐植土層 As-C及びA層石を含む挿す土
- 7 腐植土層 As-B及びA層の硬石を含む粘付が乏しい
- 8 As-B粘石層 褐色色を呈する
- 9 多数のAs-C硬石と少量のHr-PPを含む腐植土層
- 10 硬石 (As-C硬石とHr-PP) を20%程度含む腐植土層
- 11 10より硬い (As-C硬石とHr-PP) の腐植土層
- 12 ごく硬く硬石を含む腐植土層
- 13 粗状を呈するハードロームの一次腐植層 極く褐色土を含む

土層注記 (M-4, 国測SP.9-10, 11-12)

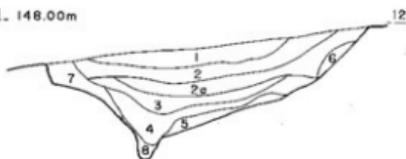
- 1 Hr-PPとAs-B・C硬石を含む褐色土層
- 2 ローム粒とAs-C硬石を含む腐植土層
- 2a 2層よりソフトロームの含有量が少なく3等の腐植土層に近い
- 3 As-C硬石を含む腐植土層
- 4 As-C硬石を含む腐植土層 ハードローム粒を含む
- 5 ソフトロームにAs-C硬石を含む腐植土層
- 6 ソフトロームに腐植土層を一筋含む
- 7 ソフトローム (暗褐色を呈す)
- 8 ハードローム (明るい褐色を呈す)

9. 147.80m



10

11. 148.00m



土層注記 (M-4, 国測SP.13-14)

- 1 多数のAs-C硬石と少量のHr-PPを含む褐色土層
- 2 ソフトロームとAs-C硬石、Hr-PPを含む腐植土層
- 3 ハードロームブロックを含む腐植土層
- 4 ハードロームブロックに腐植土層と硬石を含む腐植土層
- 5 ハードロームにごく硬く硬石を含む

13. 148.50m



14

15. 152.10m



土層注記 (M-4, 国測SP.15-16)

- 1 腐植物を多量に含む粘土とロームブロックを多く含む腐植土層 2m厚削では1層は見られない
- 2 ロームブロックとAs-C硬石を多く含む
- 3 少量の腐植物・粘土・Hr-PPを含む腐植土層
- 3 多数 (40%) のAs-C硬石とHr-PPを少量 (10%) 含む腐植土層
- 4 ロームブロックにAs-C硬石を含む腐植土層 2層より明るい
- 5 ハードロームのブロックに少量の腐植土を含む褐色を呈す

土層注記 (M-4, 国測SP.19-20)

- 1 硬石を含む硬質腐植土層
- 2 As-B硬石と腐植土の硬土層
- 3 As-B粘石層 褐色灰色を呈す
- 4 多数のAs-C硬石と僅かなHr-PPを含む腐植土層
- 5 As-C硬石、Hr-PPを含む腐植土層
- 6 ハードロームに腐植土が侵入する二次腐植層 (明るい褐色ローム)
- 7 腐植土層 (ソフトローム)

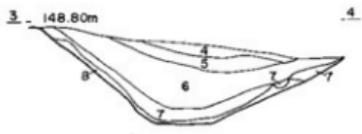
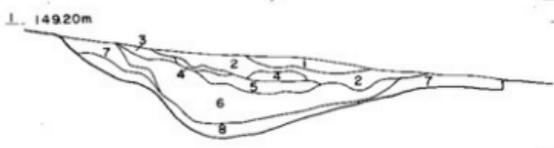
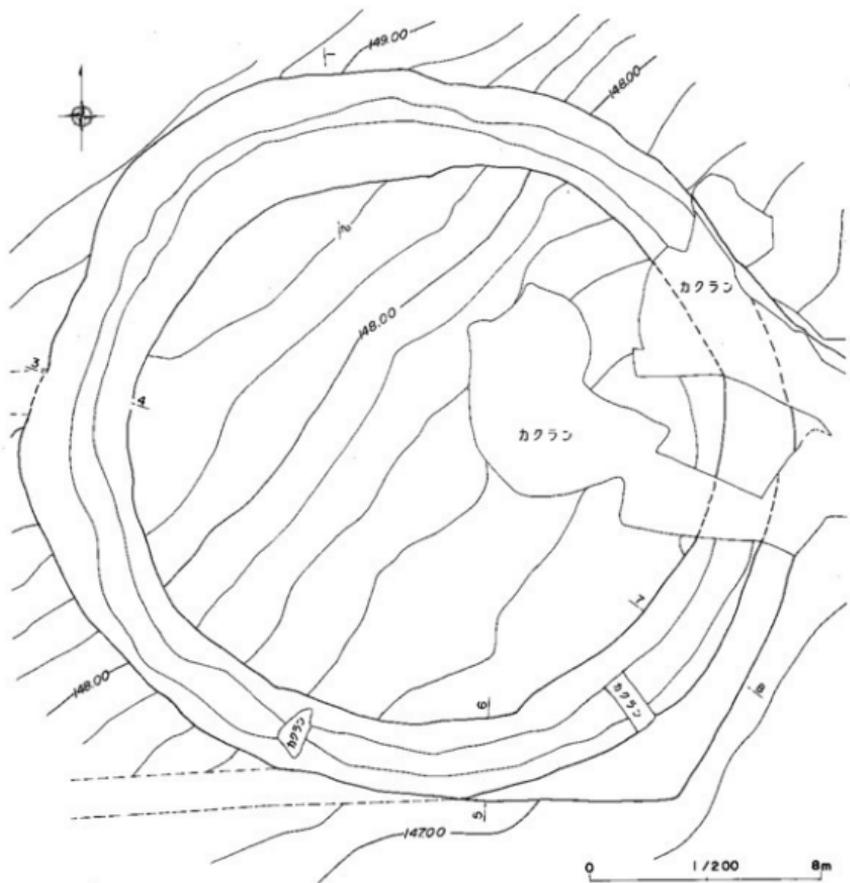
19. 151.95m



20

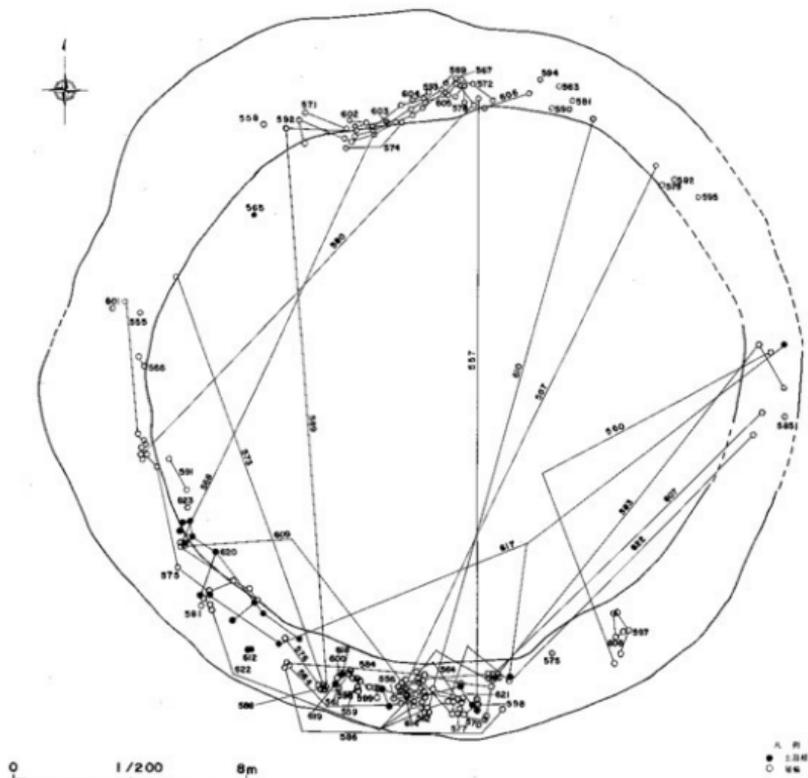
M-4号墳



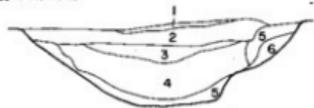


- 土層日記 (M-5号墳SP.1-2-3-4)
- 1 黒色土層 AaB礫石を多く含む 洞々にAsC礫石を含む
  - 2 暗褐色土層 AaB礫石を多く含む 洞々にAsC礫石を含む
  - 3 褐色土層 AaB礫石と灰を含む
  - 4 AaB礫石層
  - 5 黒色土層 AsC礫石を含む粘性がある
  - 6 黒色土層 AsC礫石を多く含む
  - 7 暗褐色土層 AsC礫石を含む粘性はない
  - 8 淡黄褐色土層 ロームブロックを含む

M-5号墳



5. 147.40m



6

7. 147.30m

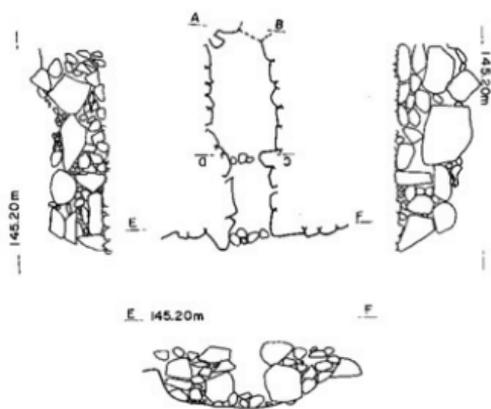
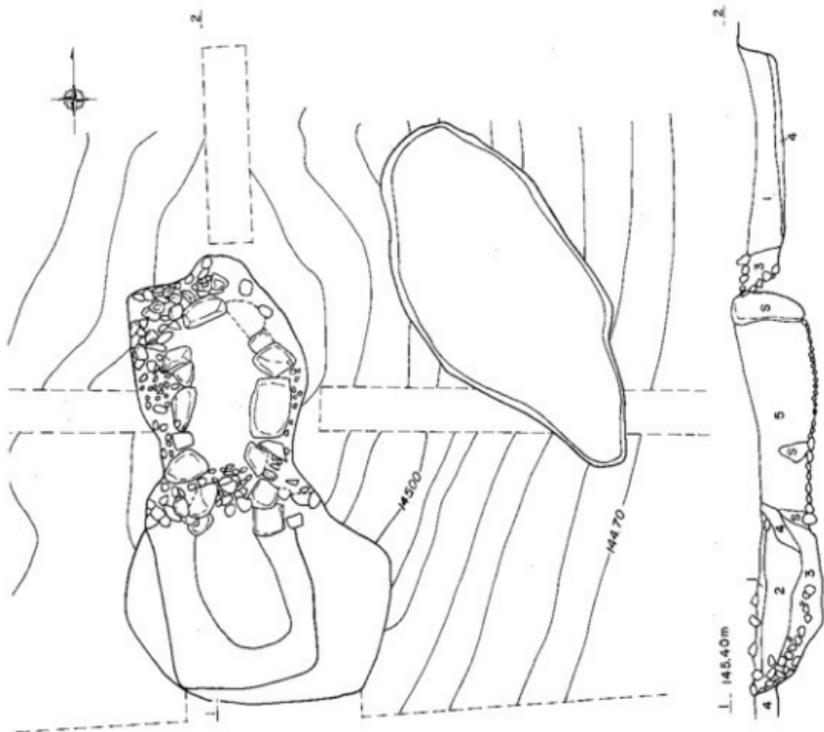


8

土層日記 (M-5, 層深SP54.78)

- |   |         |                  |
|---|---------|------------------|
| 1 | A=C 礫石層 |                  |
| 2 | 黄褐色土層   | A=C 礫石層を含まぬ粘性が有る |
| 3 | 暗褐色土層   | A=C 礫石層を含まぬ      |
| 4 | 黄褐色土層   | A=C 礫石層を多く含む     |
| 5 | 暗褐色土層   | A=C 礫石層を含まぬ粘性はない |
| 6 | 洗滌暗褐色土層 | ロープアロケットを含む      |

M-5号墳



土層記号 (M-6SP1-2)

- 1 As-C 軽石を含む褐色土層
- 2 As-C 軽石を含む粘りのある褐色土層
- 3 As-C 軽石を含む粘りのある暗褐色土層
- 4 ソフトロームを含む褐色土層
- 5 ロームブロックと As-C 軽石と紅い PP を含む褐色土層

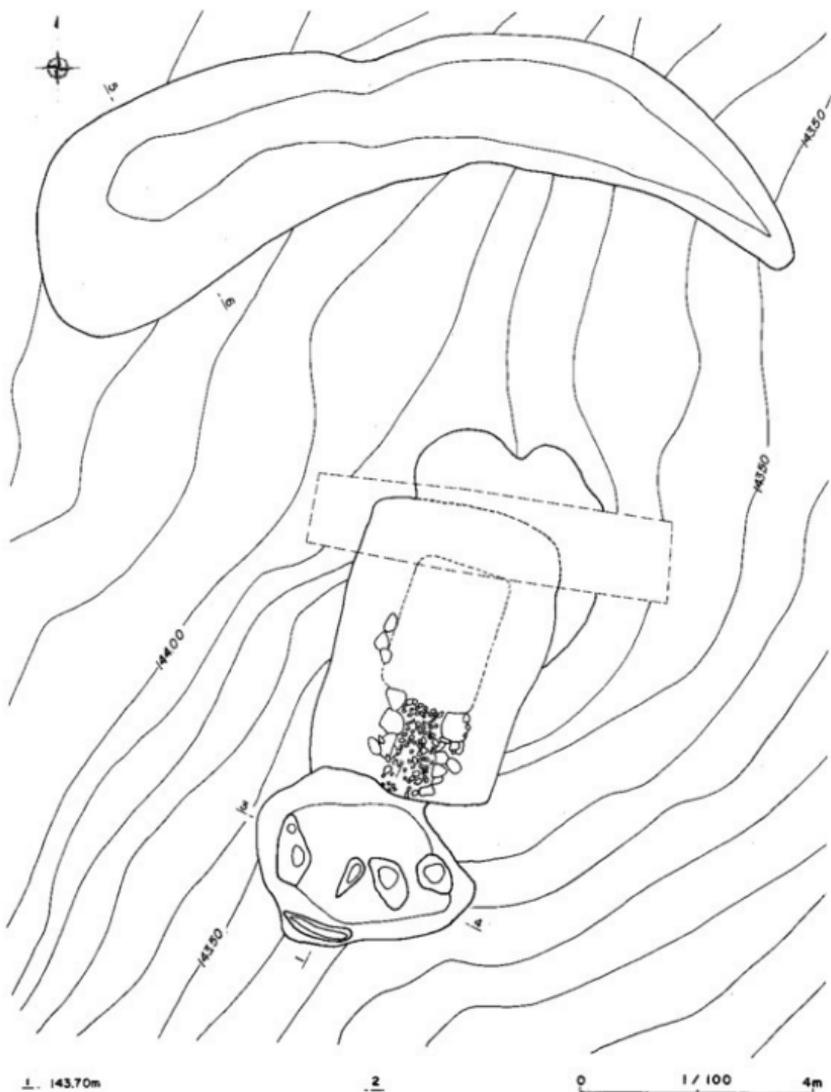
A. 145.20m B.



C. 145.20m D.



M-6 号墳



1. 143.70m

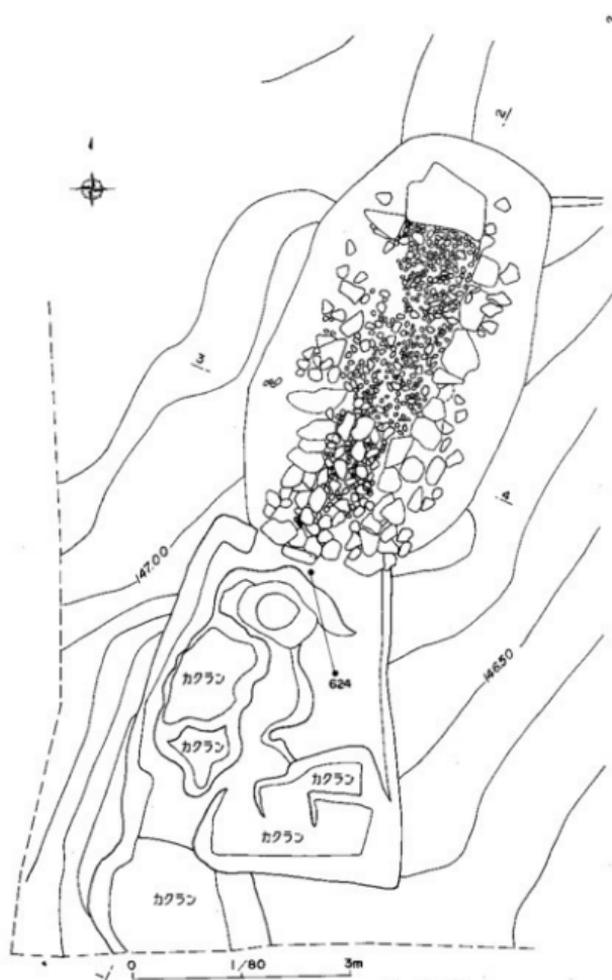
2

0 1/100 4m



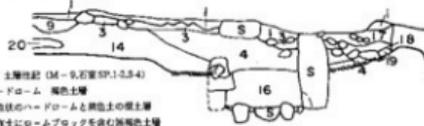
- 土層序記 (M=7, SP.1, 2, 3, 4)
- 1 褐色土層 A-C 礫石を含む、雑草の生育
  - 2 褐色土層 C-A 礫石を含む
  - 3 褐色土層 A-C 礫石を含む、土質は軟弱
  - 4 褐色土層 C-A 礫石を含む

M-7号墳

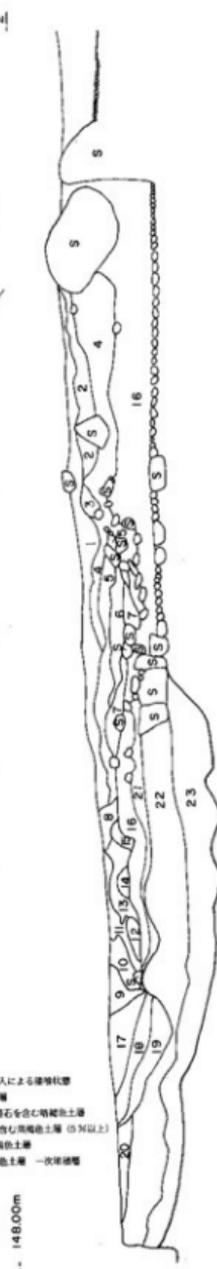


M-9号墳

3. 147.70m



- 土層世紀 (M-9, 石室SP: 0.3-4)
- 1 ハードローム 褐色土層
  - 2 頂点状のハードロームと褐色土の硬土層
  - 3 餅作土にロームブロックを含む褐色土層
  - 4 餅状ロームに黒褐色土を含む硬土層
  - 5 4層よりロームを多く含む
  - 6 4層より黒褐色土が多い
  - 7 4.5層よりロームブロックが細かく黒褐色土が多い
  - 8 餅状にロームを含む硬土層
  - 9 As-C 解石を含む褐色土に餅作土が混入する褐色土層
  - 10 餅作土に褐色土が混入する
  - 11 As-C 解石を含む褐色土と餅作土の硬土層
  - 12 液状反応のAs-C 解石層下の火山灰層
  - 13 餅作土と褐色土の硬土層
  - 14 As-C 解石を含む褐色土層
  - 15 12層に同じ As-C 解石層
  - 16 As-C 解石を含む褐色土にローム粒を含むロームを建築物に石の間に入れた黒褐色土層
  - 17
  - 18 混合気質褐色土の混入による建築物
  - 19 ツフトローム層褐色土層
  - 20 ツフトロームにAs-C 解石を含む褐色土層
  - 21 餅作ロームブロックを含む褐色土層 (5N以上)
  - 22 As-C 解石とHc-PFの褐色土層
  - 23 硬かローム粒を含む褐色土層 一次埋埋層



1. 148.00m

3. 14370m

4.



5. 14440m

6.



土層柱記 (M-7, 成層 SP.56)  
 1 黒色土層 A+C層石を含む。土質は堅  
 2 褐色土層 黒色土とソフトロームの混ざり

M-7号墳



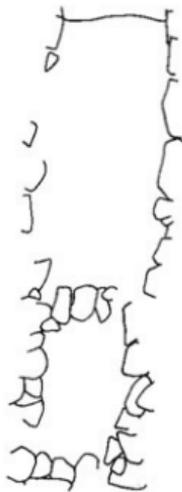
A. 14750m

B.



A.

B.



B.

E.



140.24m

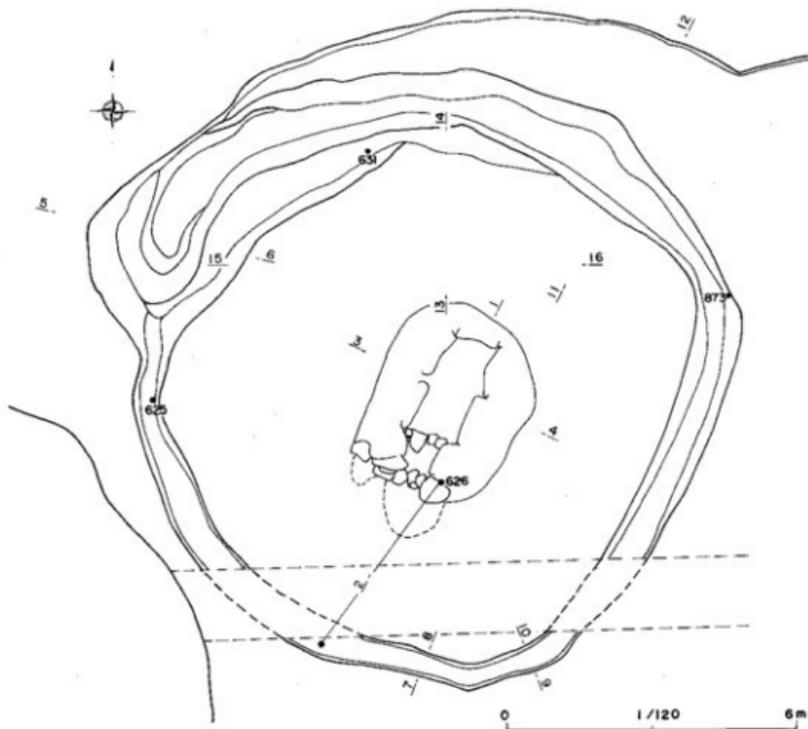
E. 14700m

E. C. 14750m

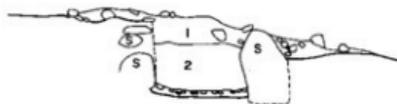
D.



M-9号墳



Ⅲ. 152.00m



- 主層位記 (M-11, 高層 SP 34)
- 1 As-C 礫石も多く含む赤褐色土層
  - 2 As-C 礫石を多く含む黄褐色土層と礫により空洞内を充填する

Ⅳ. 151.30m



- 主層位記 (M-11, 高層 SP 7 8 9-10)
- 1 As-C 礫石と Hs-PP を併せ含む黄褐色土層

Ⅴ. 151.30m

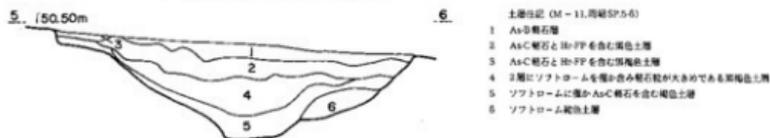
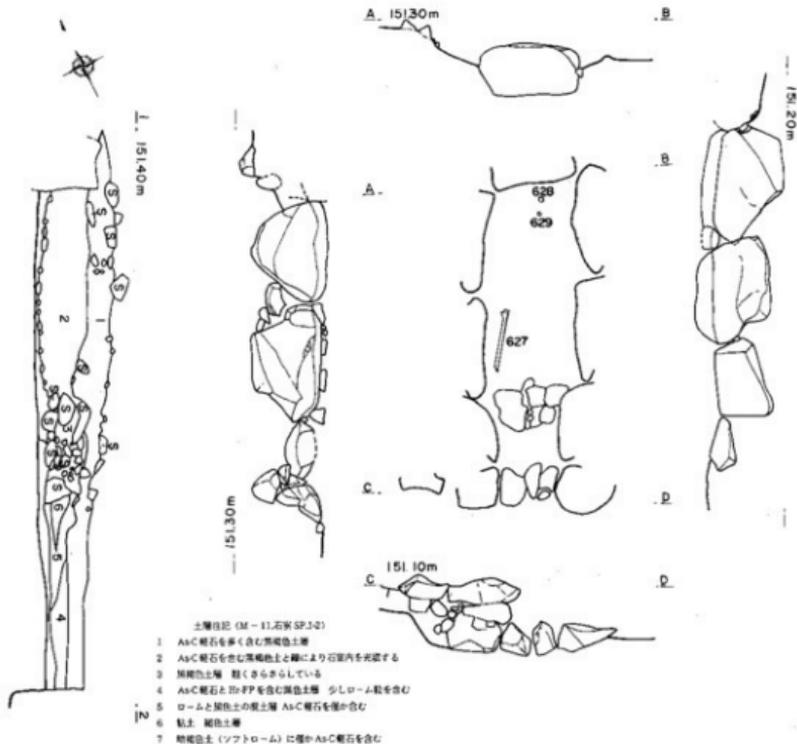


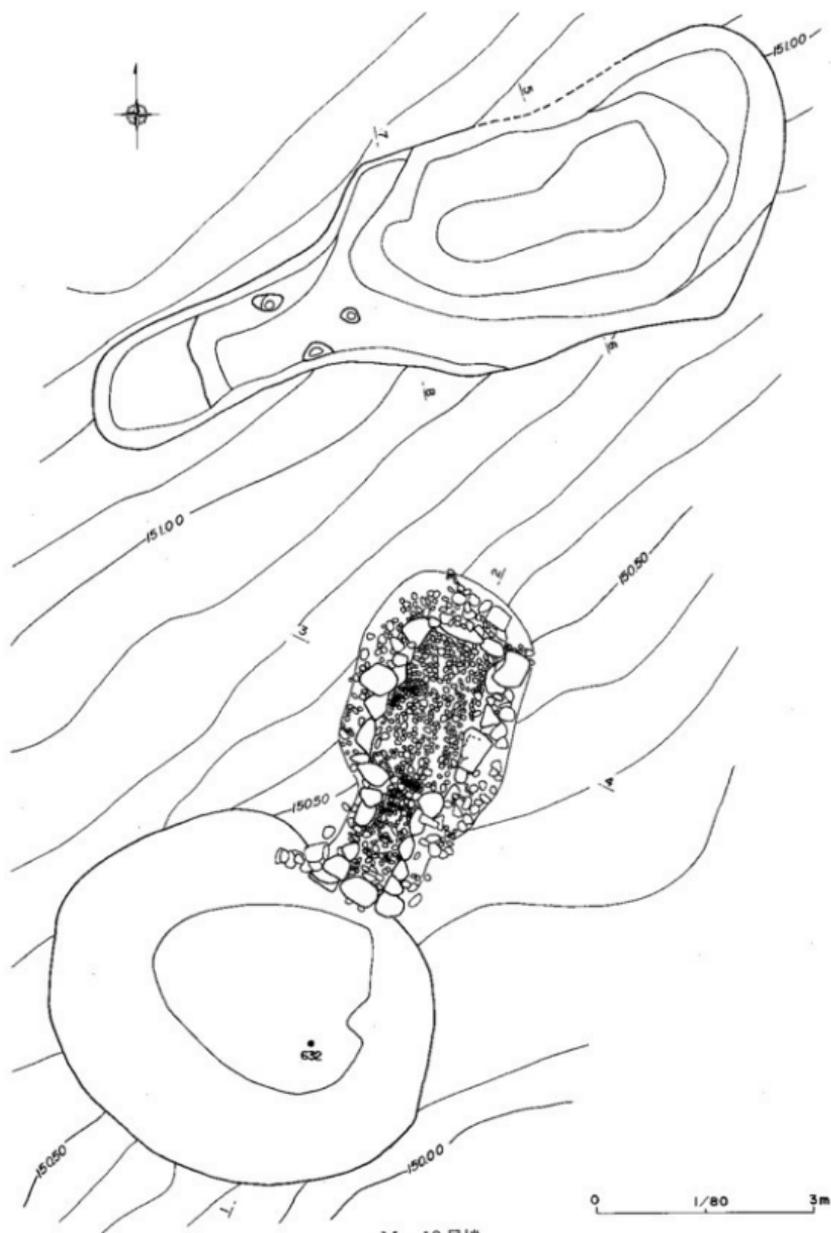
Ⅵ. 151.20m



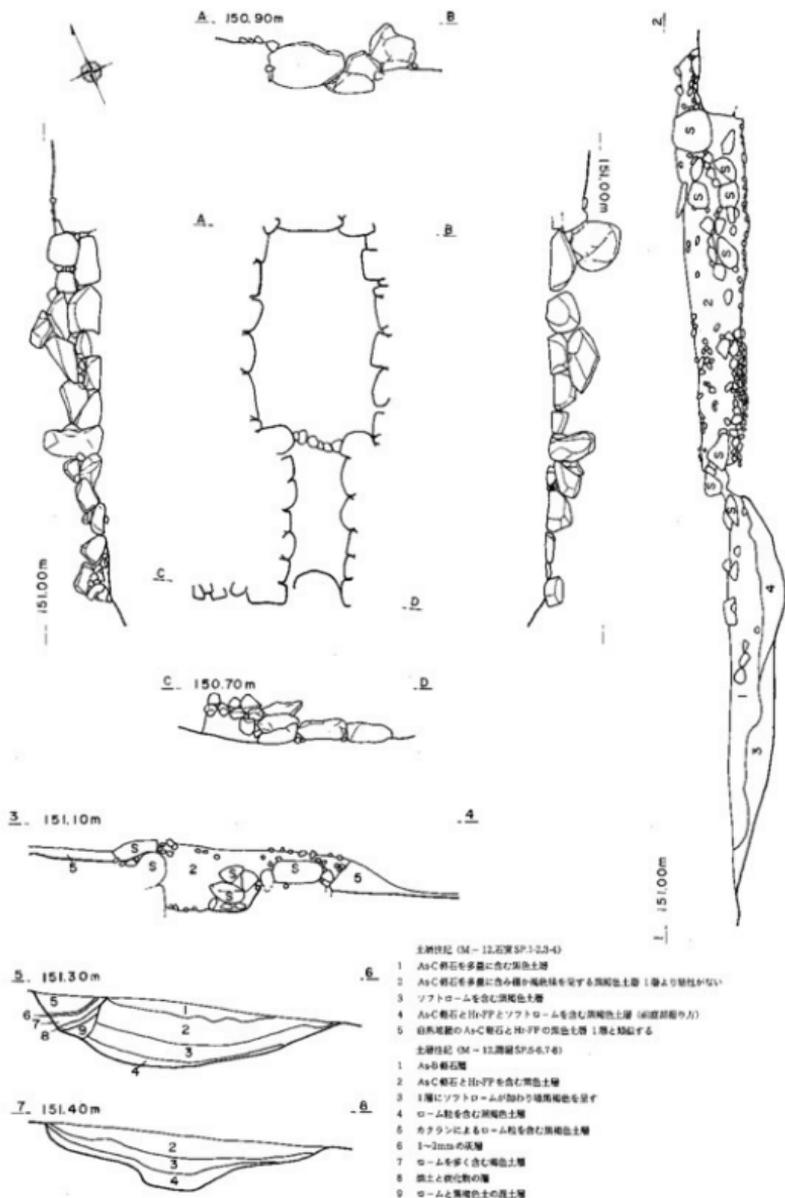
- 主層位記 (M-11, 高層 SP 11-12)
- 1 As-B 礫石の二次堆積層で黄褐色砂質層
  - 2 As-B 礫石層
  - 3 As-C 礫石と Hs-PP を多量に含む黄褐色土層
  - 4 As-C 礫石と Hs-PP の混ざったくぼみや赤褐色土層
  - 5 フットホームに As-C 礫石の塊状物を多く含む赤褐色土層
  - 6 As-C 礫石と Hs-PP の混ざった黄褐色土層
  - 7 As-C 礫石と Hs-PP が少量含まれる黄褐色土層

M-11 号墳

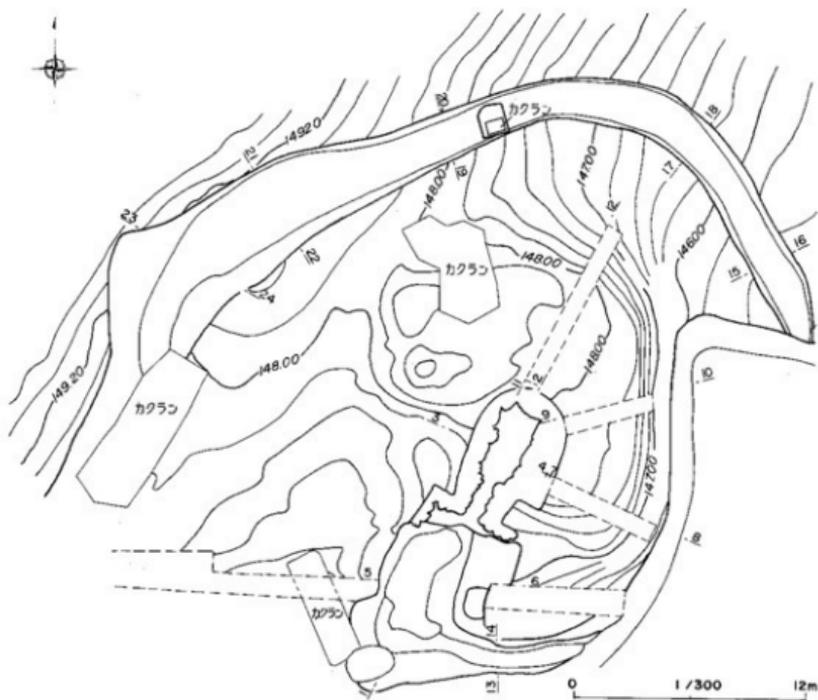




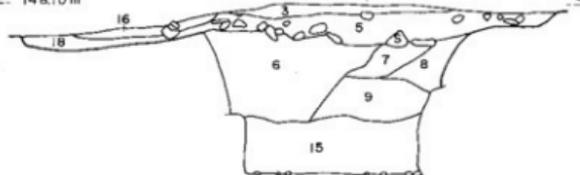
M-12号墳



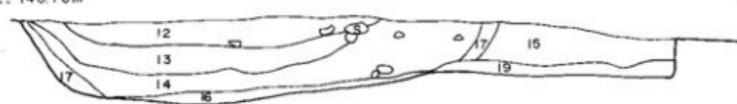
M-12号墳



3. 148.10m



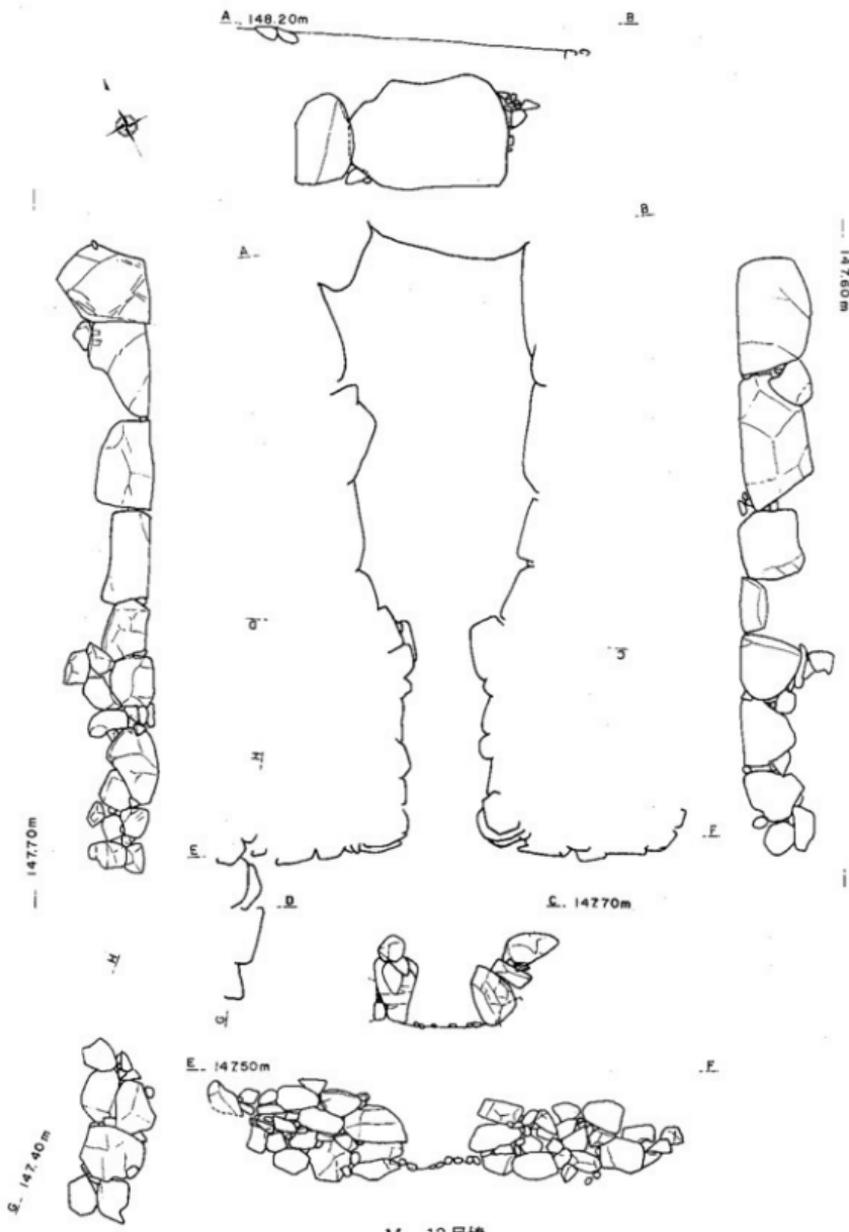
5. 146.70m



土層日記 (M-13・石室 SP.123456)

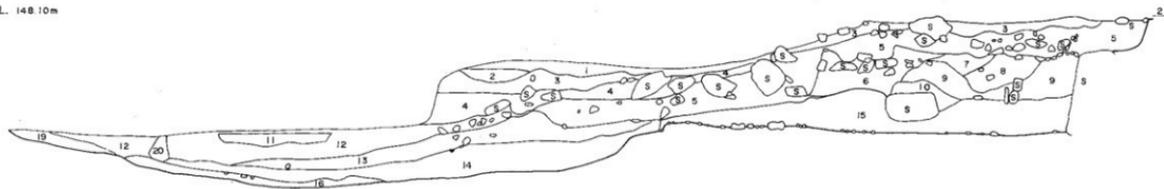
- 1 耕作土 ソフトロームにAsC礫石を伴う褐色土が顕点状に散在する
- 2 AsC礫石とHcPPの褐色土が堆積された二次埋積層
- 3 埋積土層 ソフトロームに僅かAsC礫石とローム粒を散在する
- 4 AsC礫石を伴う軟らかな埋積土層
- 5 4に類似するが粘土粒を伴う埋積土層
- 6 埋積土にロームブロック (1~3cm) を含む埋土層
- 7 軟らかな埋積土層
- 8 カクランされたソフトな埋積土層
- 9 (明視) ソフトロームとロームを含む埋積土層より明るい
- 10 ローム粒 (2~5mm以下) を散在する埋積土層

- 11 AsC礫石層 黄灰色礫石層
- 12 AsC礫石とHcPPを含む埋積土層 (上部にAsC礫石のブロック状の侵入が見られる)
- 13 AsC礫石とHcPPを含む埋積土層
- 14 AsC礫石とHcPPを含む埋積土層 最層より暗 (3層より明るい)
- 15 灰白色粘土とロームブロックを含む埋積土層
- 16 AsC礫石とHcPPを含む埋積土層にローム粒を含む
- 17 礫石を殆ど含まない埋積土層
- 18 14層より暗い 多数のAsC礫石と僅かなHcPPを含む埋積土層
- 19 埋積土層 (ソフトローム)
- 20 カクラン 埋積土層



M-13号墳

1. 148.10m



11. 148.20m



13. 146.20m



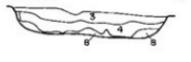
19. 148.30m



15. 145.70m



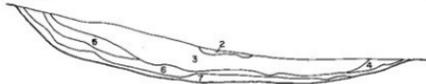
17. 146.50m



土層図説 (14 - 13 + 高層 13-34)

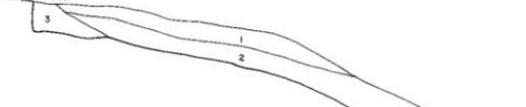
- 1 赤土 黒色褐色土層
- 2 AaC 礫土層
- 3 AaC 礫土層 (10-20) 赤褐色土層
- 4 AaC 礫土層 (20-30) 赤褐色土層
- 5 AaC 礫土層 (30-40) 赤褐色土層
- 6 AaC 礫土層 (40-50) 赤褐色土層
- 7 AaC 礫土層 (50-60) 赤褐色土層
- 8 ハーフォームに埋没した侵入する褐色土層

23. 149.30m

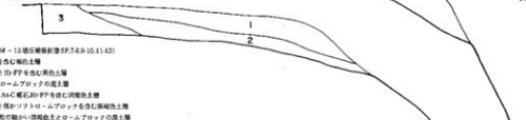


12

7. 148.00m



9. 148.00m



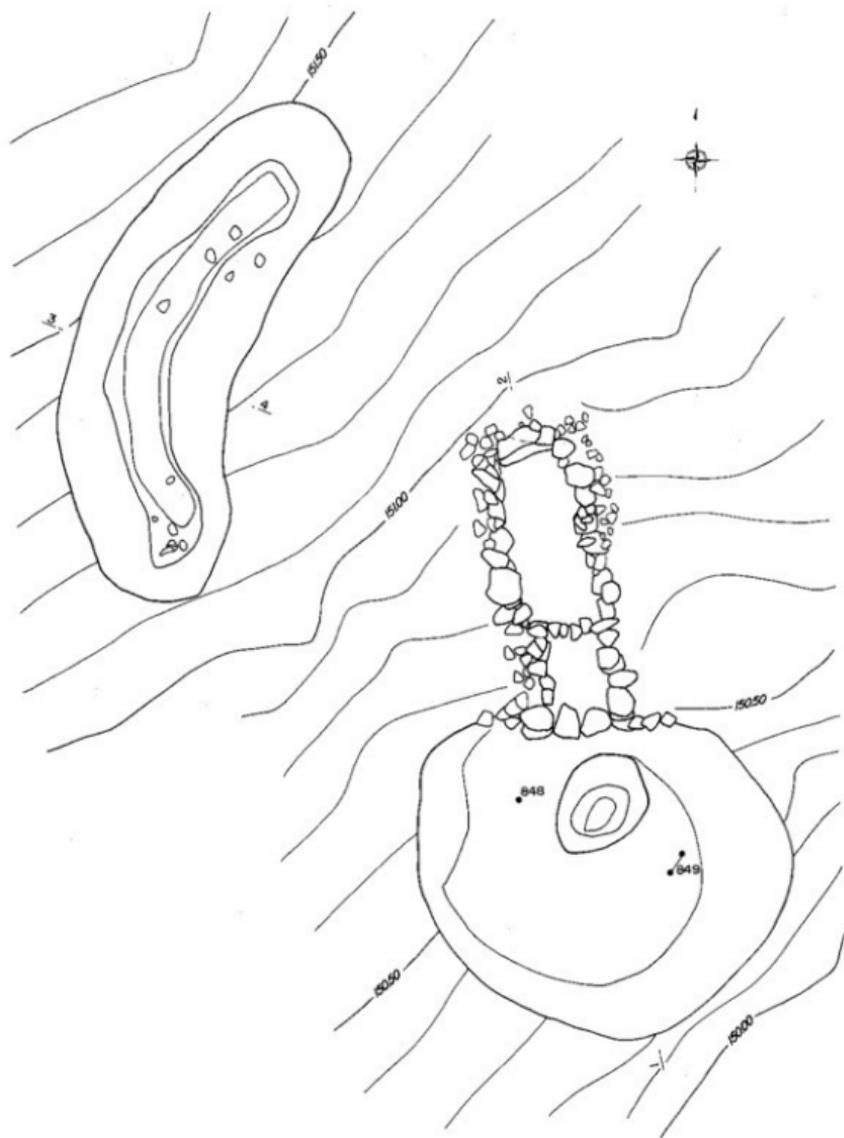
土層図説 (10 - 11 高層 高層 10-11-12)

- 1 AaC 礫土層 (10-11) 赤褐色土層
- 2 AaC 礫土層 (11-12) 赤褐色土層
- 3 埋没したハーフォームの遺跡
- 4 ハーフォーム AaC 礫土層 (10-11) 赤褐色土層
- 5 AaC 礫土層 (11-12) 赤褐色土層
- 6 埋没したハーフォームの遺跡
- 7 AaC 礫土層 (12-13) 赤褐色土層 (12-13) 赤褐色土層
- 8 AaC 礫土層 (13-14) 赤褐色土層
- 9 埋没したハーフォーム

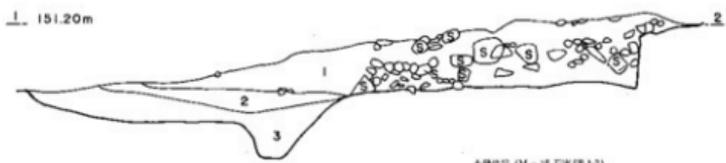
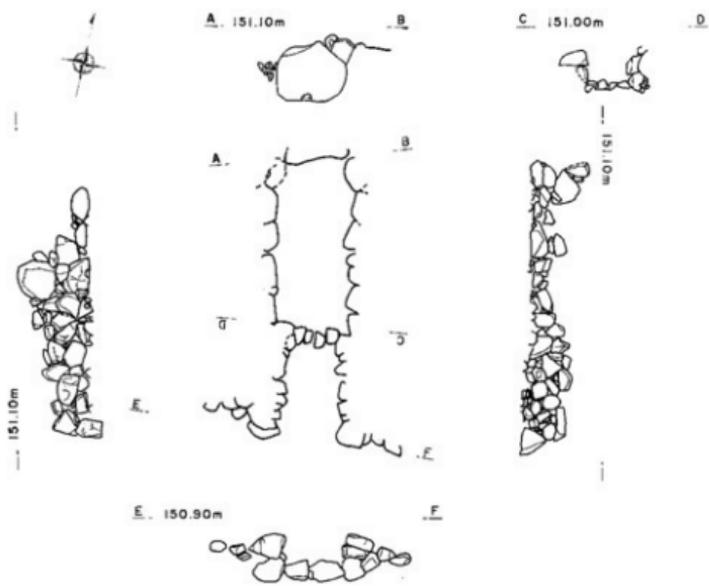
21. 149.00m



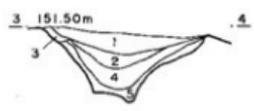
24



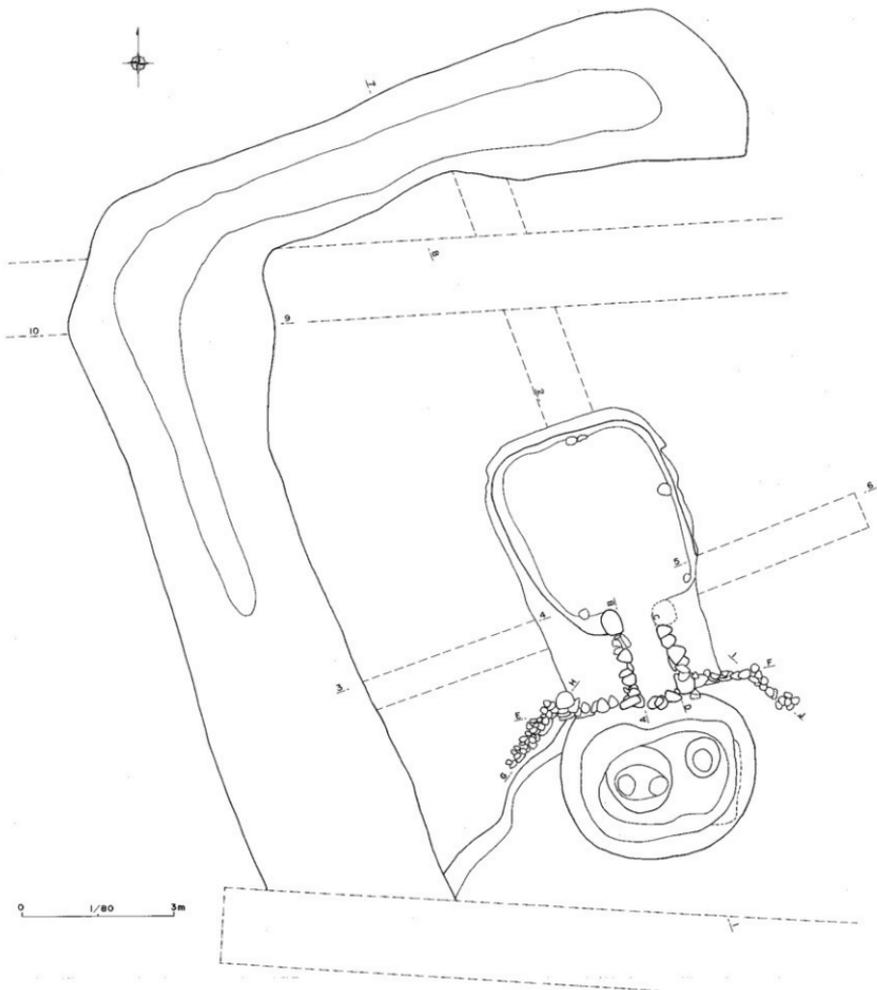
M-15号墳



- 土層付記 (M-15, 石室 SP.3-2)
- 1 AcC礫石とHr+FPを含む褐色土層 2 泥より厚い腐土を穿す
  - 2 AcC礫石とHr+FPを含む灰色土層
  - 3 AcC礫石を埋め (5以下) 褐色腐植土層 ソフトローム地



- 土層付記 (M-15, 土層 SP.3-4)
- 1 軽いHr+FPを含む AcC礫石とHr+FPを多数に含む褐色土層
  - 2 1層に類似 礫石の量が1層より少な(4層より多い)褐色土層
  - 3 5層より少しロームを多く含む褐色土層
  - 4 埋めソフトロームを含む軽い 腐植土土層
  - 5 ロームブロックを含む褐色土層



1 149.70m

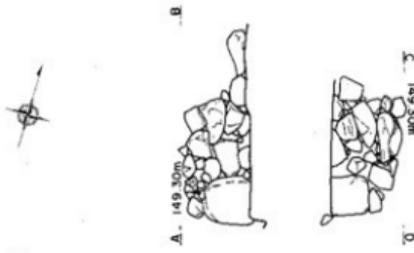


1 149.70m

- 1 149.70m
- 1 Aa層とAbC層のPPを彩色した層
  - 2 10mと12mとのPPを彩色した層の下の層
  - 3 埋め戻しを彩色した層
  - 4 10m層と12m層の境界線
  - 5 埋め戻し層 (フクロローム)

- 6 Aa層の層
- 7 2層より深い埋め戻しにローム層を含む
- 8 Aa層の上にPPを彩色した層、埋め戻し層の下の層と見られる
- 9 埋め戻し層 (フクロローム) にPPを彩色した層
- 10 埋め戻し層 AaC層と10-12m層の層
- 11 12層にローム層を彩色した層
- 12 Aa層の上にPPを彩色した層 (2層より深い)
- 13 10-12m層とローム層を彩色した層
- 14 10-12m層のローム層に埋め戻し層
- 15 埋め戻し層 (フクロローム) に埋め戻し層

- 16 4層に埋め戻し層を含む
- 17 15層に埋め戻し層を含むローム層の層
- 18 10-12m層のローム層と埋め戻し層の層
- 19 埋め戻し層 (フクロローム) の層
- 20 10m層の埋め戻し層
- 21 ローム層の埋め戻し層
- 22 ローム層の埋め戻し層
- 23 埋め戻し層 (フクロローム) の層
- 24 Aa層の上にPPを彩色した層
- 25 フクロロームとAa層を彩色した層
- 26 フクロローム層 埋め戻し層

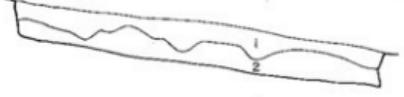


E. 149.60m

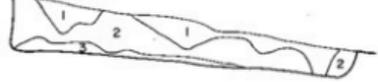


- 土層序記 (M-20, 主体部 SP34)
- 1 AsC 礫石と H-PF を含む赤褐色土層
  - 2 ソフトローム 暗褐色土層

3. 150.20m

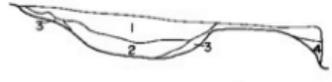


5. 149.20m



- 土層序記 (M-20, 主体部 SP56)
- 1 ソフトロームに黄色土が混入する黄褐色土層 (AsC 礫石は見られない)
  - 2 ソフトローム 暗褐色土層
  - 3 ハードロームのブロックが混入するソフトローム 暗褐色土層

7. 150.70m

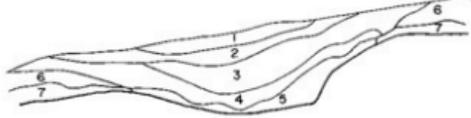


土層序記 (M-20, 附属 SP9-10)

- 1 AsC 礫石を多く含む褐色土層
- 2 AsC 礫石層 黄褐色の土が灰も見られる
- 3 AsC 礫石と H-PF を含む黄色土層 (多量の AsC 礫石が見られる)
- 4 AsC 礫石と H-PF の中にロームが見られる黄色土層 (層 3 層より AsC 礫石の量が少ない)
- 5 板状のハードロームと C 礫石を含む黄褐色土との混土層 黄褐色を呈す
- 6 ソフトローム 暗褐色土層
- 7 ハードローム 明るい黄褐色土層

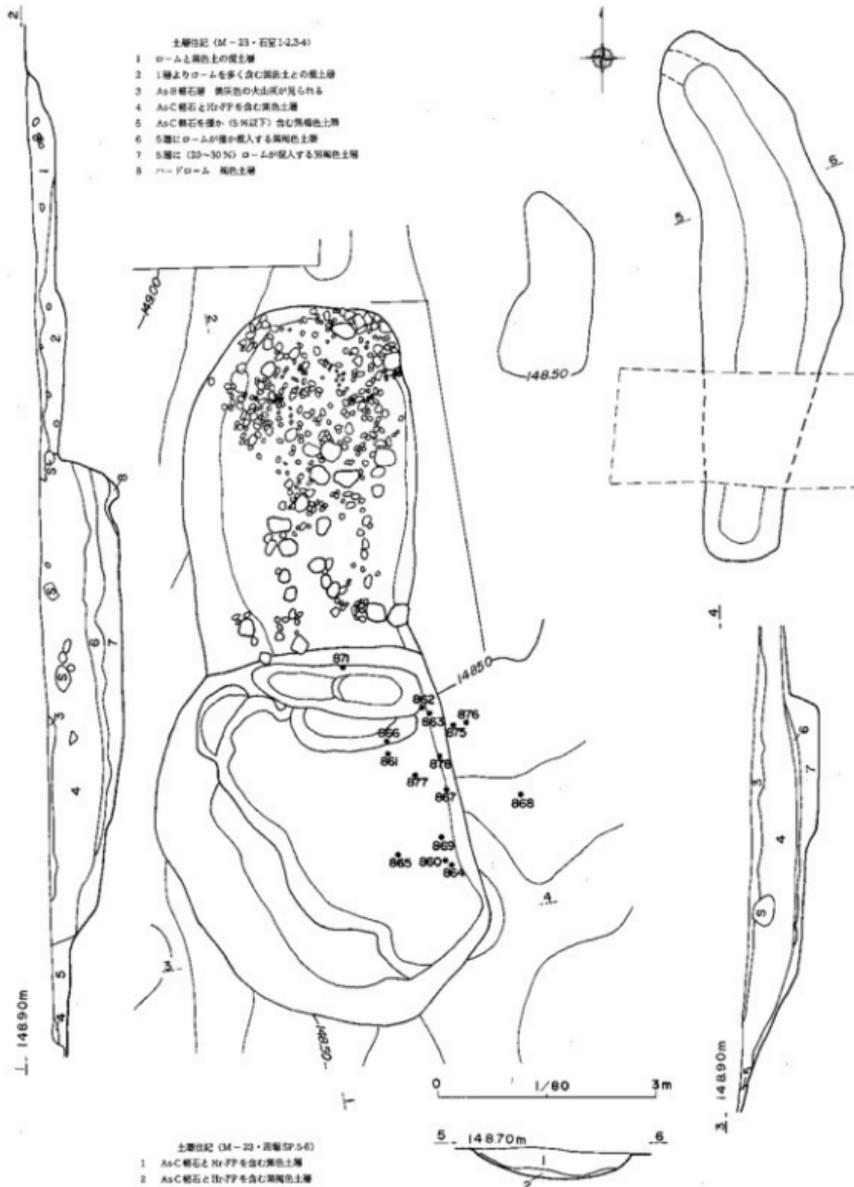
- 土層序記 (M-20, 附属 SP78)
- 1 AsC 礫石と H-PF を含む黄褐色土層
  - 2 AsC 礫石と H-PF を含む黄褐色土層 (ソフトロームを多く混入している)
  - 3 ロームを含む明るい黄褐色土層
  - 4 ソフトローム 暗褐色土層

9. 151.50m



10





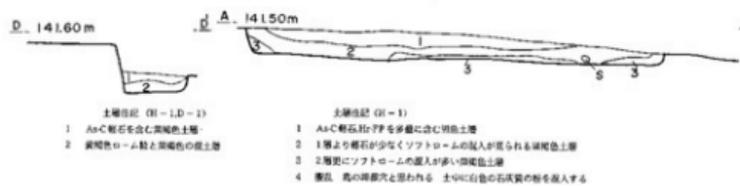
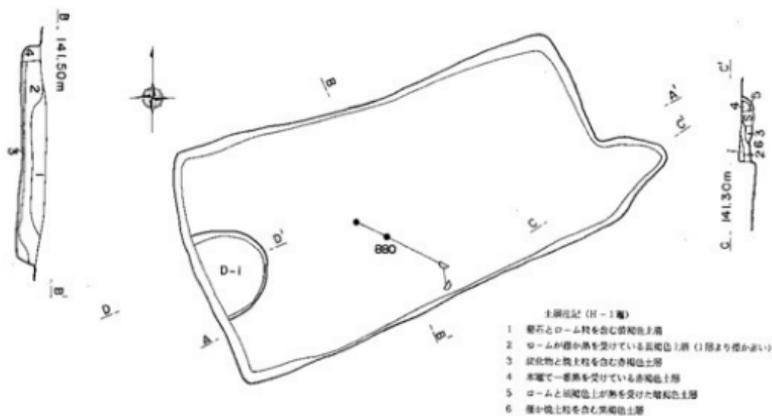
土層日記 (M-23・石室1424)

- 1 ロームと黒色土の混土層
- 2 1層よりロームを多く含む混土との混土層
- 3 AaC軽石層 黒灰色の大山石が見られる
- 4 AaC軽石とHr-FFを含む黒色土層
- 5 AaC軽石を多く含む(5%以下)含む黒褐色土層
- 6 5層にロームが混入する黒褐色土層
- 7 5層に(30~50%)ロームが混入する黒褐色土層
- 8 ハードローム 褐色土層

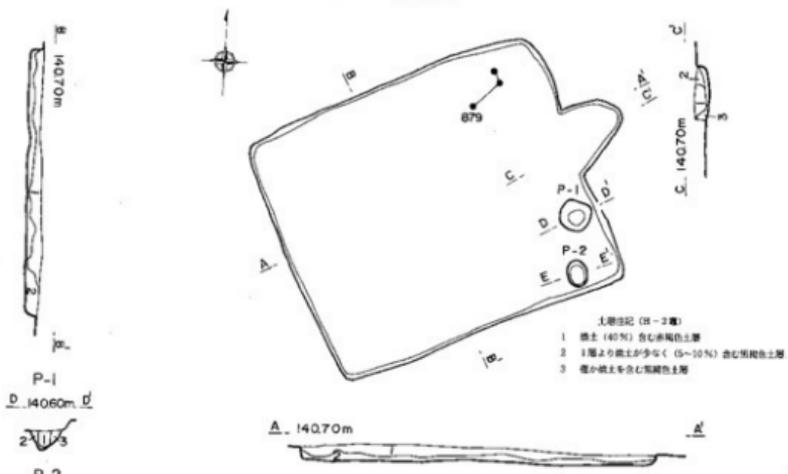
土層日記 (M-23・石室1425)

- 1 AaC軽石とHr-FFを含む黒色土層
- 2 AaC軽石とHr-FFを含む黒褐色土層

M-23号墳



H-1号住居址



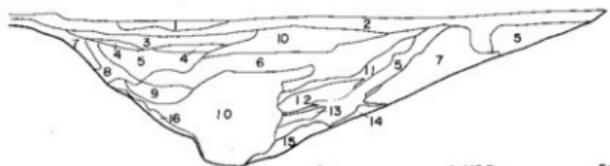
H-2号住居址

1. 140.90m



- 土層記号 (河川跡 SP-3)
- 1 粘土を含む黒褐色土層
  - 2 砂質を含む黒褐色土層
  - 3 褐色腐植土層
  - 4 AsC礫石層とH-FPの礫石による腐植
  - 5 AsC礫石層とH-FPの礫石による腐植
  - 6 AsC礫石層とH-FPを含む黒褐色土層
  - 7 砂質を含む黒褐色土層
  - 8 ハードロー
  - 9 ロームと腐植土層の混入した薄い腐植土層
  - 10 砂層 (1cm以下) 腐
  - 11 河川の礫石による腐植
  - 12 AsC礫石とH-FPの腐植土層を多く含む腐植土層
  - 13 腐植土層を多く含む腐植土層 粘土は非常に細かい
  - 14 12層より腐植土層を多く含む腐植土層
  - 15 8層の腐植土層にロームの混入が見られる腐植土層
  - 16 ほほはほほに腐
  - 17 ローム層 砂質の薄い腐植土層

3. 14130m



- 1 腐植土層
- 2 腐植土層
- 3 腐植土層
- 4 腐植土層
- 5 腐植土層
- 6 腐植土層
- 7 腐植土層
- 8 腐植土層
- 9 腐植土層
- 10 腐植土層
- 11 腐植土層
- 12 腐植土層
- 13 腐植土層
- 14 腐植土層
- 15 腐植土層
- 16 腐植土層

2.

土層記号 (河川跡 SP-3)

- 1 AsC礫石を含む腐植土層
- 2 AsB礫石層 2a 河川の火山灰 2b 河川の礫石
- 3 腐植土層
- 4 AsC礫石とH-FPを含む腐植土層
- 5 砂質の薄い腐植土層
- 6 腐植土層
- 7 腐植土層
- 8 腐植土層
- 9 腐植土層
- 10 腐植土層
- 11 腐植土層
- 12 腐植土層
- 13 腐植土層
- 14 腐植土層
- 15 腐植土層
- 16 腐植土層
- 17 腐植土層
- 18 腐植土層
- 19 腐植土層
- 20 腐植土層
- 21 腐植土層
- 22 腐植土層

3. 140.90m



土層記号 (河川跡 - 2.SP-3)

- 1 腐植土層に粘土 (10%) を含む腐植土層
- 2 腐植土層の腐植土層 (5%以下)
- 3 腐植土層を含む腐植土層 腐植土層は均一でない
- 4 腐植土層の腐植土層 (20%)
- 5 腐植土層の腐植土層 (20%)
- 6 腐植土層の腐植土層 (20%)
- 7 腐植土層の腐植土層 (20%)

5. 140.90m



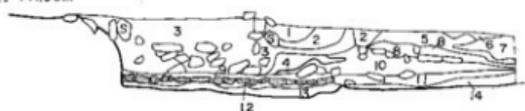
土層記号 (河川跡 - 1.SP-3)

- 1 腐植土層
- 2 腐植土層
- 3 腐植土層
- 4 腐植土層
- 5 腐植土層
- 6 腐植土層
- 7 腐植土層
- 8 腐植土層
- 9 腐植土層

土層記号 (河川跡 - 2.SP-3)

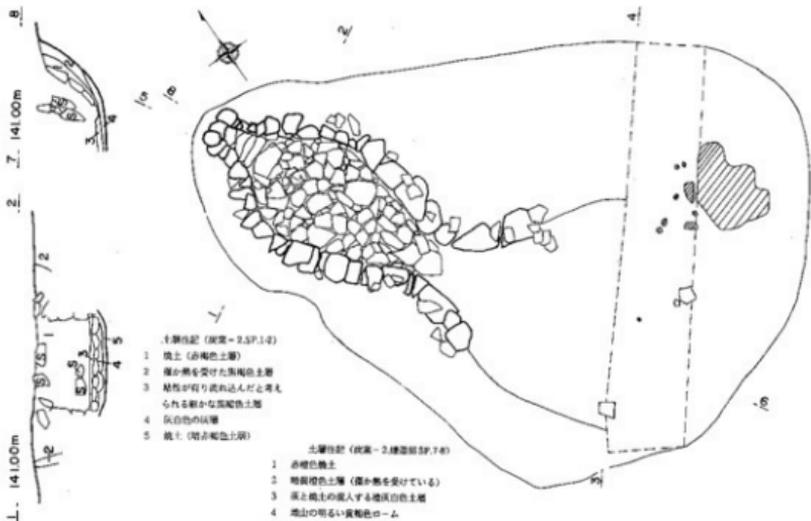
- 1 腐植土層に粘土 (20%) を含む
- 2 腐植土層に粘土 (40%) を含む
- 3 腐植土層 (腐植土層)
- 4 腐植土層
- 5 腐植土層
- 6 腐植土層
- 7 腐植土層
- 8 腐植土層
- 9 腐植土層
- 10 腐植土層
- 11 腐植土層
- 12 腐植土層
- 13 腐植土層
- 14 腐植土層

5. 141.00m

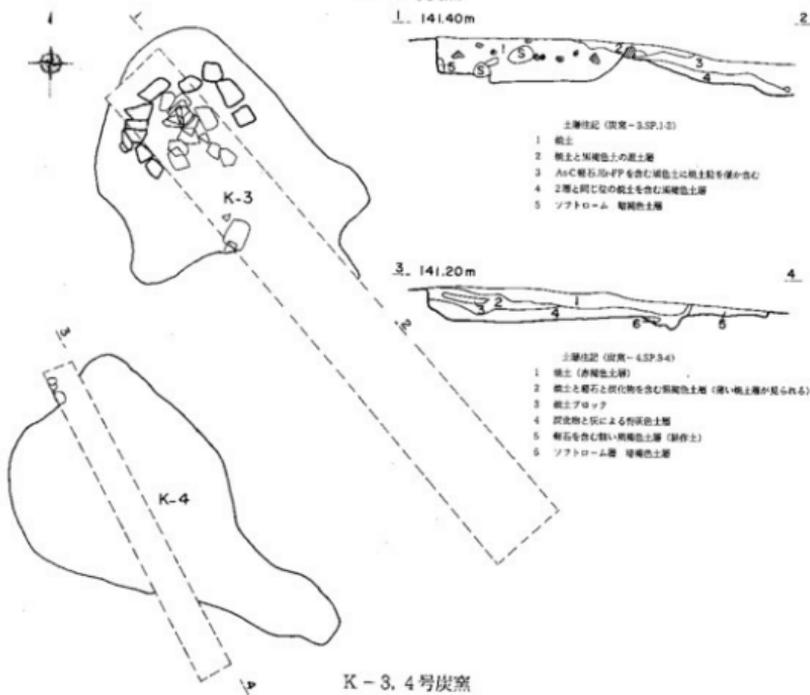


6.

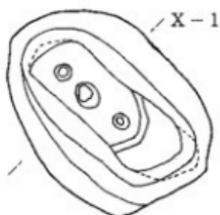
河川跡・K-1, 2号炭窯



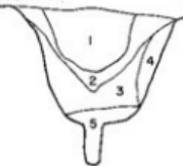
K-2号炭窯



K-3, 4号炭窯



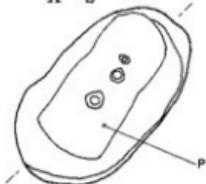
144.70m



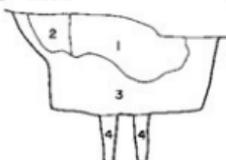
土層注記 (X-1)

- 1 10m以下の礫石と瓦片のソフトロームを含む硬い黄褐色土層
- 2 1層よりソフトロームを含み黄褐色を呈す 動物ややわらかい
- 3 2層に著しいハードロームが加わりシキリ状を呈す黄褐色土層
- 4 3層に著しいハードロームを多く含むドロゆる黄褐色土層
- 5 非常に動物が多い黄褐色土層

X-2



148.80m



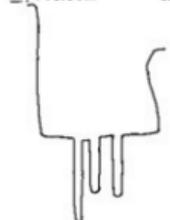
土層注記 (X-2)

- 1 瓦片状の黄褐色ソフトロームを混入する黄褐色土層
- 2 ソフトロームの混入が多く1層より明るい黄褐色を呈す
- 3 更にロームの混入があり暗褐色を呈す
- 4 柱状のある黄褐色土層

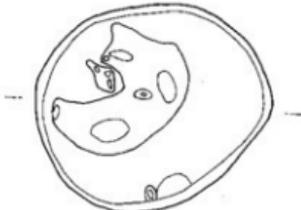
X-3



146.60m



O-5



145.40m



土層注記 (O-5)

- 1 褐色ローム層 (逆転層)
- 2 礫石 (10mm以下) を含む黄褐色土層
- 3 2層よりも暗い黄褐色土層
- 4 黄褐色土と褐色ロームの混土層
- 5 1に同じ褐色ローム層

D-161



149.30m



土層注記 (D-161)

- 1 地上と接した褐色を含む黄褐色土層
- 2 1層に類似する黄褐色土層 土山のハーフロームに近い
- 3 2層より暗い黄褐色のローム
- 4 暗い黄褐色のローム

D-140



土層注記 (D-140)

- 1 0.5mm以下の礫石を含む黄褐色土層
- 2 1層よりも暗い黄褐色土層
- 3 2層よりも暗い黄褐色土層
- 4 ソフトロームより暗い黄褐色土層

D-141



土層注記 (D-141)

- 1 0.5mm以下の礫石と礫片状土粒、炭化物を含む黄褐色土層 黄褐色土に近い土層

150.30m



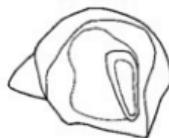
D-140

150.20m



D-141

D-169

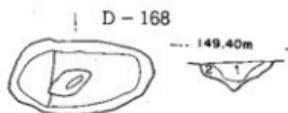


147.90m



土層注記 (D-169)

- 1 やわらかい黄褐色土層
- 2 黄土粒と炭化物を多く含む黄褐色土層
- 3 ロームが多くなる黄褐色土層



D-168

149.40m

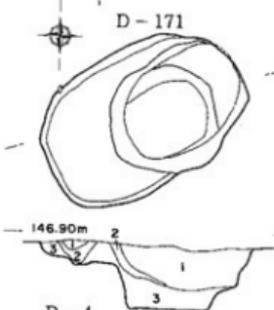
- 土層記号 (D-168)
- 0.5mm 以下の軽石を含む黒褐色土層 (軽石数は不明)
  - ロームアロップの混入する黄褐色土層



D-170

147.50m

- 土層記号 (D-170)
- 黄褐色土層 (ローム層) 遺物を多数抽出した
  - 切雑土層
  - 黒褐色土層



D-171

146.90m

- 土層記号 (D-171)
- 黄土、灰白色物を多く含む薄い黄褐色土層
  - 黄土粒の混入する明るい黄褐色土層
  - 軽石地山のロームに近い中粒土粒の混入が見られる黄褐色土層

D-172

146.30m

- 土層記号 (D-172)
- 細かな軽石を含む黄褐色土層
  - 黄褐色土層より多く、粗より黄褐色土の混入が少なく、比較的明るい褐色を呈す
  - 黄褐色土層 (ローム層) ツツボシた黄褐色土層に状を呈す
  - 黄褐色ローム層

D-4

145.60m

土層記号 (D-4)

- 軽石 (1mm 以下) を含む黄褐色土層
- 褐色ローム層

D-34

土層記号 (D-34)

- 軽石 (1mm 以下) を含む黄褐色土層
- 黄褐色土層
- 褐色土層

144.00m

土層記号 (D-15)

- As-C 軽石を含む黄褐色土層
- 黄褐色土層 (ツツボシ)

D-15

144.90m

D-7

145.20m

- 土層記号 (D-7)
- 軽石を含む黄褐色土層
  - 黄褐色土層

D-41

143.90m

土層記号 (D-41)

- 軽石 (1mm 以下) を含む黄褐色土と明黄褐色土の交互層
- 明黄褐色土層

D-47

143.70m

土層記号 (D-47)

- C 軽石 (0-3mm) を含む黄褐色土層
- 軽石 (1mm 以下) を含む黄褐色土層
- 軽石 (1mm 以下) を含む明黄褐色土層
- 黄褐色ローム層

O-59

145.50m

土層記号 (O-59)

- 0.5mm 程度の軽石を含む黄褐色土層
- 黄褐色土層

D-60

145.60m

土層記号 (D-60)

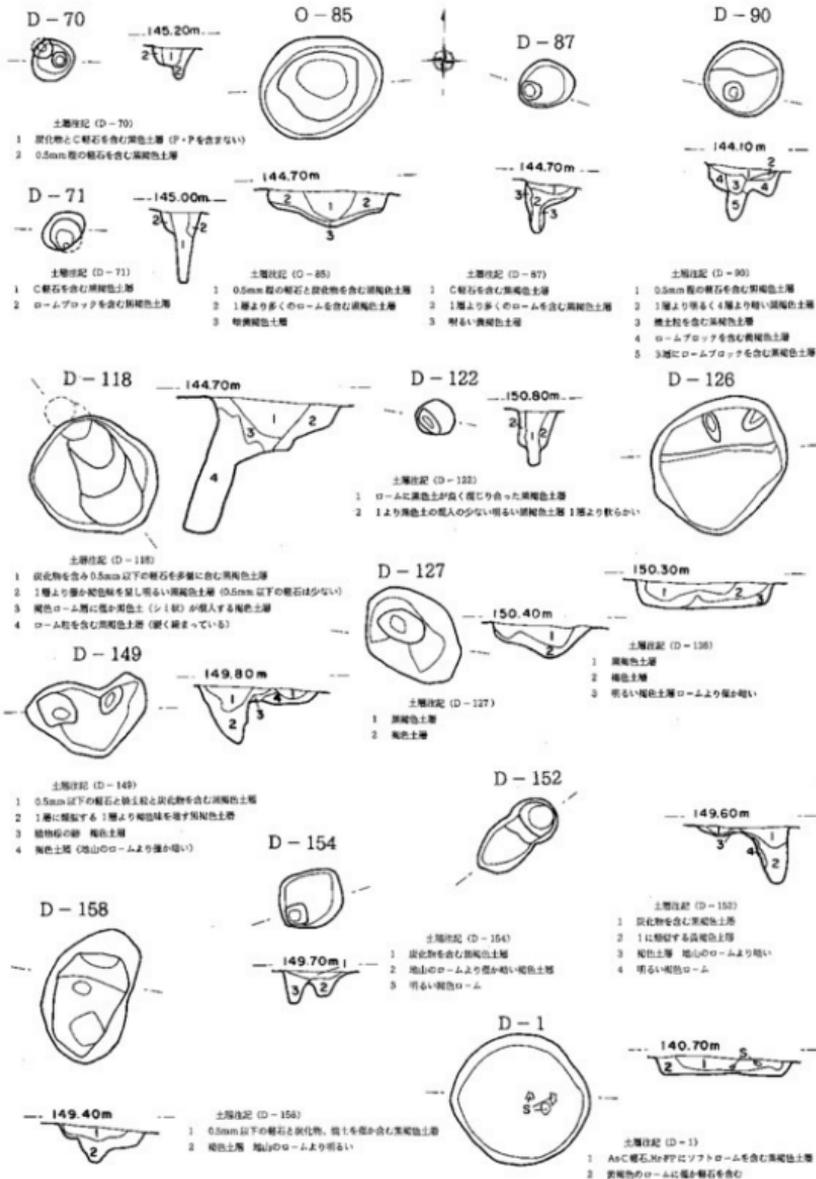
- 0.5mm 程度の軽石ローム層を含む黄褐色土層
- ロームアロップを含む黄褐色土層
- 黄褐色土層

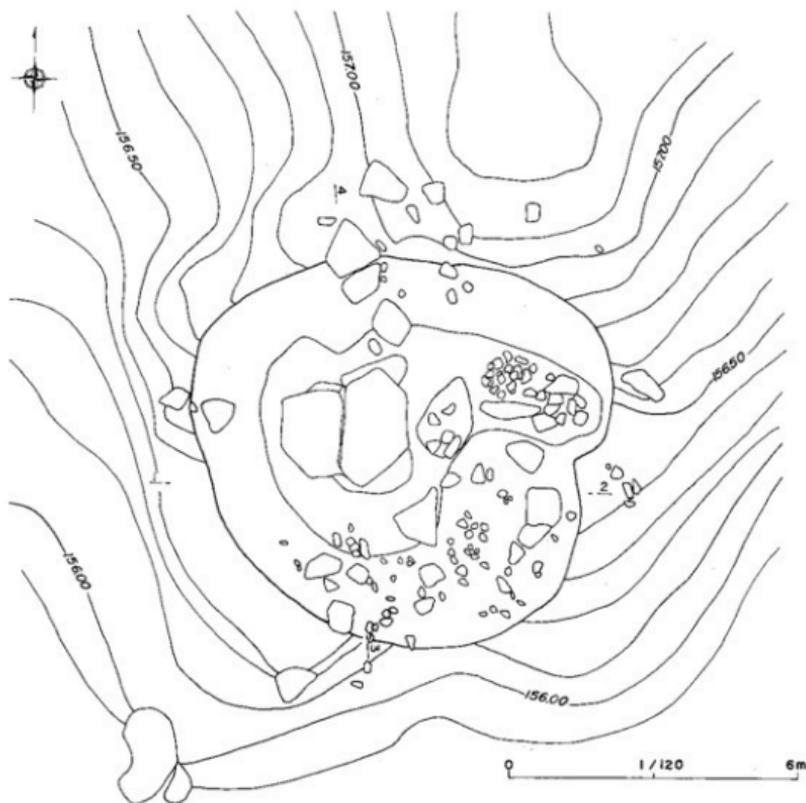
D-61

145.50m

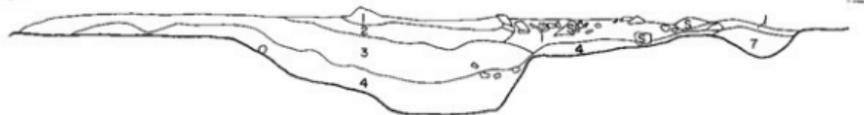
土層記号 (D-61)

- 灰白色物の混入する黄褐色土層
- 0.5mm 程度の軽石を含む黄褐色土層
- 明黄褐色土のアロップ

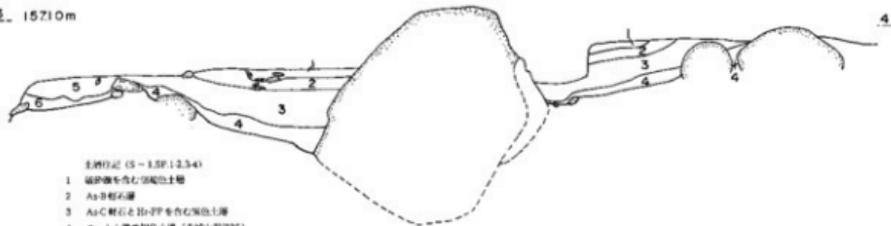




上. 15680m



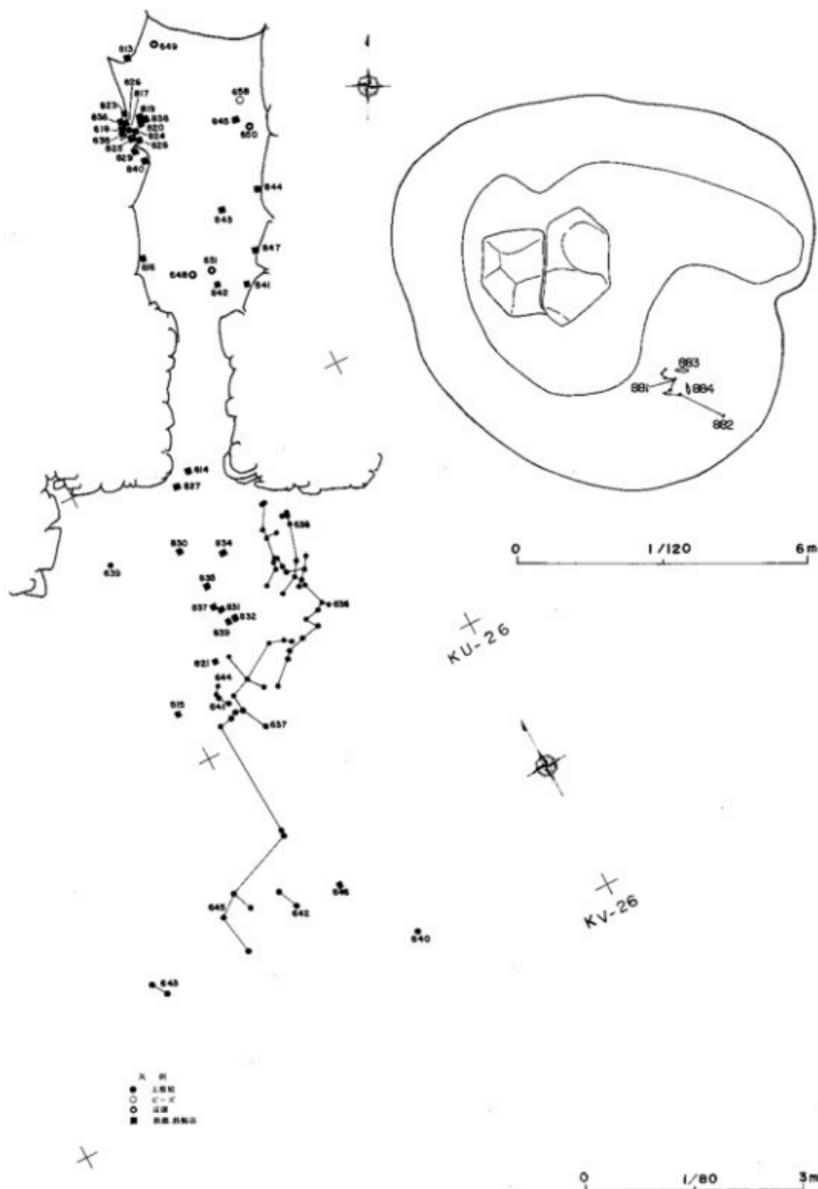
下. 15710m



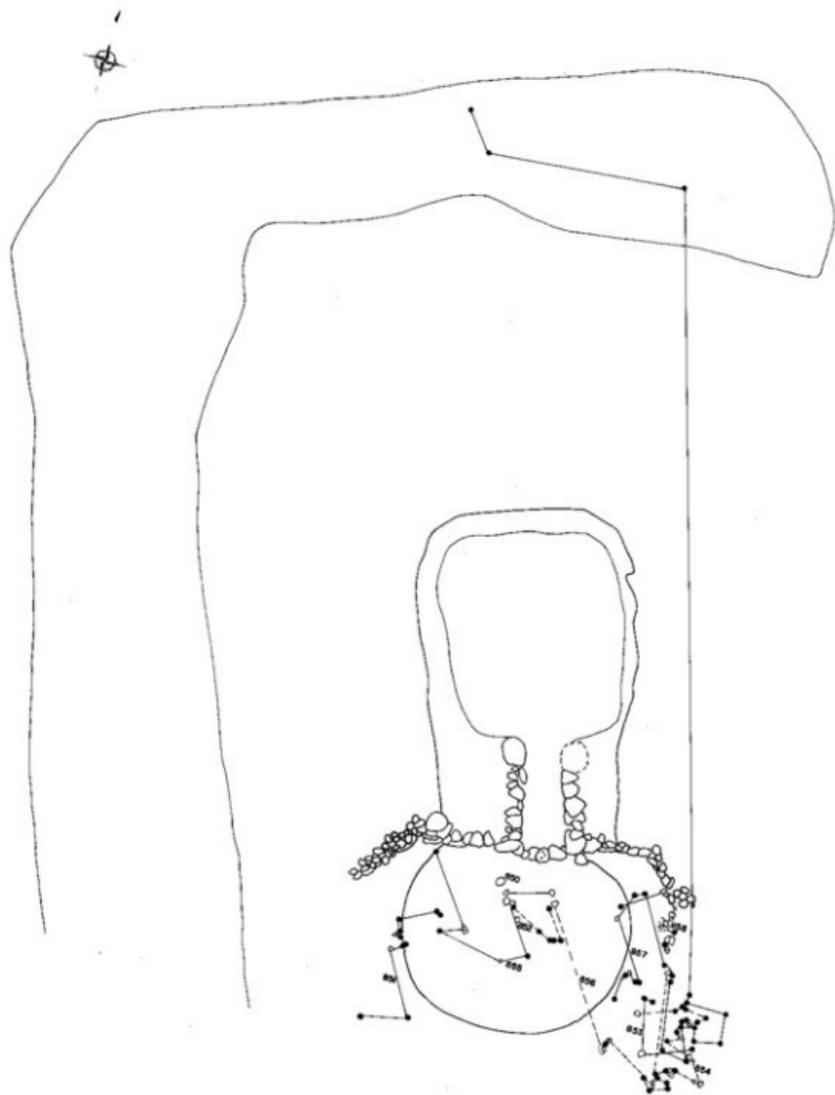
土質印記 (S-1.2P.12.3.4)

- 1 磁器類を含む灰褐色土層
- 2 A+B粒石層
- 3 A+C粒石と10-15mmを含む灰褐色土層
- 4 ロームと塊の褐色土層 (赤褐色灰泥層)
- 5 塊状土層 (ソフトローム)
- 6 褐色土層 (ハードローム)
- 7 4層に同じだが礫が主体である

S-1号集石

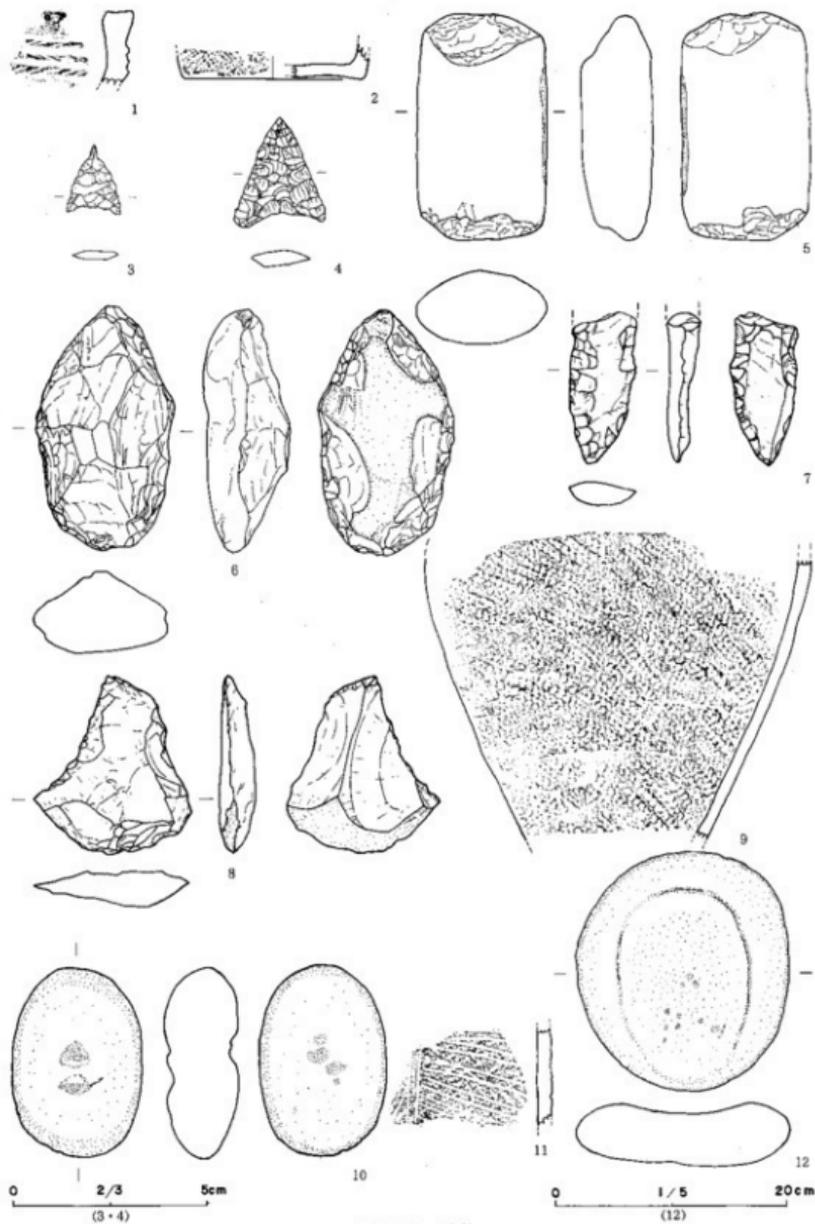


M-13号墳, S-1号集石遺物分布

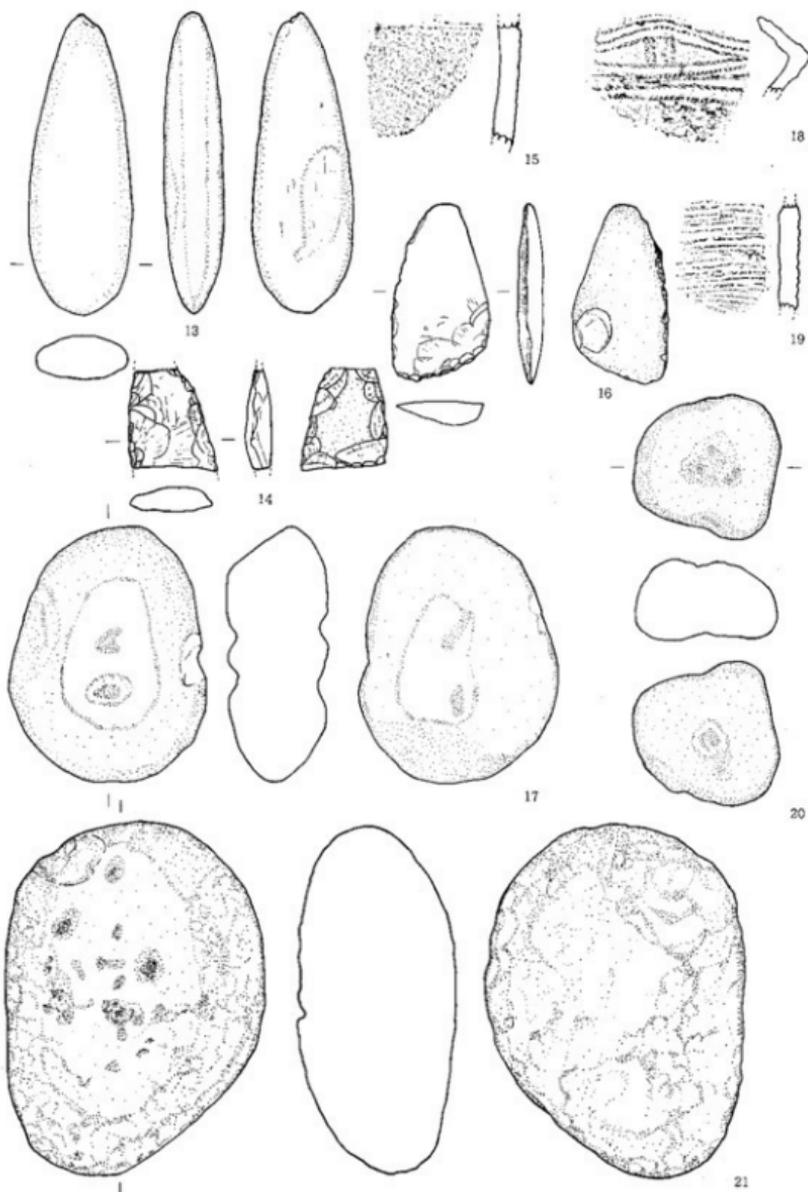


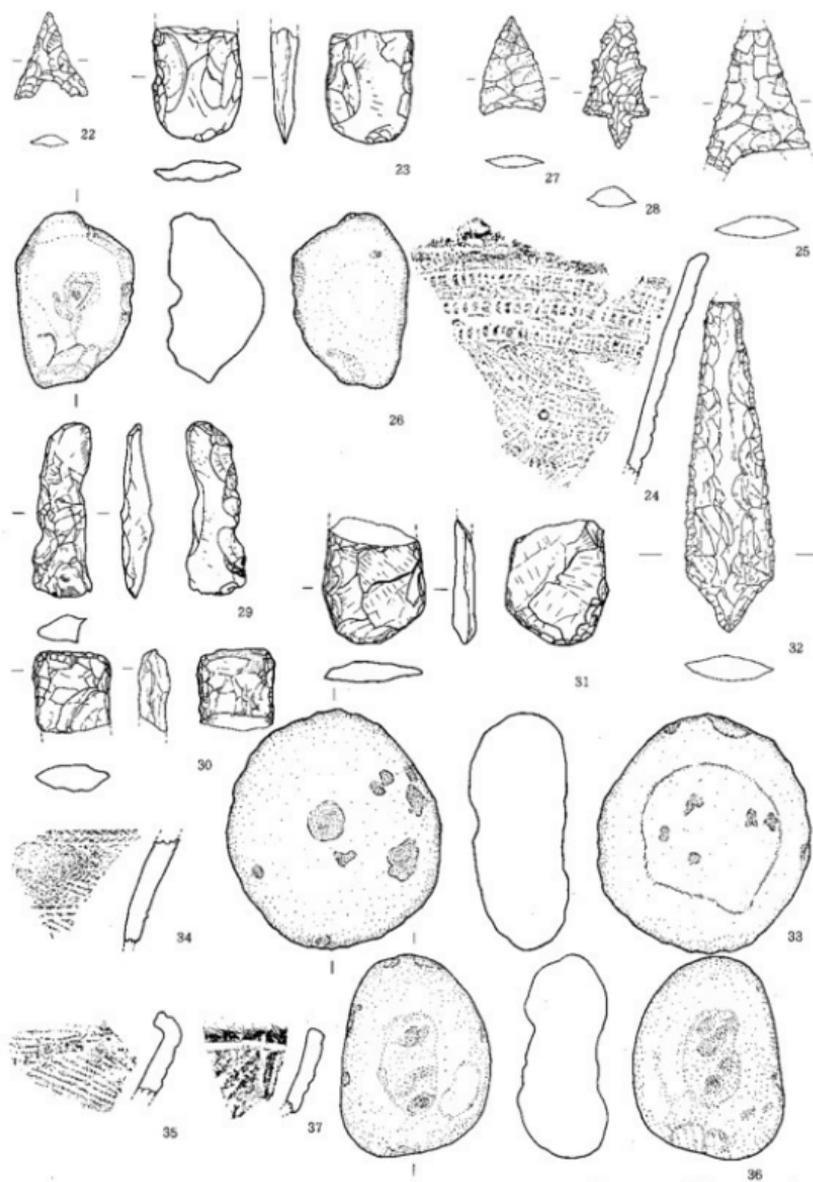
M-20号墳遺物分布

0 1 / 100 4m



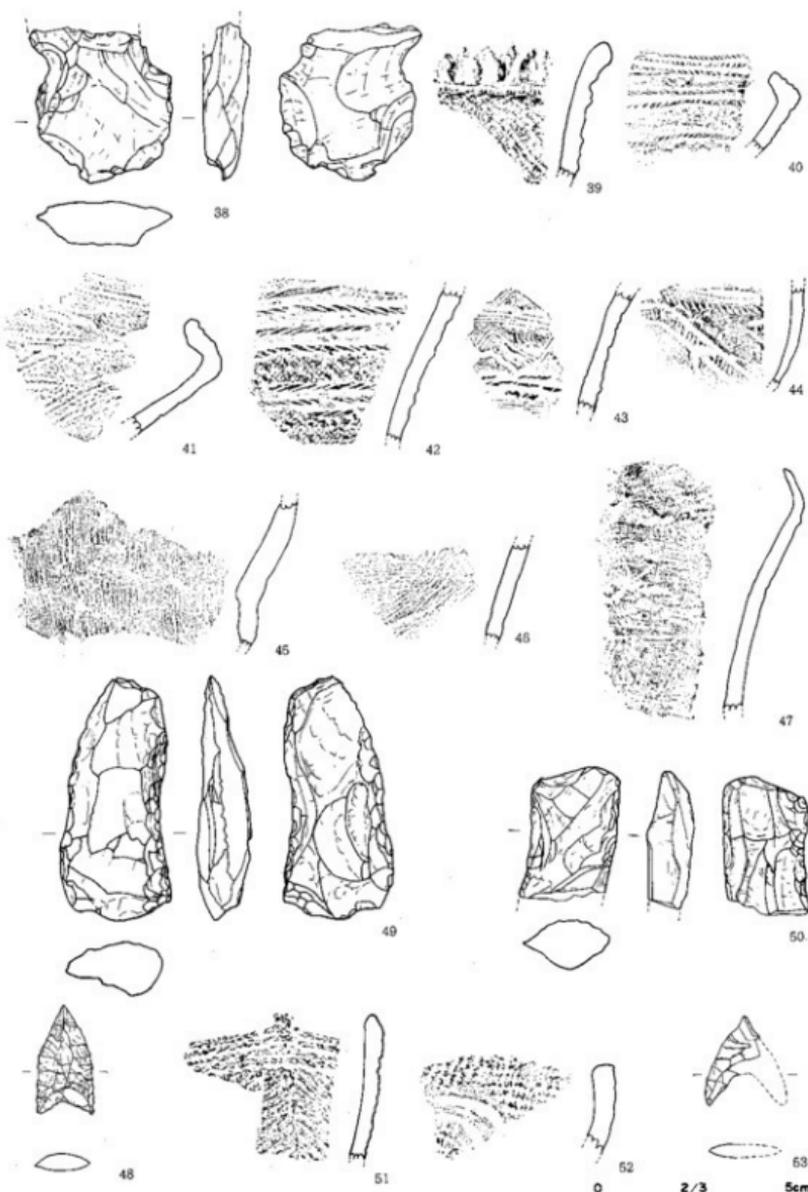
縄文時代の遺物





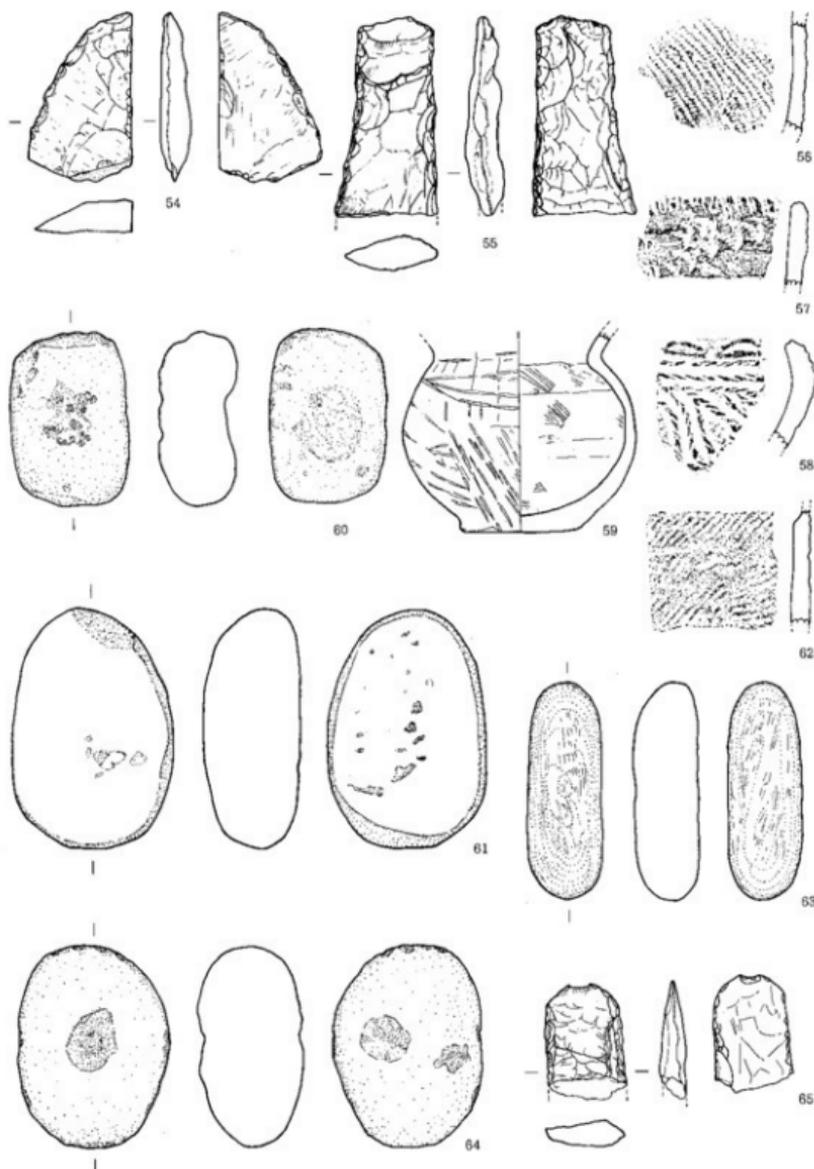
0 2/3 5cm  
(22・25・27・28・32)

縄文時代の遺物

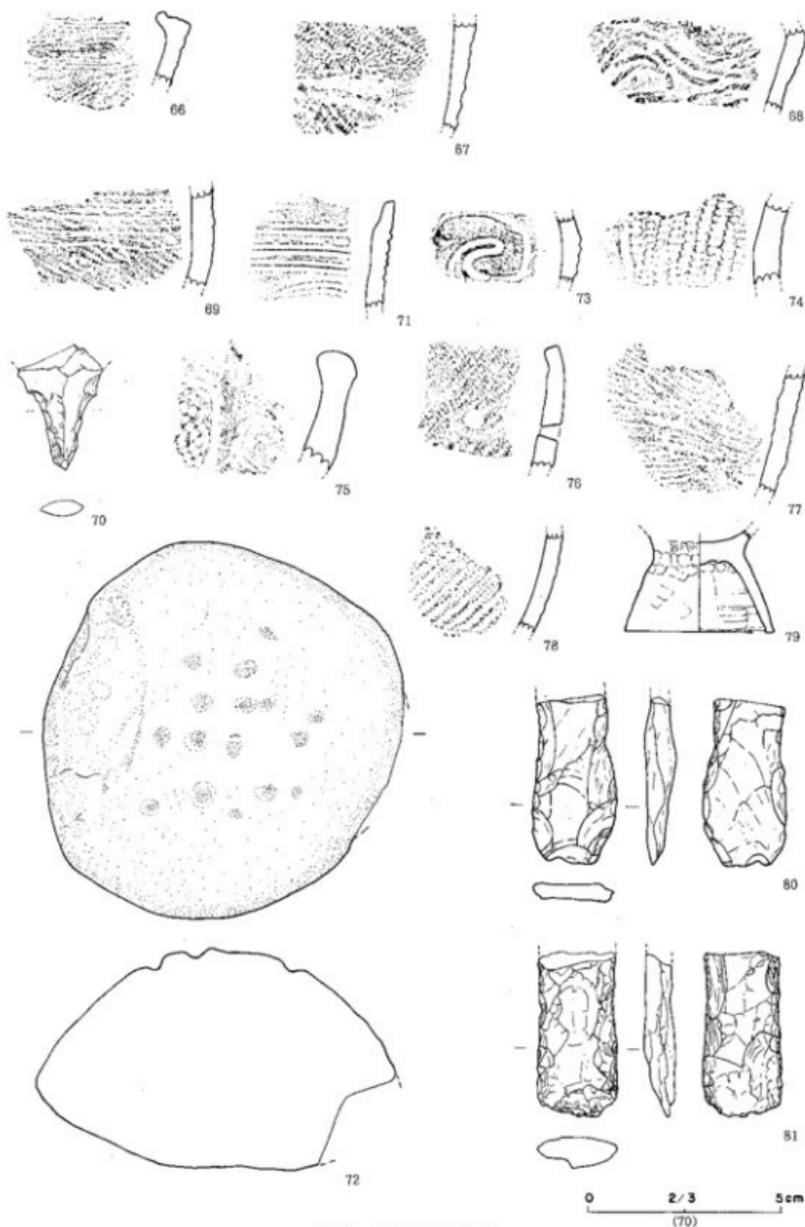


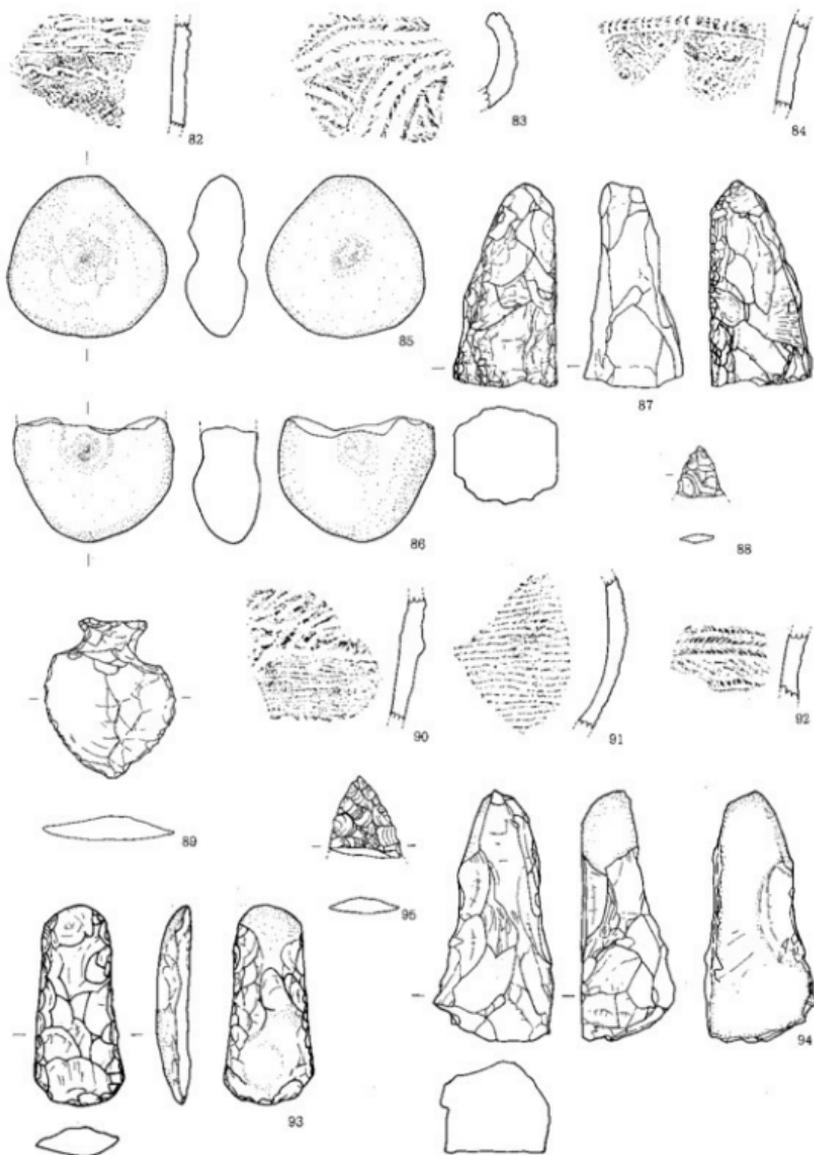
縄文時代の遺物

(48・53)



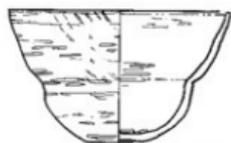
縄文～古墳時代の遺物



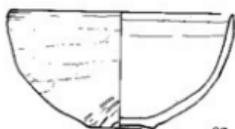


0 2/3 5cm  
(88・89・95)

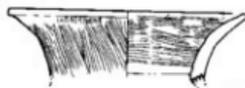
縄文時代の遺物



96



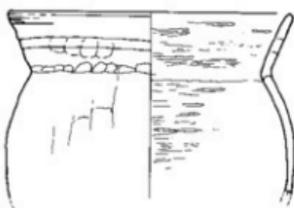
97



98



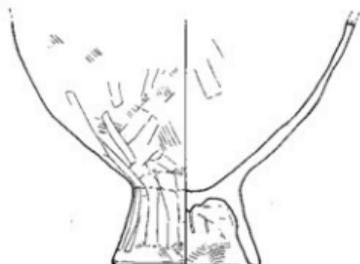
99



100



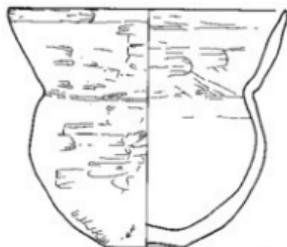
101



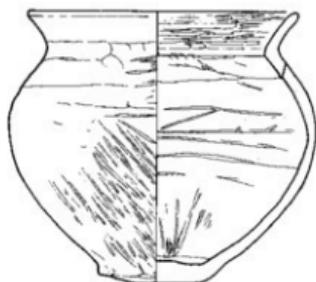
102



103



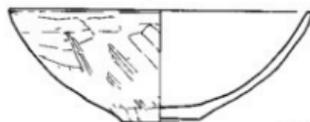
104



105

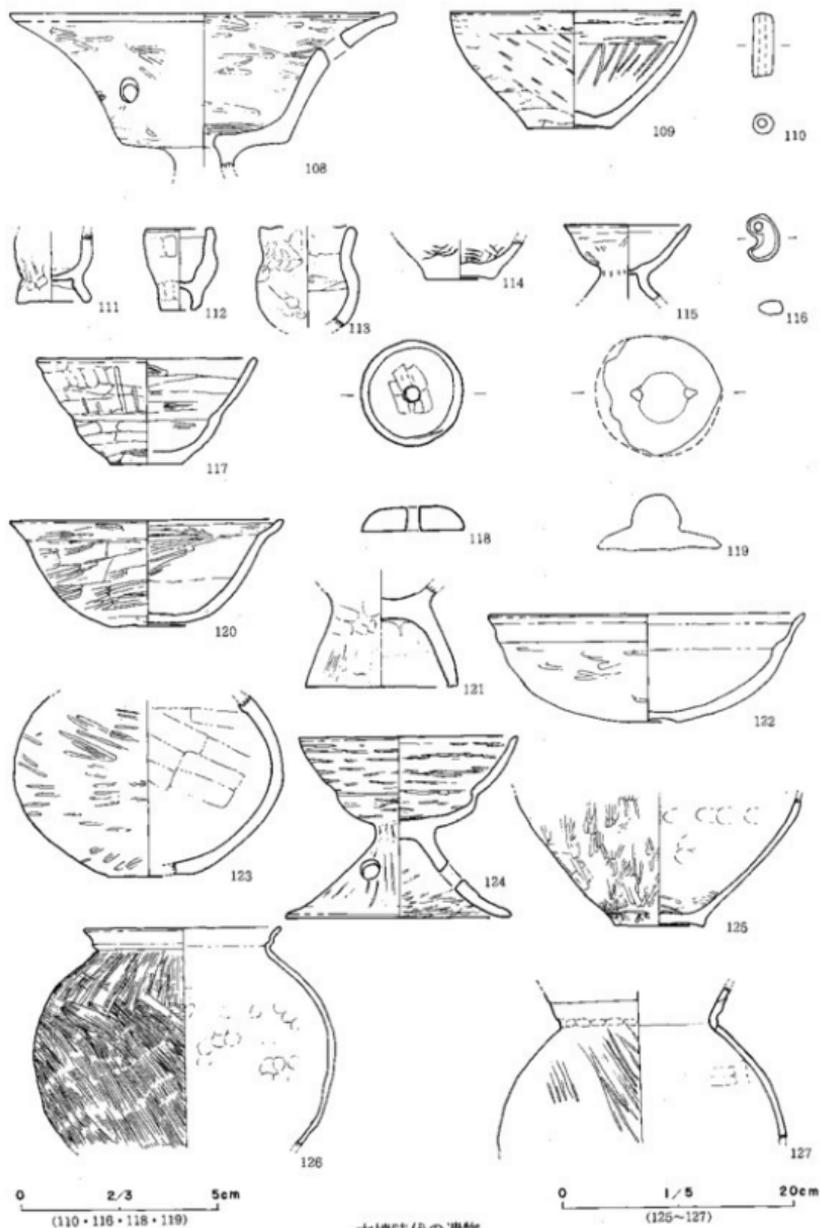


106

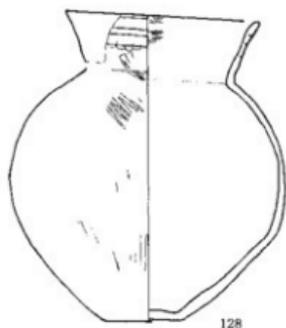


107

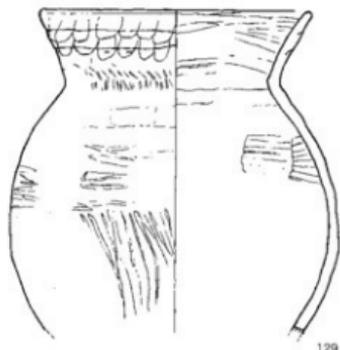
0 1/5 20cm  
(99・106)



古墳時代の遺物



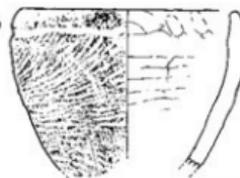
128



129



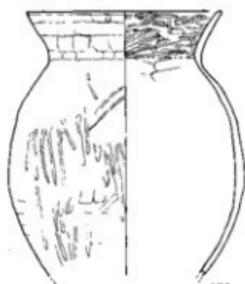
130



132



133



131



134



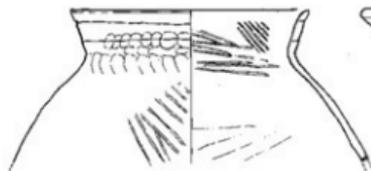
135



137



138



136

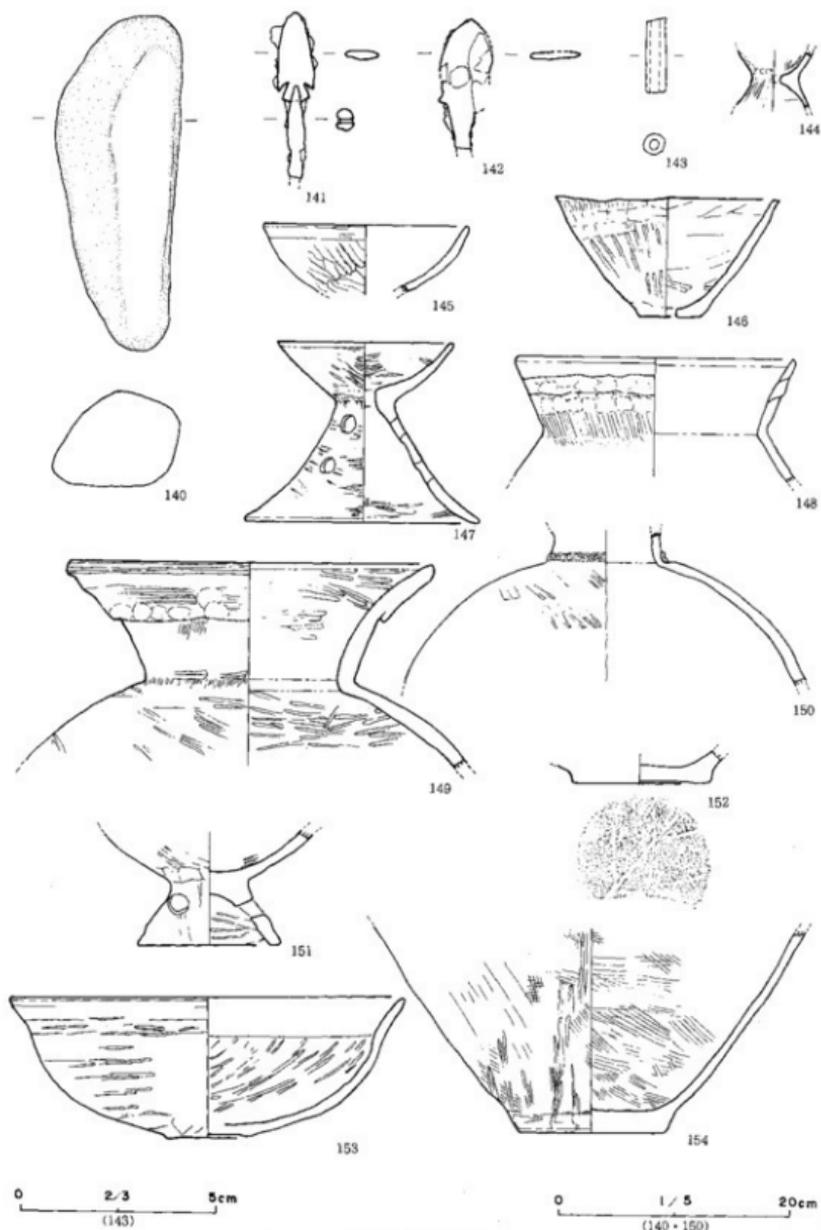


139

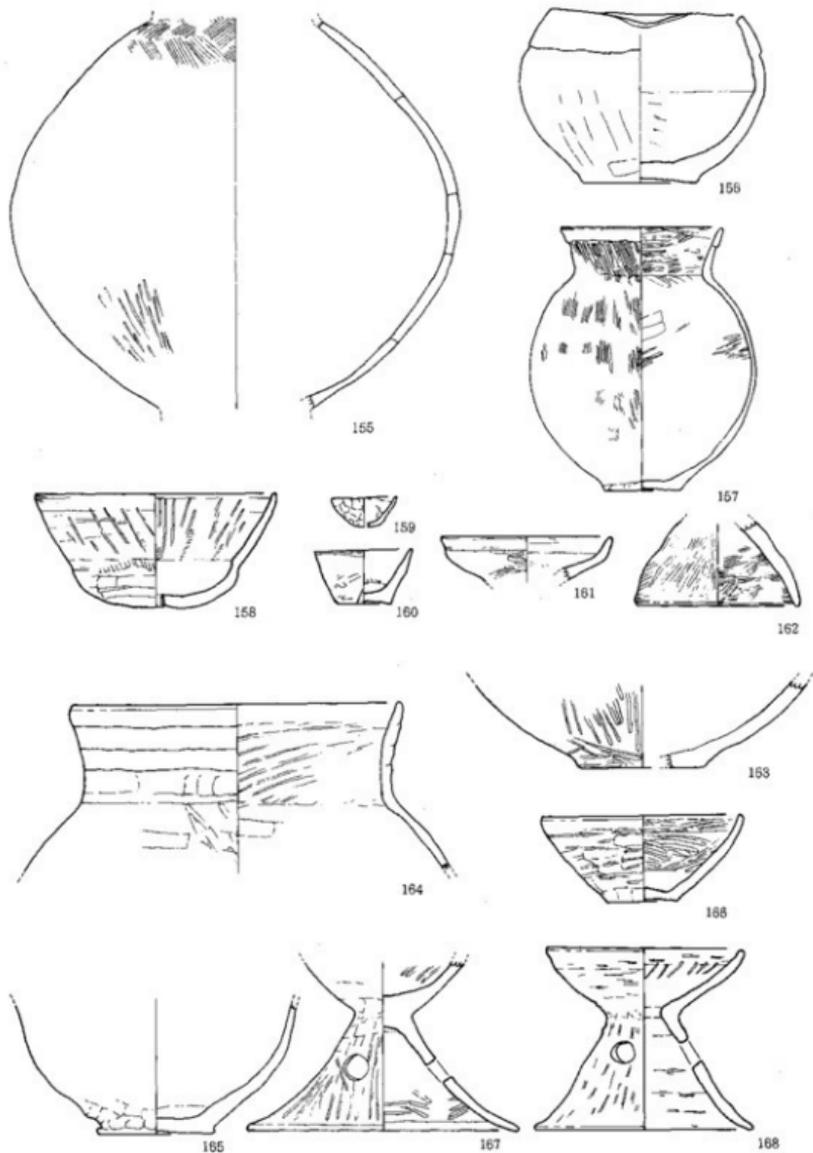
0 2/3 5cm  
(133・135・137)

0 1/5 20cm  
(128・131・138)

古墳時代の遺物

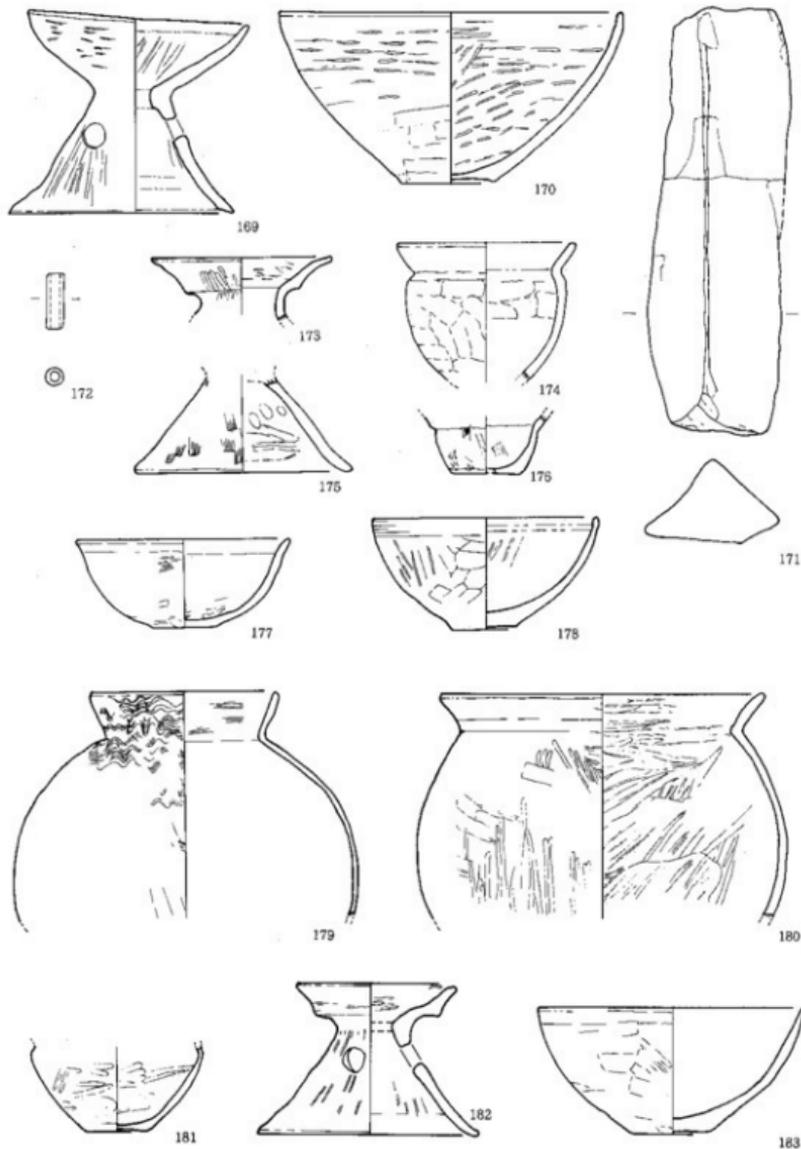


古墳時代の遺物



0 1/5 20cm  
(155・157)

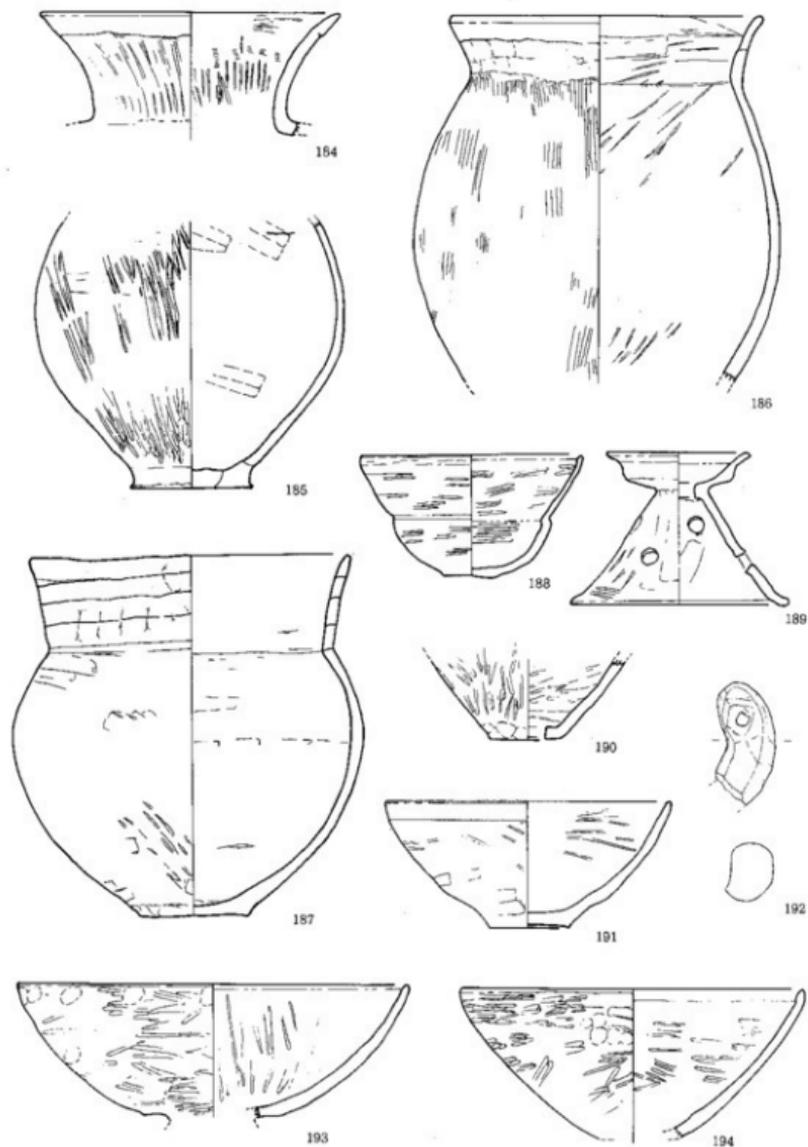
古墳時代の遺物



0 2/3 5cm  
(172)

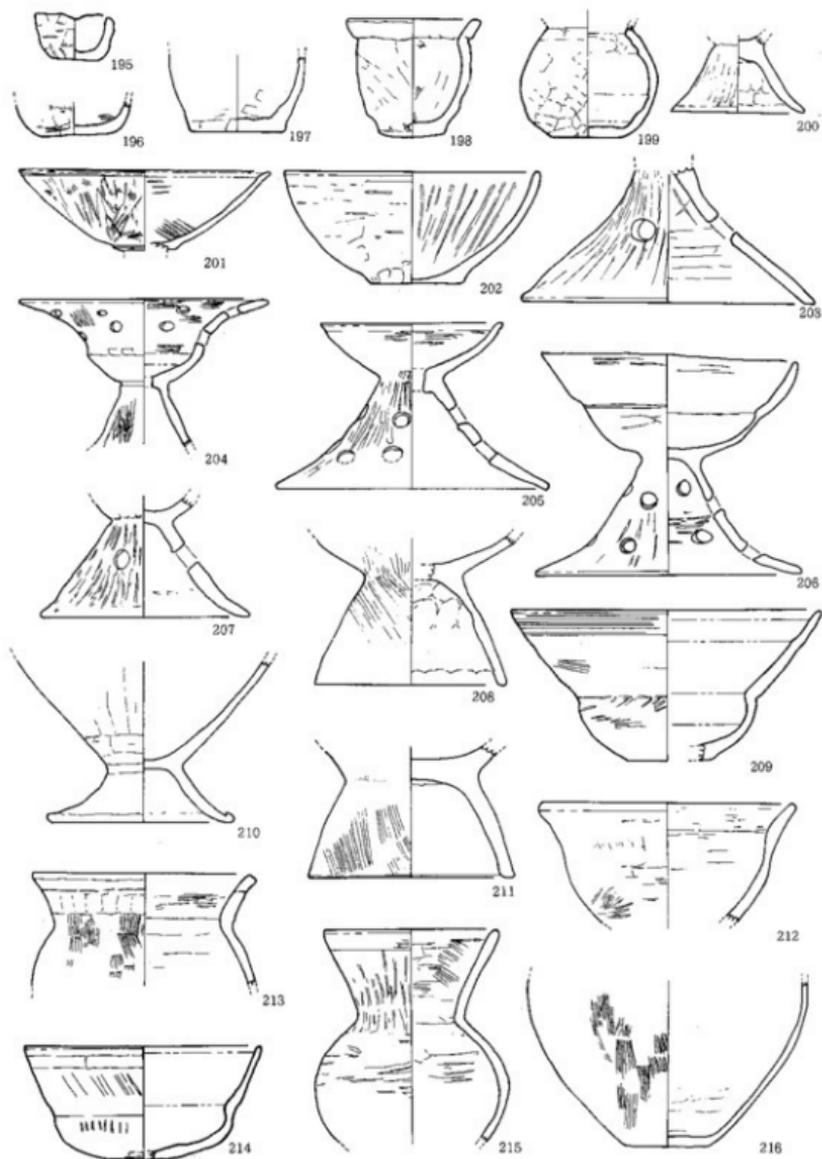
0 1/5 20cm  
(171・179)

古墳時代の遺物



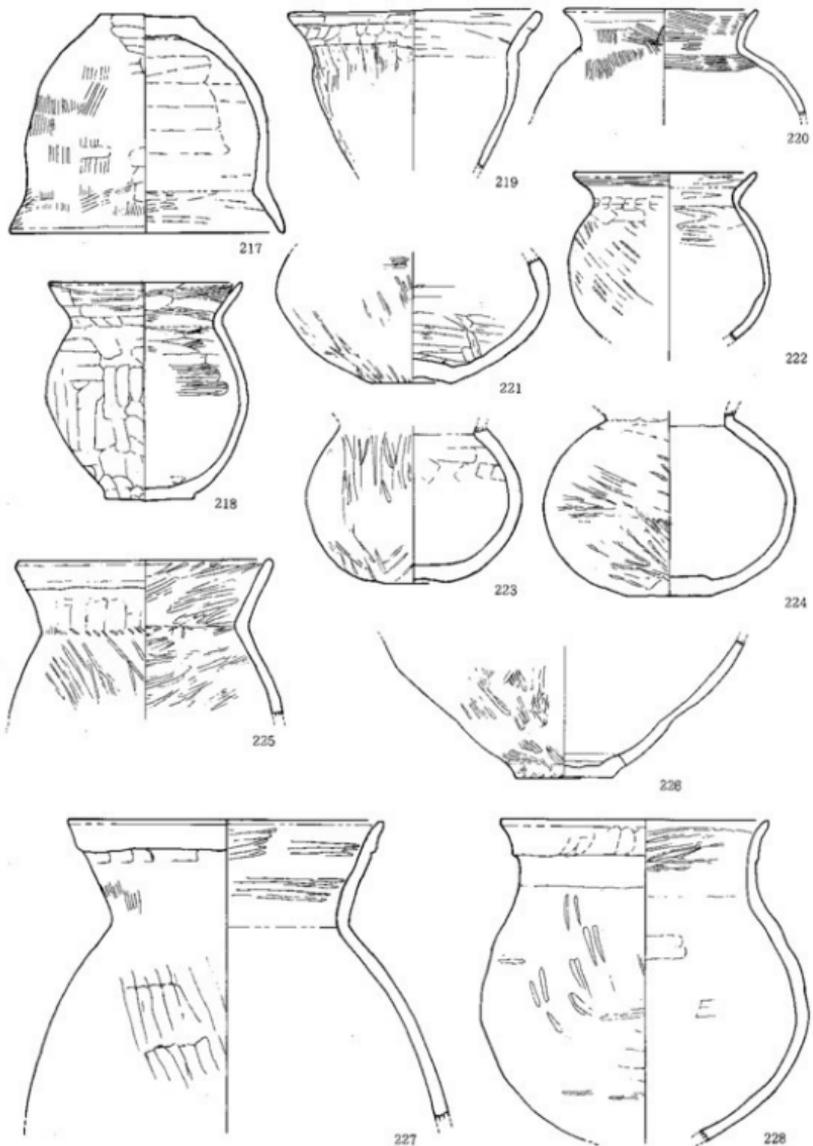
0 2/3 5cm  
(192)

0 1/5 20cm  
(184・185)

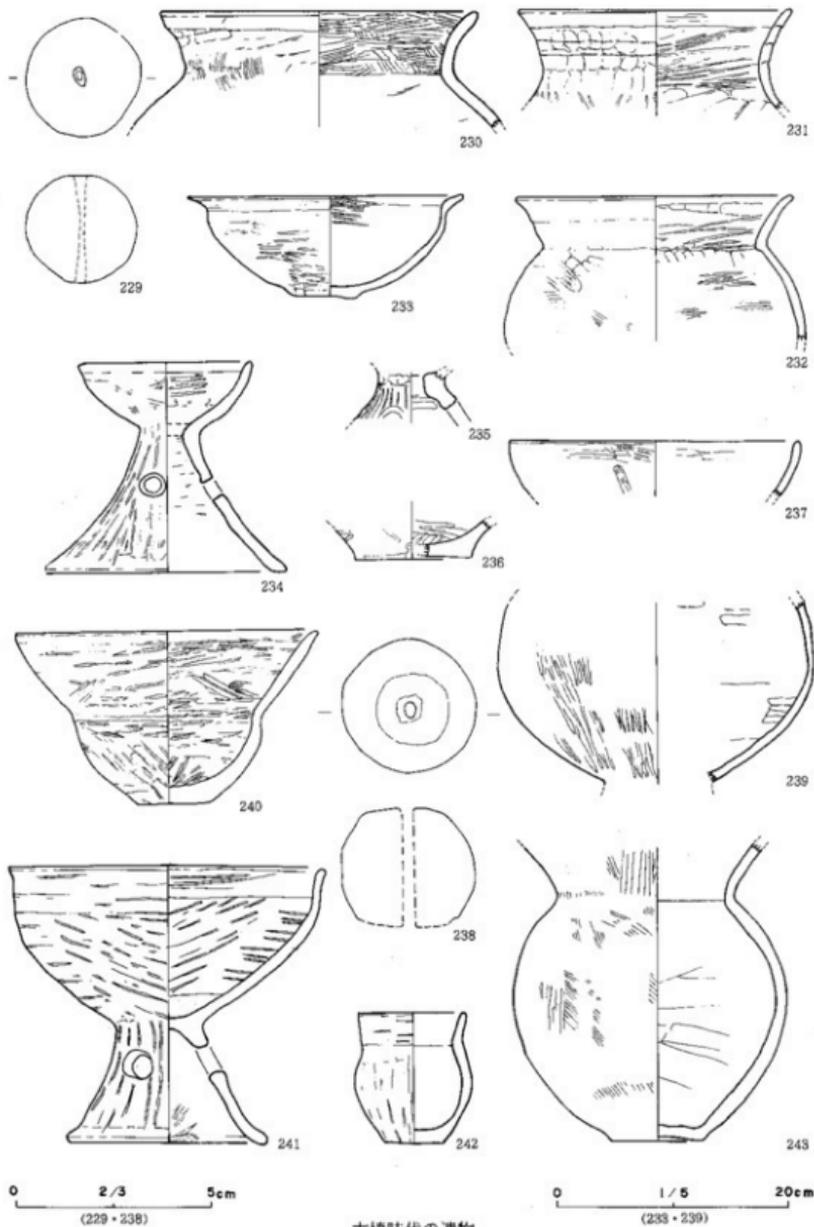


0 1/5 20cm  
(201・204・216)

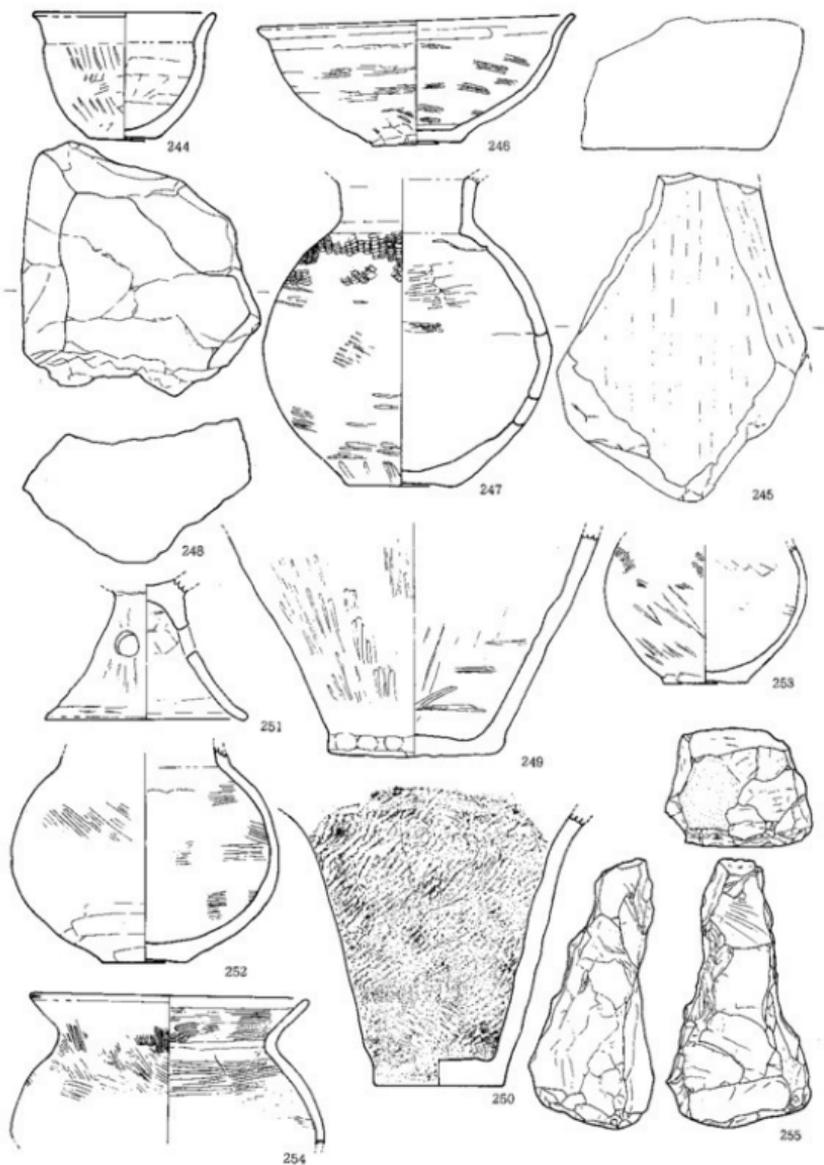
古墳時代の遺物



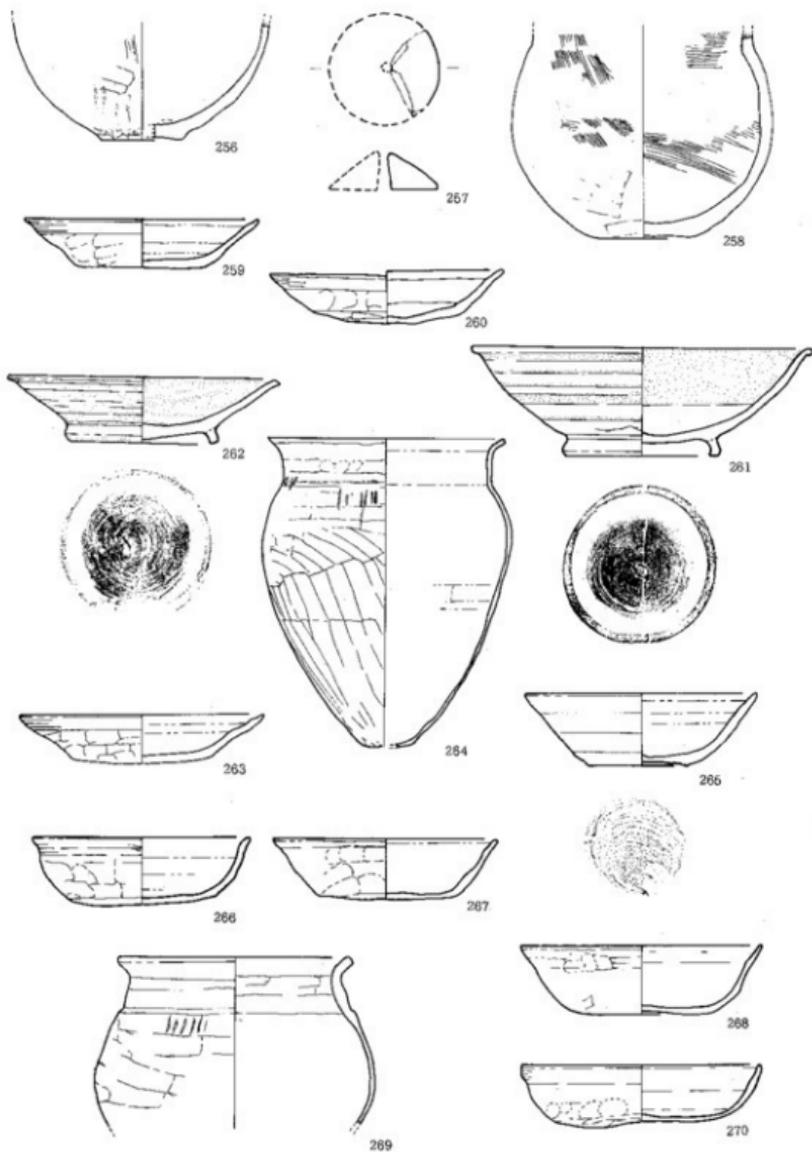
0 1/5 2.0cm  
(220・226)



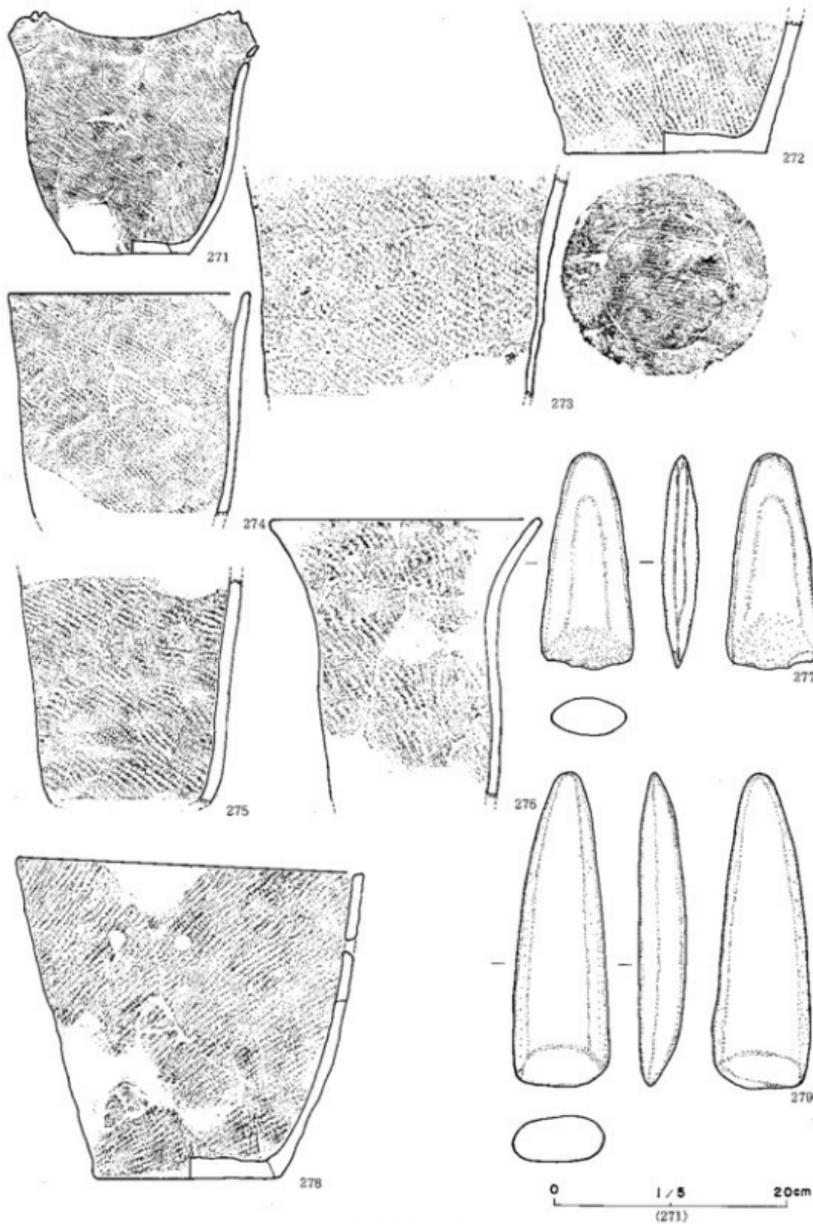
古墳時代の遺物



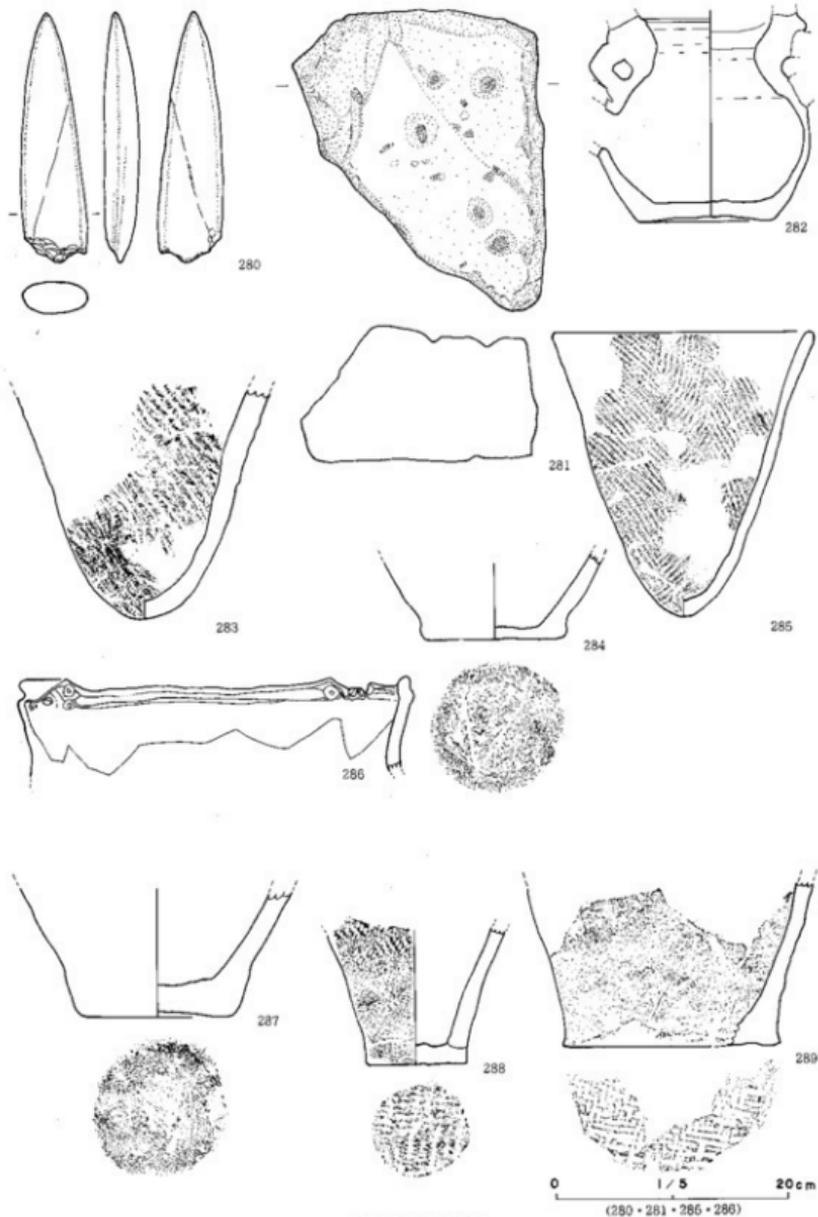
縄文～古墳時代の遺物



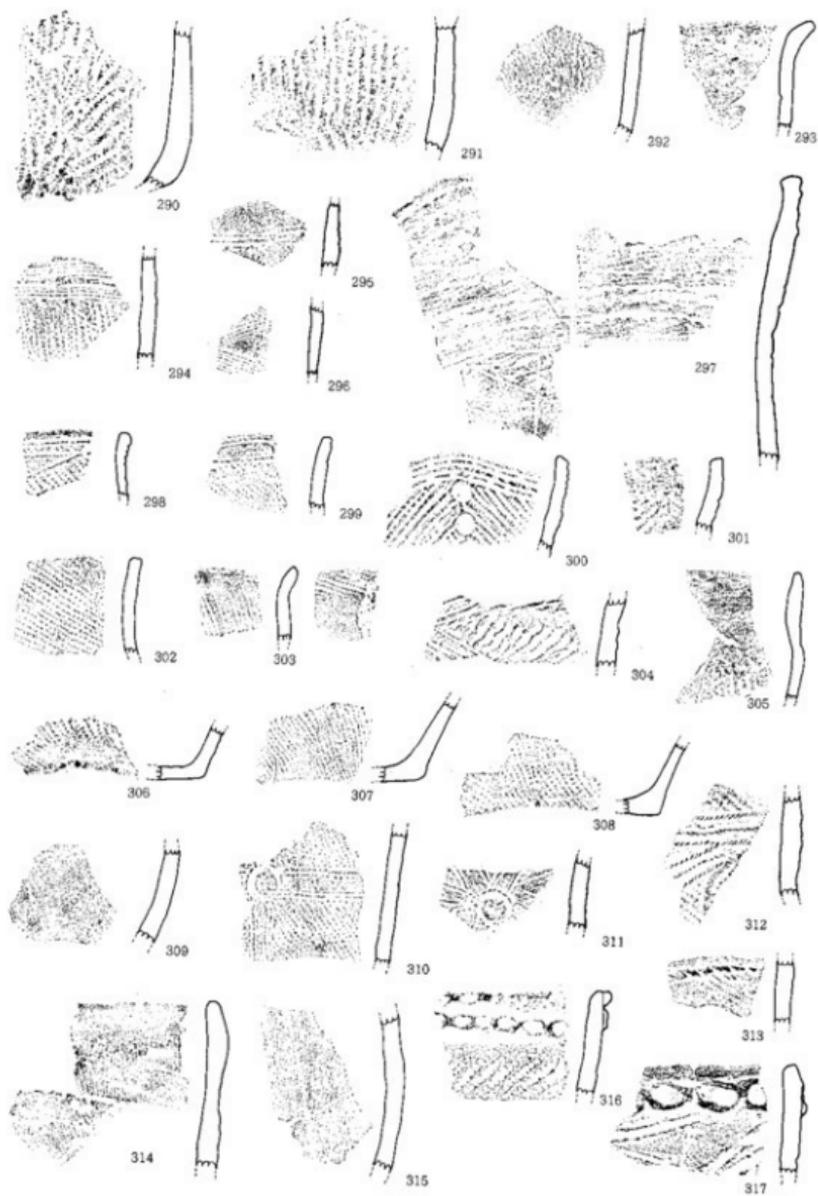
古墳～平安時代の遺物



縄文時代の遺物



縄文時代の遺物



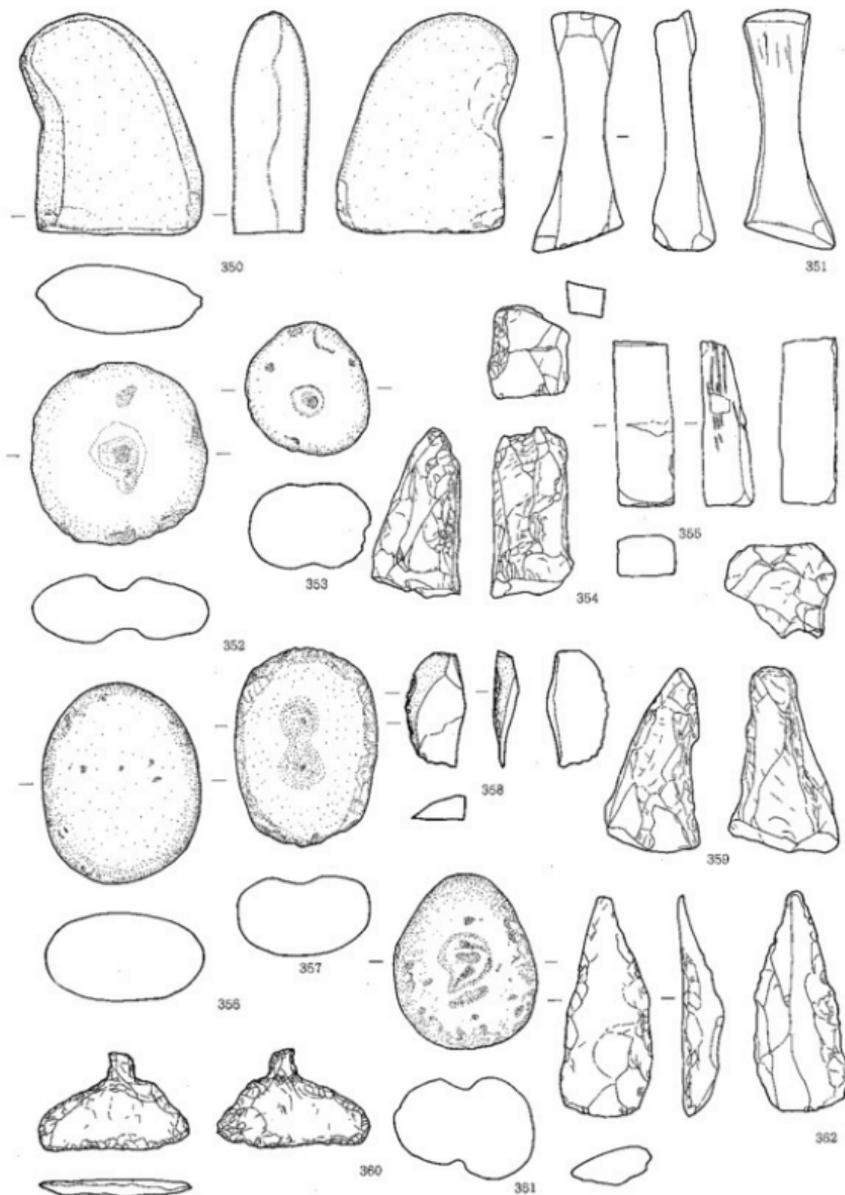
縄文時代の遺物



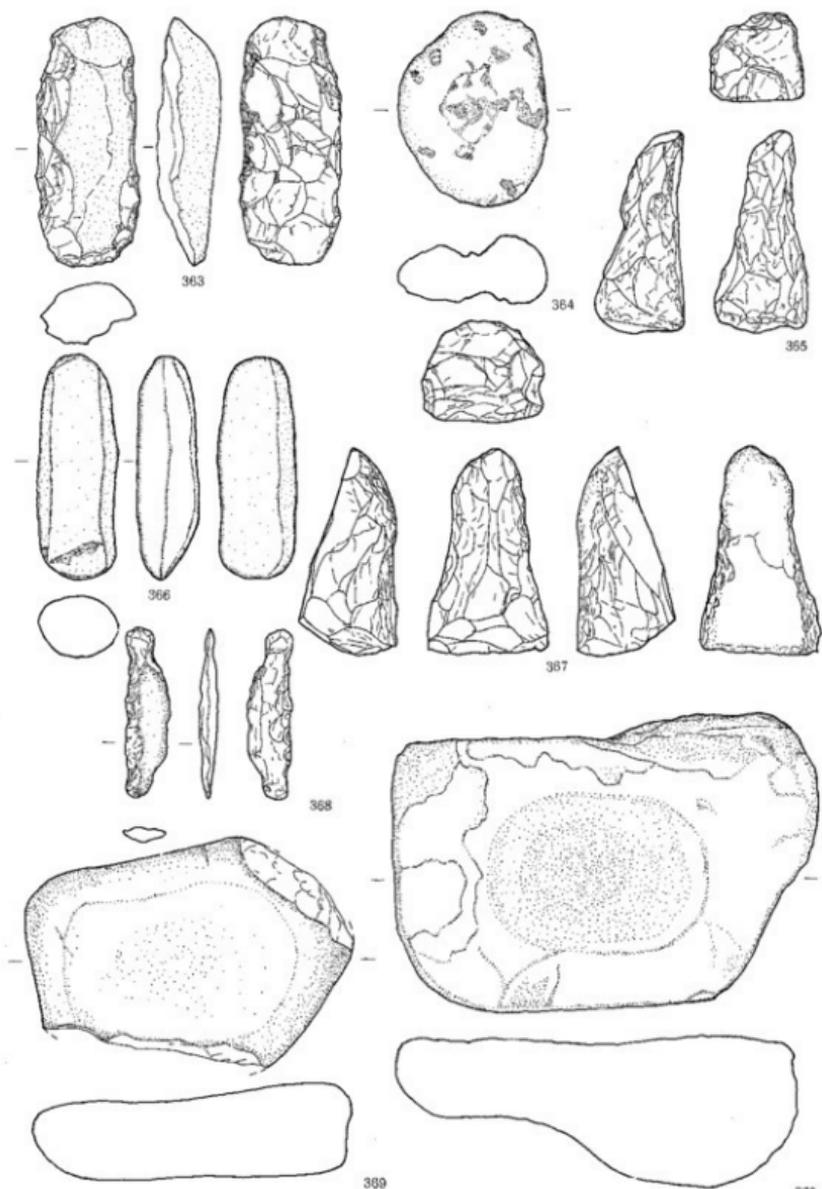
縄文時代の遺物



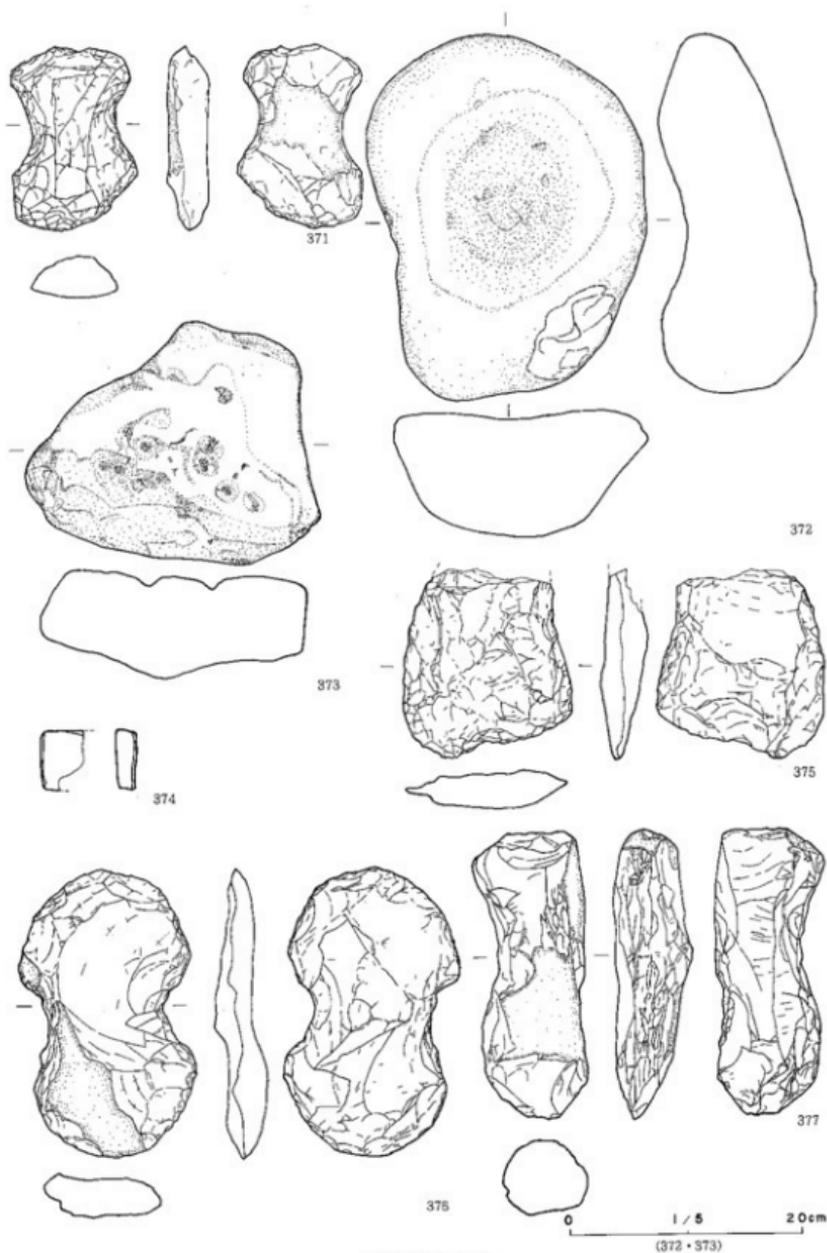
縄文時代の遺物



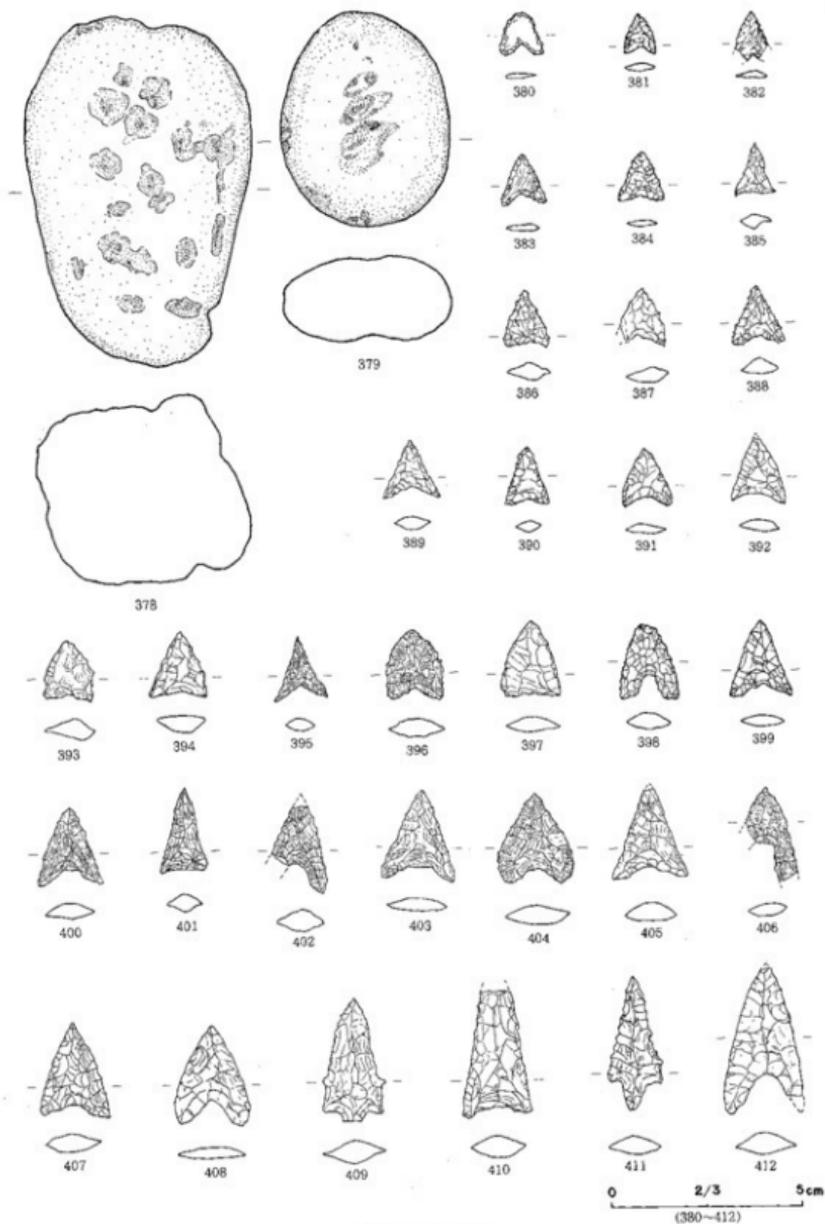
縄文～古墳時代以降の遺物



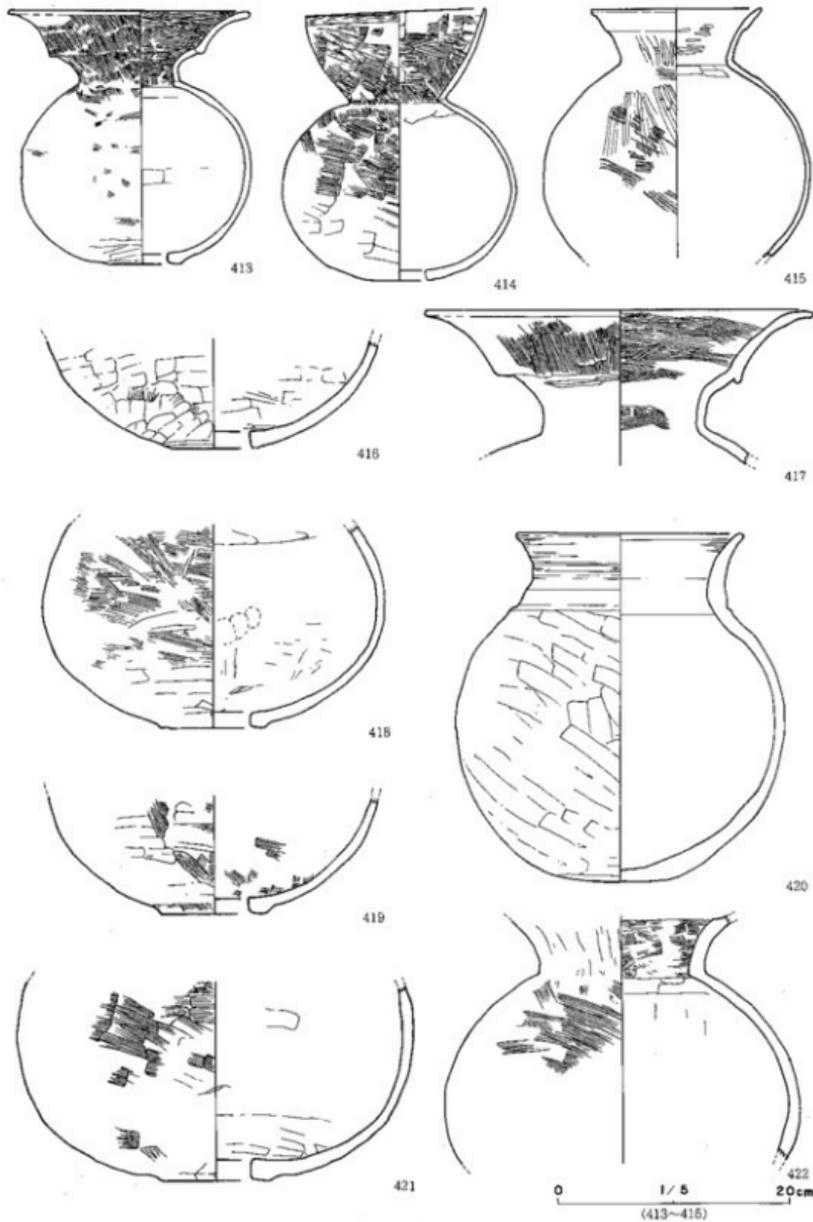
0 1/5 20cm  
(363・366・369・370)



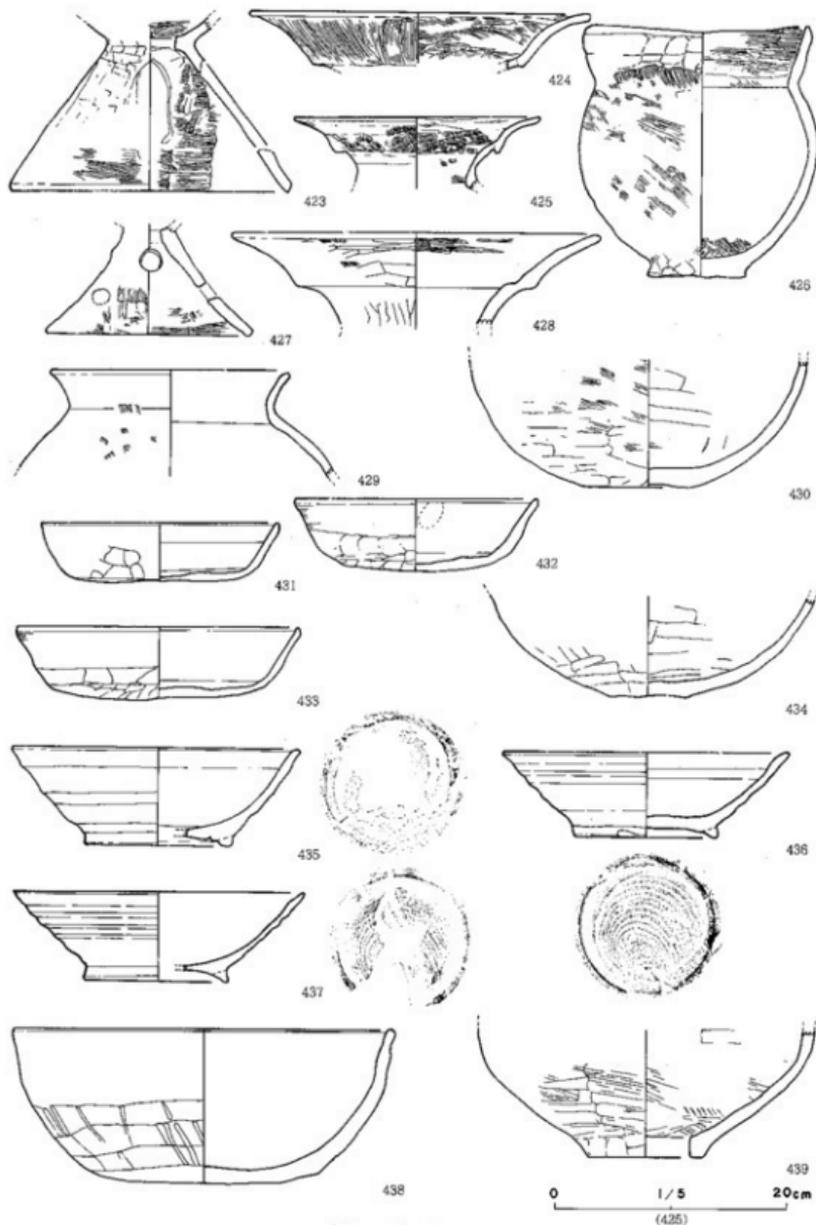
縄文時代の遺物



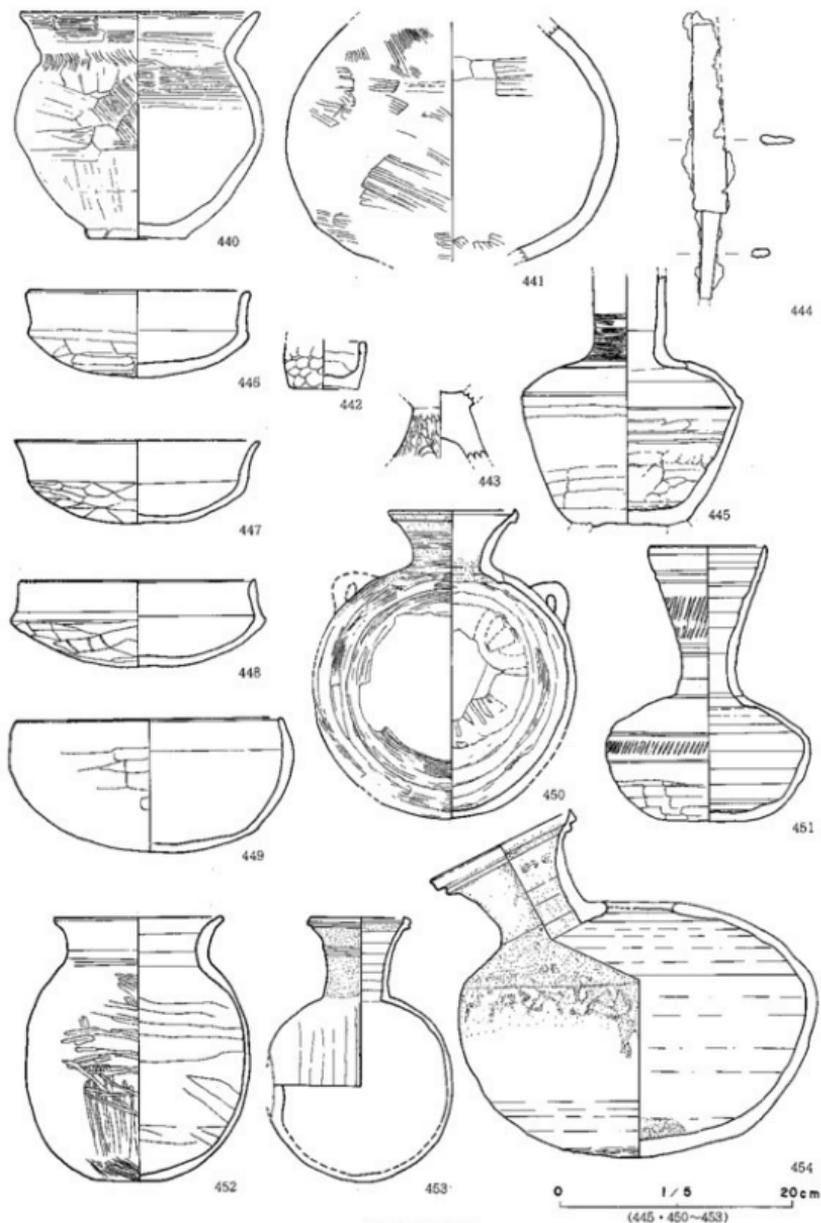
縄文時代の遺物



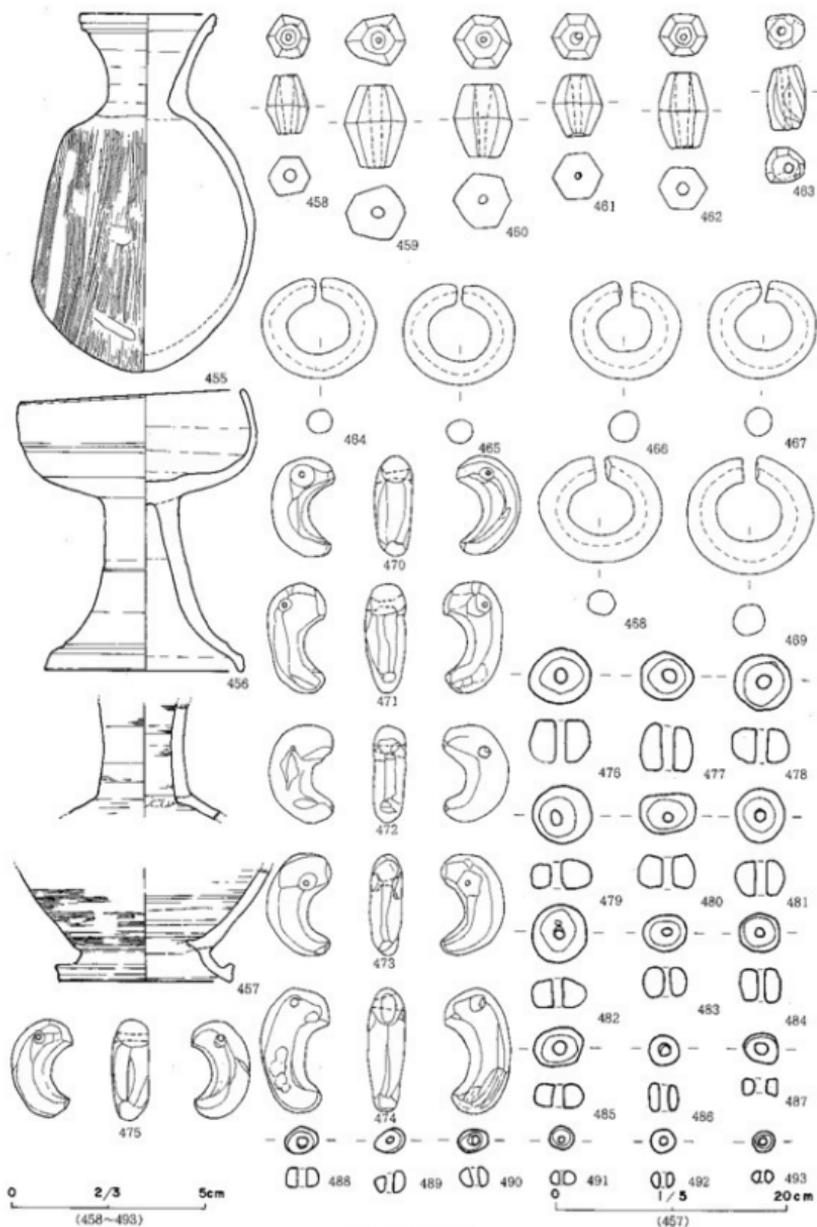
古墳時代の遺物



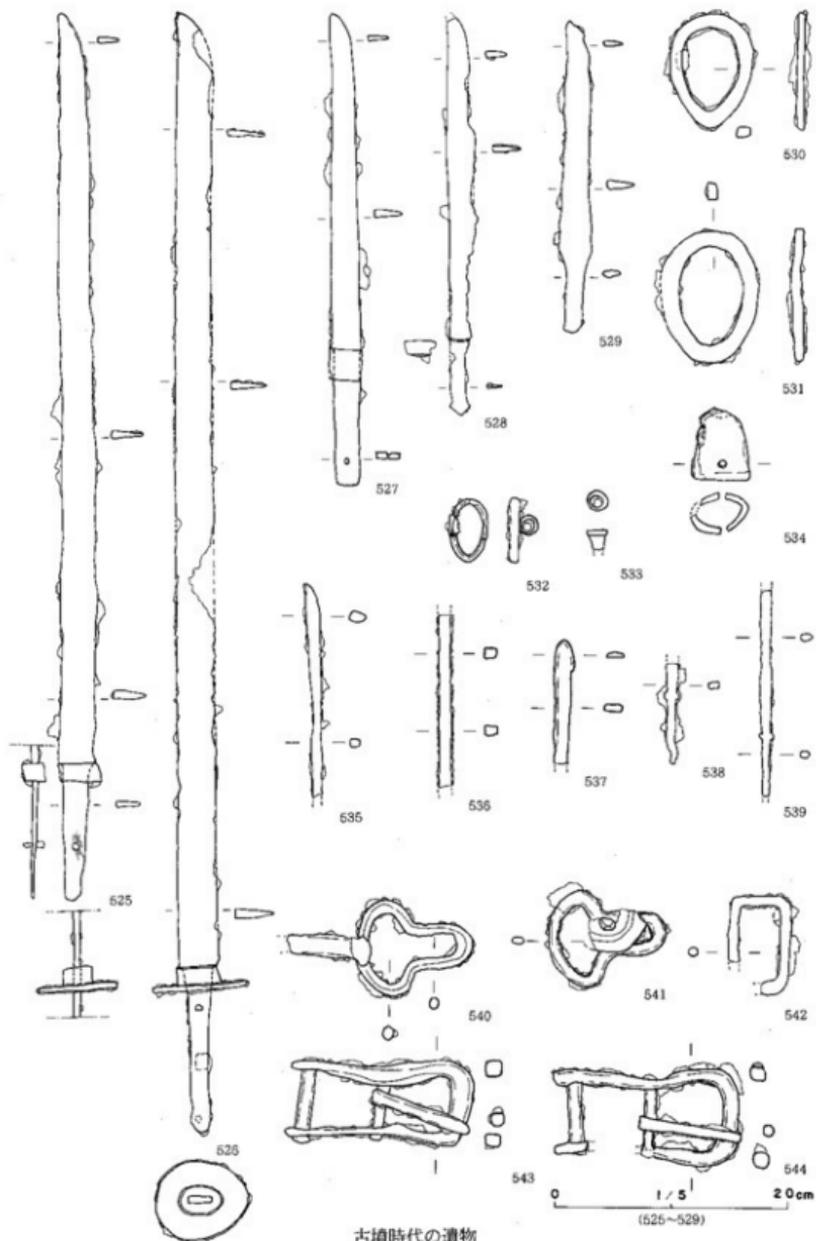
古墳～平安時代の遺物



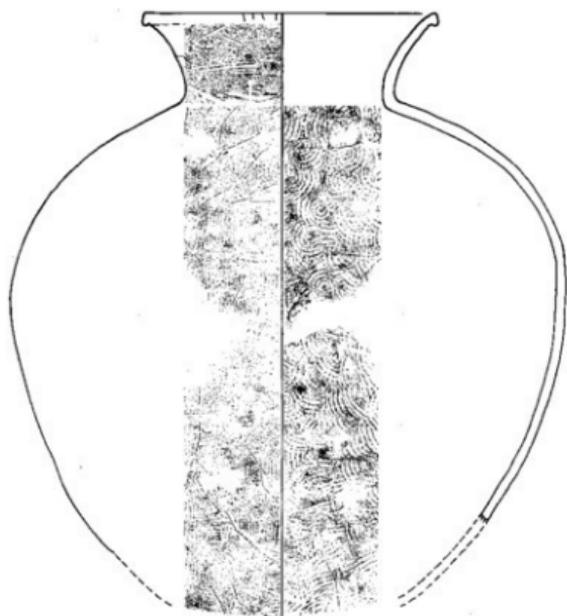
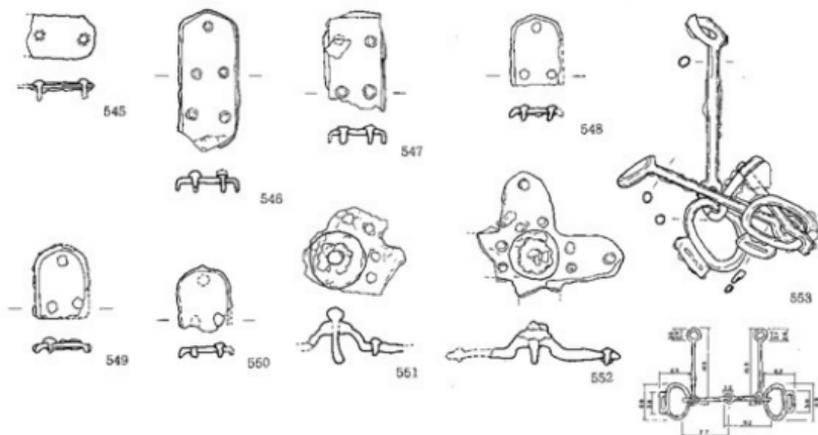
古墳時代の遺物



古墳時代の遺物

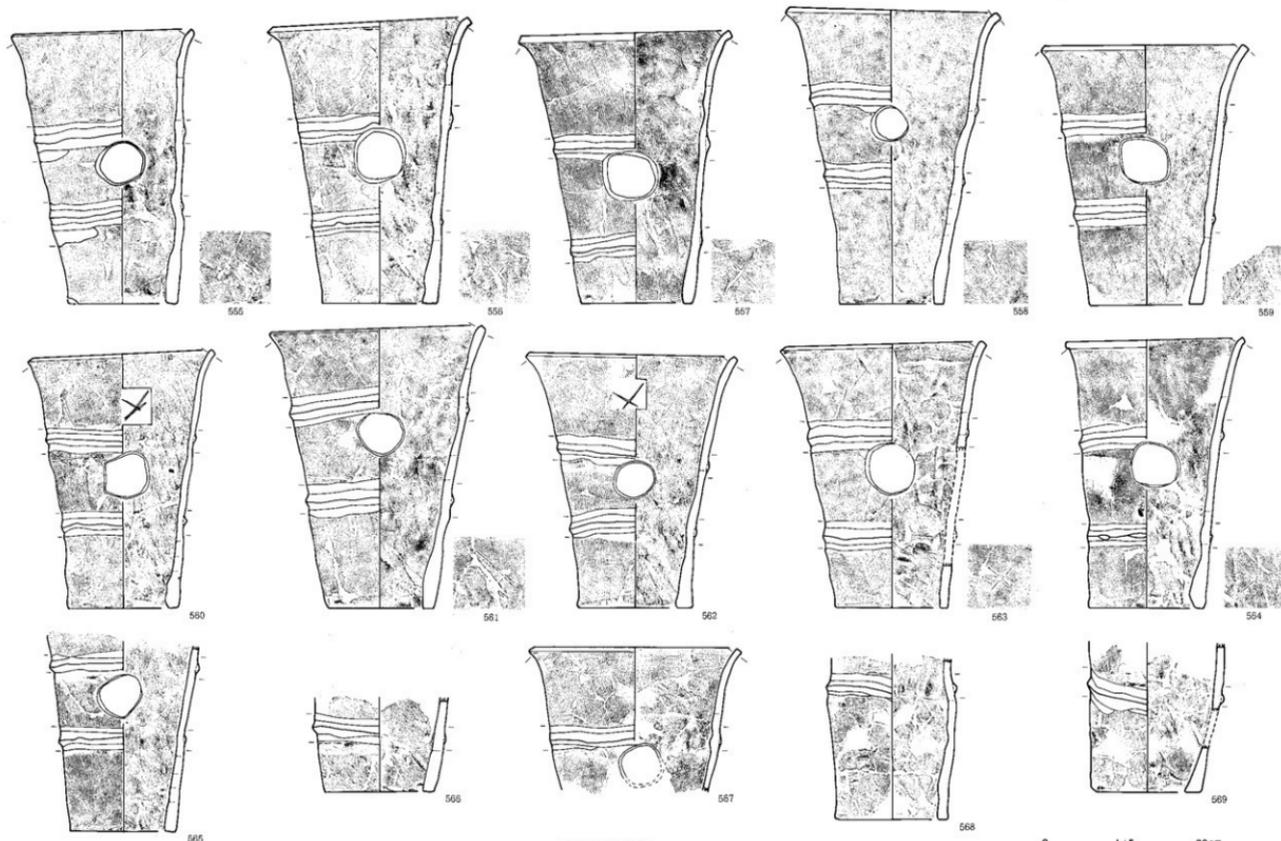


古墳時代の遺物



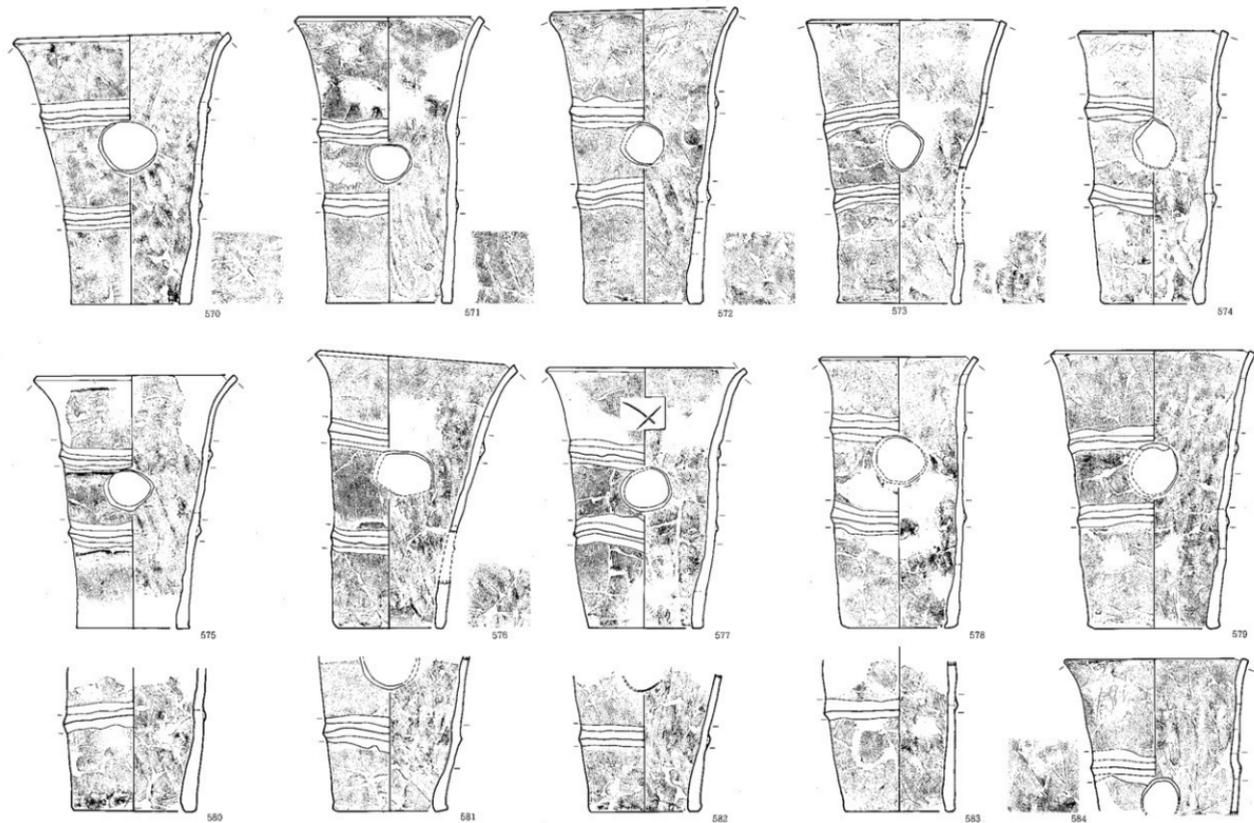
0 554 1 / 5 20cm  
(553 - 554)

古墳時代の遺物



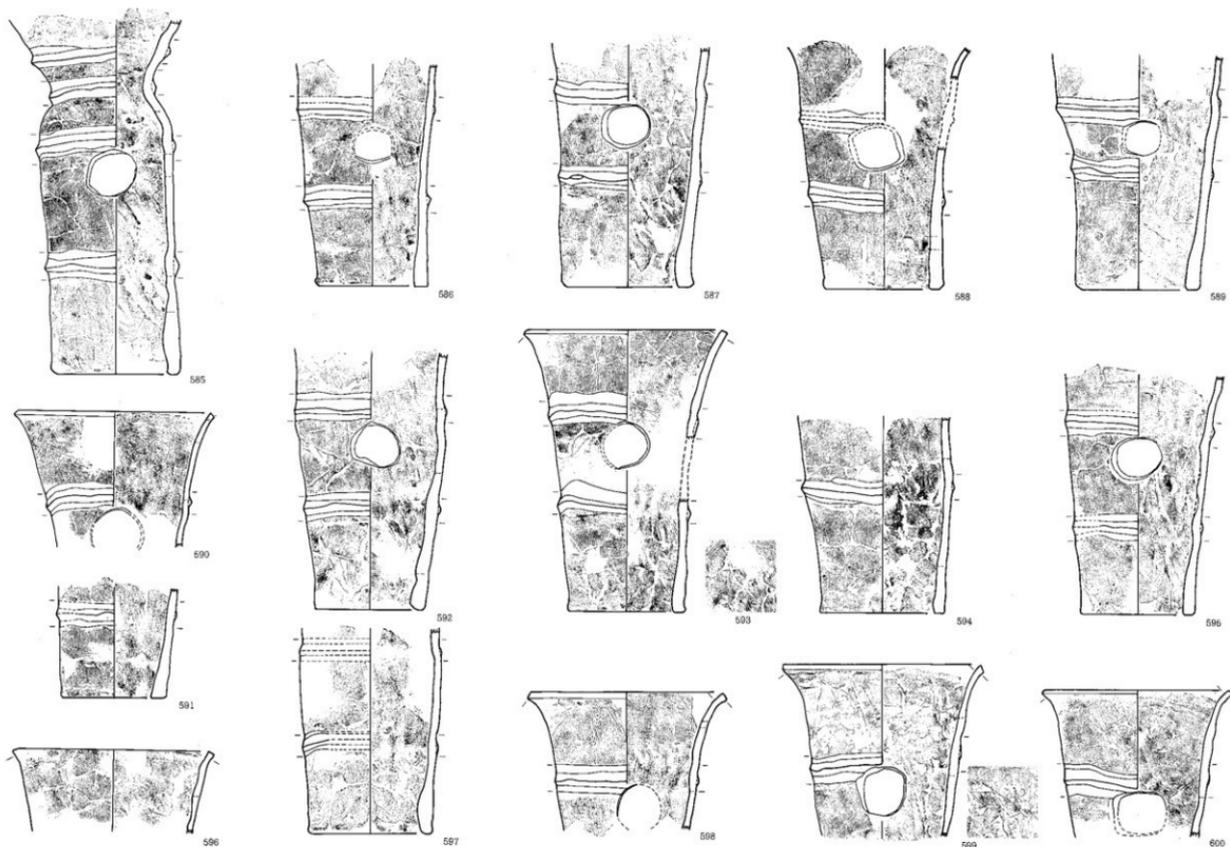
古墳時代の遺物

0 1/5 20cm  
(555-569)



古墳時代の遺物

0 1/5 20cm  
(570-584)



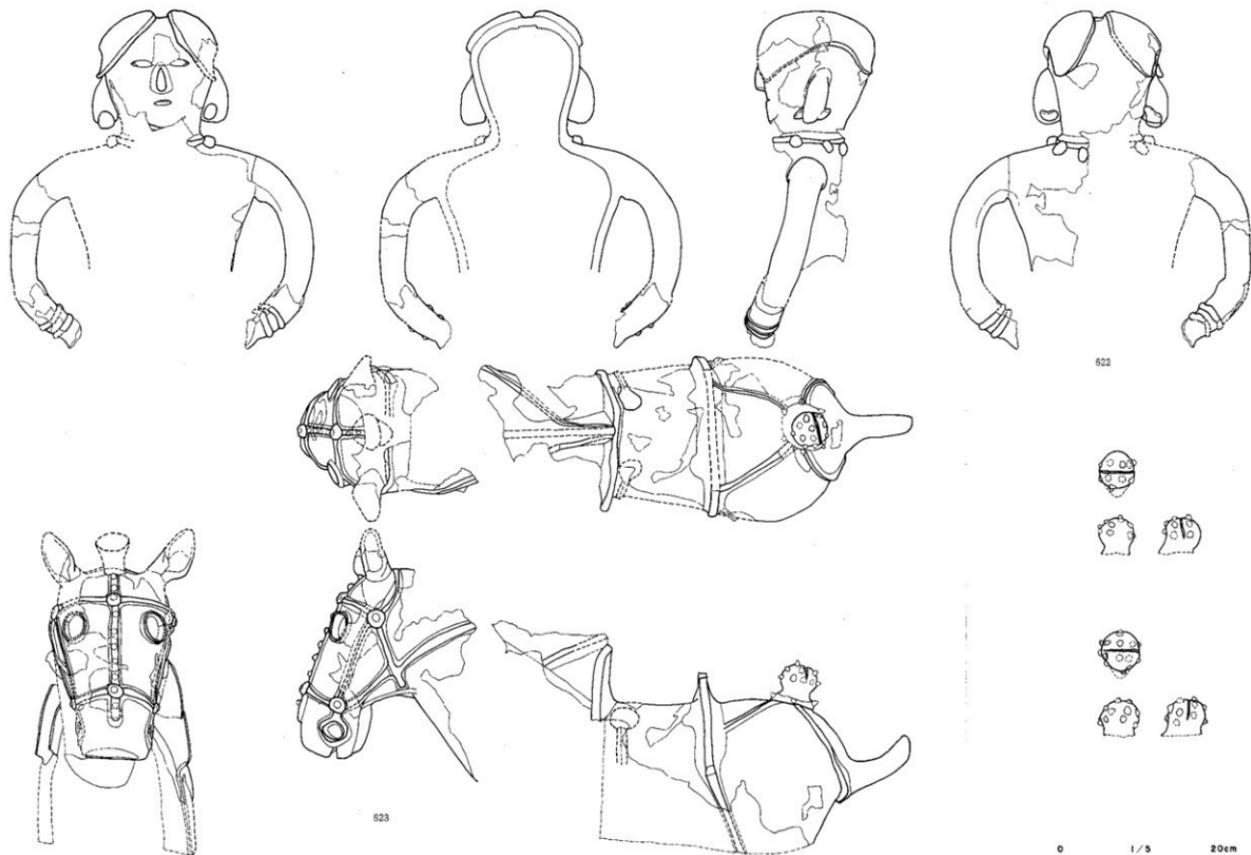
古墳時代の遺物

0 1/5 2.0cm  
(585-600)



古墳時代の遺物

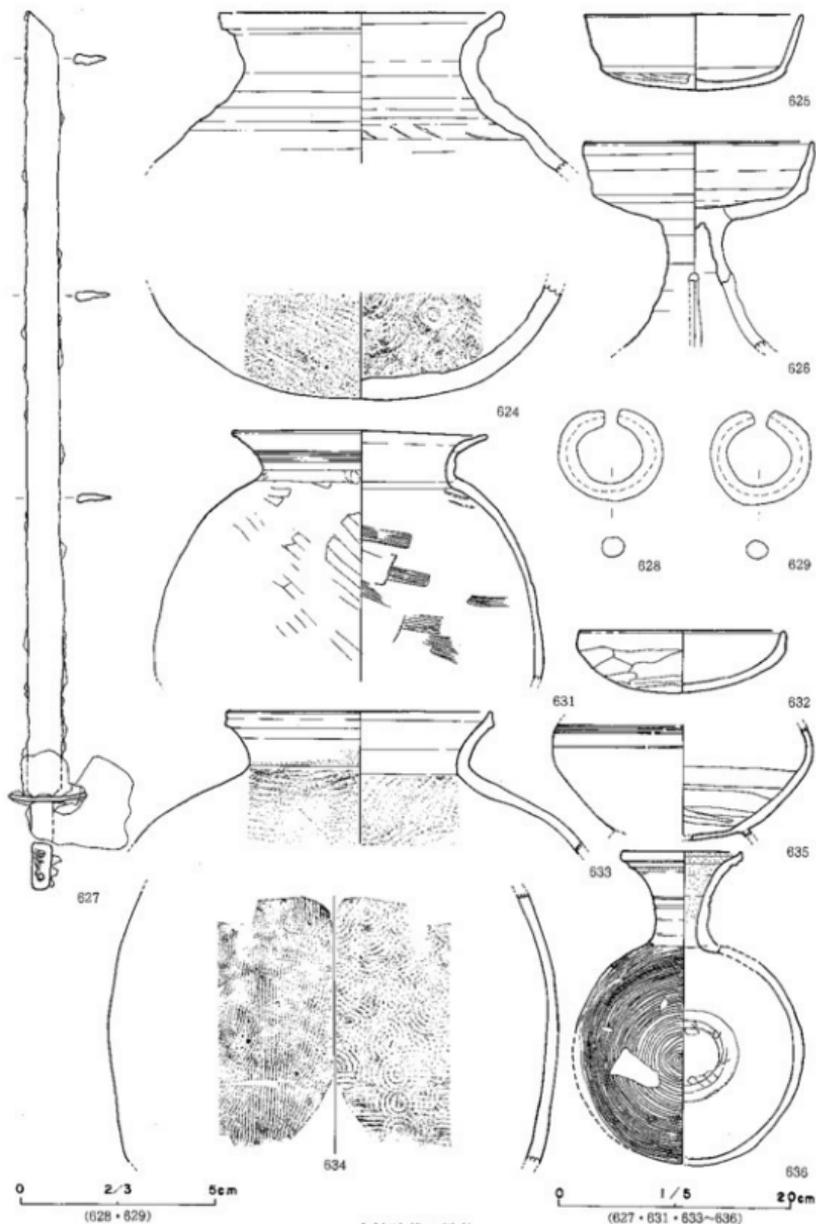
0 1/5 20cm  
(601-610・617-620・621)



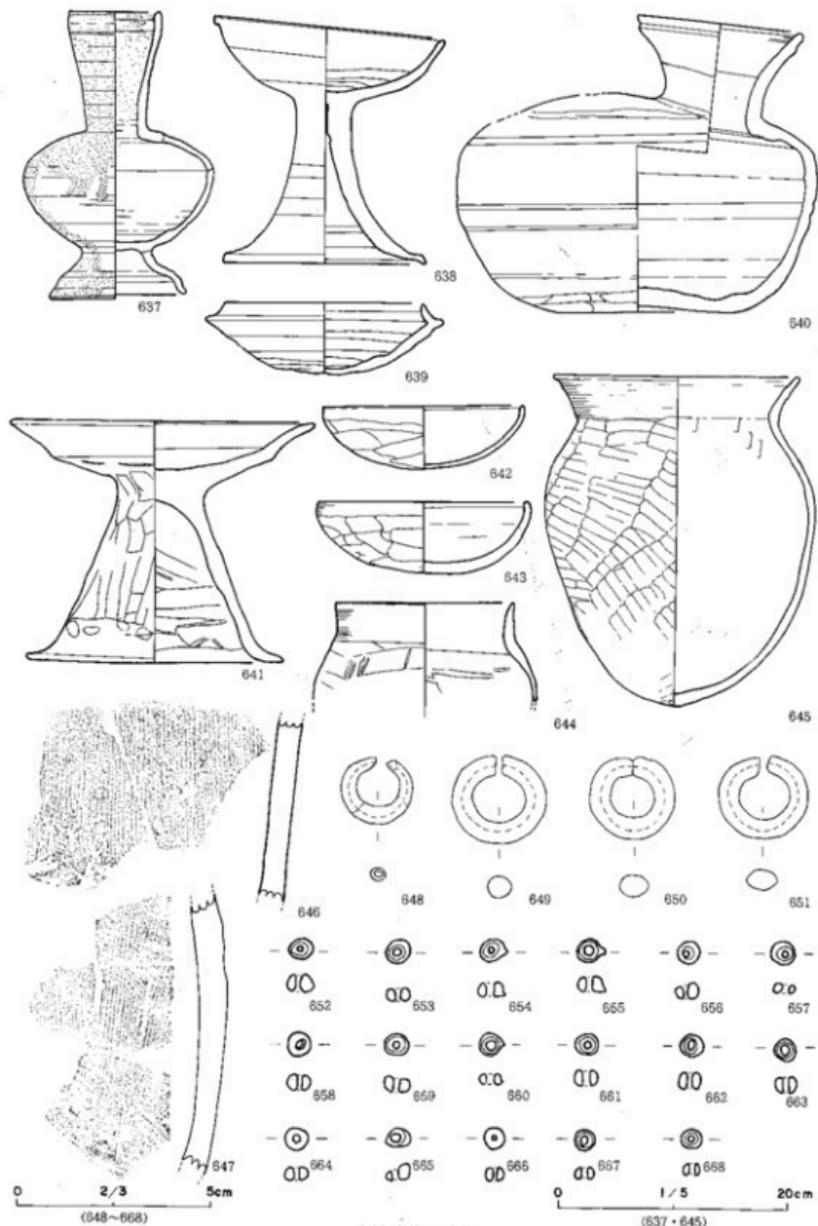
622

623

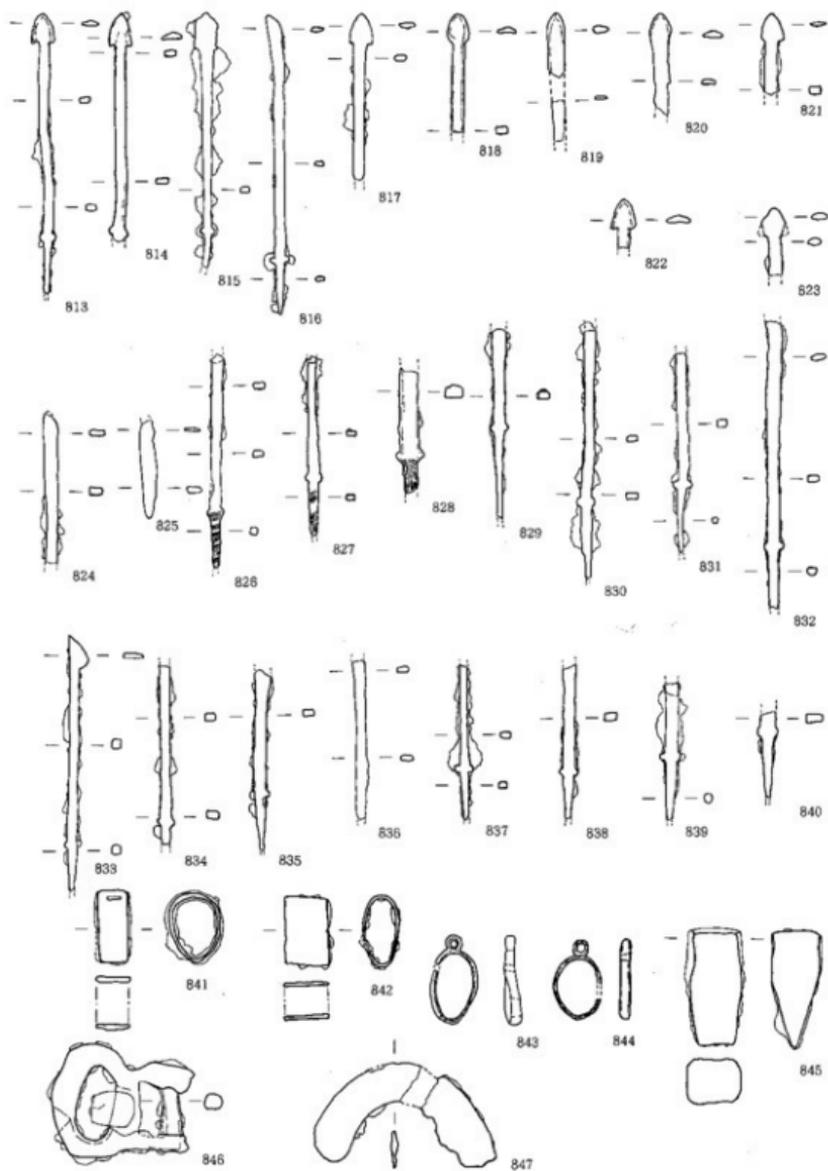
0 1/5 20cm  
(622・623)



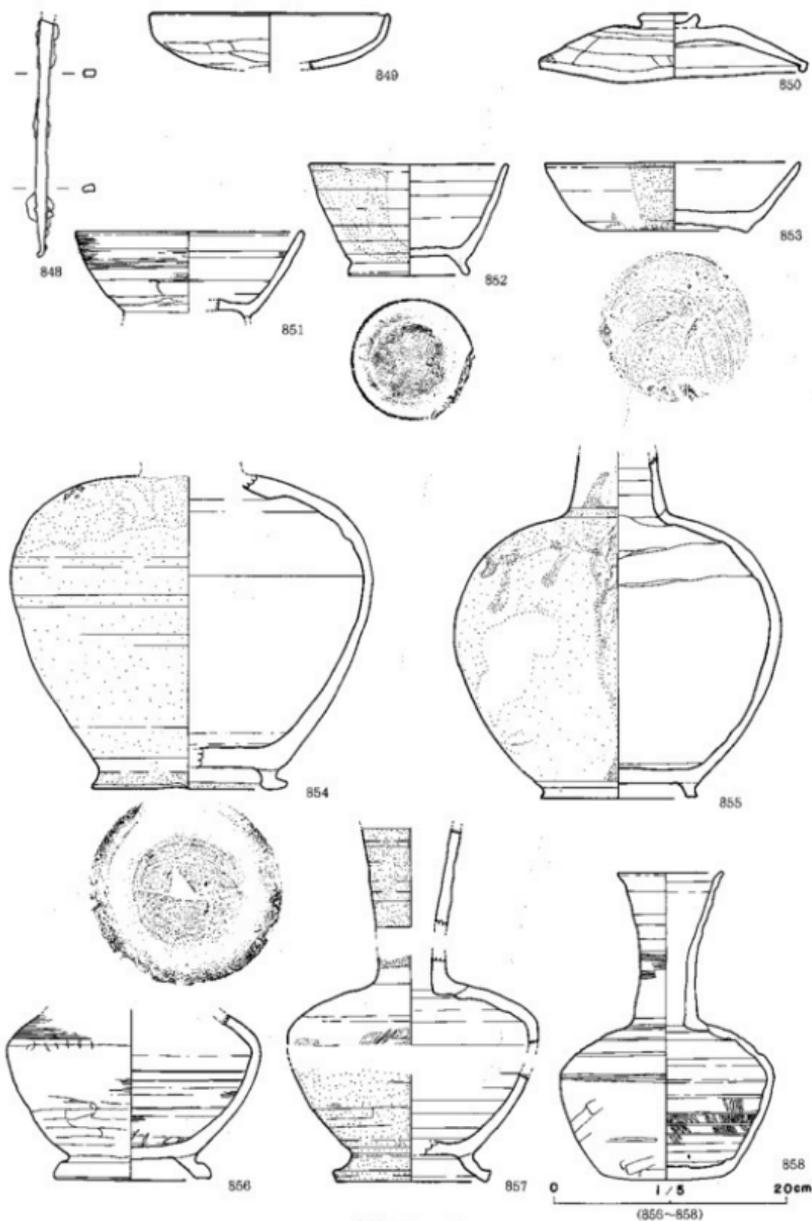
古墳時代の遺物



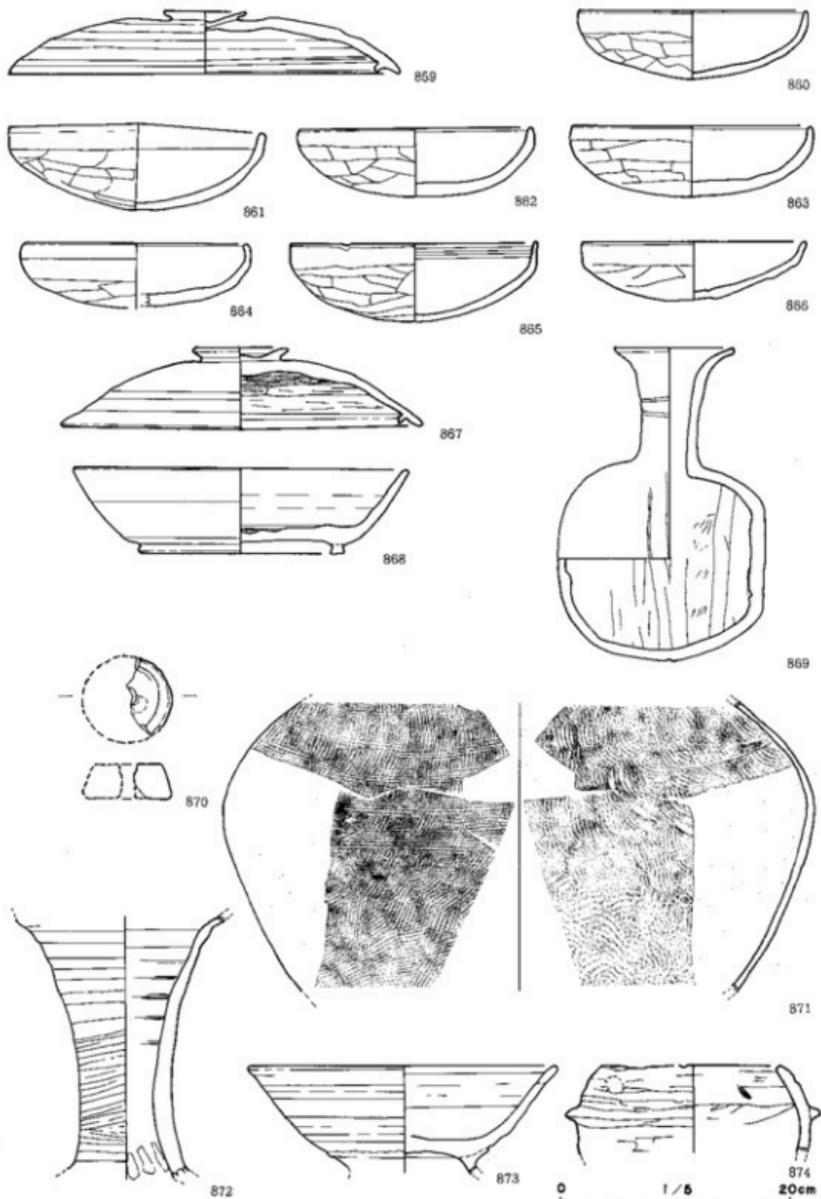
古墳時代の遺物



古墳時代の遺物



古墳時代の遺物



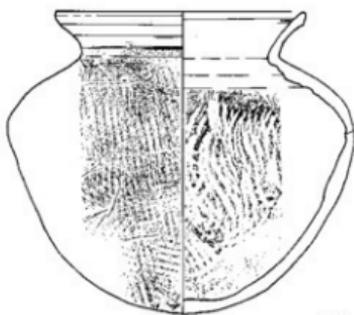
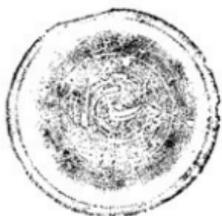
古墳～平安時代の遺物



875



876



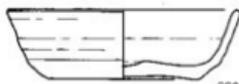
877



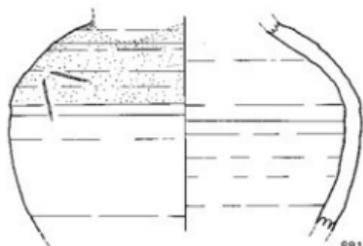
878



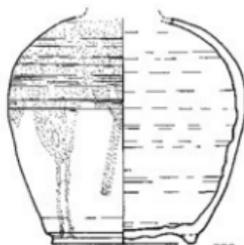
879



880



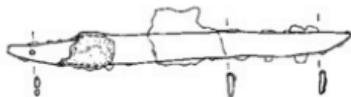
881



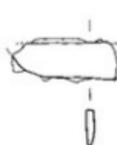
882



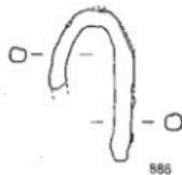
883



884



885



886

0 1/5 20cm  
(875・882～884)



上横依遺跡全景 南側より



上横依遺跡現況 東側より



熊野穴Ⅲ遺跡全景



H-10より北側を望む



J-10c 完掘



J-10c 石組



J-30b 完掘



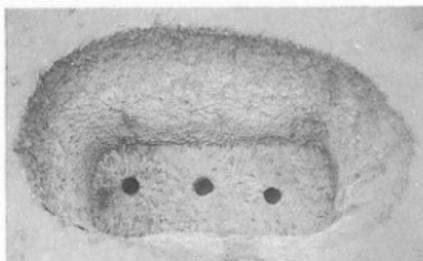
J-31 遺物出土状況



J-31 完掘



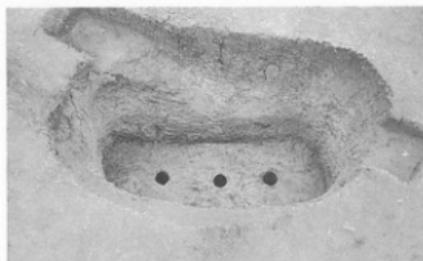
X-1 南北土層断面



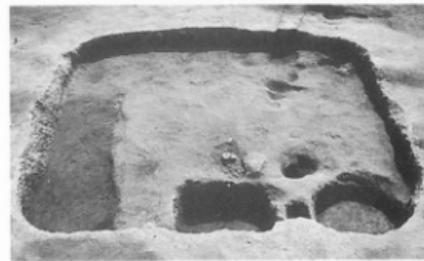
X-11 完掘



Z-3 南北土層断面



X-8 完掘



H-1 完掘



H-2 完掘



H-2 遺物出土状況



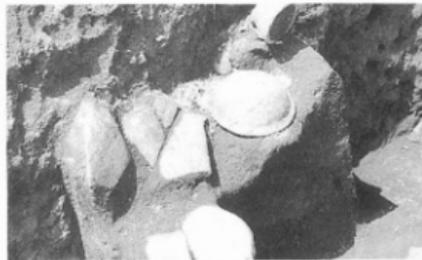
H-2 掘り方



H-3 完掘



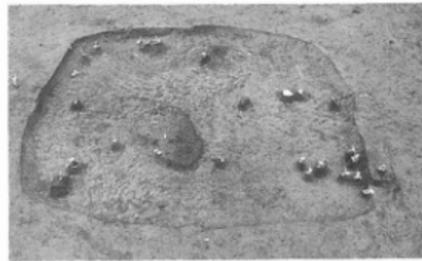
H-3 遺物出土状況



H-3 遺物出土状況



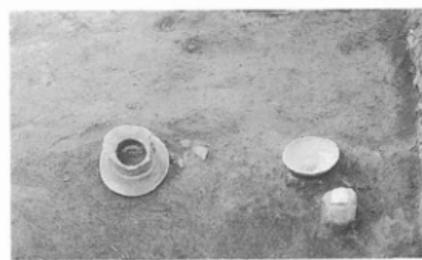
H-3 掘り方



H-4 遺物出土状況



H-6 完掘



H-6 遺物出土状況



H-7 遺物出土状況



H-7 炉 十層断面



H-9 片口出土状況



H-11 遺物出土状況



H-11 掘り方十層断面



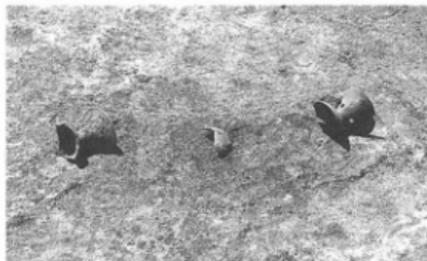
H-13 a b 完掘



H-14 完掘



H-14 東西上層断面



H-14 遺物出土状況



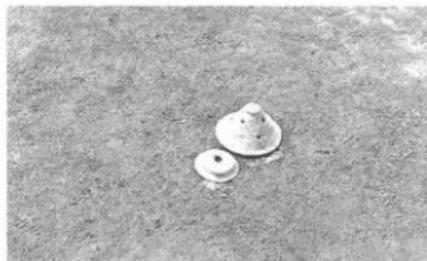
H-15 完掘



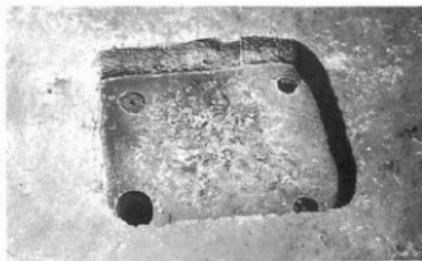
H-16 完掘



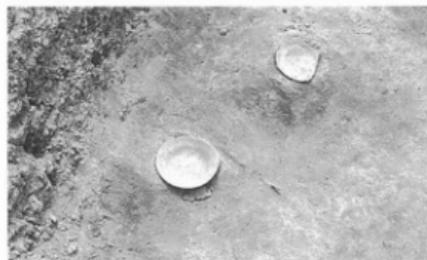
H-16 遺物出土状況



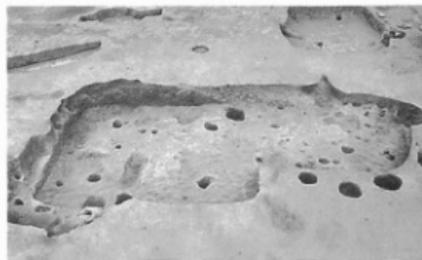
H-18 遺物出土状況



H-19 完掘



H-20 遺物出土状況



H-21a・21b・22 完掘



H-21b 南北土層断面



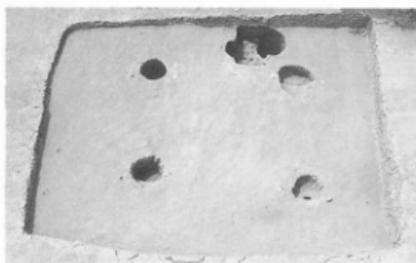
H-21b 土坑 埋覆蓋



H-21b 土坑 埋覆身



H-23 完掘



H-24 完掘



H-24 遺物出土狀況



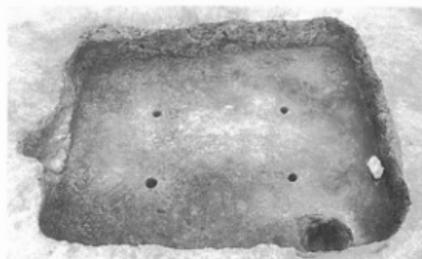
H-26 完掘



H-26 遺物出土狀況



H-26 掘り方



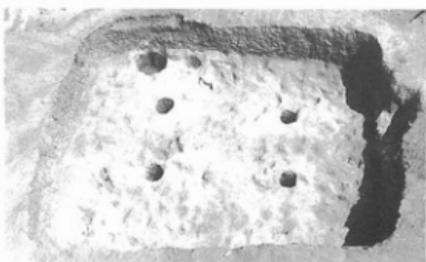
H-29 完掘



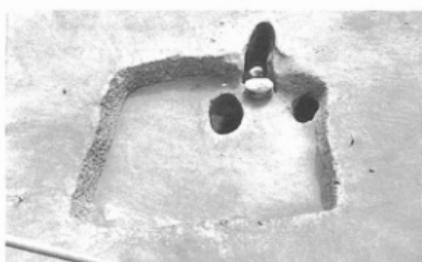
H-29 炭化物出土状況



H-29 遺物出土状況



H-29 掘り方



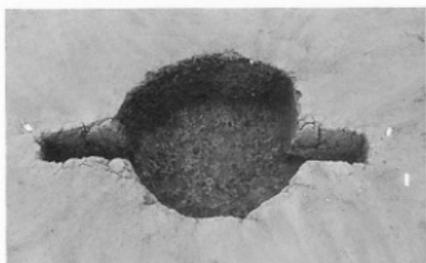
H-21a 完掘



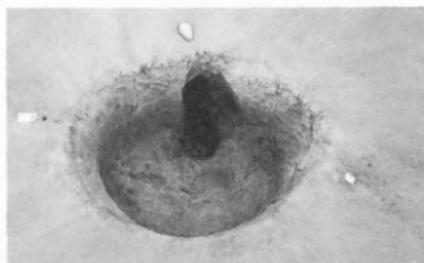
H-21a 遺物出土状況



H-22 完掘



D-14 完掘



D-19 完掘



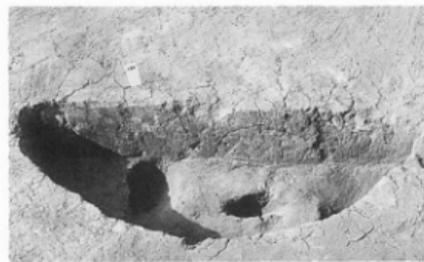
D-53 遺物出土状況



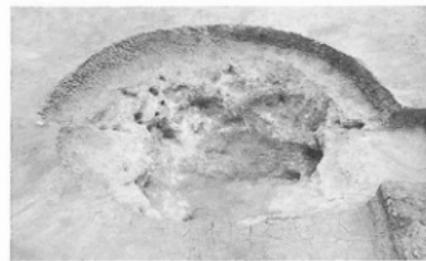
D-53 遺物出土状況



D-103 遺物出土状況



D-130 土層断面



O-1 完掘



O-3 完掘



HE-48 グリッド柱穴群



上横依Ⅱ遺跡全景



上横依遺跡 FL区全景



上横依第1次調査状況



J-1 完掘



J-1 遺物出土状況



J-1 埋壺出土状況



X-1 完掘



X-3 完掘



ER-12・ES-13 グリッド石置出土状況



M-8 完掘



M-8 周堀 土層断面



M-8 周堀内遺物出土状況



M-16 完掘



M-4b 調査状況



M-4b 完掘



M-10 と Pit 群



M-14 完掘



M-1 現況



M-1 調査状況



M-1 石室



M-1 石室完掘



M-2 確認状況



M-2 石室完掘



M-2 全景



M-3, M-6 確認状況



M-3, M-6 完掘



M-3 全景



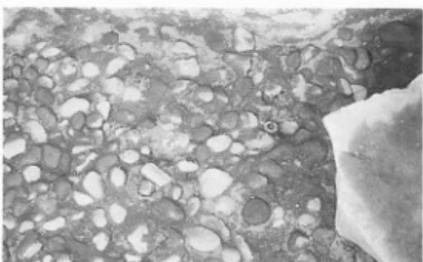
M-4・8 完掘



M-4 填丘盛土状況



M-4 石室内遺物出土状況



M-4 石室内遺物出土状況



M-4 石室内遺物出土状況



M-4 周堀 遺物出土状況



M-4 遺物出土状況



M-4 西側墳丘上遺物出土状況



M-4 石室 完掘



M-5 全景



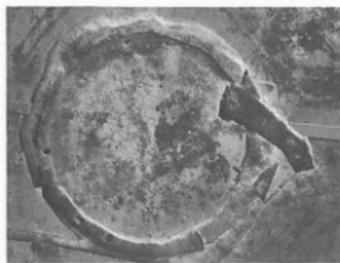
M-5 朝顔型埴輪出土状況



M-5 周堀 土層断面 (北側)



M-5 周堀 土層断面(東側)



M-5 全景



M-6 全景



M-7 完掘



M-9 石室全景



M-9 石室内遺物出土状況



M-9 前庭部 土層断面



M-11 石室確認状況



M-11 全景



M-11 石室全景



M-11 石室内遺物出土状況 (大刀)



M-11 石室内遺物出土状況 (耳環)



M-12 石室確認状況



M-12 完掘



M-13 全景



M-13 前底部 遺物出土状況



M-13 前底部 遺物出土狀況



M-13 遺物出土狀況



M-13 石室内遺物出土狀況 (耳環)



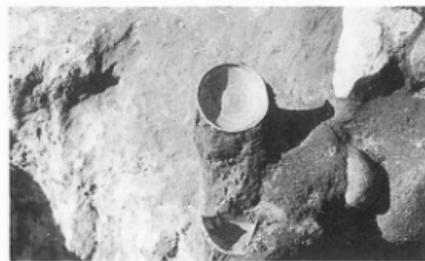
M-20 全景



M-20 右室全景



M-20 前底部 遺物出土狀況



M-20 前底部 遺物出土狀況



M-20 前底部 南北十層断面



M-21 石室全景



M-23 全景



M-23 遺物出土状況



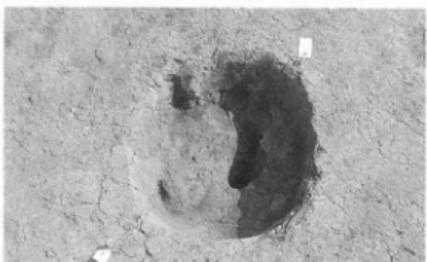
K区 D-24,25,26,27 完掘



K区 D-53 完掘



K区 D-81 土層断面



K区 D-103 完掘



KL区 東側溝全景



K区 地割全景



KH-30 グリッド内地割 土層断面



FL区 河川跡 土層断面



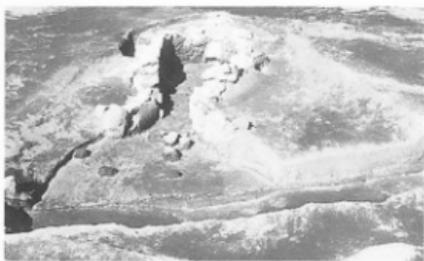
EE・EF-15・16 グリッド全景



EE・EF-15・16 グリッド東西土層断面



EE・EF-15・16 グリッド遺物出土状況



K-2 全景



K-2 石組状況



縄文・住居出土遺物 No.1~12



縄文・住居・土坑出土遺物 No.13~21



縄文・住居・土坑・グリッド出土遺物 No.22~37



縄文・グリッド出土遺物 No.38~53



縄文・グリッド出土遺物 No.54~61 63~65



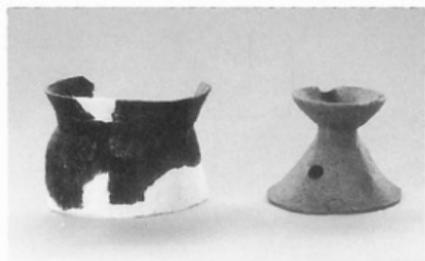
縄文・グリッド出土遺物 No.66~81



縄文・グリッド出土遺物 No.82~95



H-1 No.99



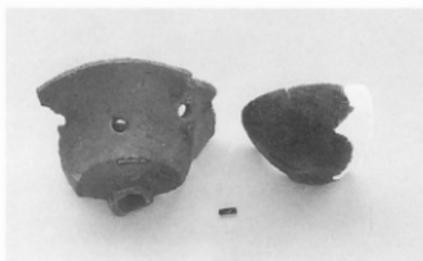
H-1 No.100・101



H-1 No.102・104



H-2 No.105・107



H-2 No.108~110



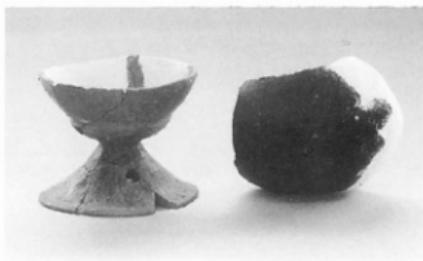
H-3 No.111~116



H-3 No.117~119



H-3 No.120~122



H-3 No.123・124



H-3 No.125・127



H-3 No.126



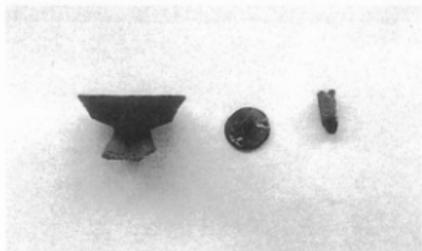
H-3 No.128



H-3 No.129



H-4 No.130・131 H-5 No.132・133



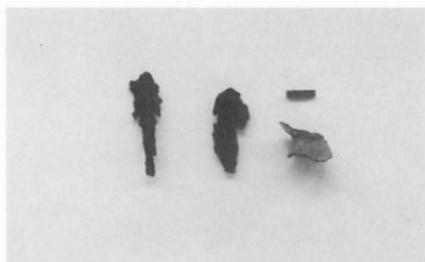
H-6 No.134・135・137



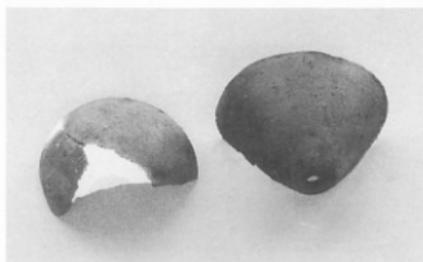
H-6 No.138・140



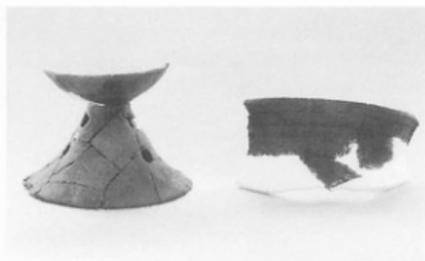
H-6 No.136・139



H-7 No.141~144



H-7 No.145・146



H-7 No.147・148



H-7 No.149



H-7 No.150



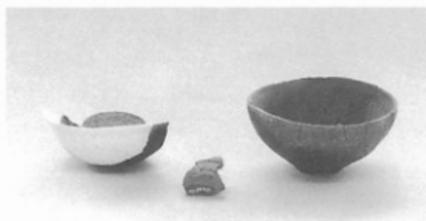
H-9 No.156・157



H-14 No.166~168



H-14 No.169・170



H-15 No.176~178



H-17 No.184・186



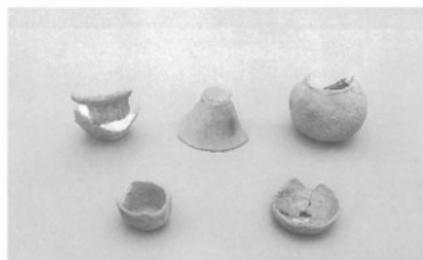
H-17 No.185



H-18 No.187~189



H-19 No.191



H-21b No.195・196・198~200



H-21b No.202・203



H-21b No.204~206



H - 21b No.207~209



H - 21b No.213~215



H - 21b No.217・218



H - 21b No.221~223



H - 21b No.227



H - 21b No.216



H - 21b No.219・220



H - 21b No.224・225



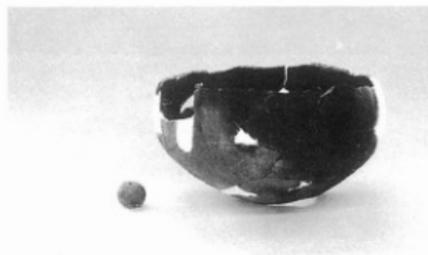
H - 21b No.228



H-24 No.233



H-24 No.234



H-26 No.238・239



H-29 No.240~242



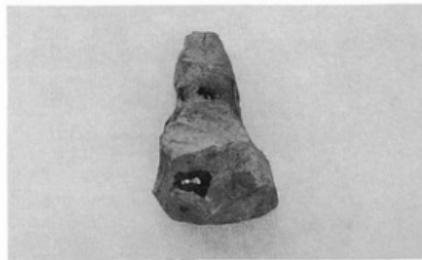
H-30 No.243・244 D-53 No.246



D-53 No.247 D-103 No.249



D-103 No.250



1E-19 No.255



H-20 No.259・260



H-21 No.264



H-21 No.269



J-1 No.271



2E-19 No.251 1E-19 No.254



H-20 No.261・262



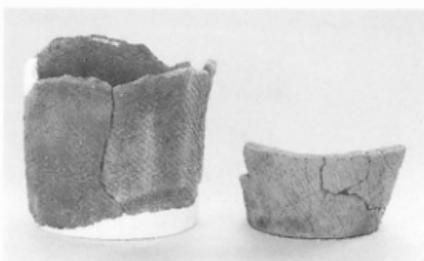
H-20 No.263 H-21 No.265



H-21 No.266・267



H-21 No.268 H-22 No.270



J-1 No.272・273



J-1 No.274・275



J-1 No.276・278



J-1 No.277・279・280



J-1 No.281



M-18 No.282



EP-15・16土坑 No.283・285



KP-30 No.284 M-8 No.286



縄文時代土器 No.290~297



縄文時代土器 No.298~309・312



縄文時代土器 No.310・311・313~317



縄文時代土器 No.318~323・325



縄文時代土器 No.324・326~330



縄文時代土器 No.331~339



縄文時代石器 No.340~349



縄文時代石器 No.350~356



縄文時代石器 No.357~363



縄文時代石器 No.364~368



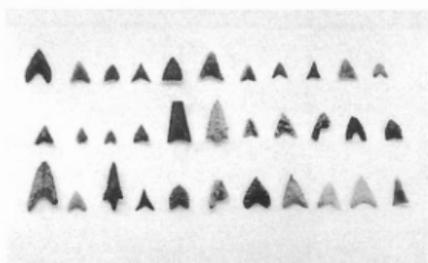
FJ-6縄文時代石器No.369



縄文時代石器 No.371・374~377・379



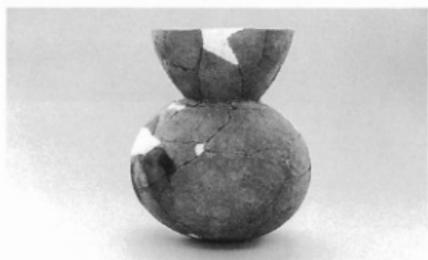
JW-45縄文時代石器No.378



縄文時代の石鏃



M-8 No.413



M-8 No.414



M-8 No.415



M-8 No.420



M-8 No.426



M-8 No.431~433



M-8 No.435~437



M-18 No.440・442



M-3 No.444



M-4 No.446・447



M-3 No.445



M-4 No.450



M-4 No.452



M-4 No.448・449



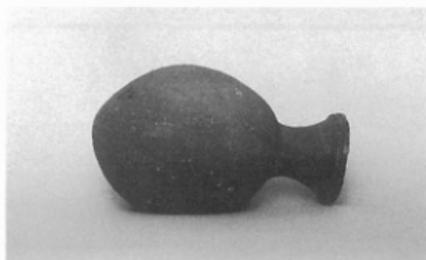
M-4 No.451



M-4 No.453



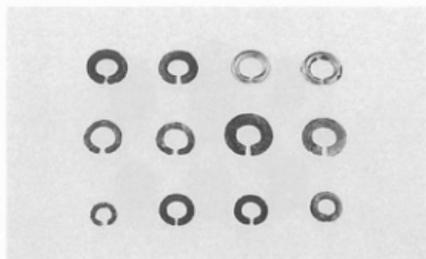
M-4 No.454



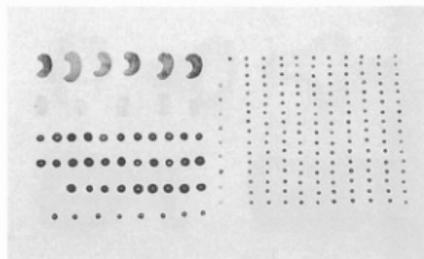
M-4 No.455



M-4 No.456



M-4・11・13金銅製耳環



M-4・13勾玉・ビーズ玉



M-4 No.525



M-4 No.526



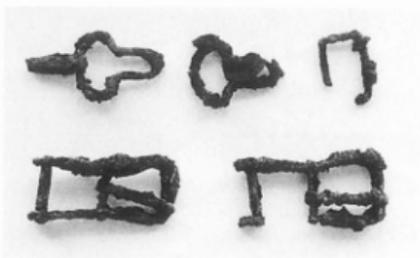
M-4 No.527



M-4 No.528



M-4 No.529



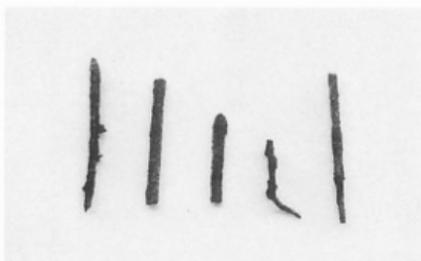
M-4 No.540~544



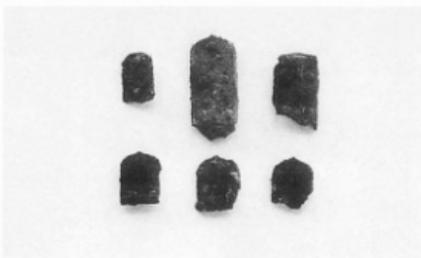
M-4 歯・骨



M-4 No.530~534



M-4 No.535~539



M-4 No.545~550



M-4 No.553



M-4 No.554



M-5 No.555



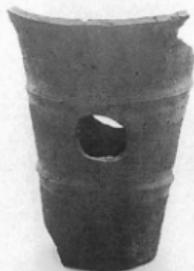
M-5 No.556



M-5 No.557



M-5 No.558



M-5 No.559



M-5 No.560



M-5 No.561



M-5 No.562



M-5 No.563



M-5 No.564



M-5 No.565



M-5 No.570



M-5 No.571\*



M-5 No.572



M-5 No.573



M-5 No.574



M-5 No.575



M-5 No.576



M-5 No.577



M-5 No.578



M-5 No.579



M-5 No.584



M-5 No.585



M-5 No.587



M-5 No.588



M-5 No.589



M-5 No.592



M-5 No.593



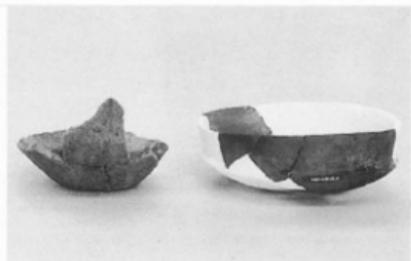
M-5 No.594



M-5 No.595



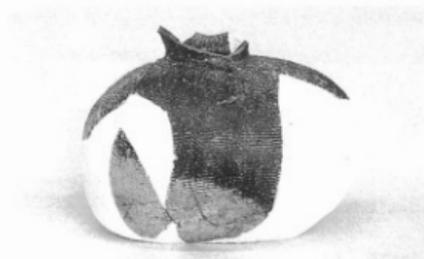
M-5 No.599



M-5 No.613・614



M-5 No.616



M-5 No.617



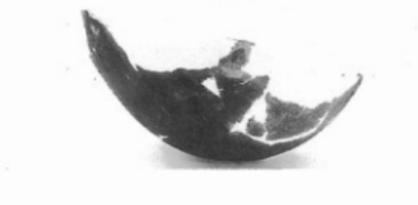
M-11 No.625・626



M-11 No.631



M-5 No.621



M-5 No.620



M-11 No.627



M-12 No.632



M-13 No.637



M-13 No.636



M-13 No.641



M-13 No.638・640



M-13 No.645



M-13 No.639・642・643



鉄 鏃



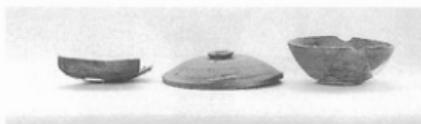
M-13 No.841~844



M-13 No.845~847



M-15 No.848



M-15 No.849 M-20 No.850・851



M-20 No.855



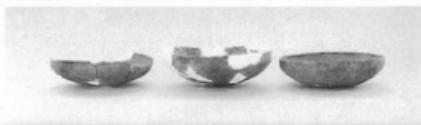
M-20 No.852・853



M-20 No.854



M-20 No.858



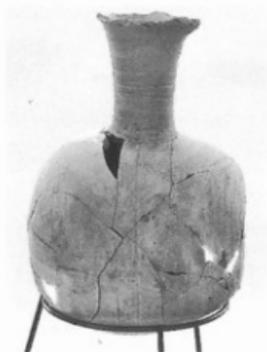
M-23 No.860~862



M-23 No.863~865



M-23 No.867・868



M-23 No.869



M-23 No.876



H-2 No.879 H-1 No.880



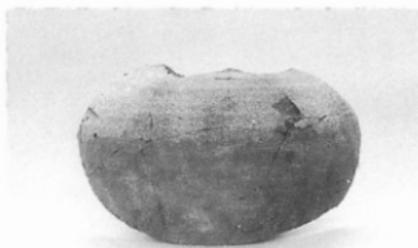
EF-16 No.882



M-23 No.875



M-23 No.877



EF-16 No.881



EF-16 No.883・884

調査に参加した方々は下記の通りです。(五十音順)

青石井岡木小白棚深三	木川上野村沼井橋沢川	芳ワもし玉あトし千昭	子江子代きク子代市	秋石内小須堀八木	間綿山小野村須岡越原	キ信恵はと豊か和豊	ヨ美子江よ子&子豊	子雄子江よ子&子豊	新石井岡鹿栗小須中牧山	井綱田沼原林藤川せき	宜る田恭朝康ハ類つく	八の篤治子典エ子代枝	新板岡金栗齊高萩松山	井橋田子原藤橋原井崎	七眞誉文計まや和き勤	口喜洋子子の子ん治	子太富洋子の子ん治	飯井岡榎高佐田萩松山	島上野澤高坂中善チエ	いチ野沢高佐田萩松山	しエ幾美直善チエ菊つ	子代穂の子郎子江子
------------	------------	------------	-----------	----------	------------	-----------	-----------	-----------	-------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	-----------

---

荒砥工業団地造成に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

横 俵 遺 跡 群 IV  
群馬県前橋市

---

平成 3 年 1 2 月 2 5 日 印刷  
平成 3 年 1 2 月 3 1 日 発行

発行者 前橋市埋蔵文化財発掘調査団  
前橋市上泉町664番地の4

編集 スナガ環境測設株式会社  
前橋市青柳町211番地の1

印刷 有限会社サクラヤ印刷所  
前橋市石倉町一丁目5番7号

---









